

平成24年度

松阪市主要施策の成果及び実績報告書

三重県松阪市

# 目 次

一 般 会 計	3
平成24年度 松阪市一般会計歳入歳出決算額の総括表	4
平成24年度 一般会計歳入決算状況	6
平成24年度 一般会計歳出目的別・性質別決算状況	7
(款) 1 議会費	8
(項) 1 議会費	8
(款) 2 総務費	12
(項) 1 総務管理費	12
2 徴税費	47
3 戸籍住民基本台帳費	53
4 選挙費	58
5 統計調査費	63
6 監査委員費	65
(款) 3 民生費	66
(項) 1 社会福祉費	66
2 老人福祉費	80
3 児童福祉費	84
4 生活保護費	94
5 災害救助費	96
(款) 4 衛生費	97
(項) 1 保健衛生費	97
2 清掃費	116
(款) 5 労働費	127
(項) 1 労働諸費	127
(款) 6 農林水産業費	130
(項) 1 農業費	130
2 林業費	143
3 水産業費	150
(款) 7 商工費	153
(項) 1 商工費	153
(款) 8 土木費	163
(項) 1 土木管理費	163
2 道路橋りょう費	164
3 河川費	167
4 港湾費	169
5 都市計画費	170
6 住宅費	176
(款) 9 消防費	178
(項) 1 消防費	178
(款) 10 教育費	180
(項) 1 教育総務費	180
2 小学校費	191
3 中学校費	195
4 幼稚園費	198
5 社会教育費	201
6 保健体育費	213
7 青少年教育費	222
(款) 11 災害復旧費	224
(項) 1 農林水産業施設災害復旧費	224
2 公共土木施設災害復旧費	227

3 文教施設災害復旧費	229
(款)12 公債費	230
(項) 1 公債費	230
(款)14 諸支出金	231
(項) 1 基金費	231
<b>特別会計</b>	233
競輪事業	234
国民健康保険事業	239
介護保険事業	243
後期高齢者医療事業	247
簡易水道事業	250
戸別合併処理浄化槽整備事業	253
農業集落排水事業	254
住宅新築資金等貸付事業	256
ケーブルシステム事業	257
<b>地方自治法第241条第5項の規定による書類</b>	259
基金の運用状況	260

注) 計数については、原則として表示単位未満を四捨五入し、端数調整をしていないため、合計などと一致しない場合があります。

注) 基金の現在高は平成25年度の予算執行後の増減を示しているため、決算書(3月末)の数値とは差異があります。

# 一 般 会 計

平成24年度 松阪市一般会計歳入歳出決算額の総括表

(歳入)

(単位：千円)

区 分	予算現額	収入済額	総額に対する割合	予算現額と収入済額との比較
1 市 税	20,987,020	21,272,044	36.6%	285,024
2 地 方 譲 与 税	662,802	662,803	1.1%	1
3 利 子 割 交 付 金	61,283	61,283	0.1%	0
4 配 当 割 交 付 金	48,526	48,526	0.1%	0
5 株式等譲渡所得割交付金	12,080	12,080	0.0%	0
6 地方消費税交付金	1,569,489	1,569,489	2.7%	0
7 ゴルフ場利用税交付金	83,169	83,169	0.1%	0
8 自動車取得税交付金	233,421	233,421	0.4%	0
9 国有提供施設等所在 市町村助成交付金	300	300	0.0%	0
10 地方特例交付金	102,986	102,986	0.2%	0
11 地 方 交 付 税	14,992,856	14,992,856	25.8%	0
12 交通安全対策特別交付金	31,501	31,501	0.1%	0
13 分担金及び負担金	944,580	951,482	1.6%	6,902
14 使用料及び手数料	857,050	889,639	1.5%	32,589
15 国 庫 支 出 金	8,509,926	8,197,765	14.1%	△312,161
16 県 支 出 金	3,744,931	3,719,357	6.4%	△25,574
17 財 産 収 入	146,227	156,438	0.3%	10,211
18 寄 附 金	5,330	5,330	0.0%	0
19 繰 入 金	501,759	498,072	0.9%	△3,687
20 繰 越 金	1,217,854	1,217,855	2.1%	1
21 諸 収 入	514,516	645,932	1.1%	131,416
22 市 債	3,246,000	2,779,700	4.8%	△466,300
歳 入 合 計	58,473,606	58,132,028	100.0%	△341,578

(歳 出)

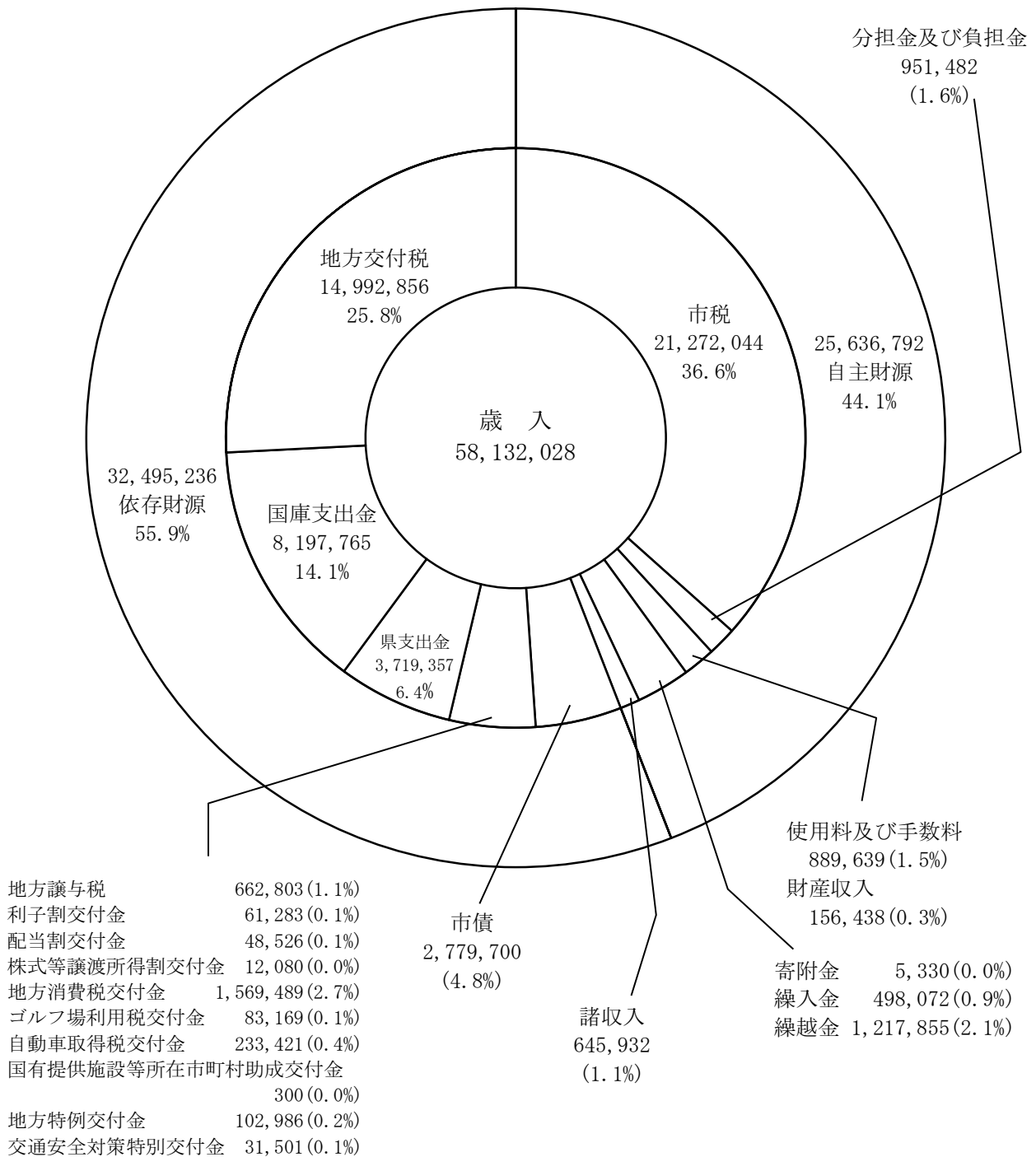
(単位：千円)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	総 額 に 対 する 割 合	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
1 議 会 費	406,673	399,327	0.7%	0	7,346
2 総 務 費	6,409,627	6,336,878	11.2%	5,000	67,749
3 民 生 費	23,148,929	22,797,342	40.1%	0	351,587
4 衛 生 費	5,674,930	5,566,099	9.8%	0	108,831
5 労 働 費	120,525	119,523	0.2%	0	1,002
6 農 林 水 産 業 費	1,552,738	1,441,195	2.5%	101,334	10,209
7 商 工 費	587,958	577,093	1.0%	0	10,865
8 土 木 費	6,015,403	5,343,862	9.4%	642,053	29,488
9 消 防 費	2,337,278	2,260,249	4.0%	61,510	15,519
10 教 育 費	5,138,299	4,967,421	8.7%	92,309	78,569
11 災 害 復 旧 費	369,261	315,782	0.6%	20,775	32,704
12 公 債 費	6,165,985	6,165,582	10.9%	0	403
13 予 備 費	30,000	0	0.0%	0	30,000
14 諸 支 出 金	516,000	516,000	0.9%	0	0
歳 出 合 計	58,473,606	56,806,353	100.0%	922,981	744,272

歳 入 歳 出 差 引 額	1,325,675
翌 年 度 へ 繰 越 す べ き 財 源	99,154
実 質 収 支 額	1,226,521

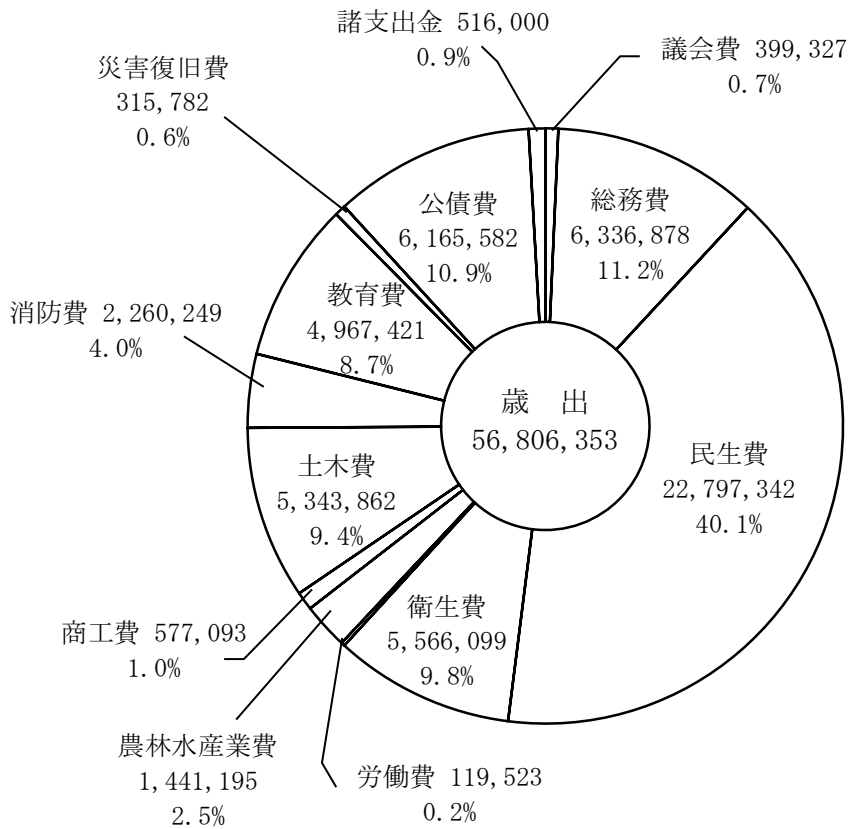
平成24年度 一般会計歳入決算状況

(単位：千円)

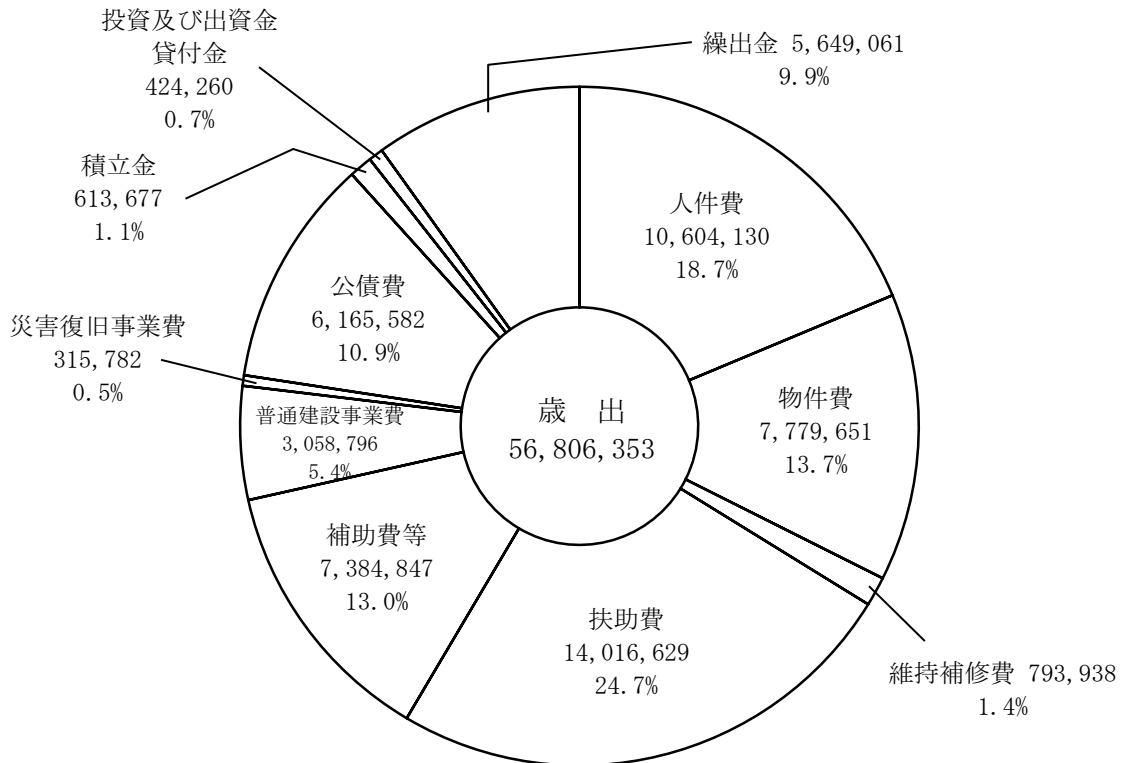


平成24年度 一般会計歳出目的別決算状況

(単位：千円)



平成24年度 一般会計歳出性質別決算状況





## 施策の成果及び執行実績

## (目) 1 議会費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
399,327				20	399,307

- 議員報酬・期末手当 212,105  
議員30人分

- 議員共済会負担金 93,702

地方公務員等共済組合法の一部を改正する法律に基づき、平成23年6月に議員年金制度が廃止となり経過措置として議員年金等受給者に対する共済給付金公費負担分を支出した。

- ・ 負担金 450,000円×57.6%×30人×12か月=93,312,000円
- ・ 事務費 390,000円

- 一般職員給 64,789

- 議長交際費 25

議会を代表した議長の対外的な活動を行った。

区 分	件 数	金 額
慶 弔 費	0 件	0円
会 費	1 件	5,000円
贈 答 費	0 件	0円
協 賛 金	0 件	0円
懇談会費	1 件	20,000円
広告経費	0 件	0円
そ の 他	0 件	0円
計	2 件	25,000円

- 議会活動事業費 4,537

全国市議会議長会及び各加盟協議会等への出席を行うことにより、市政の現状把握及び課題等を認識できた。また、市議会議員の資質並びに政策形成及び立案能力の向上を図るための一環として行政視察調査等の取組みを実施した。

- ・ 平成24年11月議会において新規に制定した議会基本条例について、市民の意見を聞くため市内3会場において松阪市議会基本条例（素案）についての市民説明会が行われた。

H24. 7. 23	嬉野生涯学習センター	参加者	50人
H24. 7. 25	産業振興センター	参加者	90人
H24. 7. 27	飯高老人福祉センター	参加者	69人

- ・ 平成24年11月議会において新規に制定した議会基本条例について、市民に知っていただくとともに、議会及び議員のあるべき姿について市民と考えることを目的に、議会改革フォーラムが行われた。

H24. 9. 1	産業振興センター	参加者	110人
	講師及び手話通訳者等謝礼		160
	講師旅費		42
	会議録作成委託料		30

- ・ 各委員会行政視察調査旅費 2,203
- ・ 各種議長会出席等旅費 924
- ・ 各種議長会負担金等 1,178

## 施策の成果及び執行実績

- 政務調査費補助金 5,885  
地方自治法第100条第14項及び第15項に規定及び、松阪市議会政務調査費の交付に関する条例に基づき交付する補助金で、松阪市議会議員の調査研究に資するため必要な経費の一部として、松阪市議会における会派（所属議員が1人の場合を含む）に対して補助した。  
（平成24年4月分～平成25年2月分）
- 議会広報事業費 3,923  
議会活動における取組み及び成果について積極的に発信し、説明責任を十分に果たすことを目的に、市議会だよりを年間5回発行した。  
松阪市議会だよりの印刷（5回）
  - 第40号 2月定例会号 平成24年 6月発行 65,000部
  - 第41号 6月定例会号 平成24年 9月発行 65,000部
  - 第42号 8月臨時会号 平成24年10月発行 65,000部
  - 第43号 9月定例会号 平成25年 1月発行 65,000部松阪市議会基本条例について、特集ページを1ページ掲載した。
  - 第44号11月定例会号 平成25年 3月発行 65,000部
- 会議録作成事業費 4,515  
本会議、全員協議会及び各常任委員会、特別委員会の会議内容を記録整理し、会議録を作成した。また、平成24年11月議会に議会基本条例を制定するにあたり、松阪市議会の現状を把握するとともに、課題等を分析し、議会のあるべき姿について協議を行うべく議会改革特別委員会及び同作業部会を実施したことにより大幅に作成ページ数が増加した。
  - ・ 本会議会議録作成 2,236
    - 第29号 2月定例会（716ページ）
    - 第30号 6月定例会（425ページ）
    - 第31号 8月臨時会（30ページ）、9月定例会（459ページ）
    - 第32号11月定例会（384ページ）、12月臨時会（54ページ）
  - ・ 全員協議会会議録作成（32ページ） 45
  - ・ 委員会会議録作成 2,234
    - 総務生活委員会（289ページ）
    - 環境福祉委員会（236ページ）
    - 文教経済委員会（375ページ）
    - 建設水道委員会（139ページ）
    - 決算調査特別委員会及び総務生活・環境福祉・文教経済・建設水道分科会（388ページ）
    - ごみ処理施設建設調査特別委員会（43ページ）
    - 議会改革特別委員会及び同作業部会（1,386ページ）
- 会議録検索システム事業費 832  
本会議及び全員協議会並びに、平成24年度からは委員会の会議録原稿をもとに作成された会議内容をホームページ上に掲載し、会議録の公開検索ができるようインターネットで配信を行った。
  - ・ インターネット配信及び保守管理業務 114
  - ・ データ作成業務 718

施策の成果及び執行実績

○ 議会放映事業費 3,785

ケーブルテレビにより平成24年6月議会から本会議の全日程を放映することで、従来の一般質問と代表質疑のみを放映していた時に比べ、より市民に議会の審議状況を提供することができ、開かれた議会となるよう努力した。

- ・ 収録用テープ 143
- ・ 放送機器操作業務委託 3,150
- ・ 光ファイバーケーブル等利用料 492

○ 政務活動費補助金 136

地方自治法第100条第14項から第16項及び、松阪市議会政務活動費の交付に関する条例に基づき交付する補助金で、松阪市議会議員の政策立案、調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、松阪市議会における会派及び会派に所属しない議員に対して補助した。(平成25年3月分)

○ 議会一般経費 5,093

- ・ 議場システム保守点検委託料 592
- ・ その他非常勤職員賃金、一般事務用品、法令追録代等 4,501

※ 会議開催状況

- ・ 本会議 定例会 開催回数 4回(会期日数115日 実会議日数 28日)  
臨時会 開催回数 2回(会期日数 3日 実会議日数 3日)

区 分	定例会	臨時会	区 分	定例会	臨時会
議 案	126件	3件	発 議	17件	2件
原案可決	101件	—	原案可決	16件	—
否 決	—	2件	否 決	1件	—
承 認	5件	—	許 可	—	2件
同 意	6件	1件	請 願	8件	—
認 定	4件	—	採 択	7件	—
賛 成	10件	—	不採択	1件	—
報 告	25件	—	選 挙	4件	11件
報 告	25件	—	選 挙	3件	9件
修正動議	1件	—	選 任	1件	2件
可 決	1件	—	その他	—	2件
修正案	1件	—	承 認	—	2件
可 決	1件	—			

※「原案可決」101件中、修正議決した部分を除くその他の部分の原案可決2件を含む

・ 委員会

区 分	回 数	区 分	回 数
総務生活委員会	7回	決算調査特別委員会	3回
環境福祉委員会	7回	総務生活分科会	1回
文教経済委員会	9回	環境福祉分科会	1回
建設水道委員会	7回	文教経済分科会	1回
議会運営委員会	32回	建設水道分科会	1回
議会改革特別委員会	11回	ごみ処理施設建設調査特別委員会	3回
作業部会	34回	市議会だより編集委員会	11回

施策の成果及び執行実績

・その他会議

区 分	回 数
全員協議会	1回
総務生活委員会協議会	7回
環境福祉委員会協議会	6回
文教経済委員会協議会	2回
建設水道委員会協議会	4回
会派代表者会議	10回
議員懇談会	3回

## 施策の成果及び執行実績

## (目) 1 一般管理費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,407,738		14,911		13,892	1,378,935

- 特別職給 39,386
- 一般職員給 1,266,463
- 市長交際費 243

市政に関与された関係者の慶弔費などを支出した。

区分	件数	金額
会費	0件	0円
慶弔費	15件	150,000円
贈答費	0件	0円
懇談会等	3件	93,111円
計	18件	243,111円

- 市長会等事業費 2,555

県下、東海、全国各市間の連絡調整を図り、地方自治の伸展に関する市からの要望や意見を国政に反映させるとともに、国政からの情報を得、市政の運営に資することができた。平成24年度は東日本大震災から復旧・復興に関する提言のほか18の重点提言を、全国市長会から、関係府省等に行った。

- ・ 全国市長会分担金 705
- ・ 三重県市長会分担金 1,436
- ・ 旅費 330

全国市長会（東京都）、東海市長会（愛知県）、その他会議等（東京都ほか）ほか

- 市政功労等顕彰事業費 89

市政功労者等表彰式を開催

表彰式では、市勢の伸展に各分野で貢献された方を、市政功労者として表彰した。また、市に対して高額の寄付をされた方を市政特別協力者として表彰した。

- ・ 市政功労者表彰（個人3人・2団体）
- ・ 市政特別協力者表彰（個人2人・1団体）

- 大学奨学金給付事業費 3,720

社会に有為な人間の育成を目的として、奨学金を給付した。

- ・ 月額 30,000円×12か月×7人（県外大学奨学生）
- ・ 月額 20,000円×12か月×5人（県内大学奨学生）

- 大学奨学生選考委員会事業費 15

選考委員会を1回開催し、大学奨学生を公平公正に選考した。

- 大学奨学基金積立金 462（平成24年度末現在高 77,401）

大学奨学基金利子及び大学奨学金返済金に伴う積立金

- 情報公開事業費 1,972

- ・ 平成24年度情報公開実施状況

請求（申出）件数 402件 請求延人数 394人

公開 248件 部分公開 287件 非公開 3件 公文書不存在 11件 計 549件

不服申立件数 0件

- ・ 情報公開審査会の開催 0回

## 施策の成果及び執行実績

- 個人情報保護事業費 142
  - ・ 平成24年度個人情報保護制度実施状況  
開示請求件数 16件 請求延人数 16人  
開示 8件 部分開示 7件 不存在 1件 計 16件  
不服申立件数 0件
  - ・ 個人情報保護審査会の開催 0回
  - ・ 個人情報保護制度研修会 (11/6～11/7)  
講師 中京大学法科大学院教授 皆川治廣氏 出席人数 314人
- 弁護士法務支援事業費 2,713  
適正な行政運営を行うため、複雑化・高度化する市業務について、法務上あるいは政策選択上の相談を行った。  
定期法務相談件数 99件 臨時法務相談件数 70件 計 169件
- 文書管理事業費 3,967
  - ・ 郵便物等の取扱い 152,111件
  - ・ 公文書廃棄処理 38.2トン
- 指定寄附基金積立金 2,987 (平成24年度末現在高 100,314)  
市に対する寄附金及び指定寄附基金利子に伴う積立金
- 通送車運行事業費 4,759  
市の本庁と各施設との連絡文書等の集配業務 35か所
- 電子入札システム事業費 45,149  
電子入札システムは、入札・契約に係る業務の効率化、速報性の向上、更なる透明性の確保と共に、受注者側（入札参加者）の入札事務の省力化を目的として、建設工事においては平成16年度から、物品調達においては平成22年から電子入札システムを導入している。平成24年度において、建設工事については436件（全465件/利用率93.7%）を、物品調達については、151件（全387件/利用率39.0%）を実施した。また、継続して安定した電子入札システムの運用を行うため、システム機器の更改、受注者の認証CDの更新を行った。
- 入札等監視委員会事業費 270  
入札及び契約の過程並びに契約内容の透明性及び公正性の確保を目的とし、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」の指針に基づき設置する第三者機関であり、平成24年度は全契約案件から100件を抽出して入札参加資格の条件設定理由および経緯等について審議し、主要な意見を入札制度の改善につなげるべく具申案件として整理を行った。
- 秘書一般経費 4,527  
秘書業務を円滑に進めることができた。
  - ・ 旅費 1,055  
2012ジュネーブ市長フォーラム（ジュネーブ）、会津まつり（福島県）、その他行政視察等（東京都ほか）
  - ・ 広告料 734 ほか
- 総務一般経費 22,425  
コピーカウント料 7,483 法令書籍追録 2,715  
例規集データベース更新業務委託 6,840 ほか
- 契約監理一般経費 2,855
  - ・ 工事関係入札件数 465件（工事377件、委託77件、不調11件）  
建設工事の入札においては、条件付き一般競争入札によることを原則とし、契約における公平性、競争性、透明性の確保に努めている。また、発注時において、業種、規模、技術者配置、工事实績などの条件を付すことにより工事の品質確保また履行上の担保とし、適正な契約事務の遂行、並びに工事契約の履行に努めている。  
平成24年度は、約14億円の入札差金が生じ、継続して適正な公共調達が執行された。

施策の成果及び執行実績

平成24年度入札実施件数

(単位：件)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
土木一式	2	8	12	10	26	21	19	21	21	9	6	3	158
建築一式	1	1	4	12	6	1	5	3	8	0	0	0	41
水道本管、給水管	1	3	5	10	2	3	3	6	1	1	0	0	35
舗装	2	6	0	4	5	6	0	8	6	6	0	0	43
電気	0	0	0	2	1	1	0	1	1	0	0	0	6
造園	9	3	0	1	1	0	0	0	2	1	0	0	17
その他	2	7	11	5	0	7	14	8	2	1	2	0	59
委託	5	14	3	13	8	10	7	6	4	4	3	0	77
不調	0	0	0	1	0	0	1	1	2	5	1	0	11
計	23	45	37	62	51	50	52	55	48	27	12	3	465

- ・ 工事検査件数452件（工事329件、委託76件、外47件）

検査規則に基づき専任検査員5名と併任検査員29名を配し、建設工事、業務委託等の完成検査及び中間検査等を行い品質確保に努めた。併任検査員については検査員研修を行いスキルの向上に努めた。また、完成検査において評価基準に基づき評価を行い、優良工事を施工した業者には優遇措置を、不良工事を施工した業者には処分規定を設け、受注業者の指導、育成に努めている。

平成24年度工事検査実施件数

(単位：件)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
土木関係	2	3	6	11	12	10	20	23	21	15	23	52	198
建築関係	0	0	3	2	5	20	6	7	18	5	4	20	90
水道関係	0	0	4	2	1	1	2	2	1	1	6	21	41
委託関係	0	0	0	1	5	1	7	3	4	2	11	42	76
その他	0	0	4	4	2	2	1	8	4	0	0	22	47
計	2	3	17	20	25	34	36	43	48	23	44	157	452

※区分欄の「その他」は、補助金交付に係る履行確認、物品調達に係る納品確認、設備修繕の完成確認及び工事における中間、出来高検査とする。

- ・ 物品業務委託関係入札等件数 387件

(条件付一般競争入札182件、指名競争入札0件、見積合せ0件、定時見積合せ205件)

物品調達においては、条件付き一般競争入札、定時見積合わせによる契約を原則として公平性、競争性、透明性の確保に努めた。また物品調達においてはグリーン購入の推進のため、単価契約物品98品目のうち59品目を「グリーン購入対象商品」としたり、各課の調達品目についても「グリーン購入対象商品」を優先するよう指導を行い、庁内のグリーン購入の推進に努めた。

平成24年度 物品入札件数

(単位：件)

区分	条件付き一般競争入札	指名競争入札	見積合わせ	定時見積合わせ	計
リース、賃借		82	0	0	82
一般印刷		12	0	54	66
消耗品		46	0	39	85
電算帳票印刷		1	0	5	6
備品		33	0	93	126
原材料		2	0	0	2
修繕		1	0	0	1
燃料		0	0	14	14

施策の成果及び執行実績

区分	条件付き一般競争入札	指名競争入札	見積合わせ	定時見積合わせ	計
物販店決定	1	0	0	0	1
業務委託	4	0	0	0	4
合計	182	0	0	205	387

(参考) 平成24年度 部別の契約件数一覧 (契約監理課契約分を除く。)

(単位: 件)

部	指名競争	随意契約	一般競争	プロポーザル	合計
市政戦略部	4	21	0	0	25
総務部	6	19	1	0	26
税務部	3	31	0	1	35
生活部	3	32	0	0	35
環境部	24	47	0	0	71
保健部	2	50	1	0	53
福祉部	3	26	0	0	29
農林水産部	0	37	0	0	37
まちづくり交流部	12	125	0	1	138
建設部	1	38	0	0	39
都市政策部	0	7	0	0	7
嬉野地域振興局	3	9	0	0	12
三雲地域振興局	0	9	0	0	9
飯南地域振興局	0	1	0	0	1
飯高地域振興局	0	2	0	0	2
教育委員会	40	115	0	3	158
上下水道部	7	20	0	1	28
消防団事務局	1	0	0	0	1
選挙管理委員会	0	16	0	0	16
農業委員会	0	2	0	0	2
合計	109	607	2	6	724

※表中の件数は、建設工事公表要領及び物件等公表要領に基づき公表された件数の集計であり、各所管課において契約を行った件数です。

(工事は予定価格130万円以上、委託は予定価格50万円以上を対象とする。)

○ 被災地支援事業費 622

東日本大震災による被災地の復旧・復興支援のため、全国青年市長会陸前高田市復幸応援センターへの職員派遣、企業やNPO等との連携による支援活動や全国青年市長会による支援活動及び平成25年度派遣予定職員の現地事前調整などを行った。

職員派遣内訳

	派遣人数	派遣日数
東日本大震災	7人	74日

- ・ 旅費 413
- ・ 燃料費・使用料ほか 209

○ 行政経営推進事業費 479

- ・ 部局長の『政策宣言』の作成

各部局長自らが『政策宣言』を作成し、昨年度の取組成果の検証を踏まえた上で、今年度1年間部局として何を重点施策として取り組むのかという目標を掲げ、目標達成のために具体的にどのような行動を起こすのかを市民にわかりやすく示し、それぞれの部局における施策目標達成に向けての指標として公表した。



## 施策の成果及び執行実績

- ・ トップマネジメント研修 2回

市の経営幹部が必要な知識・スキルを習得し、組織のリーダーとして自ら部局マネジメントを行うことで、より戦略的に行政経営が実践できるよう幹部職員を中心としたトップマネジメント研修を実施した。

研修内容 「混迷の時代における自治体経営のあり方」

講師 帝塚山大学大学院法政策研究科 教授 中川幾郎さん

4月27日 参加人数 105人

研修内容 「ワーク・ライフ・バランスを実現する仕事術」

講師 株式会社 東レ経営研究所 特別顧問 佐々木常夫さん

7月27日 参加人数 185人 (※職員課と共催で予算は職員課負担)

- ・ 行政経営品質向上活動

各部局の改善・改革の取組成果を行政経営品質改善委員会を通して、職員間で共有することにより、各職場における改善活動の参考にするとともに、改善活動に対する職員の意識高揚に資することができた。

### 委員会開催内訳

委員会名	開催回数
行政経営品質改善委員会	2回

### 研修会開催内訳

行政経営品質職員研修 1回

研修内容 「ヒューマンエラー対策から学ぶ危機管理」

講師 東亜大学医療学部 准教授 中田敬司さん

2月13日 参加人数 61人

- ・ 研修及び会議等

平成24年度自治体PFIセミナー（大阪市）10月26日 職員2人

平成24年度指定管理者シンポジウム（名古屋市）11月14日 職員1人

平成24年度MIE職員アワード（津市）2月1日 職員2人

- ・ 新規採用職員意識調査アンケートの実施

回答者数29人中26人 回答率89.7%

○ 行財政改革推進事業費 1,867

- ・ 事務・事業の見直し（事業仕分け）

市政運営の効率化と市民への説明責任の徹底、職員の意識改革を図るために3か年で取り組んできた事業仕分けを最終年度として実施したもので、今後は事業仕分けの視点を全事業に応用する中で、不断の取組として事務・事業の見直しを行っていく。

事業仕分け支援業務委託 委託先：構想日本

事業仕分け事前研修会

事業仕分けにおける「事業の成果」7月6日 参加者47人

事業仕分け 7月21日・22日（19事業14件）

市民判定人66人 事業関係者45人 傍聴者152人

事業仕分け対応方針（中間案）説明会の実施 10月22日 参加者82人

## 施策の成果及び執行実績

- これからの松阪市行政のあり方の検討

「松阪市行政組織及び権限規則」に規定する事務分掌と、現在各部局で遂行している業務や「地域主権改革一括法」に基づき市に権限移譲される業務との整理・整合を図った。また、従来からの検討課題である本庁と地域振興局とのあり方に関して、「これからの松阪市行政のあり方庁内検討委員会」において協議・検討を行った。

委員会開催内訳

委員会名	開催回数
これからの松阪市行政のあり方庁内検討委員会	6回

- 公共・公用施設の「施設仕分け」による最適管理

市が保有する公共・公用施設は、その7割以上（延床面積ベース）が築後20年を経過という施設の老朽化が深刻な状況にあり、将来における施設の大規模修繕や建替えに要する財政負担を抑止するため、全庁挙げて公共・公用施設のマネジメントに取り組んでいく中で、効率的で持続可能な行政経営を目指す。

委員会開催内訳

委員会名	開催回数
公共・公用施設最適管理庁内検討委員会	2回

研修会開催内訳

公共・公用施設マネジメント研修

研修内容「秦野市の公共施設更新問題への挑戦  
－未来につなぐ市民力と職員力のたすき－」

講師 神奈川県秦野市政策部

公共施設再配置推進課 課長補佐 志村高史さん

2月18日 参加人数 117人

- 広告掲載事業

自主財源確保の取組として、市の広告媒体に掲載する広告内容や表現、事業主の適正性に関して、広告審査委員会において審査を行った。

委員会開催内訳

委員会名	開催回数
広告審査委員会	10回

- 民間委託等の推進

公の施設の最適な管理運営に向けた指定管理者制度の運用に関して、民間委託等検討委員会において協議・検討を行った。

委員会開催内訳

委員会名	開催回数
民間委託等検討委員会	2回

- 研修及び会議等

三重県FM（ファシリティマネジメント）研修会（津市） 11月22日 職員2人

先進地視察調査（公共施設マネジメント白書について）（四日市市） 11月26日 職員2人

PPP/PFI活用による官民連携の推進と投資・参画機会（名古屋市） 1月16日 職員2人

平成24年度自治体PFIセミナー実務講習会（東京都渋谷区） 1月18日 職員1人

施策の成果及び執行実績

○ 行財政改革推進委員会事業費 68

- ・ 松阪市行財政改革推進委員会

「松阪市行財政改革大綱」及び「同アクションプラン」に基づく本市の行財政改革の取組に関して、行財政改革推進委員会（学識経験者、民間企業の経営者、住民協議会等の地域の代表者等）の外部の視点により評価・検証を行った上で、次年度以降の取組に対する提案や参考意見などをいただくなど、進捗管理を行った。

松阪市行財政改革推進委員会（構成委員：8人）

開催日	場所	出席人数
3月22日	本庁舎本館5階右側第1・第2会議室	8人

(目) 2 広報費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
295,833				16,586	279,247

○ 広報松阪発行事業費 96,699

市民への情報提供を充実するため毎月1回の広報紙を発行し、主に自治会を通じて配布した。

- ・ 月例 12回発行（平成24年5月号～平成25年4月号）  
A4版 32ページ 発行部数 65,300部
- ・ 「平成25年度市政に対する所信」を自治会を通じて回覧した。

○ ホームページ管理運営事業費 9,327

ホームページのサーバー等機器保守費及び管理費

（非常勤特別職：情報政策担当官報酬等を含む）

- ・ 委託先：富士通(株)三重支店
- ・ 情報発信に関する市職員研修を実施  
実施回数 6回  
※内2回は外部から講師を招き、行政情報発信における文書表現方法を研修した。
- ・ 情報のかけ橋委員会  
実施回数 6回  
委員数 6人

○ 市民対話活動事業費 510

「市政バス」の実施

市内施設等を見学し、市政に対する関心と理解を深めていただくことを目的に実施した。

実施回数 31回、参加人数 747人

広聴業務

市政に対する市民の意識・要望等を広く把握するため市長が各地域へ出向いて対話する「このまちミーティング」を開催した。また、電子メール・専用ファックス・投書用意見用紙などにより、広く意見等を把握して市政運営の一助にした。市政に対する関心や理解、参加意識の高揚を図るため、出前講座を開催した。

- ・ このまちミーティング（市民懇談会）10会場 参加人数 429人
- ・ 市民の声 254件（Eメール 193件、ファックス 8件、手紙 30件、電話 19件、その他 4件）
- ・ 出前講座 131回（内消防 17回）、参加人数 4,512人（内消防 601人）

○ 広報広聴補助業務等委託事業費 69,218

松阪市自治会連合会に、ポスターの掲示、回覧物の周知、懇談会、説明会等への参集呼びかけ等、業務委託を行った。

施策の成果及び執行実績

- ケーブルシステム事業特別会計繰出金 117,600  
行政情報番組「アイウェーブまつさか」を制作・放送した。  
※通常・特集・特別放送番組 総計715本
- 広報一般経費 2,478  
広報業務及び記者クラブ運営を円滑に推進した。(加入している広報関係団体への負担金及び記者クラブ非常勤職員賃金等を含む)
- ※ 松阪市ホームページバナー広告  
財源確保のため市の資産を広告媒体として活用するもので、年間2,580,000円の広告料を得られた。
  - ・ 広告料：20,000円 (1月、1枠)
  - ・ 累計 13社 129枠分 (内、通年契約は8社)
 

(内訳)	・ 通年契約	8社	96枠	1,920,000円
	・ 随時契約	5社	33枠	660,000円
	・ 計	13社	129枠	2,580,000円
- ※ 広報紙 (広報まつさか) 広告  
財源確保のため市の資産を広告媒体として活用するもので、年間54枠 (第1種、第2種の合計枠数)、1,460,000円の広告料を得られた。
  - ・ 広告料：20,000円 (第1種広告、1月、1枠)  
40,000円 (第2種広告、1月、第1種2枠分)
  - ・ 1月最大8枠
 

(内訳)	・ 第1種	6社	35枠	700,000円
	・ 第2種	3社	19枠	760,000円
	・ 計	9社	54枠	1,460,000円

(目) 3 公平委員会費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
444					444

- 公平委員会事業費 444
  - ・ 公平委員会の開催 1回  
地方公務員法の規定に基づく職員の権利・利益に関する申立て等に対する審査決定機関としての事務を行った。
  - ・ 公平委員会研修会等  
審査決定機関としての審査能力を向上するための研修会に参加した。

研 修	開催日	場 所	参加人数
全国公平委員会連合会東海支部総会及び事務研究会	5/15	大垣市	2人
全国公平委員会連合会本部研究会	7/5~6	東京都	3人
三重県公平委員会連合会総会及び事務研修会	9/4	志摩市	3人
全国公平委員会連合会総会	10/26	東京都	2人

(目) 4 人事管理費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,526,004				97,567	1,428,437

施策の成果及び執行実績

○ 特別職退職手当 20,451

区分	人数
市長	1人
副市長	1人
計	2人

○ 一般職退職手当 1,372,189

退職手当等62人分 退職手当一人平均 22,132

区分	人数	うち定年退職
行(一)	49人	27人
行(二)	12人	8人
教育長	1人	1人
計	62人	36人

※任期満了により

○ 産休等代替賃金 78,937

産休・育休・病休等職員の代替非常勤職員の賃金等を支給した。

区分	人数	賃金	共済費
産休・育休代替	34人	34,891	5,050
病休代替	9人	3,109	378
欠員補充	18人	30,887	4,622
その他	0人	0	0
計	61人	68,887	10,050

○ 職員研修事業費 9,571

集合研修の実施と研修機関への派遣研修等のほか、平成24年度はトップマネジメント研修、職員不祥事防止研修、職場のハラスメント防止研修を新たに実施した。

区分	内容	人数等	金額
集合研修	階層別研修	1,137人	2,610
	特別研修	1,766人	1,500
	専門研修	1,950人	1,004
	諸経費等		248
	小計	4,853人	5,362
派遣研修	自治大学校	4人	1,127
	市町村アカデミー	2人	98
	人権大学講座	1人	172
	三重県自治会館	214人	373
	県、民間、その他	176人	1,225
	団体会費等		50
小計	397人	3,045	
自己啓発研修	職員提案制度	5件	1
	職場研修専門講師利用	28職場	1,163
	小計		1,164
合計		—	9,571

○ 健康診断事業費 8,130

労働安全衛生法に基づき、職員（再任用、第1種・第2種・第3種非常勤職員を含む）の定期健康診断を実施した。

※三共済組合員については、健康事業の巡回ドック事業を利用

施策の成果及び執行実績

・ 定期健康診断

	定期健康診断結果	
受診人員	1,141人	100.0%
要治療	111人	9.7%
要二次検査	371人	32.6%
要経過観察	468人	41.0%
軽度異常	87人	7.6%
異常なし	104人	9.1%

○ 職員採用試験事業費 808

平成25年度採用の職員採用試験を行った。

- ・ 職員採用試験の実施（人事試験研究センターに一部委託）

一次試験 … 平成24年 9月16日(日) 場所：三重中京大学

二次試験 … 平成24年10月20日(土), 21日(日), 22日(月), 23日(火), 26日(金),  
29日(月), 31日(水), 11月1日(木)  
場所：市庁舎本館5階等

採用試験受験状況一覧

	一次試験	二次試験	採用者数
事務職	170人	36人	24人
事務職障がい者枠	6人	2人	1人
技術職	土木	5人	2人
	建築	2人	1人
	電気	2人	1人
幼教・保育士職	70人	27人	19人
労務職	53人	15人	6人
計	313人	89人	54人

○ 職員作業服等貸与事業費 2,056

労務職員に対して作業服の貸与を行った。

夏用：上着 283着、ズボン 251着

冬用：上着 170着、ズボン 162着

○ その他補助金 204

事業名	事業費	内容等
自主研究活動補助金	4	行政課題について自主研究をする5人以上の職員サークルに対し、活動費用の補助を行った。 ・1サークル 「サライの会」
職員通信教育講座受講補助金	154	職員の自己啓発意欲の支援のため、通信教育修了者に対し受講費用の1/2を補助した。 ・受講講座修了の26人に対し補助
職員専門研修参加費補助金	46	業務に関連する専門知識を身につけるため、専門研修を受講した職員に対して受講費用の1/2を補助した。 ・3人に対し補助
計	204	

○ 職員退職手当基金積立金 9,994（平成24年度末現在高 1,392,423）

施策の成果及び執行実績

- 長期勤続退職者記念品事業費 489  
長期勤続退職者（定年退職又は勤続25年以上）51人に記念品等を授与した。
- 職員福利厚生事業費 7,781  
職員の親睦、保健、元気回復などの福利厚生事業等業務を松阪市職員共済組合に委託した。
- 人事給与システム事業費 1,659  
人事管理・給与計算に必要なシステムの整備を行った。
- 安全衛生委員会事業費 330  
労働安全衛生に関連する活動及び相談事業を行った。
  - 産業医委託 180
  - こころの健康相談 135  
(相談件数 計9件)
  - 職場巡視時運転委託 15  
(巡視先：飯南学校給食センター、駅部田保育園、老人福祉センター)
- 人事・給与厚生業務等委託事業費 6,421  
業務改善の一環として、職員課の一部業務を松阪市職員共済組合に委託した。
- 当直関連業務事業費 4,174  
市役所本庁舎の当直職員（4人）の賃金を支給した。  
(通常) 11,370円×359日 (年末年始) 15,350円×6日
- 人事評価制度構築事業費 1,979  
質の高い市民サービスを提供するため、人材育成型の人事評価制度を本格導入した。  
支援業務委託 (株)ぎょうせい 1,979  
「人事評価制度運用等における指導・助言支援業務」  
「庁内検討委員会運営支援業務」  
「職員基礎研修」 「会議録作成」 「その他関連業務」
- 人事管理一般経費 832
  - ・ 書籍・追録加除 158
  - ・ 郵送料 100
  - ・ その他事務費 574

(目) 5 恩給及び退職年金費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
3,579					3,579

- 扶助料 2,682  
旧松阪市の昭和37年11月以前の退職者の遺族に対して扶助料を支給した。  
扶助料受給者 3人
- 旧恩給組合負担金 898  
旧町村職員恩給組合条例の規定により三重県市町村職員共済組合が昭和37年11月以前の退職者等に支給する通算退職年金・通算遺族年金に係る松阪市負担分を支払った。

施策の成果及び執行実績

(目) 6 財政管理費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
775					775

○ 財政管理事業費 775

起債協議・借入、交付税算定、財政公表、予算編成事務等経費

- ・平成25年度当初予算編成事務説明会の開催

開催日	開催場所	出席者数
H24.11.8 (木)	産業振興センター3階研修ホール	141人

- ・財政公表

公表対象期間	公表時期
平成23年度下半期 (前年10月1日～3月31日)	広報まつさか6月号掲載
平成24年度上半期 (4月1日～9月30日)	広報まつさか12月号 折込み 65,300部

※広報の他、松阪市ホームページにも逐次公表

(目) 7 財産管理費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
214,914	5,394	62	10,700	47,311	151,447

○ 庁舎等維持管理事業費 115,069

- ・本庁舎等光熱水費 (電気・ガス・水道・下水道) 41,690
- ・本庁舎等維持修繕費 4,973
- ・本庁舎等電話代等 12,136
- ・本庁舎管理業務等手数料 1,459
- ・建物等保険料 14,073
- ・本庁舎管理等委託料 31,729
- ・使用料及び賃借料等 9,009

○ 庁舎等整備事業費 2,604

工事名	工事内容	工事費
本庁舎東側自転車置場増設その他工事	本館東側自転車置場増設その他工事及び議会棟傍聴者席階段昇降機の更新工事を実施。	2,604

○ 市有財産管理事業費 5,946

- ・土地鑑定評価等手数料 199
- ・草刈清掃等業務委託料 3,062
- ・パソコン等借上料 350
- ・その他非常勤職員賃金、消耗品等 2,335

○ 車両管理事業費 19,530

- ・車検、点検等修理代 2,089
- ・自動車燃料費 4,418
- ・自動車借上料 4,682
- ・自動車保険料等 8,341



施策の成果及び執行実績

- 基金積立金 39,478
  - ・ 土地開発基金積立金 3,333 (平成24年度末現在高 2,194,586)
  - ・ 財政調整基金積立金 34,968 (平成24年度末現在高 8,754,546)
  - ・ 減債基金積立金 1,177 (平成24年度末現在高 73,985)
- 各種団体等負担金 39
- 財産管理一般経費 234
- 本庁舎耐震事業費 32,015

工事名	工事内容	工事費
本庁舎第1別棟耐震補強工事	本庁舎第1別棟(IT棟)の耐震補強工事等を実施。	15,401

- ・ 本庁舎第1別棟耐震補強工事設計業務委託 1,869
- ・ 本庁舎第1別棟耐震補強工事に伴うサーバー移設等業務委託料 14,745

(目) 8 会計管理費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
4,387				480	3,907

- 各種団体等負担金 5
- 会計管理一般経費 4,382
  - ・ 会計事務研修会の開催  
 初任者向け研修会 開催日：平成24年5月7日  
 年度末に向けての会計事務研修会 開催日：平成25年2月7日

(目) 9 企画費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
3,092					3,092

- 定住自立圏構想推進事業費 0  
 関係町との定住自立圏構想推進に係る協議中断に伴い、定住自立圏形成協定を締結するに至らなかった。
- セーフコミュニティ推進事業費 118  
 事故やけがは偶然に起こるのではなく、予防することができるという理念のもと、地域、家庭、学校、警察、行政などが連携・協働して、すべての人たちが安心して安全に暮らすことができるまちづくりを目指した、WHO（世界保健機関）が推奨するセーフコミュニティについて、より理解を深めるため、課長級以上の職員に対する研修会の実施や、先進自治体に対する視察を行った。
  - ・ トップマネジメント研修の実施  
 研修内容「安心・安全なまちづくりについて～セーフコミュニティ導入で何が変わったか～」  
 講師：厚木市危機管理部長 倉持隆雄さん  
 12月27日 参加者112人
  - ・ 先進自治体視察  
 視察先 7月12日 神奈川県厚木市 職員2人、7月13日 長野県小諸市 職員2人
- 地域ICT利活用広域連携事業費 842  
 「ICT（情報通信技術）を利活用した食によるまちづくり事業推進協議会」に参加し、自治体間連携の中で「まつさか交流物産館」に設置した電子広告板（デジタルサイネージ）やポータルサイト・モバイルサイトなどのICT基盤を活用して松阪市の観光資源、イベント、地域ブランドなどの情報発信を行った。
  - ・ ICTを利活用した食によるまちづくり事業推進協議会負担金 700
  - ・ 旅費 142

施策の成果及び執行実績

「ICTを利活用した食によるまちづくり事業推進協議会」総会（静岡県富士宮市）  
 5月10日 職員2人  
 食によるまちづくりシンポジウム（静岡県富士宮市）  
 6月1日～6月2日 職員2人  
 「ICTを利活用した食によるまちづくり事業推進協議会」全体会議（東京都千代田区）  
 11月15日 職員1人

○ 総合計画策定事業費 1,185

・ 市民幸せ調査の実施

現行の総合計画「市民みんなの道標（みちしるべ）」が平成25年度で終了することから、現行の計画を見直して平成26年度を初年度とする新しい計画を策定するにあたり、市民の幸せに対する意識や市政に対する意識や考えなどを把握し、市民一人ひとりの“幸せ”を高めるためのまちづくりを進めていく基礎資料とするために実施した。

- ・ 回収率 43.5%（有効回収率43.4%、郵送配布・郵送回収）
- ・ 調査対象者数 3,000人（市内在住15歳以上。住民基本台帳から旧市町の地域別で按分し、年齢別・男女別で抽出）
- ・ 調査時期 9月12日から10月5日まで（督促はがき1回送付）

・ 幸せシティサポーター会議の開催

松阪市のより良い未来を築いていくために望ましいまちづくりの方法や、市民と市がともに目指すべき目標を一緒に考え、新しい総合計画に反映するため、公募市民24人で構成する『幸せシティサポーター会議』を設置し、テーマごとに3つのグループに分かれて、幅広い視点からそれぞれ話し合いを行った。（平成25年度報告書提出）

A班 地域連携、行政経営      B班 医療・福祉、子育て・教育  
 C班 産業・観光、生活環境・都市環境

回等	開催日	場所	出席委員数
1	12月22日	松阪市産業振興センター3階研修ホール	22人
2	2月23日	本庁舎本館5階会議室	23人
3	3月16日		20人

・ 先進自治体視察

総合計画の進行管理について

視察先 愛知県東海市 11月16日 2人

○ 地域審議会事業費 550

総合計画の将来像である「市民みんなで幸せを実感できるまち」の実現に向けて、市長から諮問された『地域でできること』について、平成23年度に引き続き審議を行った。また、広く市民からの意見を答申に反映させていくため意見聴取会の開催や市ホームページにおいてパブリックコメントを行い、答申書にまとめ提出した。（答申日 1月15日）

回等	開催日	場所	出席委員数	参加人数
1(通算4)	6月6日	本庁舎本館 市議会第3・第4委員会室	15人	—
2(通算5)	8月9日		14人	—
3(通算6)	12月25日		14人	—
各地区地域審議会 正副会長会議	11月22日		2人	—
	1月15日		1人	—
松阪地区正副会長・班長会議	10月20日		本庁舎本館2階入札室	5人
	1月8日	本庁舎本館5階特別会議室	4人	—

施策の成果及び執行実績

回等	開催日	場所	出席委員数	参加人数
意見聴取会	10月27日	松阪市産業振興センター3階研修ホール	15人	50人
答申	1月15日	本庁舎本館市長応接室	7人	—

※上記の会議のほか、3グループにわかれて分科会を自主的に開催した。

A班 4月18日、5月22日、7月3日、9月4日、11月8日

B班 4月17日、5月18日、7月25日、9月20日、11月7日

C班 4月12日、5月23日、7月18日、9月27日、11月21日

※パブリックコメントの実施、10月29日～11月5日まで。

○ 各種団体等負担金 203

- ・全国半島振興市町村協議会負担金 20
- ・全国過疎地域自立促進連盟会費及び三重県ふるさと振興協議会会費 123
- ・ふるさと再生・行動する首長会議負担金 50
- ・全国水源の里連絡協議会負担金 10

○ 企画一般経費 194

- ・旅費 ほか

全国過疎問題シンポジウム（愛知県新城市）

10月11日 職員1人

ふるさと再生・行動する首長会議・政策研究フォーラム（東京都千代田区）

11月5日～11月6日 職員1人

中部電源地域振興連絡会議（名古屋市）

2月22日 職員1人

地域の幸福を創る政策立案セミナー（名古屋市）

3月1日 職員1人

(目) 10 IT推進費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
380,931			4,900	23,241	352,790

○ 庁内OA化推進事業費 41,316

事務の効率化を進めるために、職員用パソコンを貸与し、資産管理システム等によりセキュリティを確保し、運用管理を行った。また、情報セキュリティポリシーに基づき、安全安心な行政サービスを提供するため、組織的なセキュリティ対策や情報セキュリティ研修を行った。

- ・情報セキュリティ研修

日時	会場名	参加人数
3月8日（金）午前	松阪市産業振興センター 2階	29人
3月8日（金）午後	松阪市産業振興センター 2階	39人
合計		68人

- ・職員用パソコン賃借料 1,330台 32,011 ほか

○ システム管理事業費 116,738

住民基本台帳、国民年金、福祉医療、学齢簿など20業務について、データの管理及びバッチ処理等の各種電算処理機能の一括運用を行い、事業の円滑化・効率化を図った。また、DV等被害者保護に伴うシステム対応を行い、被害者情報を保護した。

## 施策の成果及び執行実績

- ・ 住民情報システム運用委託料 111,052
  - ・ DV制御対応委託業務 3,846
  - ・ OA用紙、トナーカートリッジ等消耗品費 651
  - ・ 研修セミナー（計12回受講）受講料及び旅費 363
  - ・ 修繕料 27 ほか
- 地域情報事業費 525  
インターネット公共端末を平成24年6月に更新し、維持管理を行った。
- ・ 本庁ロビー公共端末パソコン 1台
  - ・ 公共端末回線 1回線
- 移動通信铁塔施設整備事業費 5,569  
携帯電話不通話地域において、携帯電話基地局を整備し、地域住民の利便性の向上とともに、災害時における安全・安心の確保を図った。
- ・ 対象地域「飯高町富永奥福本地区」
  - ・ 移動通信用铁塔施設携帯電話铁塔基地局整備工事業務 3,129 ほか
- 総合行政ネットワーク事業費 4,337  
全国の地方自治体を相互に結ぶ総合行政ネットワーク（LGWAN）を利用して、県など公共団体との情報交換を行う環境を提供した。
- ・ LGWANシステム保守委託料 2,495
  - ・ LGWAN接続機器賃借料 1,477 ほか
- 総務管理事務システム事業費 59,600  
グループウェア、文書管理、財務会計、職員申請、人事・給与など8業務について、内部事務処理及びバッチ処理等の各種電算処理機能の運用を行った。
- ・ 総務管理事務システム保守委託料 29,400
  - ・ 総務管理事務システムパッケージ等賃借料 29,400
  - ・ 財務会計出力用プリンター（32台） 465 ほか
- 庁内ネットワーク管理事業費 150,493  
本庁と地域振興局間の情報ネットワークとインターネット、電子メールのセキュリティ管理を行い、安全に利用するシステム環境を提供した。また、ネットワーク回線利用の一部を見直しすることで、通信速度の向上を図った。
- ・ ネットワーク回線利用料 34,342
  - ・ ネットワーク機器等賃借 90,139 ほか
- 減債基金積立金 32（平成24年度末現在高 5,771）
- ・ 減債基金利子の積立 32
- 地域SNS活用事業費 896  
住民協議会等へ活用の呼びかけを行うなど、PR活動を行ったものの、アクティブ会員の減少による沈滞化が恒常的となり、活動を民間のSNSに移すメンバーが多くなったことから、「松阪ベルネット」の所期の役割は果たされたと考え、今後は民間SNSの活用を中心として、市民のコミュニケーションを図ることが適当であるとの方向性を出すに至り、平成25年3月31日をもって終了した。
- ・ 会員数等の状況  
3月末現在 会員数 903人（市内会員71.7%）  
年間アクセス数 1,846,475件（一日平均5,216件）※平成25年3月20日運用停止
  - ・ まっさか地域SNS ASPサービス利用料 802 ほか
  - ・ まっさか地域SNS運営委員会開催 2回開催

施策の成果及び執行実績

○ 地域情報化研究事業費 536

「地域情報化研究コンソーシアム」の自治体会員となり、自治体の問題解決にあたり、地域の状況を反映した市民に役立つICTの利活用をするために、自治体間のネットワークを通じて情報交換・交流に取り組んだ。

- ・ 地域情報化研究コンソーシアム定例会参加 180 ほか

○ 各種団体等負担金 240

地方自治情報センター及び東海情報通信懇談会等会員となり、高度情報提供や研修会等を受けた。

- ・ 地方自治情報センター会費等 3件

○ IT推進一般経費 647

(目) 11 まちづくり推進費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
130,211				79,245	50,966

○ 松阪市自治会連合会補助金 6,500

地域の円滑な発展と住民自治の確立に寄与するために、松阪市自治会連合会に補助した。  
 総会1回、役員会・理事会・常任理事会18回、研究会等25回、理事視察研修1回  
 交通事故撲滅市民大会の開催、自治会連合会だより発行等

○ 地域マネジメント推進事業費 1,025

市内全ての地区（43地区）で住民協議会が設立された。この設立された住民協議会が核となる地域主体のまちづくりの実現に向けて、次のような取り組みを行った。

- ・ 職員等のサポート体制の確立  
 サポート連携会議（地域担当職員、社会福祉協議会、地域包括支援センター等）  
 まちづくりに関わる職員研修（マネジメント、ファシリテーター等）
- ・ 住民協議会の人材育成・情報提供  
 事務局実務研修、ワークショップ研修  
 住民協議会の意見交換会、情報等説明会、先進地視察  
 住民協議会相互のネットワーク会議
- ・ 地域主体のまちづくりのしくみの検討  
 シンポジウム等意見聴取会による検証  
 まちづくりしくみの構築に向けた協議・検討（庁内・外）

○ 市民まちづくり基本条例推進事業費 0

議会で否決となった市民まちづくり基本条例について、市民に議会で出た意見も紹介する中で条例の論点を示し市民から意見聴取を行った。

意見聴取会の開催（平成24年12月21日 松阪市産業振興センター 参集者数 70人）

意見聴取会では、以下の様子であった。

- ・ 市民と市議会議員との意見交換の場を早急に設けてほしいという会場の総意であった。
- ・ 住民協議会については、まずこの条例において基本的な事項を定めることがよいという意見が大半であった。
- ・ 市民の定義については、少数ではあるが修正する方がよいとの意見もあったが、上程した案でよいとの意見が多数であった。

施策の成果及び執行実績

○ 地区集会所建設補助金 9,478

地区においてのコミュニティ活動の拠点となる集会所の整備等に対し補助することにより、地区のまちづくりを推進した。(16地区集会所)

内訳	種別	実施件数	補助額
	新築	1件	5,000
	改修等	15件	4,478
	計	16件	9,478

○ 住民協議会活動交付金 77,540

住民協議会の運営及び事業の活性化と安定化を図り、地域の住民自治の拡充に資するため、住民協議会の活動に対して交付した。

- 均等割 22,145 (43地区×515)
- 人口割 50,755 (人口分25,315 事務人件費加算25,440)
- 地域特定加算 1,600 (飯高管内火葬場加算 4地区×400)
- コンベ式加算 2,000 (250×3事業、240×5事業、50×1事業)
- ふるさと応援寄附金加算 1,040  
(森 500 宇気郷 70 波瀬 330 仁柿 100 松尾 40)

○ 市民活動振興基金積立金 1,617 (平成24年度末現在高 2,626)

○ 市民活動センター管理運営事業費 31,587

市民活動センターについて指定管理者制度を活用し、管理・運営を行った。

(平成24年度 登録団体数 321団体、来場者数 21,598人、会議室利用数 1,373回)

- ・ 管理・事業運營業務委託料 18,716
- ・ 市民活動センター賃借料 12,871

○ 指定管理者選定委員会事業費 31

市民活動センターの指定管理者選定のための審査選定委員会を開催した。

○ 地域づくり事業基金積立金 74 (平成24年度末現在高 5,396)

○ コミュニティ推進一般経費 2,359

非常勤職員賃金、通信運搬費、一般事務用品代等

○ 「美し国おこし・三重」地域支援事業費 0

地域づくり団体と座談会を重ね「美し国おこし・三重」パートナーグループへの登録を推進した。

- 平成24年度パートナーグループ登録団体数 15団体
- 松阪市全体のパートナーグループ登録団体総数 35団体

(目) 12 地区市民センター費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
303,095				1,240	301,855

○ 一般職員給 246,349

施策の成果及び執行実績

- 地区市民センター管理運営事業費 40,654  
地区市民センター21館の維持・管理・事務経費。  
非常勤職員賃金等 11,868  
光熱水費 12,999 修繕料 2,422 維持管理等委託料 5,052 その他経費 8,313
- 地区市民センター施設整備事業費 16,091  
松ヶ崎地区市民センター空調設備改修工事 542  
徳和地区市民センター下水道接続他工事 1,894  
阿坂地区市民センター舗装工事 535  
東黒部地区市民センター屋根・外壁改修工事 3,472  
機殿地区市民センター屋根・外壁改修工事 3,145  
大河内地区市民センター屋根・外壁改修工事 3,143  
宇気郷地区市民センター井戸試掘調査業務委託 1,470  
宇気郷地区市民センター井戸掘削工事 1,890

(目) 13 地域振興局費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
239,054		55	5,800	12,466	220,733

- 一般職員給 28,624
- 地域振興局管理事業費 100,576  
各地域振興局管内の経常的経費を一括に管理し、経費の見直し・削減に努めるとともに、事務の合理化・効率化を図った。

区分	事業費	内 訳					
		賃金	需用費	役務費	委託料	使用料	その他
嬉野地域 振興局管 理事業費	27,406	1,506	12,733	3,154	6,302	2,852	859
三雲地域 振興局管 理事業費	23,977	6,676	11,035	2,366	1,416	1,574	910
飯南地域 振興局管 理事業費	20,895	9,825	7,015	1,425	962	647	1,021
飯高地域 振興局管 理事業費	28,298	6,276	12,879	1,880	2,843	3,862	558
合計	100,576	24,283	43,662	8,825	11,523	8,935	3,348

- 飯高山岳救助隊支援事業補助金 248  
飯高管内における山岳救助活動を行う飯高山岳救助隊の支援を行った。  
遭難発生件数 5回（飯高山岳救助隊出動1回）、登山口巡視 1回、  
ヘリポート巡視及び訓練 2回

施策の成果及び執行実績

- 地域振興局施設整備事業費 16,825
  - ・ 三雲地域振興局施設整備事業費 12,959  
三雲地域振興局庁舎は昭和61年3月に完成し施設全体が老朽化している中で、特に表面の劣化が進んでいる屋上防水シート等の修繕を行った。  
 庁舎屋上防水シート修繕 819㎡  
 庁舎1階トイレ改修 4か所
  - ・ 飯高地域振興局施設整備事業費 3,866  
飯高地域振興局庁舎の温水ボイラーの加圧ポンプが故障し、修繕不能のため、ボイラーの取替工事を行った。
- 嬉野地域振興局局舎移転整備事業費 3,112  
嬉野地域振興局局舎移転により新局舎となる嬉野保健センターの増築等の実施設計を行った。
- ネコギギシンポジウム開催事業費 3,000  
中村川の中流（嬉野合ヶ野町から嬉野矢下町）が全国初のネコギギの生息地天然記念物指定を受けたことに伴い、平成24年8月19日（日）に嬉野ふるさと会館においてシンポジウムを開催した。また、シンポジウムをはさんで約2週間のネコギギの生体展示を行った。参加者（延1,000人）
- 老朽施設解体撤去事業費 8,340  
飯高グループホーム及びびじゃんぷの新築移転後、使用していた老朽化施設の解体撤去工事を行った。
- 地域審議会事業費 1,815  
総合計画の将来像である「市民みんなで幸せを実感できるまち」の実現に向けて、市長から諮問された『地域のできるごと』について、平成23年度に引き続いて審議を行うとともに、広く市民から意見をいただき答申に反映させていくために意見聴取会を開催した。それらの内容を答申書にまとめ提出した。（答申日 平成25年1月15日）

・ 嬉野地区地域審議会 447

回等	開催日	場 所	出席委員数	参加人数
1	H24. 6. 5	嬉野保健センター	18人	—
ワークショップ	H24. 7. 6	嬉野保健センター	15人	29人
2	H24. 8. 3	嬉野保健センター	15人	—
意見聴取会	H24. 9. 8	嬉野保健センター	16人	85人
正副会長会議	H24. 11. 22	市議会第3、4委員会室	2人	—
3	H24. 12. 4	嬉野保健センター	14人	—
正副会長会議	H25. 1. 15	市議会第3、4委員会室	2人	—

・ 三雲地区地域審議会 447

回等	開催日	場 所	出席委員数	参加人数
1	H24. 5. 9	三雲地域振興局大会議室	16人	—
意見聴取会	H24. 6. 24	ハートフルみくもスポーツ文化センター	14人	110人
2	H24. 10. 26	三雲地域振興局大会議室	15人	—
正副会長会議	H24. 11. 22	市議会第3、4委員会室	2人	—
3	H24. 11. 28	三雲地域振興局大会議室	14人	—
正副会長会議	H25. 1. 15	市議会第3、4委員会室	2人	—



施策の成果及び執行実績

・ 飯南地区地域審議会 468

回等	開催日	場 所	出席委員数	参加人数
1	H24. 7. 5	飯南地域振興局2階会議室	16人	—
意見聴取会	H24. 9. 2	飯南産業文化センター	16人	125人
2	H24. 10. 15	飯南地域振興局2階会議室	16人	—
正副会長会議	H24. 11. 22	市議会第3、4委員会室	2人	—
3	H24. 12. 12	飯南地域振興局2階会議室	14人	—
正副会長会議	H25. 1. 15	市議会第3、4委員会室	2人	—

・ 飯高地区地域審議会 453

回等	開催日	場 所	出席委員数	参加人数
1	H24. 5. 8	飯高地域振興局大会議室	17人	—
意見聴取会	H24. 6. 10	飯高総合開発センター	17人	93人
2	H24. 9. 6	飯高地域振興局大会議室	13人	—
正副会長会議	H24. 11. 22	市議会第3、4委員会室	2人	—
3	H24. 11. 27	飯高地域振興局大会議室	13人	—
正副会長会議	H25. 1. 15	市議会第3、4委員会室	2人	—

○ 地域づくり支援事業補助金 29,148

市民の自発的なまちづくり活動を支援し、活力あるまちづくりを推進した。

	補助額	団体数	内 容
嬉野管内	11,392	29団体	嬉野おおきん祭り、嬉野宇気郷まつり、元気おこし事業等
三雲管内	6,806	37団体	武四郎まつり、七夕笹かざり、地区ふれあい祭り等
飯南管内	5,687	19団体	棚田まつり、飯南ふれあい祭り、深野和紙保存活動等
飯高管内	5,263	17団体	各種地域活性化のためのまちづくり、イベントの開催等
計	29,148	102団体	

○ 出逢い創出事業費 228

飯高地域の特色を活かし、平成24年12月23日（日）に木梶三滝の白滝コース及びホテルスマールにて、ふれあいのチャンスを提供することを目的に「クリスマス出逢いツアー」を実施。45歳までの独身男女28人（男性13人、女性15人）が参加し、楽しいふれあいの場を提供することができた。

○ 飯高総合開発センター管理事業費 5,168

教育・文化の中心施設として、また、地域のコミュニティの拠点施設として多くの利用があった。

利用件数 420件、 利用人数 8,756人

○ 飯高総合開発センター施設整備事業費 823

県道蓮峽線の改修工事に伴い、受電設備等の移設工事を行った。

○ 飯南コミュニティセンター管理事業費 1,626

地域コミュニティの拠点施設として、地域住民等の利用促進を図った。

利用状況 研修室 126件 延1,956人、トレーニング室 219件 延3,266人

○ 出張所管理事業費 14,841

地域振興局管内の各出張所の適正な維持管理に努め、地域住民サービスに従事した。□

施策の成果及び執行実績

地域	出張所	事業費
嬉野	宇気郷出張所	129
	中郷出張所	106
飯南	柿野出張所	308
飯高	波瀬出張所	328
	森出張所	1,046
	川俣出張所	1,166
事務補助員賃金等6人 (宇気郷、中郷、柿野、森、川俣、波瀬)		11,758
計		14,841

○ 出張所施設整備事業費 3,856

危険物の規制に関する規則の改正により、地下貯蔵タンクの流出事故防止対策措置が必要となったため、川俣出張所の老朽化している空調をエアコンに改修する工事を行った。

○ 中川新町地域交流センター管理運営事業費 6,694

新しい街を形成する地域コミュニティの拠点施設として、中川新町住民とその周辺地域住民の相互交流や多世代間の交流支援事業、市民活動支援事業などを行った。

・ 利用状況

交流室 6,194人 (300日) 多目的室 15,003人 (701回) 会議室 2,259人 (223回)

・ 支援事業

毎週金曜日 絵本の読み聞かせ (延921人)

物産交流事業 赤米のおにぎり作り等 (延95人)

第2、第4木曜日 親子体操教室 (延799人)

利用者発表会 (1月20日 参加者150人)

事業名	事業費	事業費内訳					
		賃金	需用費	役員費	委託料	使用料	その他
中川新町地域交流センター管理運営事業費	6,694	4,606	1,021	130	682	176	79

○ 地域集会所管理事業費 384

婦人若者等活動促進施設のトイレ改修を行った。 257

赤桶集会所の浄化槽放流ポンプの修繕を行った。 127

○ 地域集会所施設整備事業費 4,852

地域の核となる地域集会所の整備、改修工事を行った。

・ 田引集会所屋上防水ほか改修工事 4,452

・ 赤桶集会所玄関スロープ修繕工事 400

○ 中川新町地域交流センター基金積立金 504 (平成24年度末現在高 101,570)

平成21年2月10日に嬉野中川駅周辺土地区画整理組合から1億円の指定寄付を受け、松阪市中川新町地域交流センターに要する経費に充てる目的で積み立てた基金に発生した利息の積立金

第三銀行 平成23年5月31日から平成24年5月31日 366日

利率0.50% 504,205円

○ コミュニティ助成事業補助金 2,500

財団法人自治総合センターの助成金を活用し、飯高町地縁団体赤桶が祭り用アルミやぐらを購入し、20年ぶりとなる盆踊りを復活した。

施策の成果及び執行実績

○ 乙栗子集会所耐震事業費 5,891

飯高町乙栗子集会所は昭和55年に建築され、平成21年度に耐震診断を実施した結果、耐震性能判定指標値を下回っており、補強が必要となったことから、耐震補強工事を実施した。

(目) 14 防災対策費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
346,568	6,364	24,849	210,100	1,580	103,675

○ 防災対策事業費 5,510

防災対策に係る一般経費であり、防災対策業務管理及び非常勤職員の雇用等により、各種防災対策にかかる基礎業務を展開した。  
また、職員の防災士育成や東日本大震災の被災地（岩手県釜石市等）現地調査を実施した。

- ・ 非常勤職員賃金、保険料等（第2種：2人） 3,758
- ・ 防火防災訓練災害補償等共済制度 168
- ・ 災害対策本部用テレビ購入費 39
- ・ 自動車借上料（公用車1台） 199
- ・ 自動車燃料代（公用車1台） 118
- ・ 出張旅費（被災地現地調査ほか） 155
- ・ 防災士養成講座受講料（1人） 61
- ・ 法令追録代（防災計画編等） 36
- ・ 郵送料、IP電話通信費 151
- ・ 消耗品、コピーカウントほか 825

○ 防災啓発事業費 6,011

市民の防災意識高揚を図るため、防災啓発物品の購入・配布及び防災出前講座等を実施した。

東日本大震災の状況等を受け、中学校生徒及び小中学校教員の防災教育、浸水想定区域内の海拔表示板の追加設置、津波ハザードマップの増刷、防災講演会の開催、津波一時避難ビル協定施設及び都市公園への避難場所明示看板の設置等を実施した。

加えて、平成23年度に作成した『松阪市避難所運営マニュアル』の印刷製本及び研修会、『松阪市業務継続計画<震災編>第1版』（BCP）の策定及び印刷製本を行った。

- ・ 海拔表示板作成（168枚） 170
- ・ 津波ハザードマップ増刷（1,000部） 179
- ・ 防災講演会開催（平成24年10月7日開催） 894
- ・ 津波一時避難ビル看板作成（24基） 2,454
- ・ 都市公園一時避難場所看板（10基） 781
- ・ 学校防災教育業務委託（4中学校） 683
- ・ 防災啓発講習業務委託（17回） 170
- ・ 避難所運営マニュアル印刷（500部） 50
- ・ 業務継続計画(BCP)印刷（本編300部、シート集100部） 299
- ・ 啓発物品等購入 331

○ 総合防災訓練事業費 2,489

総合防災訓練を実施し、市民参画により市民・地域の防災意識の向上や技術習得を図るとともに、各防災機関との連携をより強固なものとし、災害発生時の迅速な対策の確立に努めた。

開催日：平成24年10月21日

開催場所：嬉野地域振興局周辺ほか（本庁、嬉野、三雲）、  
稲荷山公園周辺（飯南）、波瀬小学校（飯高）

参加者：2,113人

## 施策の成果及び執行実績

### ○ 一般木造住宅耐震診断事業費 5,761

昭和56年5月31日以前に建てられた一般木造住宅の耐震診断を実施し、家屋倒壊の被害の減少に努めた。また、住宅の耐震に関する意識高揚、診断の受診率を向上させるため、耐震診断申込書付啓発チラシを作成、全戸配布し、更なる普及啓発を図った。

- ・耐震診断実施（125戸） 5,625
- ・耐震診断啓発チラシ（70,000枚） 136

### ○ 松阪市防災会議事業費 847

松阪市防災会議を開催し、地域防災計画の見直し等を各関係機関等を交え行い、更新した地域防災計画を各防災関係機関等に配布し、計画の共有等を図った。

（松阪市防災会議：平成25年3月18日）

- ・委員報酬（18人分） 126
- ・地域防災計画等印刷（共通編750部） 463
- ・地域防災計画概要版等集中浄書ほか 258

### ○ 防災設備等管理事業費 40,262

防災対策に関わる防災行政無線をはじめとする各種防災対策システムの維持管理・修繕等を行い、各機関との連絡体制等の整備とともに災害発生時の体制確立に努めた。また、防災行政無線を補完し、円滑な防災情報入手のために市民向け「防災情報メール」、「エリアメール」等の維持管理、避難所の機能強化として昨年度の市内公立中学校に続き、市内公立小学校へのケーブルテレビ回線整備を実施した。加えて、本部機能強化として、職員参集メール、衛星携帯電話、災害対策本部用PCの更新整備等を行った。

- ・防災行政無線（同報系・移動系）等修繕 3,763
- ・防災行政無線（同報系・移動系）等保守点検 16,384
- ・避難所用ケーブルテレビ回線整備（小学校36校） 4,345
- ・災害応急対応GIS保守点検 1,481
- ・防災情報メール利用料 319
- ・災害時職員参集メール利用料 558
- ・災害対策本部管内同時通話システム通話料 95
- ・災害用衛星携帯電話・携帯電話使用料 635
- ・衛星携帯電話更新整備（5台） 2,066
- ・防災行政無線（移動系）更新整備（携帯機2台、車載機1台） 383
- ・災害対策本部用PC整備（2台） 173
- ・防災行政無線（同報系・移動系）電波利用料 3,005
- ・防災行政無線屋外拡声子局等電気代 2,452
- ・防災行政無線柱土地、電柱共架料及びGIS用住宅地図データ使用料 558
- ・防災行政無線免許更新等手数料 1,889
- ・災害対策本部用ファクリミリ借上、使用料 101
- ・その他防災経常経費（防災行政無線、河川監視カメラ、地震計通信料等） 2,055

### ○ 一般木造住宅耐震補強事業費補助金 13,004

昭和56年5月31日以前に建築された木造住宅で耐震診断の結果、補強工事が必要と判断された家屋の耐震補強にかかる設計費と工事費及び耐震補強工事と同時施工のリフォーム工事に対して補助を実施し、家屋倒壊被害の減少に努めた。

- ・耐震補強設計補助（9戸） 1,440
- ・耐震補強工事補助（8戸） 9,964
- ・同時施工リフォーム補助（8戸） 1,600

## 施策の成果及び執行実績

### ○ 自主防災組織育成推進事業費 615

地域防災力の向上を目指し、「共助」の主体である地域や自主防災組織の活動の活性化を図るために「避難所運営」にかかる研修・訓練等の研修会や講座等を実施した。

- ・ 自主防災隊活動訓練指導及び講座実施委託 499
- ・ 避難所運営研修講師謝金 70
- ・ 訓練用消耗品等 46

### ○ 防災行政無線整備事業費 217,909

平成23年度より2か年計画で嬉野管内の防災行政無線（デジタル同報系）を更新整備を実施しており、平成24年度は、屋外拡声子局を44局設置し、地域住民等に迅速な情報を伝達できる防災設備整備を実施した。

また、平成22年度までに整備した本庁管内の聴き取り難い地域への屋外拡声子局18局の増設工事と、災害時における拠点避難所の機能強化のために昨年の公立中学校に続き、公立小学校体育館へ防災行政無線戸別受信機の設置・整備を実施した。

- ・ 防災行政無線（同報系）嬉野管内設備設置工事監理業務委託 1,890
- ・ 防災行政無線（同報系）嬉野管内設備設置工事 150,797
- ・ 防災行政無線（同報系）本庁管内設備増設工事監理業務委託 1,292
- ・ 防災行政無線（同報系）本庁管内設備増設工事 57,645
- ・ 防災行政無線避難所用戸別受信機設置工事（小学校34校） 6,195
- ・ 検査旅費 90

### ○ 地域衛星通信ネットワーク整備事業負担金 3,653

三重県の主導で衛星系防災行政無線の整備更新を市町該当分として平成23年度から2か年計画（各市町負担）で実施した。この整備により情報の大容量化や災害対策に求められる迅速かつ的確な情報通信網の整備が図られた。

- ・ 衛星系防災行政無線更新事業負担金 3,653

### ○ 高齢者世帯家具等転倒防止支援事業費 525

65歳以上の高齢者のみの世帯又は身体障がい者等が居住する世帯の家具等の転倒防止を図り、発災時の人的被害の防止に努めた。

- ・ 家具固定事業実施業務委託（50世帯） 525

### ○ 国民保護法推進事業費 230

松阪市国民保護協議会を開催し、国民保護をめぐる情勢の共有や国民保護計画について関係機関の連携を図った。

（松阪市国民保護協議会：平成25年1月16日）

- ・ 委員報酬（20人分） 140
- ・ 安否情報システム端末リース代（2台） 63
- ・ その他事務経費 27

### ○ 防災行政無線基地局舎管理事業費 3,783

防災行政無線の親局及び松阪市災害対策の拠点となる第四別棟の維持管理経費及びEm-net、安否情報システム等のシステム機器費用、各地域振興局等への防災行政無線専用線通信経費等。加えて、災害対策本部用備品として、ホワイトボードの購入整備を行った。

- ・ 設備電気代 687
- ・ ガス代 10
- ・ 電話代 221
- ・ ファクシミリ等借上 158

施策の成果及び執行実績

- ・ケーブルテレビ視聴料 37
- ・インターネット利用料 57
- ・災害対策本部用ホワイトボード購入整備(3台) 78
- ・防災行政無線専用線通信費 2,478
- ・警備委託料 57

○ 災害用備蓄管理事業費 24,500

災害時における被災住民の生命の安全と安心を確保するために、災害用資機材の保守・点検及び修繕等と非常用食料、災害用資機材等の備蓄品整備を図った。  
災害時に拠点避難所及び応急救護拠点ともなる公立中学校へ防災倉庫の購入整備と仮設トイレ、発電機、投光機、特殊照明等、避難生活に必要なとされる資機材の追加配備等を行った。

- ・災害備蓄用粉ミルク(アレルギー対応:6缶、スティックタイプ:324箱) 133
- ・災害備蓄用防災倉庫(12基) 6,615
- ・災害備蓄用毛布(1,200枚) 2,288
- ・災害備蓄用排便収納袋(100セット) 871
- ・災害備蓄用ラジオ(36台) 159
- ・災害備蓄用救急セット(12箱) 624
- ・災害備蓄用間仕切り(254張) 3,814
- ・災害備蓄用発電機(カセットボンベ:36台) 2,247
- ・災害備蓄用特殊照明(蛍光灯型:12セット) 1,260
- ・災害備蓄用投光機(LED:36セット) 1,617
- ・災害備蓄用石油ストーブ(24台) 422
- ・災害備蓄用コードリール(30m:12台) 69
- ・災害備蓄用簡易トイレ(洋式、障がい者対応型:24台) 3,503
- ・災害備蓄用毛布リパック(230枚) 313
- ・災害備蓄用ろ水機保守点検(20機) 230
- ・災害時アレルギー対応備蓄品調達業務委託 98
- ・災害備蓄用ろ水機修繕 237

○ 耐震シェルター設置事業補助金 250

昭和56年5月31日以前に建築された木造住宅で耐震診断の結果、補強工事が必要と判断された家屋で、居住する災害時要援護者等が家屋内に耐震シェルター(部屋型・ベッド型)を設置する際に補助を行い、災害時要援護者等の生命を守るとともに被害の減少に努めた。

- ・耐震シェルター設置補助(ベッド型:1戸) 250

○ 地域防災活動推進助成金 3,740

平成24年度よりこれまでの「自主防災組織資機材整備費補助金」を廃止し、従来の単位自治会を基礎とする自主防災組織の発足の際に必要な資機材整備助成に加え、更なる地域防災力の向上を目指し、新たに住民協議会も助成対象に加え、防災士の養成、資機材の修繕、防災訓練への訓練用資機材等に対する助成を行った。

- ・防災士 単位:円

NO	管内	組織名	補助金額
1	本庁	第四地区住民協議会	30,000
2	本庁	阿坂まちづくり協議会	30,000
3	飯南	柿野住民協議会	30,000
4	嬉野	中原まちづくり協議会	30,000
計			120,000

施策の成果及び執行実績

・防災訓練 単位：円

NO	管内	組織名	補助金額
1	飯南	仁柿住民協議会	13,000
2	本庁	幸まちづくり協議会	20,000
3	飯南	有間野住民協議会	21,000
4	三雲	鶴まちづくり協議会	24,000
5	本庁	宇気郷住民協議会	25,000
6	本庁	朝見まちづくり協議会	30,000
7	本庁	東黒部まちづくり協議会	30,000
8	本庁	阿坂まちづくり協議会	30,000
9	本庁	大石地区まちづくり協議会	30,000
10	本庁	伊勢寺地区住民協議会	30,000
11	本庁	機殿まちづくり協議会	30,000
12	嬉野	豊田まちづくり協議会	30,000
13	嬉野	豊地住民協議会	33,000
14	本庁	鈴の森住民協議会	46,000
15	本庁	徳和住民協議会	48,000
計			440,000

・資機材 単位：円

NO	管内	組織名	補助金額
1	飯南	有上組自主防災隊	150,000
2	飯南	有下組自主防災隊	150,000
3	飯南	有中組自主防災隊	150,000
4	飯高	家野・柏野自主防災隊	150,000
5	飯高	犬飼自主防災隊	150,000
6	飯高	宇藤木自主防災隊	132,000
7	飯南	上相津組自主防災隊	150,000
8	飯南	神原組自主防災隊	150,000
9	飯高	木久谷自主防災隊	150,000
10	飯高	塩ヶ瀬自主防災隊	150,000
11	飯南	下相津組自主防災隊	149,000
12	飯南	下仁柿区自主防災隊	150,000
13	本庁	通り上川町自主防災隊	200,000
14	飯南	枳川組自主防災隊	150,000
15	嬉野	中川新町三丁目自主防災会	200,000
16	飯南	波留組自主防災隊	150,000
17	本庁	光町東自治会自主防災会	200,000
18	飯高	深野自主防災隊	150,000
19	本庁	部田久保自主防災隊	200,000
20	飯南	本郷組自主防災隊	149,000
計			3,180,000

- 避難所マップ作成事業費（緊急雇用） 8,978  
市内指定避難所（約400か所）について、建築年度、耐震化、収容面積・人数、間取り、海拔等を調査し、避難所台帳の作成を行った。
- ・ 避難所実態調査業務委託 8,978
- 各種団体等負担金 8,502
  - ・ 三重県防災ヘリコプター連絡協議会負担金 5,032
  - ・ 三重県防災行政無線運営協議会分担金 3,460
  - ・ 中越大震災ネットワークおぢや協議会会費 10

施策の成果及び執行実績

(目) 15 交通安全対策費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
35,122				11,737	23,385

○ 放置自転車対策事業費 8,931

松阪駅・中川駅周辺における放置自転車を排除し、道路交通環境の保持対策を推進するため、巡視員による放置自転車の確認業務、市営自転車駐車場の受付及び整理業務を行った。

- ・ 放置自転車の撤去・保管・処分の徹底  
(撤去台数 252台)

区 分	台数
引き取り台数	123台
リサイクル台数	40台
清掃事業課にて処分	32台
保管中	57台
計	252台

- ・ 自転車駐車場登録件数

月	件数	月	件数
4	89件	10	80件
5	82件	11	71件
6	71件	12	75件
7	80件	1	70件
8	55件	2	63件
9	80件	3	54件
計		870件	

○ 交通死亡事故ゼロ対策事業費 6,895

悲惨な交通事故の犠牲者を一人でも少なくするため、関係機関・団体等との連携を密にして、幼児から高齢者または地域へと、幅広く周知できる交通安全啓発を行った。また、新たにスクエアード・ストレート方式による交通安全教室を、市内4中学校で開催し、中学生に対する交通安全教育を実施した。

- ・ 県、市交通安全の日（毎月11日）の啓発活動（年12回）早朝街頭指導・広報パトロール
- ・ 交通事故死ゼロを目指す日（4月10日、9月30日）の啓発活動
- ・ 四季の交通安全運動の実施（本庁舎、各振興局庁舎での懸垂幕掲示、市公用車への広報用マグネット貼付）
- ・ 中学校交通安全推奨像リレー 5校
- ・ 市民参加によるキャンペーンの開催

内 容	実施日	啓発人員等
健康フェスティバル2012（参加人員3,800人）	9月9日	1,000人
交通安全ふれあいレター事業	9月17日	2,000人
高齢者安全運転自転車大会	9月26日	36人
松和自動車学校交通安全フェスタ2012	9月22日	400人
交通事故撲滅市民大会への参加 (松阪市自治会連合会主催)	10月12日	1,200人
ワークセンターフェスティバル2012 (参加人員7,000人)	10月21日	800人
氏郷まつり（参加人員130,000人）	11月3日	3,000人

- ・ 啓発活動  
交通事故抑止啓発チラシの配布、市広報紙への掲載  
交通安全啓発スポット事業（FM三重ラジオコマーシャル）  
路線バス（5台）への広告  
啓発広報用横断幕の取替え  
交通安全標語入り年賀スタンプコーナーを庁舎内に設置するとともにアンケート調査を実施（12月3日～12月28日）  
保育園・幼稚園新入園児に交通安全塗り絵とクレヨンの配付（59園、6,300個）  
スクエアード・ストレート方式による交通安全教室の開催（4中学校、1,272人）  
ちょっと早めのライトオン運動懸垂幕の本庁舎、各振興局庁舎での掲示（10～12月）



施策の成果及び執行実績

○ 交通安全対策委員会事業費 123

交通死亡事故を減少させるため交通安全対策委員会を開催し、交通安全教育の高揚、交通安全施設及び交通災害等の諸対策を推進するための調査審議を行い、市長に意見を具申した。

- ・ 松阪市交通安全対策委員会 平成24年8月10日（委員24人中21人出席）

○ とまといず交通安全強化事業費 6,532

市民一人ひとりに交通安全意識を浸透させ、正しい交通ルールやマナーを周知徹底するために、交通安全教育指導員「とまといず」を活用して、市内の幼稚園、保育園、小学校、中学校での交通安全教育や高齢者に対する交通安全教室を開催するとともに各地で開催されるイベント等各種行事に参加して交通安全啓発等を行った。

- ・ 交通安全教室の開催
  - 幼・保・小・中学校 （225回、18,538人）
  - 高齢者（公民館・地区老人会）（30回、1,309人）
  - 一般その他 （21回、2,363人）

○ 交通安全対策事業基金積立金 216（平成24年度末現在高 34,069）

松阪市交通安全対策事業基金（元金）から生じる利子を交通安全対策事業基金に積み立てた。

○ 交通死亡事故ワースト緊急対策事業費 7,397

交通事故のない松阪を実現するためには、市民一人ひとりの交通事故防止の意識高揚を図っていく必要があることから、100自治会を対象とした交通安全啓発活動を行った。

- ・ ヒヤリハット地図の作成
- ・ 危険箇所への路面標示シートの設置
- ・ 夜光反射材の着用推進とのぼり旗の掲出
- ・ 交通安全教室の開催（参加人員3,324人）

○ 各種団体等負担金 1,900

松阪多気地区交通安全対策会議負担金

○ 交通安全対策一般経費 3,129

市民の交通安全意識の高揚、道路交通環境整備等交通安全の確保に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るよう努めた。

- ・ 交通指導員の設置 40人（週3回程度） 地域での交通安全指導  
研修会 平成24年4月3日
- ・ 交通事故相談（年12回）

(目) 16 人権啓発費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
16,981		3,374			13,607

○ 人権啓発活動推進事業費 9,886

すべての市民が心と心のネットワークで結ばれ、人権尊重の輪が一層広がることを願い、さまざまな啓発活動等を展開した。

- ・ 人権問題についての市民意識調査の実施 16歳以上4,000人対象  
回収率54.2%、有効回答率48.9% 報告書300部、概要版4,000部作製
- ・ 人権問題啓発冊子「希望と誇りあふれるまちへ⑨」 20,000部作製
- ・ 全国研究集会等への参加（市民公募6人）
- ・ 松阪人権擁護委員協議会への助成（H23.4.1現在人口×6円）
- ・ 人権等相談業務の実施 262件
- ・ 弁護士人権相談の実施 17件

施策の成果及び執行実績

- ・ 人権図画ポスターの募集及び表彰 応募総数 426件  
小学生の部5作品、中学生の部5作品が入選。

○ 人権啓発事業費 1,308

市民に対して人権問題についての理解と認識を深めていただくため、人権啓発を集中的に行う6月の人権啓発強調月間や、12月の人権週間にあわせて街頭啓発や講演会、コンサート、映画会、子どもたちの作品展等のさまざまな催しを開催し啓発に努めた。また、戦争の悲惨さと平和の尊さを広く訴え、恒久平和の実現に向けて「戦争と平和を考えるパネル展」を開催した。

【人権啓発強調月間】

区分	内 容
街頭啓発	6月1日（金）に松阪駅、伊勢中川駅、市内大型店舗等10か所にて、人権擁護委員、法務局職員、県職員、市職員による街頭啓発を行い、人権尊重の大切さを訴えた。啓発物品・・・3,600個
人権パネル展	6月1日（金）～29日（金）本庁舎本館1階ロビー及び6月24日（日）松阪市民文化会館ロビーにおいて、三重県人権センター所有の「インターネットにおける人権侵害」、「同和問題等啓発ポスター」、「2009年度児童生徒人権ポスター」「第10回人権フォトコンテスト」の展示を行った。
人権講演会	6月24日（日）松阪市民文化会館で俳優の石井めぐみさんを迎え「やさしい街やさしい人」と題して講演会を開催した。 ・入場者数・・・300人 啓発物品、啓発冊子等を配布。
人権啓発ビデオの放映	6月12日（火）～21日（木）の午前9時と午後7時の2回、松阪ケーブルシステムアイウェーブまつさかにて人権啓発ビデオ「ボクとガク～あの夏のものごたたり～」を放映した。
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人権啓発強調月間（講演会）のチラシを自治会、市施設、市内保・幼・小・中学校、市内企業へ配布。 チラシ・・・16,000枚</li> <li>・ 人権啓発標語入りマグネットシートを公用車116台に貼付して道行く人に人権尊重の大切さを訴えた。</li> <li>・ 本庁舎前・各地域振興局前懸垂幕の掲出。</li> <li>・ 市街地循環バスコミュニティボードの活用。（6/1～6/29）</li> <li>・ 松阪市行政チャンネルの活用。（6/1～6/24）</li> <li>・ 広報、各新聞社（記者クラブ）、市ホームページの活用。</li> </ul>

【戦争と平和を考えるパネル展】

8月1日（水）～8月15日（水） 本庁舎本館1階ロビー及び各地域振興局  
『平和市長会議原爆展ポスター』パネル（日本非核宣言自治体協議会提供）  
『原爆と人間展』パネル（人権推進課、各地域振興局保管）  
松阪市戦没兵士の手紙集『ふるさとへの風や』 松阪市編の一部を展示した。  
本庁舎前懸垂幕の掲出。（8/1～8/15）

【人権文化フェスティバル松阪】

区分	内 容
人権のつどい、コンサート、映画会、保・幼稚園児の作品展等	11月30日（金） 飯南産業文化センター ちゃんへん。講演会
	12月1日（土） 嬉野ふるさと会館 広河隆一 講演会
	12月4日（火） 飯高総合開発センター 桂三風 人権落語会
	12月6日（木） 飯高総合開発センター 新井深絵 人権トーク&コンサート
	12月9日（日） ハートフルみくもスポーツ文化センター 玉丸城太鼓保存会
	12月15日（土） ワークセンター松阪 子ども人権文化フェスタ2012
	12月16日（日） 松阪コミュニティ文化センター 人権図画ポスターの表彰及び人権啓発映画会「ももへの手紙」を上映。保育園・幼稚園児の人権作品展。
	12月22日（土） 松阪コミュニティ文化センター 但野真一 講演会 Little Voice of FUKUSHIMA ミニライブ、子どもコーラス

施策の成果及び執行実績

区分	内 容
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・啓発チラシを自治会、市施設、市内保・幼・小・中学校、市内企業へ配布。チラシ…11,000枚</li> <li>・氏郷まつり（11/3）街頭啓発 人権擁護委員と市職員が参加。1,000セットのチラシと啓発物品を配布。</li> <li>・本庁舎前懸垂幕の掲出。（12/3～12/10）</li> <li>・広報、各新聞社（記者クラブ）、市ホームページ、行政チャンネルの活用。</li> </ul>

○ 人権施策推進事業費 2,780

人権施策を推進していくために、人権文化フォーラムを各公民館単位で開催し、啓発に努めた。また、人権に関する職員等の実践力を高めるため、人権関係職員等養成講座を開催した。

区分	開催日	開催場所	講座内容	参加人数
人権文化フォーラム	H24.8～H25.3	各公民館 11か所	身近な人権問題、外国人住民の人権問題、高齢者の人権問題、福島原発事故による人権問題など	302人
人権関係職員等養成講座	8/2・9・16・23・30の5日間 (10講座)	産業振興センター 人材育成講座室及び松阪公民館1階ホール	ワークショップ、障がい者の人権問題、インターネットと部落問題、外国人住民の人権問題、松浦武四郎とアイヌ民族の歴史と文化、福島原発事故による人権問題など	39人 (延234人)

○ 人権施策審議会事業費 159

人権施策行動計画の評価・検証についての審議を行った。

- ・ 人権施策審議会開催
 

開催日	8月28日	10人
開催日	3月21日	10人
- ・ 人権施策専門部会開催
 

開催日	5月22日	6人
開催日	5月29日	6人
- ・ 平成22年度人権施策行動計画事業進捗状況評価と今後の取組提言 11月19日

○ 多文化共生推進事業費 793

外国人住民と日本人住民が異なる文化や習慣を理解・尊重し、互いに協力し合って多文化共生の社会づくりを行う取り組みの推進を行った。

- ・ 第8回松阪やたいむら
 

開催日	H24.7.29	松阪農業公園ベルファーム
参加者	4,500人	

○ 地域自殺対策強化事業費 1,500

- ・ 人材養成事業
 

相談業務担当職員及び関係機関従事者に対する人材養成研修会	
開催日	H24.11.28、H25.1.17、H25.2.21
対象者	…市職員、民生児童委員等
- ・ 普及啓発事業
 

自殺防止啓発劇「生きる」	入場者数 150人
開催日	H25.3.3 松阪コミュニティ文化センター
劇団	紀の川良子と市民劇団
メンタルパートナー養成研修	623人（市民等）

施策の成果及び執行実績

街頭啓発

H24.9.10 自殺予防週間による啓発 県市職員等18人参加 1,520個配布

H25.3.1 自殺対策強化月間による啓発 県市職員等30人参加 1,400個配布

三重県等と連携協力し、松阪駅及び伊勢中川駅で啓発を行った。

啓発物品・・・アルコールウェットティッシュ、ティッシュ、チラシなど

自殺対策に関するパネル展

H24.9.10～9.14 本庁舎本館1階ロビー

H25.3.7～3.15 プラザ鈴ロビー

○ 各種団体等負担金 75

- ・ 三重県人権・同和行政連絡協議会負担金 15  
 交付先・・・三重県人権・同和行政連絡協議会
- ・ 日本非核宣言自治体協議会負担金 60  
 交付先・・・日本非核宣言自治体協議会

○ 人権啓発一般経費 480

新聞・雑誌購読料、通信運搬料、一般事務用品代、印刷機借上料等

(目) 17 男女共同参画費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
3,588				6	3,582

○ 男女共同参画審議会事業費 107

男女共同参画の推進を図るため、施策の基本的事項及び重要事項について審議を行った。

男女共同参画審議会委員 20人 1回開催 委員報酬 15人

○ 男女共同参画行政推進事業費 1,003

男女共同参画社会の実現に向けて、さまざまな事業を実施し、市民啓発を行った。

- ・ 男女共同参画さ・し・す・せセミナーの開催

年月日	講師	内容	会場	人員
H24.10.5	長島りょうがん	「そっとやさしく～結(ゆい)～」	飯南産業文化センター	59人
H24.10.21	中島千恵	「女性のための防災講座」	嬉野保健センター	112人
H24.10.29	楠井嘉行	「これって、ハラスメント？」	松阪産業振興センター	61人
H24.10.30	吉村英夫	「寅さんと一行詩・父よ母よ」	ハートフルみくもスポーツ文化センター	46人
H24.10.31	平岡令孝	「男女そろって健康長寿」	飯高総合開発センター	38人
参加者合計				316人

- ・ 男女共同参画情報紙の発行

市民スタッフにより男女共同参画情報紙「ひまわり」16号を66,000部作成。平成25年3月各自治会を通じて全戸配布するとともに公共施設に設置し啓発を行った。

- ・ 日本女性会議への参加

公募市民 2人と市職員 1人で日本女性会議(仙台市)に参加した。

施策の成果及び執行実績

- 三重県内男女共同参画連携映画祭の開催  
三重県内の男女共同参画を推進するため、県内の5センターと19市町が連携し、映画祭を開催した。  
平成24年6月23日開催 会場：松阪コミュニティ文化センター 参加者：349人  
上映作品「のんちゃんのみりやん」
- 子どもたちへの啓発 80  
子どもたちが性別にかかわらず個人として尊重され、自分らしく伸びやかに生活するかを考え、男女共同参画についての意識を高めるため、紙芝居およびワークショップを通して啓発を進めた。

年月日	会場	人員
H24. 8. 21	こいしろキッズクラブ（漕代）	4人
H24. 8. 27	豊地こどもクラブ（豊地）	14人
H24. 8. 29	中原キッズクラブ（中原）	6人
H24. 8. 31	スマイルキッズ（宮前）	12人
H24. 12. 27	サン・ガーデン（第三）	16人
H24. 12. 28	ひかりっこ広場（山室）	25人
H25. 1. 7	飯南放課後児童クラブ（飯南全域）	15人
H25. 1. 7	まつおキッズクラブ（松尾）	40人
	参加者合計	132人

- 企業に対する男女共同参画意識の啓発  
平成21年度実施のアンケート結果をもとに、男女共同参画に関する取り組み等について事業所を訪問し啓発を行った。  
訪問：市内21事業所
  - 男女共同参画啓発DVDによる研修  
啓発DVDを作成し、審議会委員・フォーラムスタッフ・プラザ鈴運営委員・施策推進委員及び市職員や人権企業連絡協議会役員会において研修を行った。  
外部団体 4  
市部局研修会等 11
- 男女共同参画支援事業費 804
- 松阪フォーラムの開催  
(平成25年2月2日開催 会場：松阪コミュニティ文化センター 参加者：約550人)  
男女の社会参画の促進及びその機会づくりを提供することを目的として、松阪フォーラム実行委員会に事業運営委託を行い実施した。  
(主な内容)  
オープニング カンカンセン  
体験発表「家族の絆」  
育児：辻木慎吾、子育て：鈴木久美子、介護：日置久之  
トーク&ライブ  
親子音楽ユニットRAMO  
講演「家族の絆～今昔～」 落語家 桂文我  
体験コーナー 折り紙・指編み・伝承遊び・琴  
展示コーナー  
男女共同参画関連資料・プラザ鈴活動状況  
私の自慢アンテナショップ 出店団体：8団体

施策の成果及び執行実績

- 男女共同参画一般経費 1,674
  - ・ 非常勤職員賃金、その他消耗品費等。

(目) 18 プラザ鈴費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
33,472				383	33,089

- 一般職員給 23,947
- プラザ鈴管理運営事業費 9,483

男女共同参画社会実現に向け、男性も女性も共に協力してつくる豊かな社会づくりのための学習の拠点として、職業生活・家庭生活に必要な知識、教養、技能の習得の場を提供し、福祉の増進を図った。

- ・ 各種講座の開催  
主催講座、育成講座に分け47講座を実施した。
- ・ プラザ「鈴まつり」の開催  
平成24年11月11日に開催し、530人の参加があった。
- ・ プラザ鈴利用状況（開館日数245日 来館利用者一日平均58人）

区 分	件 数	利用者数
主催講座	88件	1,300人
育成講座	967件	9,348人
自主グループ講座	412件	2,701人
託児	78件	144人
図書利用等	65件	141人
プラザ「鈴まつり」	1件	530人
相 談	若者自立相談	43人
	女性なやみごと相談	19人
計	1,673件	14,226人

- プラザ鈴運営委員会事業費 42  
プラザ鈴の運営に関し、調査、審議を行った。  
プラザ鈴運営委員会委員 9人  
平成24年6月7日開催し、委員報酬 6人。

(目) 19 諸費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
13,097					13,097

- 安全・安心施策推進協議会事業費 84  
「安全・安心な松阪（まち）づくり」を目指し、松阪市安全・安心施策推進協議会を開催し、『松阪市生活安全・安心基本計画』に基づく各種施策の実施、情報共有等を行った。  
(松阪市安全・安心施策推進協議会：平成24年12月26日)  
・ 委員報酬 (9人分) 63  
・ その他事務経費 21

## 施策の成果及び執行実績

### ○ 防犯対策事業費 4,932

市管理防犯灯の維持管理等を行い、夜間の防犯対策、犯罪の未然防止に努めた。また、新入学児童等への防犯啓発小旗の配布等を行い、防犯意識の普及・高揚を図った。

- ・市管理防犯灯電気代 3,252
- ・市管理防犯灯修繕費 1,470
- ・防犯啓発小旗作成、配布 (3,000本) 88
- ・啓発物品購入、配布 (LEDライト375個、4色ボールペン519本) 99
- ・その他事務経費 23

### ○ 各種団体等負担金 8,081

- ・松阪地区生活安全協会 地域安全・暴力追放部会負担金 7,661
- ・みえ犯罪被害者総合支援センター負担金 420

## 施策の成果及び執行実績

## (目) 1 税務総務費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
475, 249		140, 249		9, 031	325, 969

○ 一般職員給 458, 684

○ 税務証明交付事業費 738

・ 税務証明の交付に係る経費

税務証明等の申請件数

区 分	件 数	区 分	件 数
評価証明	8, 970件	非課税証明	2, 248件
公課証明	1, 130件	事業証明	193件
課税証明 (固定税)	199件	納税証明 (一般)	1, 826件
住宅用家屋証明	723件	納税証明 (法人)	98件
建築確認証明	165件	完納証明	1, 886件
車庫証明	4件	納税証明 (車検用)	8, 798件
比隣地証明	508件	税務照会	2, 400件
仮評価証明	23件	税務閲覧	812件
所得証明	17, 034件	その他	2, 452件
所得課税証明	3, 609件		
課税証明 (住民税)	676件	計	53, 754件

○ 固定資産評価審査委員会事業費 32

・ 固定資産評価審査委員会の開催 1回

地方税法の規定に基づく固定資産の評価額に関する不服申立て等に対する審査決定機関としての事務を行った。

・ 固定資産評価審査委員会研修会等

審査決定機関としての審査能力を向上するための研修会に参加した。

固定資産評価審査委員会運営研修会 開催日：8/28 場所：奈良市 参加人数：1人

○ 税務一般経費 15, 794

・ 課税業務作業における一般経費

## (目) 2 賦課徴収費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
406, 503		104, 018		3, 427	299, 058

○ 個人市民税賦課事業費 65, 395

・ 個人市民税の賦課業務に係る委託料、特別徴収事務綴り等の印刷費等

○ 法人市民税賦課事業費 1, 805

・ 法人市民税の賦課業務に係る委託料、借上料等

○ 軽自動車税賦課事業費 10, 589

・ 軽自動車税の賦課業務に係る委託料等

○ 税務総合システム運用事業費 47, 919

・ 本庁、振興局の課税・徴収・証明事務を総合的に管理するシステム運用管理委託料等



施策の成果及び執行実績

※ 市税の調定状況（現年度分）

税 目	調 定 額			
	24年度	23年度	増 減	伸び率
市民税	9,365,527,640円	9,076,477,300円	289,050,340円	3.2%
個人	7,963,285,340円	7,533,509,600円	429,775,740円	5.7%
法人	1,402,242,300円	1,542,967,700円	△140,725,400円	△ 9.1%
軽自動車税	383,702,000円	377,921,100円	5,780,900円	1.5%
市たばこ税	1,140,930,564円	1,158,651,208円	△17,720,644円	△ 1.5%
計	10,890,160,204円	10,613,049,608円	277,110,596円	2.6%

・市民税

個人市民税			法人市民税		
区分	納税義務者数	調 定 額	法人数	区分	調 定 額
特別徴収	48,982人	5,624,434,540円		3,927社	均等割
普通徴収	29,394人	2,338,850,800円	法人税割		997,972,300円
計	78,376人	7,963,285,340円	計	1,402,242,300円	

・軽自動車税、市たばこ税

税 目	内 訳	件 数	調 定 額
軽自動車税	納税義務者数	59,633人	383,702,000円
	課税台数	78,461台	
市たばこ税	課税本数	252,320,330本	1,140,930,564円

○ 固定資産税賦課事業費 57,606

- ・固定資産税、都市計画税の土地、家屋、償却資産の賦課を行うための課税計算業務委託や図面等の作成業務、その他賃借料等。

○ 固定資産税評価替事業費 16,283

- ・平成24年度は評価替え基準年度であるが、毎年の土地下落に伴う時点修正業務を行い土地評価の均衡を進め適正な賦課を行った。  
平成27年度評価替えに伴う土地評価等の業務委託を行い、公正な評価額設定に向けて準備作業を行った。  
また、三雲管内等の都市計画線引きに伴い、都市計画税の課税にむけて適正な土地の評価を行った。
- ・固定資産税等の課税件数及び調定内訳

税 目	内 訳	件 数	調 定 額
固定資産税	土地	評価筆数	368,059筆
	家屋	評価棟数	141,039棟
		(うち新增築棟数)	993棟
	償却資産	申告者数	3,651人
	土地・家屋・償却	納税義務者数	70,722人
	交付金	対象件数	4件
土地保有税	対象件数	0件	
都市計画税	土地	評価筆数	63,414筆
	家屋	評価棟数	56,259棟
		(うち新增築棟数)	530棟
	土地・家屋	納税義務者数	36,815人

○ 納税啓発事業費 578

納期一覧表・自治会回覧を作成し納期内納付の周知を図った。

○ 納税貯蓄組合事務事業費 84

補助金事務取扱の資料を作成し、補助金事務説明会を開催。（開催日 平成25年3月7日）

施策の成果及び執行実績

○ 市税等過誤納還付金 99,828

過誤納還付金 単位：件、円

税目	件数	金額
市県民税（特徴含）	721	24,673,115
市県民税（税源移譲）	6	83,000
軽自動車税	33	155,491
固定資産税	283	12,119,360
法人市民税	248	56,830,600
株式譲渡	496	3,602,548
合計	1,787	97,464,114

還付加算金 単位：件、円

税目	件数	金額
市県民税（特徴含）	5	12,200
軽自動車税	0	0
固定資産税	89	873,700
法人市民税	109	1,478,000
合計	203	2,363,900

○ 口座振替事業費 6,314

口座振替の状況

加入者数	取扱件数（件）	
63,627人	市県民税	39,817
	軽自動車税	30,037
	固定資産税	167,164
	市税計	237,018
	国民健康保険税	121,639
	合計	358,657

口座振替納付状況

単位：円、%

税目	引落依頼額	引落額	納付率	全体納付額に対する割合	過去5年間の納付率				
					23	22	21	20	19
市県民税	2,051,929,910	2,009,570,310	97.94	56.87	97.47	97.76	97.78	97.77	96.58
軽自動車税	128,124,000	125,137,500	97.67	33.56	97.48	97.53	97.82	97.68	97.09
固定資産税	5,183,526,140	5,081,656,240	98.03	51.05	98.01	97.90	97.81	97.90	97.37
市税計	7,363,580,050	7,216,364,050	98.00	52.07	97.86	97.85	97.80	97.85	97.10
国民健康保険税	2,319,089,300	2,253,607,500	97.18	63.20	96.86	96.78	96.69	96.05	96.48
合計	9,682,669,350	9,469,971,550	97.80	54.34	97.63	97.61	97.54	97.44	96.92

○ 松阪市納税貯蓄組合補助金 2,974

納税貯蓄組合の状況

組合数	組合員数
43	3,869人

平成25年3月31日解散

納税貯蓄組合納付状況（平成25年4月末現在） 単位：円

税目	調定額	納付額	納付率（%）
市県民税	77,781,100	74,253,827	95.47
軽自動車税	13,760,300	13,647,400	99.18
固定資産税	211,269,200	206,689,440	97.83
国民健康保険税	141,538,600	134,003,620	94.68
合計	444,349,200	428,594,287	96.45

○ 三重地方税管理回収機構負担金 17,773

収納状況

単位：円

移管年度	徴収年度	移管滞納額	徴収額
23	24	—	15,724,473
24	24	74,659,199	17,410,622
合計		74,659,199	33,135,095

○ 電話催告システム事業費 25,283

納付実績

単位：回、人、円

架電回数	架電人数	納付人数	納付金額
55,927	17,580	5,825	136,077,459

施策の成果及び執行実績

○ 収納消込業務事業費 1,890

収納管理システムの管理委託会社に収納消込業務委託

○ コンビニ収納業務事業費 7,848

全税目のコンビニ収納（平成21年度より実施）の委託、手数料

利用可能納付書：当初納付書・督促状・再発行納付書・分納納付書

納付状況

単位：件

		市県民税	固定資産税	軽自動車税	国民健康保険税	計
当初納付書	利用件数	12,367	14,584	16,127	14,980	58,058
	全体件数	63,326	97,949	48,330	117,396	327,001
	利用率(%)	19.5	14.9	33.4	12.8	17.8
督促状	利用件数	3,340	3,714	1,349	3,878	12,281
	全体件数	12,911	18,651	7,024	30,398	68,984
	利用率(%)	25.9	19.9	19.2	12.8	17.8
再発行納付書	利用件数	1,533	1,299	518	1,795	5,145
	全体件数	6,021	7,570	2,710	11,252	27,553
	利用率(%)	25.5	17.2	19.1	16.0	18.7
分納納付書	利用件数	9,547	2,997	334	10,309	23,187
	全体件数	28,952	13,220	1,399	39,640	83,211
	利用率(%)	33.0	22.7	23.9	26.0	27.9
合計		26,787	22,594	18,328	30,962	98,671

※平成24年度コンビニ収納の納付額合計は、1,274,831,513円

○ インターネット公売事業費 1

ヤフーインターネット公売利用時の手数料（落札価格×3%×消費税率）

差押を行った家具（商品）7点を公売し、1点を換価（1,000円）

○ 徴収一般経費 44,333

市税の徴収実績（平成25年5月末現在）

単位：円

区分	現年課税分	滞納繰越分	合計
調定額	21,317,467,804	2,561,311,222	23,878,779,026
収入額	20,795,676,617	476,367,436	21,272,044,053
収納率(%)	97.55	18.60	89.08

市内臨戸訪問滞納整理（現金・証券受領分、振興局分含む）

単位：人、件、円

滞納整理	滞納整理	訪問人数	区分	人数	件数	税額
			市税	165	312	14,906,770
			保険税	113	202	3,237,890
			合計	278	514	18,144,660
滞納整理	滞納整理	延5日間 実施訪問 人数 1,497人	区分	人数	件数	税額
			市税	88	150	1,310,220
			保険税	38	79	601,260
			合計	121	229	1,911,480

※合計人数は実数

日曜窓口相談（振興局含む）

単位：人、件、円

滞納整理	滞納整理	徴収実績（本税のみ・県民税を含む）			
		区分	人数	件数	税額
滞納整理	滞納整理	市税	106	234	3,857,520
		保険税	49	151	1,710,220
		合計	142	385	5,567,740

施策の成果及び執行実績

夜間窓口相談（振興局含む）

単位：人、件、円

平日昼間の来課困難者のために夜間の窓口相談を実施	実施日数 14日間 対応者 210人	徴収実績（本税のみ・県民税を含む）			
		区 分	人 数	件 数	税 額
		市 税	33	72	944,611
		保 険 税	21	94	1,010,169
合 計	46	166	1,954,780		

督促状発送（振興局分含む）

単位：回、件、円

各税目の 納期限後 20日以内 に督促状 を発送	市税の合計 44,557件 1,069,237,820円  市税と保険税の合計 74,955件 1,526,703,630円	区 分	回数	件 数	税 額
		市県民税（普徴）	12	17,011	450,255,297
		軽自動車税	5	7,024	35,828,000
		固定資産税	5	18,651	514,377,763
		市県民税（特徴）	12	1,669	55,571,560
		法人市民税	12	202	13,205,200
		国民健康保険税	12	30,398	457,465,810

未納明細書・催告書発送（振興局分含む）

単位：回、件、人、円

現年度及び滞納繰 越分催告 書を発送	市税の合計 85,962件 1,930,422,233円  市税と保険税の合計 183,176件 3,449,526,597円	区 分	回数	件 数	人 数	税 額
		市県民税（普徴）	4	40,690	8,713	1,065,880,085
		軽自動車税	3	12,209	4,480	56,566,879
		固定資産税	4	31,575	4,972	761,362,680
		市県民税（特徴）	2	1,131	117	25,616,155
		法人市民税	2	357	205	20,996,434
		国民健康保険税	4	97,214	7,018	1,519,104,364

差押の執行

滞納処分（本庁で一括処理・ただし納付誓約のみ振興局分含む・本税のみ）

単位：人、件、円

差押執行	市税 （県民税含む） 666人 8,893件 444,415,441円	保険税 343人 9,211件 176,841,307円	区分	人数	件 数	税 額
			不動産	74	3,857	344,980,624
			預貯金	585	11,073	185,945,915
			給 与	15	677	17,965,539
			債 権	99	2,497	72,364,670
計	773	18,104	621,256,748			
換 価	市税 （県民税含む） 710人 2,783件 50,353,016円	保険税 307人 1,771件 23,550,403円	区分	人数	件 数	税 額
			不動産	0	0	0
			預貯金	587	2,582	30,262,492
			給 与	137	369	5,863,905
			債 権	211	1,603	37,777,022
計	935	4,554	73,903,419			

施策の成果及び執行実績

交付要求・納付誓約・執行停止の状況

交付要求 (本税のみ)	市税(県民税含む) 113人 2,096件 141,217,157円	保険税 52人 1,089件 27,738,931円
	市税と保険税の合計 119人 3,185件 168,956,088円(本税のみ)	
納付誓約	市税(県民税含む) 6,626人 69,469件 1,919,549,326円	保険税 4,286人 101,586件 2,084,216,146円
	市税と保険税の合計 7,856人 171,055件 4,003,765,472円	
執行停止	市税(県民税含む) 1,485人 7,808件 139,439,346円	保険税 812人 11,013件 129,519,825円
	市税と保険税の合計 1,959人 18,821件 268,959,171円	

※合計人数は実数

## 施策の成果及び執行実績

## (目) 1 戸籍住民基本台帳費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
282,176	3,605	151		54,391	224,029

○ 一般職員給 170,035

○ 戸籍システム管理事業費 16,237

戸籍事務の効率化を図り、迅速に証明書を発行し、住民サービスの向上に努めた。

システム保守委託料 4,914

システム賃借料 10,864 ほか

○ 自動交付システム管理事業費 9,177

自動交付機により（土曜・日曜・祝日においても）年末年始を除く毎日住民票の写し・印鑑登録証明書・外国人登録原票記載事項証明書を発行し、平日の窓口での混雑緩和と待ち時間の短縮を図り、住民サービスの向上に努めた。

システム保守委託料 2,470

システム賃借料 5,931 ほか

平成24年度自動交付機利用状況

設置場所：本庁1階（2台）

	自動交付機 証明書交付件数	自動交付機・本庁 窓口証明書交付件数	自動交付機 利用率
全種	50,002 件	106,799 件	46.82 %
印鑑登録証明書	30,920 件	47,525 件	65.06 %
住民票の写し	18,844 件	58,255 件	32.35 %
外国人登録原票記載事項証明書(※)	238 件	1,019 件	23.36 %
時間外交付件数	9,511 件	—	—
うち月曜時間外窓口交付件数	792 件	1,187 件	66.72 %
時間内平均交付件数	165 件/日	—	—
平日時間外平均交付件数	12 件/日	—	—
休日平均交付件数	58 件/日	—	—

※外国人登録原票記載事項証明書の交付は平成24年7月8日まで

平成24年度まつさか市民カード発行状況

平成24年度まつさか市民カード発行枚数	6,371 枚
まつさか市民カード全発行者数（H25.3.31現在）	110,174 人
暗証番号登録者数（H25.3.31現在） （自動交付機利用可能者数）	79,970 人

暗証番号登録割合

72.6 %

○ 住民基本台帳ネットワークシステム管理事業費 5,217

コミュニケーションサーバーにより、他市町村と転入通知・戸籍附票記載事項通知（平成24年10月から）の送受信を行うとともに、住民票の写しの広域交付、住民基本台帳カードの発行を行った。

また、インターネットでの行政手続に必要な「電子証明書」を発行した。「電子証明書」の発行は、住民基本台帳カード内の公的個人認証サービス領域にデータを格納し、同写しを申請者に交付するものである。

システム保守委託料 2,051

システム賃借料 3,017 ほか

平成24年度電子証明書発行件数 344件

住民票の写し広域交付件数

松阪市での交付分 76件	他市町村での交付分 103件
--------------	----------------

施策の成果及び執行実績

住民基本台帳カード発行数 (単位：件)

年齢	男性		女性	
	写真有	写真無	写真有	写真無
10代未満	0	1	1	0
10代	12	0	12	0
20代	32	11	19	2
30代	20	18	9	12
40代	20	24	13	9
50代	27	20	16	12
60代	28	23	37	4
70代	16	5	32	2
80歳以上	12	5	20	2
写真有無計	167	107	159	43
性別計	274		202	
総発行計	476			

※無料交付分を含む。

○ 印鑑登録システム管理事業費 1,949

データ入力及びまつさか市民カード発行管理を適正に行った。

システム保守委託料 750

システム賃借料 1,174 ほか

印鑑登録事務総件数 16,326件

○ 住民記録バックアップシステム管理事業費 4,534

IT推進室が管理する総合情報システム（e-AD2）が停電等により障害が発生した際には、バックアップシステムにより住民票の写し等の証明書を発行できるよう、窓口混乱リスクの軽減を図った。

システム保守委託料 840

システム賃借料 3,694 ほか

○ 窓口証明書発行システム管理事業費 2,675

市庁舎本館・4振興局・6出張所のFAXをネットワークで結び、システム化できない平成原附票・届書の写し等紙帳票の証明書発行事務の効率化を図った。

システム賃借料 2,007 ほか

○ 住民記録システム改修事業費 63,100

「住民基本台帳法の一部を改正する法律」（平成21年7月15日公布）により、住民基本台帳法の対象に外国人住民も含まれることとなる等の法改正があったため、既存住民記録システム（e-AD2）及び関連システム（住民記録バックアップシステム、戸籍システム）を改修した。

システム改修委託 ・住民記録システム改修 49,595

・住民記録バックアップシステム改修 9,765

・戸籍システム改修 2,478

仮住民票の発送委託 1,099 ほか

○ 各種団体等負担金 21

戸籍住民基本台帳事務の改善・進歩のため、事務研究や連絡調整、相互理解を図り、適正な事務の執行及び職員の資質向上に資するため、研究会等に参加した。

施策の成果及び執行実績

○ 戸籍住民基本台帳一般経費 9,230

- ・ 戸籍事務、住民基本台帳事務、外国人登録事務（平成24年7月8日まで）等を行った。
- ・ 受付番号システムにより、受付から会計までの待ち状況をわかりやすくした。
- ・ 住所異動に関係する各課と連携し、3月の最終日曜日と4月の第1日曜日の2日間、日曜窓口を開設した。  
また、平成22年10月から実施している市民課時間外窓口を引き続き開設し、各種証明書の発行及び印鑑登録業務を行った。  
実施日時：毎週月曜日（月曜が祝日の場合は翌日） 17：15～19：00
- ・ 新生児への記念品として、絵本またはフォトフレームを進呈した。  
非常勤職員賃金 3,052  
報償費 1,817 ほか

各種事務取扱件数

戸籍届書	8,454 件
戸籍附票事務	7,386 件
新戸籍編製等事務	5,019 件
住民基本台帳事務（異動届等）	19,041 件
住民基本台帳事務（各種通知）	10,081 件
住民基本台帳カード発行事務	476 件
電子証明書発行事務	344 件
人口動態調査事務	4,501 件
外国人登録事務	3,437 件
特別永住者証書の交付等	15 件
既決犯罪人・身上調査等事務	2,964 件
既決犯罪に関する事務	820 件
破産者に関する事務	0 件
印鑑登録関係事務	16,326 件
埋火葬許可証発行事務	1,780 件
自動車臨時運行許可事務	753 件
新生児記念品授与事務	1,406 件
後見人登記事務	36 件
計	82,839 件

各種証明書等発行件数

区 分		件 数
有 料	本庁	149,555 件
	嬉野地域振興局	16,925 件
	三雲地域振興局	15,101 件
	飯南地域振興局	5,025 件
	飯高地域振興局	3,906 件
公用	23,483 件	
無料	362 件	
計		214,357 件

（フォトフレーム 444件、絵本 962件）

時間外窓口取扱件数

開催月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開催回数(回)	4	5	4	5	4	4	5	4	4	4	4	4	51
証明書発行(件)	62	49	56	62	37	44	55	33	44	45	45	71	603
印鑑登録(件)	33	49	28	42	27	32	26	26	41	30	54	46	434
問合せ(窓口)(件)	4	7	10	6	3	3	7	7	3	6	3	5	64
計	99	105	94	110	67	79	88	66	88	81	102	122	1,101

1回当り平均取扱件数

21.6件



施策の成果及び執行実績

日曜窓口取扱件数

	H24. 3. 25	H24. 4. 1 (H24年度)	計
住民異動	40件	89件	129件
戸籍届出	8件	20件	28件
証明書発行	114件	104件	218件
印鑑登録	30件	31件	61件
その他	4件	2件	6件
計	196件	246件	442件

	H25. 3. 31 (H24年度)	H25. 4. 7	計
	34件	23件	57件
	10件	9件	19件
	69件	115件	184件
	22件	24件	46件
	0件	0件	0件
	135件	171件	306件

(戸籍関係事務内訳)

戸籍附票事務 7,386 件

出生	1,394 件
婚姻	1,677 件
死亡	1,897 件
離婚	458 件
養子縁組	172 件
養子離縁	52 件
入籍	424 件
法77条の2	170 件
転籍	806 件
分籍	23 件
氏・名変更	26 件
復氏	5 件
帰化	13 件
訂正更正	194 件
その他	75 件

新戸籍編製等事務 5,019 件

新戸籍編製	1,331 件
戸籍全部消除	1,295 件
届出期間経過通知	5 件
非本籍地届書発送	2,388 件

人口動態調査事務

4,501 件

出生	1,557 件
死亡	1,764 件
婚姻	817 件
離婚	329 件
死産	34 件

既決犯罪に関する事務 820 件

既決犯罪通知	196 件
仮釈放期間満了通知	28 件
自由刑等執行終了通知	21 件
財産刑執行終了通知	34 件
公職選挙法第11条通知	73 件
民刑事項通知	86 件
刑の消滅照会	376 件
その他	6 件

破産者に関する事務 0 件

破産宣告確定通知	0 件
免責決定確定通知	0 件
民刑事項通知	0 件

その他 2,144 件

身上照会	1,903 件
その他	241 件

(住民基本台帳関係事務内訳)

異動届等 19,041 件

転入	5,523 件
転出	5,408 件
転居	3,610 件
世帯変更	737 件
職権記載	179 件
職権消除	243 件
出生	1,444 件
死亡	1,737 件
届出期間経過通知	160 件

各種通知 10,081 件

住民票記載事項通知	651 件
附票記載事項通知 (郵送)	2,504 件
附票記載事項通知 (住基ネット)	6,679 件
戸籍照合通知	28 件
本籍転属通知	207 件
その他	12 件

施策の成果及び執行実績

(外国人登録事務内訳) 3,437 件

原票の写し・記載事項証明書交付	1,082 件
うち自動交付機交付件数	238 件
新規登録申請	148 件
切替・引替・再交付申請	122 件
居住地変更登録申請	469 件
居住地以外の変更登録申請	1,166 件
その他	450 件

(全体に対する割合 22.0%)

※平成24年4月1日～7月8日まで。(外国人登録法の廃止による)

(特別永住者証書の交付等事務内訳) 15 件

居住地以外に記載事項の変更届出	1 件
有効期限の更新	11 件
紛失等による再交付	3 件

※平成24年7月9日以降。

## 施策の成果及び執行実績

## (目) 1 選挙管理委員会費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
39,017		13			39,004

○ 一般職員給 34,518

○ 選挙管理委員会事業費 2,315

- ・ 三重海区漁業調整委員会委員選挙人名簿の調製  
9月1日現在

登録者数				調査員数 12人
世帯数	男	女	計	
173	214人	105人	319人	

- ・ 農業委員会委員選挙人名簿の調製  
1月1日現在

登録者数				郵便により調査
世帯数	男	女	計	
6,548	6,894人	5,211人	12,105人	

- ・ 選挙人名簿の定時登録  
年4回(6月、9月、12月、3月)登録

登録基準日	登録者数		
	男	女	計
6月 1日現在	64,943人	71,382人	136,325人
9月 1日現在	64,891人	71,376人	136,267人
12月 1日現在	64,934人	71,431人	136,365人
3月 1日現在	64,941人	71,361人	136,302人

- ・ 在外選挙人名簿の登録(随時)

登録基準日	登録者数		
	男	女	計
3月 3日現在	31人	30人	61人

○ 選挙管理委員会委員報酬 2,184

- ・ 4人、委員会20回開催

## (目) 2 選挙啓発費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
343					343

○ 選挙啓発事業費 343

- ・ 三重県明るい選挙推進連合会総会及び市町推進協会会長等研修会出席  
5月22日 津市 三重県文化会館(三重県総合文化センター) 1階レセプションルーム  
参加者 松阪市明るい選挙推進協議会会長、副会長、事務局の3人出席  
明るい選挙推進のための諸方策について研究討議

施策の成果及び執行実績

・ 明るい選挙啓発ポスター作品募集

応募点数 小学校 84点、中学校 256点 合計 340点

優秀作品50点のうち、委員長賞・協議会会長賞と入選作品、合計20点を県に提出。内特選に1点、入選に1点が選ばれた。県に提出した作品については表彰式にて賞状、副賞を授与。1月21日から1月26日までの間、松阪市長選挙期日前投票所（本庁舎本館5階会議室）にて松阪市入賞作品20点を展示。

・ 未来の有権者啓発活動

三重県選挙管理委員会と合同で中学校生徒会選挙を、実際の備品を使って、3月15日三雲中学校で実施し、低年齢層から選挙への関心を促した。

・ 常時啓発を実施

7月21日嬉野おおきん祭り、11月3日氏郷まつり会場、10日三重中京祭会場、18日いたか文化祭会場・飯南ふれあい祭会場にて街頭啓発、1月13日新成人のつどい会場、2月24日武四郎まつり会場にて啓発活動を実施。

(目) 3 市長選挙費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
38,857					38,857

○ 市長選挙費 38,857

平成25年2月5日任期満了による松阪市長選挙

1月20日告示、1月27日選挙期日（投票日）

定数 1人、立候補者 2人

期日前投票・不在者投票

期日前投票は告示日の翌日から投票日の前日まで	6日間
投票管理者	延39人
投票立会人	延78人
事務従事者(兼務書記)	延145人
事務従事者(アルバイト)	延74人

期日前投票者数	11,505人
不在者投票者数	697人
病院等	670人
滞在地等	13人
郵便	14人

投票

投票所	61か所
投票管理者	61人
投票立会人	122人
事務従事者	256人
(うちアルバイト)	1人

区分	男	女	計
名簿登録者数	65,018人	71,465人	136,483人
当日有権者数	64,328人	70,921人	135,249人
投票者数	34,570人	39,242人	73,812人
投票率	53.74%	55.33%	54.57%

開票

開票管理者	1人
選挙立会人	3人
事務従事者	123人

開始	27日 午後9時30分
終了	27日 午後10時45分
場所	松阪市ハートフルみくもスポーツ文化センター

選挙公報の配布

1月23日の朝刊（朝日、伊勢、産経、中日、日経、毎日、読売の各新聞）に折り込みによる方法で58,400部配布した。

投票所の借上げ

61投票所の内10か所については、民間施設を借り上げた。

施策の成果及び執行実績

臨時啓発

- ・ 12月7日（金）松阪市長選挙明るい選挙推進大会を開催 62名参加  
産業振興センター3階研修ホール 午後1時30分～3時30分  
講演「尾崎行雄の選挙」講師：松村勝順氏（皇學館大学非常勤講師）  
松阪市長選挙啓発標語入賞者の表彰
- ・ 広報まつさか1月号において松阪市長選挙の啓発を行った。
- ・ 本庁舎本館、ベルファーム、花岡、徳和、橋西地区市民センターにおいて啓発のぼりを設置。
- ・ 本庁舎本館、各地域振興局、ショッピングセンターマームにおいて啓発懸垂幕を掲出。
- ・ 路線バス、コミュニティバスにバスマスクを掲示。
- ・ 松阪市ホームページに啓発掲載。
- ・ アイウェブ松阪において、投票の説明とお願いを放映。
- ・ 臨時街頭啓発  
ショッピングセンターマーム・アピタ松阪三雲店・嬉野ピアゴ・飯南ミセススマート・飯高駅において啓発物品を配布。
- ・ 選挙公報を新聞折り込みで配布した。
- ・ 広報車による投票総参加の呼びかけを行った。
- ・ 夕刊三重にて投票の啓発広告を掲載

(目) 4 三重海区漁業調整委員会委員選挙費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
851		851			

- 三重海区漁業調整委員会委員選挙費 851  
7月24日告示、8月2日選挙期日（投票日）  
定数9人 立候補者10人

期日前投票・不在者投票

期日前投票は告示日の翌日から投票日の前日まで	8日間
投票管理者	延8人
投票立会人	延16人
事務従事者	延16人

期日前投票者数	4人
---------	----

投票

投票所	1か所
投票管理者	1人
投票立会人	2人
事務従事者	3人

選挙区	男	女	計
名簿登録者数	229人	117人	346人
当日有権者数	228人	117人	345人
投票者数	137人	61人	198人
投票率	60.09%	52.14%	57.39%

開票

開票管理者	1人
開票立会人	3人
事務従事者	14人

開始	2日 午後7時00分
終了	2日 午後7時17分
場所	本庁舎本館 5階 会議室

臨時啓発

- ・ 漁業者の皆さんに投票のチラシを配布した。
- ・ 当日広報車で啓発テープを放送しながら投票所を巡回した。

施策の成果及び執行実績

(目) 5 衆議院議員選挙費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
51,136		51,136			

○ 衆議院議員選挙費 51,136

平成24年11月16日解散による衆議院議員総選挙  
 公示日12月4日、選挙期日(投票日) 12月16日  
 小選挙区三重県第4区 定数1人 立候補者3人  
 比例代表東海選挙区 定数21人 立候補者123人  
 投票所入場券郵送件数68,518世帯  
 ポスター掲示場設置数 8区画2段式 364か所

期日前投票・不在者投票

期日前投票は公示日の翌日から投票日の前日まで	11日間
投票管理者	延38人
投票立会人	延76人
事務従事者(兼務書記)	延232人
事務従事者(アルバイト)	延113人

	小選挙区	比例代表
期日前投票者数	14,347人	14,347人
不在者投票者数	764人	763人
病院等	671人	670人
滞在地等	65人	65人
郵便	27人	27人
20歳未満	1人	1人

投 票

投票所	61か所
投票管理者	61人
投票立会人	122人
事務従事者 (内アルバイト)	317人 3人

区分	小選挙区(在外含む)			比例代表(在外含む)		
	男	女	計	男	女	計
名簿登録者数	65,012人	71,490人	136,502人	65,012人	71,490人	136,502人
当日有権者数	64,784人	71,271人	136,055人	64,784人	71,271人	136,055人
投票者数	40,278人	43,570人	83,848人	40,276人	43,568人	83,844人
投票率	62.17%	61.13%	61.63%	62.17%	61.13%	61.63%

開 票

	小選挙区	比例代表
開 始	16日 午後9時30分	16日 午後9時30分
結 了	17日 午前0時30分	17日 午前1時00分
開票管理者	1人	
開票立会人	3人	4人
事務従事者	159人	
場 所	ハートフルみくもスポーツ文化センター	

選挙公報の配布

12月12日の朝刊(朝日、伊勢、産経、中日、日経、毎日、読売の各新聞)に折り込みによる方法で58,400部配布した。

投票所の借上げ

61投票所の内10か所については、民間施設を借り上げた。

施策の成果及び執行実績

臨時啓発

- ・本庁舎本館、各地域振興局、ショッピングセンターマームにおいて啓発懸垂幕を掲出。
- ・本庁舎本館、ベルファーム、花岡、徳和、橋西地区市民センターにおいて啓発のぼりを設置。
- ・選挙啓発チラシの配布  
11月28日、新聞折り込みにより58,400部を配布。

(目) 6 最高裁判所裁判官国民審査費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
224		224			

○ 最高裁判所裁判官国民審査費 224

審査期日の告示日12月4日、審査期日12月16日

審査に付された裁判官は10人

掲示板は1投票区につき1か所で計61か所

期日前投票・不在者投票

期日前投票は、12月9日～12月15日までの7日間。

投 票

区分	男	女	計
名簿登録者数	64,981人	71,460人	136,441人
当日有権者数	64,753人	71,241人	135,994人
投票者数	39,605人	42,902人	82,507人
投票率	61.16%	60.22%	60.67%

開 票

開票管理者	1人
開票立会人	3人
事務従事者	159人

開 始	16日 午後9時30分
結 了	17日 午前0時40分
場 所	ハートフルみくもスポーツ文化センター

## 施策の成果及び執行実績

## (目) 1 統計調査総務費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
27,262					27,262

○ 一般職員給 26,373

○ 統計調査一般経費 889

統計調査業務にかかる統計調査交付金の交付対象外となる経費

## (目) 2 基幹統計調査費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
8,133		8,133			

○ 各種基幹統計調査事業費 8,133

・ 各統計調査別経費内訳

調査名等	事業費	成 果
人口推計調査 〔総務省所管〕	248	<p>&lt;概要&gt; 人口を推計するため、市の人口・世帯数を県に報告。</p> <p>&lt;期日&gt; 毎月末日</p>
経済センサス調査区管理 〔総務省・経済産業省所管〕	28	<p>&lt;概要&gt; 平成21年経済センサス基礎調査において設定した調査区について、必要な修正を行うことにより、事業所及び企業を対象とする各種統計調査の共通フレームとして調査の重複・脱漏を防ぐとともに、調査結果の制度向上を図った。</p> <p>&lt;期日&gt; 平成24年2月1日</p> <p>&lt;内訳&gt; 調査区数 513 調査区</p>
経済センサス活動調査 〔総務省・経済産業省所管〕	1,327	<p>&lt;概要&gt; わが国の全産業分野における事業所及び企業の経済活動の実態を全国及び地域別に明らかにするとともに、事業所名及び企業を調査対象とする各種統計調査の精度向上に資する母集団情報を得ることを目的とした調査を平成23年度より実施したが、平成24年度は、主に、督促、補記、回収事務を実施。</p> <p>&lt;期日&gt; 平成24年2月1日〔5年毎〕</p> <p>&lt;内訳&gt; 調査区数 513 調査区</p> <p>&lt;方法&gt; 指導員 8人・調査員 109人</p>
平成27年国勢調査第1次試験調査 〔総務省所管〕	1,848	<p>&lt;概要&gt; 平成27年国勢調査の実施に当り、平成22年国勢調査で導入した手法に係る利点の維持向上及び課題への対応を図った。また、調査票の記入精度の維持向上等を目的としてオンライン回答方式をはじめとする事項についての調査を実施。</p> <p>&lt;期日&gt; 平成24年7月12日〔新規〕</p> <p>&lt;内訳&gt; 設定調査区数 30 調査区</p> <p>&lt;方法&gt; 調査員 16人</p>



施策の成果及び執行実績

調査名等	事業費	成 果
住宅・土地統計調査 単位区設定 〔総務省所管〕	796	<p>&lt;概要&gt; 住宅・土地統計調査の単位区設定は、調査の実施にあたり、調査員が担当する調査区域を明確にし、調査の円滑な実施を期するとともに、結果精度の向上を目的とした調査を実施。</p> <p>&lt;期日&gt; 平成25年2月1日〔5年毎〕</p> <p>&lt;内訳&gt; 設定調査区数 268 調査区</p> <p>&lt;方法&gt; 指導員 25人</p>
就業構造基本調査 〔総務省所管〕	2,875	<p>&lt;概要&gt; 就業構造基本調査は、国民の就業及び不就業の状態を調査し、全国及び地域別の就業構造に関する基礎資料を得ることを目的とした調査を実施。</p> <p>&lt;期日&gt; 平成24年10月1日〔5年毎〕</p> <p>&lt;内訳&gt; 設定調査区数 54 調査区</p> <p>&lt;方法&gt; 指導員 6人・調査員 55人</p>
工業統計調査 〔経済産業省所管〕	983	<p>&lt;概要&gt; 工業統計調査は、明治42年から実施されており、我が国の工業の実態を明らかにし、産業政策、中小企業政策など、国や都道府県などの地方公共団体の行政施策のための基礎資料となり、また、我が国の経済統計体系の根幹を成し、経済白書、中小企業白書などの経済分析及び各種の経済指標へデータを提供することを目的とした調査を実施。</p> <p>&lt;期日&gt; 平成24年12月31日〔毎年実施〕</p> <p>&lt;内訳&gt; 設定調査区数 430 調査区</p> <p>&lt;方法&gt; 指導員 1人・調査員 31人</p>
学校基本調査 〔文部科学省所管〕	28	<p>&lt;概要&gt; 在学者数、教職員数、学校施設等の調査を実施。</p> <p>&lt;期日&gt; 平成24年5月1日〔毎年実施〕</p> <p>&lt;内訳&gt; 学校教育法に定める学校 84校</p> <p>&lt;方法&gt; 郵送又はインターネット調査</p>
計	8,133	

## 施策の成果及び執行実績

## (目) 1 監査委員費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
48,240					48,240

- 特別職給 10,222
- 一般職員給 33,733
- 監査委員報酬 3,108
  - 識見監査委員 1人 2,400 議選監査委員 1人 708
- 監査委員活動事業費 432
  - ・ 旅費 291
  - ・ 工事調査委託料 101
  - ・ 有料道路通行料 2
  - ・ 研修会等出席負担金 38
- 各種団体等負担金 59
  - ・ 全国都市監査委員会会費 42
  - ・ 東海地区都市監査委員会会費 8
  - ・ 三重県都市監査委員会会費 9
- 監査一般経費 685

## ※ 監査時期等

区 分	部 署 等	時 期
例月現金出納検査	出納室、上下水道部、市民病院	毎月
決算審査	一般・特別会計	24年 7月 3日～ 24年 8月17日
	水道・公共下水道・病院事業会計	24年 5月31日～ 24年 8月15日
財政健全化審査	一般・特別・企業会計、一部事務組合等	24年 8月 1日～ 24年 8月17日
経営健全化審査	水道・公共下水道・病院事業会計	24年 6月13日～ 24年 8月15日
	簡易水道・戸別合併処理浄化槽整備・ 農業集落排水事業特別会計	24年 8月 1日～ 24年 8月17日
定期監査 (1次)	全課、室、局、出先機関等	24年 6月15日～ 24年11月19日
定期監査 (2次)	保育園、幼稚園、小・中学校 (23か所)	25年 1月16日～ 25年 2月 5日
随時監査	工事 2件	24年11月15日～ 24年11月16日
財政援助団体等に対する監査	補助金・出資団体及び公の施設の 指定管理者 5件	24年12月19日～ 24年12月21日
住民監査請求	1件	24年 5月 9日～ 24年 7月 5日

## 施策の成果及び執行実績

## (目) 1 社会福祉総務費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,748,526	58,540	473,671		11,075	1,205,240

○ 一般職員給 236,718

○ 地域福祉計画策定事業費 2,092

第1期地域福祉計画の基本理念や取り組みを継承し、より実践を重視するため、「松阪市地域福祉計画実践プラン」を策定した。

○ 各種補助金 206,675

事業名	市補助金	交付先	実績・効果
社会福祉協議会補助金	189,647	松阪市社会福祉協議会	
運営費補助	157,078	—	職員34人分の人件費。
社会福祉大会補助	548	—	第8回松阪市社会福祉大会 平成25年3月10日(日) ハートフルみくも 大会参加者：約900人 社会福祉功労者の顕彰(個人104人・法人52団体)と、記念講演会を実施し、社会福祉事業の推進を図った。
ボランティア事業補助	5,241	—	ボランティア活動の体制整備と地域における福祉コミュニティの形成を図った。
地域福祉活動計画事業費補助	11,411	—	総合相談事業(心配ごと相談・法律相談)の充実と地区福祉会活動の推進を図った。
社会福祉センター運営費補助	6,333	—	当施設は社会福祉事業の充実と地域福祉の向上を図っており、施設の維持管理・運営は全て社協が担っている。
デイサービスセンター建設借入償還金補助(嬉野)	9,036	—	当施設は老人・身障者ともに地域の拠点サービス施設としての役割を担っており、建設主体は社協となっている。
保護司会補助金	811	松阪保護司会	犯罪予防活動の推進、研修会への参加、街頭指導、社会を明るくする運動等に必要な経費を補助した。
遺族会補助金	1,292	松阪市遺族会連合会	戦没者遺族の福祉の向上、戦没者遺族の相談、援護活動等に要する経費を助成した。(遺族会会員：2,372人)
各種厚生団体補助金	45		
母親大会運営費補助金	45	松阪地区母親大会実行委員会	第53回松阪地区母親大会 平成24年7月8日(日) 市立第一小学校体育館 母親運動を推進し、記念講演を行った。(参加者約100人)
民生委員児童委員協議会連合会活動費補助金	14,880	松阪市民生委員児童委員協議会連合会	民生委員児童委員任務遂行のための各種研修会、諸活動に対する助成を行った。(民生委員・児童委員：373人)
計	206,675		

施策の成果及び執行実績

- 民生委員児童委員事業費 4  
松阪市民生委員児童委員連合会事務局の一般経費。
- 民生委員推薦会事業費 27  
松阪市民生委員推薦会委員あて郵送料。
- 社会福祉統計調査事業費 19  
厚生省報告例、社会福祉施設等調査、国民生活基礎調査などの社会福祉統計調査を実施した。
- 戦没者追悼式事業費 724  
松阪市内の戦没者及び戦災死没者の冥福を祈り、平和を祈念する追悼式を開催した。  
日時 平成24年11月15日（木）10：00～11：00  
場所 松阪市民文化会館（松阪市川井町690番地）  
参加者 松阪市遺族会連合会関係者及び来賓 約700人
- 中国残留邦人生活支援給付事業費 2,115  
永住帰国した中国残留邦人に対して、老後の生活安定のため老齢基礎年金の満額支給を実施することとし、満額の老齢年金を受給してもなお生活の安定が十分に図れない者に対して、老齢基礎年金制度による対応を補完する生活支援を行った。また、中国残留邦人等に理解が深く、中国語等のできる支援・相談員を配置した。

※支援給付の状況

被支援給付世帯数	1世帯
世帯員数	2人

区分	生活支援給付	1,205,588円
	住宅支援給付	549,600円
	医療支援給付	288,610円
計		2,043,798円

- 保健医療福祉総合センター建設基金積立金 6,516  
積立額 6,516,260円（平成24年度末現在高 1,203,026）
- 飯南ふれあいセンター事業費 9,302  
高齢者・障がい者及び住民の福祉を増進するための施設を、指定管理者制度により松阪市社会福祉協議会に指定管理委託をした。  
指定管理者制度にかかる委託料 9,113  
施設設備修繕料 189
- 社会福祉費国庫支出金返還金 587  
平成23年度中国残留邦人生活支援給付費国庫負担金の精算返還金
- 社会福祉一般経費 2,690  
社会福祉に関する一般経費（戦没者遺族援護、帰還者援護に関することも含む）。
- 国民健康保険事業特別会計繰出金 1,280,984

保険基盤安定繰入金	706,799
出産育児一時金等繰入金	73,700
人件費等繰入金	363,258
財政安定化支援事業	109,278
特定健診・保健指導	27,949
合計	1,280,984
- バリアフリーのまちづくり活動事業費 72  
バリアフリーのまちづくりに向けての啓発、施設のバリアフリー化の推進のための現地調査及び会議の開催を行った。

施策の成果及び執行実績

(目) 2 身体障害者福祉費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
21,923		475		3,701	17,747

○ 各種扶助事業費 19,962

事業名	事業費	事業内容等
重度身体障害者自動車燃料費助成事業費	6,832	自ら運転する重度身体障がい者の燃料費の一部を助成し、移動に伴う経済的負担を軽減し、社会参加を促進した。 ガソリン50円/ℓ 軽油30円/ℓ 1月上限40ℓ 利用者359人
重度心身障害者タクシー料金助成事業費	9,301	重度心身障がい者に対し、市内のタクシー料金の一部を助成し、移動に伴う経済的負担を軽減した。 1乗車620円 年間48枚 利用者 533人
重度身体障害者福祉タクシー料金助成事業費	2,067	重度身体障がい者に対し、市内のリフト付タクシー料金の一部を助成し、経済的負担を軽減した。 1乗車3,000円 年間24枚 利用者 92人
障がい者(児)通所施設等医療的ケア支援事業費	872	医療的ケアを必要とする障がい者(児)が通所施設等を利用するときに、看護師を派遣し、保護者等の医療的な不安を軽減させた。 対象者 1人 派遣回数 延105回
重度障がい者(児)紙オムツ給付事業費	837	重度障がい者(児)に紙オムツを薬剤師会を通じて給付し、経済的負担を軽減した。 対象者 30人 給付件数 延279件
難病患者日常生活用具給付事業費	53	政令で定める難病患者に対し、日常生活用具を給付し、日常生活の円滑化を図った。 対象児 1人 給付件数 延1件
計	19,962	

○ 身体障害者相談員設置事業費 134

市内に居住する身体障がい者の生活相談等のため身体障害者相談員として委託し、障がい者の生活上の不安軽減や関係機関への連携などを行い、不安軽減につながった。

委託人員 7人 (視覚障がい者1人、聴覚障がい者1人、肢体不自由者5人)

○ 障害者団体運営費補助金 1,640

障がい者団体の活動事業に対し補助を行い、障がい者の社会参加を促進し、ボランティア等関係者等が協力し、障がい者福祉についての周知・啓発を図った。

松阪市身体障害者福祉協会、松阪市視覚障害者協会、松阪市ろうあ福祉協会  
松阪市肢体不自由児者父母の会、松阪市障害者団体連合会

○ 緊急通報装置貸与事業費 188

一人暮らしの障がい者に緊急通報装置を貸与することによって、急病等への対応及び相談に応じるなど、安全安心な生活を確保させることができた。

貸与件数 11件

施策の成果及び執行実績

(目) 3 知的障害者福祉費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
499					499

○ 知的障害者相談員設置事業費 77

市内に居住する知的、身体障がい者の生活相談等のため、知的障がいのある方の保護者に知的障害者相談員として委託し、知的障がい者及びその家族の生活上の不安軽減や関係機関への連携などを行い、不安軽減につながった。

委託人員 4人

○ 心身障害者扶養共済掛金助成金 123

三重県心身障害者扶養共済加入者に対し、世帯の課税状況に応じて、共済掛金の一部を助成することによって、低所得世帯加入者の経済的負担を軽減できた。

助成対象者 5人

○ 障害者団体運営費補助金 300

障がい者団体の活動事業に対し補助を行い、障がい者の社会参加を促進し、ボランティア等関係者等とともに活動しながら、障がい者福祉についての周知・啓発を図った。

補助対象団体 松阪市手をつなぐ親の会

(目) 4 精神障害者福祉費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
305					305

○ 障害者団体運営費補助金 110

障害者団体が行う電話相談やスポーツ・レクリエーション等の活動事業に対し補助を行い、障がい者の社会参加を促進、生活上の不安軽減などを推進した。

補助対象団体 松阪地域家族会 まつの会

○ 精神障がい者デイケア事業費 195

精神障がい者の社会復帰支援として、料理教室やスポーツ等を生活に必要な訓練を行い、自立することへ意欲向上や、円滑な生活への推進を図った。

委託先 社会福祉法人フレンド

開催日数 12日 参加者数 延130人

(目) 5 障害者自立支援費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,691,001	1,220,979	723,138		6,912	739,972

○ 福祉ホーム運営事業費補助金 319

就労が可能な身体障がい者のうち、単身での生活が困難な者が地域で自立した生活を支援するための施設利用に対する経済的負担を軽減し、生活の円滑化を図った。

○ 自立支援医療給付事業費 67

自立支援医療費（更生医療）の給付に係る審査支払機関への手数料

施策の成果及び執行実績

○ 障害者社会参加促進事業費 1,055

障がい者の社会参加を促進するため、スポーツレクリエーションの実施や音声広報を発行し、生活の円滑化や意欲の促進を図った。

委託先：社会福祉法人 松阪市社会福祉協議会、松阪市手をつなぐ親の会  
音訳グループまつさか

- ・ 障がい者スポーツレクリエーション  
障がい者体育レクリエーション

日時：平成24年11月4日

場所：松阪市ハートフルみくもスポーツ文化センター 参加者 223人

知的障がい者体育レクリエーション

日時：平成24年10月9日

場所：松阪市ハートフルみくもスポーツ文化センター 参加者 250人

- ・ 声の広報発行事業

発行：年間12回（毎月発行）

○ 生活訓練等支援事業費 4,279

身体機能の維持向上、円滑な生活の支援のため、重度肢体不自由者児の機能訓練、知的障がい者の生活訓練・集団訓練、視覚障害者の歩行等の訓練を行った。

- ・ 重度身体障がい者生活訓練事業 15回 参加者 延265人
- ・ 知的障がい者生活訓練事業 14回 参加者 延340人
- ・ 視覚障がい者(児)生活訓練事業 対象者 14人 訓練 230回、相談 16回

○ 障害者相談支援事業費 15,384

障がい者の安心した生活を支援するため、成年後見人に対する助成、指定一般相談支援事業への委託による総合的な相談支援を提供した。また、障がい者ケアマネジメント強化事業として、委託により専門職員の配置を行い、困難な事例に対応した。

- ・ 障害者相談支援事業

委託先 社会福祉法人 愛恵会

相談支援員 6人 相談件数 3,827件

- ・ 精神障がい者ケアマネジメント強化事業

委託先 南勢病院、松阪厚生病院

派遣 派遣職員2人（配置：福祉課障がい者生活支援センター）

○ コミュニケーション支援事業費 6,679

市内在住の聴覚及び音声言語障がい者に対し、手話通訳者、要約筆記者を派遣し、円滑な生活を支援した。また、市福祉課に手話通訳ができる職員を2人配置し、聴覚及び音声言語障がい者の来所時の手話通訳等を行い、また、通訳者への研修を実施し、より円滑な意思疎通ができるようレベルアップを図った。

派遣回数 延283回 派遣時間 延739時間40分

うち、設置通訳者通訳回数 152回 対応時間 延261時間30分

○ 地域活動支援センター事業費 6,000

障害者自立支援法に基づく地域生活支援事業の地域活動支援センターI型を設置し、障がい者の生活相談、訪問指導などを行うことで、社会復帰、社会参加の促進、精神障がい周知啓発を推進した。

委託先 社会福祉法人 愛恵会

デイケア 延185人 クラブ活動 延551人 啓発研修 80人

社会参加 延276人

施策の成果及び執行実績

○ 在宅身体障害者訪問入浴サービス事業費 5,440

在宅生活で、身体状況により、単独もしくは家族では入浴が困難であり、かつ通所による生活介護事業所の利用ができない身体障がい者を対象に、入浴設備を自宅に持ち込み、入浴サービスを提供することにより、当該障がい者の衛生保持を図った。

利用人員数 7人 利用回数 444回

○ 障害者グループホーム施設整備事業費補助金 7,500

障がい者グループホーム施設整備にかかる不当利得返還請求事件の和解による整備費

○ 障害者自立支援認定審査事業費 10,472

障害者自立支援法に基づき、介護給付費等の支給に関する審査会を設置し、同法に規定する障害福祉サービスを利用するための障害程度区分審査及び支給量等の意見審査を行った。

審査会委員 20人 認定調査員 9人

審査会回数 47回 審査件数 513件

○ 地域自立支援協議会事業費 341

地域の障がい者支援の推進に向け、相談支援担当者による個別ケア会議を開催し、処遇困難事例の検討や地域移行ケースの検討、計画相談支援事業の推進に向けた協議、さらに、円滑なサービス提供の推進に向け、居宅支援事業者等を対象に研修を行うとともに、地域向けの研修にも取り組み、障がい者福祉の周知・啓発を行った。

協議会委員 21人

協議会全体会 2回 事務局会議 1回 個別ケア・相談支援ワーキングチーム 9回

療育ワーキングチーム 2回 地域・定着支援ワーキングチーム 1回

雇用就労ワーキングチーム 3回 障がい者雇用支援フォーラム2012(ハローワーク、三重県等と共催)

障害福祉サービス事業者向け研修 5回

地域向け研修 4回

(民生委員向け研修 1回、企業向け研修 1回、特別支援学級教員向け研修 1回、その他 1回)

○ 障がい者施設整備費補助金返還請求等訴訟費 725

障がい者グループホーム等施設整備費補助金の返還請求事件の弁護士報酬及び事務費

○ 社会福祉費国庫支出金返還金 59,024

平成24年度

国庫支出金	障害者自立支援給付費国庫負担金	24,872
国庫支出金	障害者医療費国庫負担金	96
国庫支出金	障害程度区分認定審査事業費補助金	14,413
県支出金	三重県障害者自立支援給付費負担金	19,643

○ 障がい者自立生活推進事業費 30

長期間施設入所をしており、地域での生活を希望する障がい者が円滑に地域に移行するための訓練として、共同生活施設等への体験利用を行う施設への運営費について、介護経費の一部負担を行い、地域移行への意欲の向上及び地域生活への実地訓練、評価を行った。

利用者数 2人 延利用日数4日

○ 障害者自立支援一般経費 16,888

障害者自立支援業務に関する経費

非常勤職員賃金5,139、障がい福祉システム等委託料4,093、介護給付費等支払手数料2,845ほか



施策の成果及び執行実績

○ 各種扶助事業費 2,556,799

障害者自立支援法に基づく各種扶助事業を実施し、障がい者が地域で安心した生活が継続できるような介護等の支援、就労等に向けた訓練等の機会の提供を図り、地域生活の推進及び社会参加の促進を図った。

事業名	事業費	事業内容等
介護給付事業費	1,854,212	<p>介護にかかる障がい福祉サービス費を支給し、地域で安心した生活や日中活動の支援、介護者の負担軽減を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 居宅介護 延利用者数 3,252人 延利用時間 76,999時間</li> <li>・ 重度訪問介護 延利用者数 56人 延利用時間 31,369時間</li> <li>・ 同行援護 延利用者数 233人 延利用時間 3,071時間</li> <li>・ 行動援護 延利用者数 24人 延利用時間 673時間</li> <li>・ 短期入所 延利用者数 597人 延利用日数 3,797日</li> <li>・ 生活介護 延利用者数 5,229人</li> <li>・ 療養介護 延利用者数 267人</li> <li>・ 療養介護医療 延利用者数 267人</li> <li>・ 知的障害者通所施設 延利用者数 2人</li> <li>・ 児童デイサービス (平成23年度利用実績精算分) 延利用者数 83人</li> <li>・ 身体障がい者関係分 旧療護施設 延利用日数 217日</li> <li>・ 知的障がい者関係分 旧通勤寮 延利用日数 27日</li> <li>・ 施設入所支援 延利用日数 65,535日</li> <li>・ 共同生活介護 延利用日数 31,119日</li> <li>・ 相談支援 計画相談支援延人数 90人 地域相談支援延人数 12人</li> </ul>
訓練等給付事業費	386,610	<p>訓練等にかかる障がい福祉サービス費を支給することにより、就労及び自立生活への訓練の機会の提供を図り、知識や能力の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共同生活援助 延利用日数 6,808日</li> <li>・ 自立訓練 (機能訓練) 延利用日数 1,060日</li> <li>・ 自立訓練 (生活訓練) 延利用日数 5,904日</li> <li>・ 就労移行支援 延利用日数 285日</li> <li>・ 就労継続支援 (A型) 延利用者数 227人</li> </ul>

施策の成果及び執行実績

事業名	事業費	事業内容等
訓練等給付事業費（つづき）		・就労継続支援（B型） 延利用者数 2,896人
自立支援医療給付事業費	129,558	障害の除去・軽減などの医療費を給付し、経済的負担の軽減を図った。 肢体不自由 9人 音声・言語 1人 人工透析・腎移植等 74人 視覚 4人、肝臓 2人 免疫治療 13人 計103人
障害者補装具給付事業費	35,860	身体障がい者・児に、義肢、装具、補聴器などを支給し、円滑な生活を支援した。 交付件数 216件 修理件数 155件
障害者日常生活用具給付等事業費	35,120	在宅の障がい者に、日常生活用具を給付し、円滑な生活の支援を図った。 用具:特殊寝台、特殊便器 ストーマ用具 など 給付件数 3,449件
障害者日中一時支援事業費	25,502	障がい者等の日中活動の場を確保し、障がい者等の家族の就労支援又は日常的介護をしている家族の一時的休憩を確保することができた。 利用者 187人 回数 6,867回
障害者社会参加促進事業費	1,894	自動車運転免許取得費又は自動車改造費の一部を助成し、社会参加の促進を図れた。 自動車運転免許取得費助成 3人 自動車改造費助成 7人 介護者運転自動車改造費助成 10人
移動支援事業費	70,994	単独では、屋外での移動が困難な障がい者・障がい児に対し、外出支援にかかる費用を支給し、社会参加の促進を支援した。 利用者 239人 利用時間 25,157時間
職親委託措置事業費	3,750	知的障がい者に熱意のある者が行う職業訓練指導に対して支援費を支給し、就労機会の提供と生活訓練を実施し、生活能力の向上を図った。 職親事業所 8事業所 利用人員数 10人
障害者自立支援特別対策事業費	13,299	障害者自立支援法に基づく事業所に移行した後の着実な運営を図るため、移行後に激減した運営費の支援を行った。 新体系定着支援事業 4事業所35人
	2,556,799	

施策の成果及び執行実績

(目) 6 特別障害者手当等給付費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
70,148	51,340				18,808

○ 特別障害者手当等給付事業費 67,545

重度の障がいのために、特別の介護を必要とする在宅の障がい者・児に手当を支給し、経済的負担を軽減や介護事業の利用促進を図った。

- ・ 特別障害者手当 月額 26,440円 (4月以降 26,260円) 受給者数 延1,785人
- ・ 障害児福祉手当 月額 14,380円 (4月以降 14,280円) 受給者数 延1,373人
- ・ 福祉手当(経過措置) 月額 14,380円 (4月以降 14,280円) 受給者数 延72人

○ 社会福祉費国庫支出金返還金 1,186

平成24年度

国庫支出金	特別障害者手当国庫負担金	1,186
-------	--------------	-------

○ 重度心身障害児福祉年金給付事業費 1,020

特別児童扶養手当、障害児福祉手当が所得制限によって受給できなくなった保護者に手当を支給し、経済的負担の軽減を図ることができた。

月額 5,000円 受給者数 延204人

○ 給付事務費 397

手当給付事務に関する経費

※ 特別児童扶養手当等の給付事務に関する事務費

特別児童扶養手当等関係書類の郵送料、特別障害者手当等の審査にかかる報酬

(目) 7 障がい者医療費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
424,330		189,462			234,868

○ 医療費助成事業費 424,330

区 分	65歳未満	65歳以上※
医療費助成金(手数料含)	231,619,463円	188,008,059円
助成件数	41,338件	61,091件
受給者数の月平均	2,047人	2,416人
年間1人当たりの医療費助成金	113,151円	77,818円
1件当たりの医療費助成金	5,603円	3,078円
その他事務経費	4,702,447円	

※「高齢者の医療の確保に関する法律」による被保険者

(目) 8 障害者福祉センター費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
30,277	3,179	1,616		93	25,389

○ 一般職員給 13,115

施策の成果及び執行実績

- 障害者福祉センター管理運営事業費 6,310  
 障害者福祉センターの建物等の維持管理経費。  
 光熱水費1,387、通信運搬費135、エレベーター等の保守管理委託料2,284、送迎車借上料795、建物修繕費1,400ほか  
 貸館業務 335件 延3,040人
- 障害者福祉センター創作活動等事業費 9,895  
 障がい者の福祉増進のための創作的活動や社会適応訓練等を通じて、生きがいを高め、社会参加の促進を図った。  
 障害者社会参加促進事業 290回 延3,567人  
 送迎事業 718回 延2,098人
- 障害者福祉センター機能訓練事業費 958  
 重度の身体障がい者の福祉増進のため、機能（回復）訓練を通じて、身体機能の維持向上を図った。  
 障害者等機能訓練事業 48回 延217人

(目) 9 福社会館費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
25,022				824	24,198

- 一般職員給 14,512
- 福社会館管理運営事業費 10,510  
 社会福祉に奉仕しようとする団体等の活動、研修のための会場を提供した。

福社会館利用状況

利 用 団 体	利用回数	利用人員
各種福祉団体等関係	71回	1,034人
ボランティア関係	424回	6,167人
社会福祉協議会関係	739回	6,061人
行政関係	127回	921人
計	1,361回	14,183人

(目) 10 隣保館費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
100,976		36,022		809	64,145

- 一般職員給 51,737
- 隣保館管理運営事業費 22,838  
 社会福祉の向上及び人権問題の解決を図るための拠点施設としての役割に加え、地域に密着したコミュニティセンターとしての役割を果たすため、積極的な利用促進を図るとともに、良好な施設環境の維持に努めた。  
 ・ 共済費 838 賃金 8,398 需用費 5,207 役務費 355 委託料 5,723  
 賃借料 1,037 備品購入費 557 負担金 723

施策の成果及び執行実績

○ 隣保館運営委員会事業費 3,879

地域に密着した事業を推進するため、関係事案の協議等を行い、円滑な事業の推進を図った。

運営委員数 ・ 第一隣保館12人 第二隣保館17人 中原文化センター10人

・ 報酬 2,331 旅費 688 需用費 145 使用料及び賃借料 715

会議等の名称	回数等	出席者数(延)
第一隣保館運営委員会	4回	40人
第一隣保館常任委員会	2回	6人
第一隣保館先進地視察	1泊2日	6人
第二隣保館運営委員会	8回	134人
第二隣保館五役代表者会議	12回	60人
第二隣保館先進地視察	1泊2日	14人
中原文化センター運営委員会	1回	8人
中原文化センター先進地視察	1泊2日	8人
三館合同運営委員会	1回	29人
合計	—	305人

○ 隣保館施設整備事業費 11,223

- ・ 第一隣保館電気設備改修工事費 4,267
- ・ 第一隣保館空調設備改修工事費 4,833
- ・ 中原文化センター下水道接続工事費 1,635
- ・ 中原文化センター浄化槽汚泥引き抜き及び洗浄手数料 488

○ 各種団体等負担金 414

- ・ 三重県隣保館連絡協議会分担金

○ 隣保館事業費 9,376

地域社会に密着したコミュニティセンターとしての役割を果たすため、地域住民の生活や人権に関する課題の解決を目指して、地域住民のニーズに応じた事業を推進した。

・ 報償費 6,310 旅費 302 需用費 1,740 役務費 76 使用料及び賃借料 834  
負担金 114

- ・ 自立支援に関する事業

(相談事業)

相談名称	会場	内容	回数等	人数(延)
法律相談	第一隣保館	弁護士による人権・離婚等の相談	年3回	13人
	第二隣保館		年3回	9人
健康相談	第一隣保館	看護師による健康相談、血圧・尿検査等	毎週2回 (火・金)	2,060人
	第二隣保館			1,912人
就職相談	第一隣保館	ハローワーク職員による就職相談	毎月1回	20人
農業相談	第二隣保館	農業相談	年1回	32人
人権相談	中原文化センター	人権擁護委員による人権相談	年2回	9人
合計				4,055人

(地域福祉事業)

事業名称	内容	回数等	人数(延)
第一隣保館結核健診	胸部レントゲンによる検査 (65歳以上)	1回	6人
第二隣保館結核健診		1回	10人
第一隣保館健康機器利用	ヘルストロン、マッサージ機の利用	毎日	12,745人
第二隣保館健康機器利用			2,551人
第一隣保館健康講座 (出前講座)	松阪市健康計画の重点目標を中心とした食・運動・制度の健康講座	3回	120人

施策の成果及び執行実績

事業名称	内容	回数等	人数(延)
第二隣保館健康講座	高齢者健康講座	5回	71人
中原文化センター健康講座	スポーツ吹矢体験会、白米城へ登ろう	2回	27人
第一隣保館ふれあい交流会	高齢者(70歳以上)を対象とした交流会	1回	49人
第一隣保館ふれあいの集い	高齢者(70歳以上)を対象とした交流会	1回	55人
第二の人生かがやき塾	介護・福祉・健康・医療等の講座	4回	79人
第二隣保館高齢者福祉講座	高齢者(65歳以上)を対象とした交流会	1回	73人
合計			15,786人

・人権問題に関する啓発及び広報事業

事業名称	内容	回数等	人数等(延)
館だより及び保健だより発行(三館)	隣保館事業の広報、人権問題に関する啓発記事の掲載、健康管理等の情報発信	毎月1回	3,910部
啓発図書等貸出(三館)	三館に設置してある人権・同和問題に関するビデオ、図書の閲覧及び貸出	随時	10人
第一隣保館人権講演会	演題「命を守る学習会」	1回	32人
第一隣保館親子人権講演会	演題「命を守る大切さ、人と人が温かい心で結ばれる大事さ」	1回	87人
第一隣保館子育て講演会	演題「絵本を通して子育てを考える」	1回	78人
第二隣保館人権講演会	演題「二度とない人生だから」	1回	73人
中原文化センター人権映画会	人権をテーマにした映画の上映	1回	98人
三館合同研修会	三館運営委員及び講座講師対象の研修会	1回	51人
合計			429人

・地域交流に関する事業

事業名称	内容	回数	人数(延)
第一隣保館講習講座	いきいき体操	44回	1,245人
	手芸	25回	137人
	生け花	43回	190人
	中国語	43回	246人
	茶道	46回	323人
	新舞踊	45回	317人
第二隣保館講習講座	洋裁教室	45回	143人
	書道教室	47回	211人
	編物教室	48回	436人
	新舞踊教室	40回	111人
	英会話教室	49回	176人
	押花教室	23回	69人
	ピアノ教室	48回	605人
	将棋教室	7回	141人
中原文化センター講習講座	歌謡教室	24回	302人
	太極拳教室	24回	95人
	ヨガ体操教室	24回	319人
	華道教室	12回	107人
	茶道教室	11回	73人
	編物教室	12回	67人
	筆ペン教室(昼の部・夜の部)	24回	134人
第一隣保館特別講座	アレンジフラワー教室等4講座	7回	106人
第二隣保館特別講座	園芸教室等2講座	10回	187人
中原文化センター教養講座	ピザ作り教室等4講座	4回	82人

施策の成果及び執行実績

事業名称	内容	回数	人数(延)
第一隣保館地域文化際	作品展示及び模擬店等	1回	600人
第二隣保館ふれあい文化祭	作品展示等	1回	253人
中原文化センター中原地区文化祭	作品展示、野点等	1回	90人
第一隣保館市政バス	市政バスで清掃工場見学	1回	20人
第二隣保館紅白歌合戦	カラオケ大会	1回	212人
第二隣保館グランドゴルフ大会	グランドゴルフ大会	1回	61人
中原文化センター歌謡教室発表会	講座の講習生による発表会	1回	42人
中原文化センター芸能発表会	講座の講習生による発表会	1回	108人
合計			7,208人

・教育及び学習に関する事業

事業名称	内容	回数	人数(延)
第一隣保館パソコン教室	パソコンでの作品づくり	12回	27人
第一隣保館土曜クラブ	生活・自然体験活動等	4回	151人
第一隣保館わくわく教室	基礎学力向上、なかまづくり	28回	825人
第一隣保館子ども習字	硬筆・毛筆の習得	47回	823人
第一隣保館子ども英語	英語に親しみを持たせる	47回	561人
第二隣保館集中学習会	中学三年生を対象とした学習会	15回	94人
第二隣保館なかま・ふれあい大夢	ものづくり、体験活動等	4回	308人
中原文化センターなかよし会	小学生対象の体験・創作活動等	5回	518人
中原文化センターふれあい活動	保育園児と住民のふれあい活動	4回	132人
合計			3,439人

・社会事情の調査・研究に関する事業

事業名称	内容	回数	人数(延)
三館職員研修	全隣協東日本ブロック研修会他	16回	17人

○ 広域隣保活動相談員報酬 1,140

隣保館が設置されていない地域住民の生活の相談に応じ、関係行政機関と連携を保ちながら必要な指導を行い福祉の推進を図った。

○ 広域隣保活動事業費 369

隣保館が設置されていない地域において、社会福祉の向上及び人権問題の解決を図るために隣保事業を実施した。

・報償費 141 旅費 25 需用費 87 使用料及び賃借料 116

事業名称	内容	回数	人数等
相談事業	広域隣保活動相談員が行なう地域住民の生活相談及び関係行政機関との連携並びに人権教育啓発事業への協力を実施	随時	116人
健康講座	「歯科治療の現在と歯科の往診」	1回	23人
人権講演会	「部落史に学ぶIV」	1回	78人
人権講演会	「人の世に熱と光を」	1回	175人
人権学習会	「自らの差別意識を問う」	1回	40人
県外研修	大阪市住吉区浅香のフィールドワーク	1回	36人
ふれあい交流会	地域の高齢者と三郷保育園児との交流会	1回	34人
合計			502人

(目) 11 国民年金事務費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
52,293	32,832				19,461

施策の成果及び執行実績

○ 一般職員給 43,363

○ 国民年金事務事業費 8,930

- ・ 国民年金窓口相談、資格異動事務

被保険者の受給権の相談、資格異動関係の手続き及び年金制度を理解していただくための総合的な業務であり、被保険者が年金制度について理解し将来の生活の保障である年金が受給できるよう指導を行った。特に受給権の関係については、無年金者を防止するため慎重かつ丁寧に指導、対応を行った。

資格取得	745件	転居	1,180件
再取得	2,410件	氏名変更	525件
資格喪失	541件	資格訂正	20件
転入	1,195件	その他	2,203件
転出	1,111件	計	9,930件

- ・ 裁定請求事務

請求者及び届出者から提出される書類や添付書類等の点検を正確、迅速に行うとともに書類不備等については適切に指導し、受給権の確保に努めた。

老齢基礎年金	77件	未支給年金	352件
障害基礎年金	87件	死亡届	25件
遺族基礎年金	1件	特別障害給付金	0件
寡婦年金	1件	その他	77件
死亡一時金	21件	計	641件

- ・ 免除制度の促進

低所得者対策、年金受給権の確保、無年金者対策として免除制度は大変重要な役割を占めている。免除制度の内容を広く市民に理解していただくため、窓口での啓発はもちろんのこと、「広報まつさか」等を通じて制度の周知を行い、利用者の拡大を図った。

申請免除	3,617件	法定免除	1,929件
(全額免除)	(3,078件)	学生納付特例	1,734件
(3/4免除)	(281件)	若年者納付猶予	381件
(1/2免除)	(186件)		
(1/4免除)	(72件)	計	7,661件

- ・ 福祉年金事務

老齢福祉年金、特別障害給付金受給者に係る届出を受け付け、定時届関係連名簿を作成し、三重事務センターへ送付した。

死亡届	0件
未支給年金	3件
計	3件

- ・ 受給権者所得状況届受付事務

障害基礎年金(年金コード 2650・6350)受給権者の所得状況届を受け付け、適正に処理を行うとともに、所得状況届連名簿を作成し、三重事務センターへ送付した。

所得状況届受付件数 1,179件

- ・ 年金制度の周知

被保険者並びに受給者の権利保護を図るためには、制度の内容を周知し理解を得るための広報が必要であることから、窓口にて啓発冊子を常備するとともに、「広報まつさか」に年金制度の周知を目的としたコーナーを設け、毎月テーマを定め掲載した。また、平成24年10月から施行された「後納制度」など新しい制度についても、広報掲載、ポスター掲示等により周知を行った。



## 施策の成果及び執行実績

## (目) 1 老人福祉総務費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
4,317,929		259,493		58,783	3,999,653

○ 一般職員給 64,400

○ 後期高齢者医療事業特別会計繰出金 1,898,915

広域連合事務費繰出金	62,498
健康診査事業費繰出金	15,295
保険基盤安定制度繰出金	335,273
療養給付費繰出金	1,427,933
市特別会計事務費等繰出金	57,916
合 計	1,898,915

○ 老人保健事業費 1,880

老人保健事業特別会計の廃止に伴い、老人保健制度における受給対象者の適正な保険給付にかかる経費を支出した。

○ 介護保険事業特別会計繰出金 2,051,375

介護給付費繰出金	1,707,397
地域支援事業繰出金（介護予防事業）	5,867
地域支援事業繰出金（包括的支援事業・任意事業）	34,060
職員給与費等繰出金	156,130
事務費繰出金	147,921

○ 老人福祉事業費 22,745

事業名	事業の目的・成果	事業費
老人クラブ活動事業補助金	健全で豊かな老後を送るため、社会奉仕活動や生きがいを高める各種活動、健康づくり活動等を行う老人クラブに助成を行った。 クラブ数 96クラブ	9,835
満100歳長寿者敬老事業費	・満100歳になられた高齢者を市長が訪問し、記念品と祝状を贈呈した。（対象者 38人・訪問者 27人） ・平成23年12月末時点で100歳以上の長寿者を市長が訪問し記念品と祝状を贈った。9月3日・4日に実施した。（対象者50人、訪問者35人）	546
敬老会開催事業費		5,084
嬉野	高齢者を敬い、永年の労苦に対する感謝と慰労を目的に、75歳以上の高齢者を対象に敬老会を開催した。 平成24年9月9日開催、嬉野ふるさと会館、740人参加	1,886
三雲	高齢者を敬い、永年の労苦に対する感謝と慰労を目的に、75歳以上の高齢者を対象に敬老会を開催した。 平成24年9月8日開催、ハートフルみくも、279人参加	1,089
飯南	高齢者を敬い、永年の労苦に対する感謝と慰労を目的に、75歳以上の高齢者を対象に敬老会を開催した。 平成24年9月29日開催、飯南産業文化センター、283人参加	932
飯高	高齢者を敬い、永年の労苦に対する感謝と慰労を目的に、75歳以上の高齢者を対象に敬老会を開催した。 平成24年10月6日開催、川俣小学校体育館、210人参加	1,177

施策の成果及び執行実績

事業名	事業の目的・成果	事業費
離島等地域特別加算利用者負担軽減措置事業費	離島等地域においては、訪問系の介護サービスについて15%相当の特別地域加算が行われることから、利用者負担についても15%相当分増額されることになる。このため、離島等地域でない地域の住民との負担均衡を図る観点から、利用者負担の一部を軽減した。23人	68
高齢者地域福祉基金積立金	高齢者福祉活動の促進と快適な生活環境の形成等を図るため、基金を設置し、高齢者福祉施策の実施に要する経費に充当することを目的に積立てを行った。 積立金利子 780,201円 グループホーム「いいたか」からの納付金 4,320,000円 (平成24年度末現在高 101,212)	5,100
福祉有償運送運営協議会事業費	NPOや社会福祉法人等の非営利法人が高齢者や障がい者等、公共交通機関を使用して移動することが困難な人を対象に、通院・通所等を目的に有償で行う車両による送迎サービスである「福祉有償運送」の適法性・安全性の確保のために運営協議会を開催した。  福祉有償運送運営協議会…3回開催	184
老人福祉費国県支出金返還金	平成23年度県支出金精算返還金 社会福祉法人等利用者負担軽減措置事業補助金返還金 60 離島等地域特別加算利用者負担軽減措置事業補助金返還金 35 高齢者地域福祉推進事業費補助金(老人クラブ) 190	285
老人福祉一般経費	事務補助員賃金 702、消耗品費 218 ほか	1,643
計		22,745

○ 老人在宅福祉事業費 48,776

事業名	事業の目的・成果	事業費
生きがい活動支援通所事業費	家に閉じこもりがちな高齢者に対してデイサービスセンター等にて各種サービスを提供し、要介護状態への進行防止を図った。  利用施設：さくら園、なでしこ苑、さわやか苑、協和苑、青葉、吉祥苑、社協、たいよう、ふれんどデイ(飯南)、サテライトデイ(飯高)、いきいきサロン(嬉野)、うきさと憩センター  年間利用延べ人数 7,391人	33,412
緊急通報装置貸与事業費	ひとり暮らしの高齢者が急病や災害等の緊急時に迅速かつ適切な対応を図るため、緊急通報装置を貸与した。  新規設置台数…96台 平成25年3月31日現在設置台数…727台	14,051
ひとり暮らし高齢者等生活支援事業費	在宅の高齢者等に、庭の草取り等軽易な日常生活上の支援を行うための人材を派遣することによって自立した生活の継続を可能にした。  シルバー人材センター 89時間 利用延人数18人 三重県健康福祉生活協同組合 42時間 利用延人数13人 三重県中高年雇用福祉事業団 7時間 利用延人数2人	247
寝具丸洗乾燥事業費	ひとり暮らしや寝たきりの高齢者等を対象に年1回、無料で寝具の丸洗い乾燥を行った。  実施人数 455人 利用枚数860枚(敷布団269枚、掛布団245枚、毛布 346枚)	1,025
訪問理美容サービス事業費	老衰、心身の障がい及び疾病等の理由により、理髪店等に出向くことが困難な高齢者に対して、居宅で手軽に整髪等のサービスを受けられるよう出張理美容のサービスを提供した。技術料は自己負担とし、出張に係る経費を支出した。  利用者数…9人、27回	41
計		48,776

施策の成果及び執行実績

○ 老人各種給付事業費 6,399

事業名	事業の目的・成果	事業費
敬老記念品贈呈事業費	敬老の日にちなんで本庁管内に在住する80歳以上の高齢者に記念品を贈呈し、長寿をお祝いした。対象者数…9,581人	5,831
日常生活用具給付事業費	おおむね65歳以上の火の元の心配な要援護高齢者等に対して、日常生活用具の給付を行い、自立生活を支援した。 火災報知器 4台 電磁調理器15台 自動消火器 16台	388
在日外国人高齢者福祉給付金支給事業費	日本に在留する外国人高齢者で、国民年金や他の公的年金を受けることができない者に福祉給付金を支給することにより、当該高齢者の福祉の増進を図った。 支給対象者（4月～9月：2人、10月～3月：1人）	180
計		6,399

○ 老人施設福祉事業費 223,439

老人ホーム入所判定委員会事業費	老人ホーム入所判定委員会を開催し、老人ホーム入所措置の要否判定を適切に行った。 開催回数…9回	196
老人ホーム入所措置事業費	環境上の理由及び経済的理由により居宅において養護を受けることが困難な高齢者を措置した。 平成25年3月31日現在入所者数 9施設 98人	219,187
公的介護施設等整備費補助金	既存の小規模多機能型居宅介護事業所へのスプリンクラー、自動火災報知設備、消防機関へ通報する火災報知設備の設置に対する補助。また既存の認知症対応型通所介護施設の窓ガラス防災補強改修等整備に対し県の補助金により補助をした。 ・小規模多機能型居宅介護施設 1か所 特定非営利活動法人 介護支援ネットワーク 2,731 ・認知症対応型通所介護施設 1か所 社会福祉法人 長寿会 1,325	4,056
計		223,439

施策の成果及び執行実績

(目) 2 老人福祉センター費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
60,632				2,543	58,089

- 一般職員給 14,963
- 松寿園管理運営事業費 11,513  
 60歳以上の方に対して、各種の相談に応じるとともに、健康の保持、教養の向上及びレクリエーションの利便性を総合的に提供した。  
 年間利用者数 8,813人  
 年間利用団体数 504組
- 松寿園運営委員会事業費 49  
 松寿園の管理運営について協議をした。  
 運営委員 12人・年1回開催（平成24年6月1日）
- 松寿園施設整備事業費 2,721  
 避難路整備工事（単独） 2,721  
 手摺設置・新設階段インターロッキング・土留化粧ブロック等
- 飯南高齢者生活福祉センター管理事業費 11,632  
 高齢者に対して、介護支援機能・居住機能及び交流機能を提供し、高齢者が安心して健康で明るい生活が送れるよう支援し、高齢者の福祉の増進を図った。また指定管理者制度を導入し、松阪市社会福祉協議会に指定管理委託をした。  
 居住事業入居者 4人、指定管理者制度にかかる委託料 10,138  
 施設設備修繕料 1,494
- 飯高高齢者生活福祉センター管理事業費 12,774  
 高齢者に対して、介護支援機能・居住機能及び交流機能を提供し、高齢者が安心して健康で明るい生活を送ることができるよう支援し、高齢者の福祉の増進を図った。また平成18年度から指定管理者制度を導入し、松阪市社会福祉協議会に委託した。  
 居住事業入居者 4人、指定管理者制度にかかる委託料 12,176  
 施設設備修繕料 598
- 飯高老人福祉センター管理運営事業費 6,944  
 高齢者や地域住民に対して、各種の相談、教養の向上、レクリエーション等のための施設管理を行った。  
 開館日数 301日、利用件数 1,111件、利用延人数 13,037人  
 センター使用料収入 178,710円
- 飯高老人福祉センター運営委員会事業費 36  
 飯高老人福祉センターの管理運営について協議をした。  
 運営委員 8人・年1回開催（平成24年8月6日）

## 施策の成果及び執行実績

## (目) 1 児童福祉総務費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
3,295,298	1,990,251	494,293	7,600	194	802,960

○ 一般職員給 188,176

○ みえこどもの城管理運営費補助金 62,521

さまざまな遊びや体験学習等を通して、子どもたちの健全な育成を支援する「みえこどもの城」に対し、施設管理運営に要する経費の一部を補助した。

交付先 (財) 三重こどもわかもの育成財団

○ 次世代育成支援推進事業費 3,172

「松阪市次世代育成支援行動計画(後期計画)」に基づく諸施策の進捗状況の確認と評価および今後の取り組み方について、「松阪市次世代育成支援行動計画地域協議会(委員19人)」を開催し、協議を行った。また、子どもたちが家庭や地域でどんなことを感じながら暮らしているかを把握し、今後の子どもの施策に反映していくことを目的に「子どもにやさしいまちづくりに関する意識調査」を実施した。

(協議会) 開催日 平成25年3月21日 出席委員数 15人

(意識調査) 回答者数 4,000人中1,465人 回答率 36.6%

○ 子どものための手当等支給事業費 2,869,413

中学校修了前の児童の養育者に対し、子ども手当及び児童手当を支給した。

延支給対象児童数 257,194人

○ 児童福祉一般経費 78

○ 放課後児童クラブ活動事業費 93,606

市内36小学校区のうち26校区に29の放課後児童クラブを設置するとともに、その運営を保護者会等に委託し、遊びを主とする活動を通じた児童の保育を行った。

区分	名 称	委託金額	年間開設日数	児童数
本庁	第一よいほキッズクラブ	1,640,200円	250日	10人
	サン・ガーデン	4,618,770円	251日	18人
	だいのびのびクラブ	6,215,400円	285日	37人
	だいのびのびクラブそらぐみ	2,507,510円	285日	11人
	第五ときわっ子	3,530,470円	265日	47人
	さいわいっこKIDSクラブ	3,425,790円	255日	50人
	松江放課後倶楽部	3,976,280円	254日	28人
	みなとこどもクラブ	3,934,250円	253日	21人
	ひがしくろべ楽童	1,260,530円	250日	12人
	ていすい子どもハウス	3,503,570円	252日	38人
	こいしろキッズクラブ	1,976,590円	238日	5人
	花岡キッズハウス	5,191,040円	251日	36人
	ひかりっこ広場	3,805,280円	254日	38人
	まつおキッズクラブ	3,564,410円	254日	41人
	第2まつおキッズクラブ	2,427,630円	254日	16人
	0-FunKids	1,291,600円	234日	6人
	南どんぐりっ子クラブ	990,000円	225日	9人
	とくわアフタークラブ	5,768,520円	290日	36人
	第2とくわアフタークラブ	4,238,520円	290日	36人

施策の成果及び執行実績

区分	名 称	委託金額	年間開設日数	児童数
嬉野	豊地こどもクラブ	2,447,295円	301日	12人
	わかすぎこどもクラブ	4,369,146円	285日	31人
	すぎのここどもクラブ	5,582,146円	285日	40人
	豊田キッズクラブ	1,043,029円	239日	7人
	中原キッズクラブ	1,623,000円	238日	5人
三雲	天白キッズクラブ	3,358,460円	252日	53人
	第2天白キッズクラブ	2,283,360円	252日	21人
	小野江元気っ子クラブ	1,727,000円	266日	15人
飯南	飯南放課後児童クラブ	4,044,270円	251日	29人
飯高	スマイルキッズ	1,133,490円	237日	11人
計29か所		91,477,556円		719人

- ・ 施設修繕料 1,922
- ・ その他消耗品費 207

○ 放課後児童クラブ連絡協議会補助金 234

各放課後児童クラブの運営の均衡を図るとともに、指導員の資質向上を図るため、研修会、連絡会議等に要する経費の一部を補助した。

交付先 松阪市放課後児童クラブ連絡協議会

○ 子育て支援センター管理運営事業費 15,635

乳児又は幼児及びその保護者が相互の交流を行う子育て支援センターを開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行い、他機関との連携を図りながら、地域の子育て機能の充実及び育児不安等の緩和を図った。

- ・ 利用者数

名 称	保護者	児 童	計
ふれんず	4,459人	5,186人	9,645人
森のくまさん	2,513人	3,199人	5,712人
げんきっこ	4,858人	5,600人	10,458人
かんがるー	2,596人	3,008人	5,604人
やまっこ	1,177人	1,341人	2,518人
計5施設	15,603人	18,334人	33,937人

(※出張ひろばの616人を含む)

- ・ 活動内容

親子ふれあいルームでの親子のふれあい、あそぼう会、面接・電話による子育て相談、絵本の貸し出し、出張ひろば、情報誌の発行（各支援センターだより月1回・公私立支援センター合同のたより月1回）、利用者アンケートの実施等。

※出張ひろば

名 称	実施回数	開催場所	利用者数		
			保護者	児童	計
はっぴいくまさん	10回	東黒部地区ふれあい会館	111人	129人	240人
にこにこタイム	10回	射和地区市民センター	83人	89人	172人
こんにちは赤ちゃん	5回	ハートフルみくも	50人	52人	102人
サンサン広場	4回	飯高総合開発センター	46人	56人	102人
計			290人	326人	616人

施策の成果及び執行実績

○ ファミリーサポートセンター事業費 9,332

育児の援助を行いたい方（援助会員）と育児の援助を受けたい方（依頼会員）の相互援助活動を支援するため、「まつさかファミリーサポートセンター」の運営を（特）松阪子どもNPOセンターに委託し、安心して子育てができる地域づくりを図った。

- ・ 活動件数 1,376件
- ・ 会員数 638人（援助会員数 227人、依頼会員数 341人、両方会員数 70人）

○ 私立保育園子育て支援センター運営事業費 18,270

乳児又は幼児及びその保護者が相互の交流を行う子育て支援センターを開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行い、他機関との連携を図りながら、地域の子育て機能の充実及び育児不安等の緩和を図るため、私立保育園が運営する子育て支援センターに事業を委託した。

名称	実施主体	開設年月	委託金額	利用者数		
				保護者	児童	計
こどもセンターわかすぎ	わかすぎ保育園	H16. 4	2,400	825人	948人	1,773人
なかよし広場	山室山保育園	H17. 4	3,870	2,007人	1,673人	3,680人
わくわくの森	嬉野保育園	H17. 10	2,400	1,845人	2,102人	3,947人
じゃれっこひろば	みどり保育園	H18. 4	2,400	1,615人	1,861人	3,476人
さくらキッズ	さくら保育園	H22. 4	2,400	2,186人	2,574人	4,760人
いきいきわくわく子育て広場	久保保育園	H23. 5	2,400	972人	1,080人	2,052人
こどもセンターわかすぎ第二	わかすぎ第二保育園	H23. 5	2,400	897人	947人	1,844人
計7施設			18,270	10,347人	11,185人	21,532人

○ 放課後児童クラブ施設整備事業費 26,216

天白小学校体育館2階会議室の一部を借用して開設している天白小学校区第2放課後児童クラブが、宅地開発に伴う児童増に伴い手狭となったことから、専用施設を新築し、児童がのびのびと安全に過ごせる保育スペースの確保を図った。また、併せて旧幼稚園舎を使用する天白小学校区放課後児童クラブ施設について排煙設備の改修工事を行い、施設の安全性の向上を図った。

区分	事業内容	事業費	事業費内訳		
			工事費	委託料	手数料
天白小学校区放課後児童クラブ施設整備	天白小学校区放課後児童クラブ第2専用施設工事設計業務委託及び施設新築工事  場所：曾原町717番地 面積：（鉄骨平屋建）99.00㎡  天白小学校区放課後児童クラブ専用施設改修工事設計業務委託及び施設改修工事  場所：曾原町717番地 面積：（鉄骨平屋建）160.00㎡	26,216	24,226	1,972	18

○ 児童福祉費国県支出金返還金 1,952

平成23年度

国庫支出金	子ども手当事務取扱交付金	356
県支出金	放課後児童対策事業費県補助金	1,590
	病児・病後児保育事業補助金	6

施策の成果及び執行実績

○ 病児・病後児保育運営委託事業費 6,693

病気の回復期に至らない場合又は病気の回復期にあつて集団保育を受けることが困難な児童を持つ保護者が安心して就労ができるよう、医療機関に委託し当該児童を一時的に保育した。また、松阪市在住者だけでなく多気町、明和町、大台町の住民も利用できるよう、各町との協定に基づき広域対応を行った。(平成23年1月より広域対応開始)

- ・ 委託先 医療法人おおはし小児科(大足町671番地1)
- ・ 登録児童数 163人 (内訳) 松阪市157人、多気町3人、明和町3人、大台町0人
- ・ 延利用児童数 207人 (内訳) 松阪市201人、多気町2人、明和町4人、大台町0人

(目) 2 私立保育園費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,916,845	479,710	298,588		498,492	640,055

○ 私立保育園補助金 222,129

事業名	市補助金	交付先(園数)	実績内容
管理運営事業費補助金	83,886	14園(全園)	保育園運営に必要な管理運営に要する経費の一部を補助した。 ・ 定員割2,095人 児童割2,307人
延長保育促進事業費補助金	67,966	14園(全園)	午後6時から午後7時(1時間)の延長保育を実施する私立保育園に対し、その経費の一部を補助した。 ・ 延利用児童数17,968人
障がい児保育事業費補助金	44,039	11園	障がい児保育を実施する私立保育園に対し、障がい児を担当する保育士の配置(加配)に要する経費の一部を補助した。 ・ 対象保育士数20人 対象児童数27人
低年齢児保育推進事業費補助金	23,789	13園	低年齢児保育(0・1歳児)を実施する私立保育園に対し補助した。 ・ 延対象児童数6,036人 ・ 0歳児1,861人 1歳児4,175人
休日保育事業費補助金	2,449	1園	日曜日、祝日等の保育需要に対応するため、休日保育を実施するみどり保育園に対し、その経費の一部を補助した。 ・ 延利用児童数534人
計	222,129		

○ 私立保育園運営事業費 1,691,806

保育園名	児童数年間累計	扶助費	保育園名	児童数年間累計	扶助費
松阪仏教愛護園	1,489人	90,237	つくし第二保育園	1,499人	91,669
若葉保育園	1,922人	123,012	山室山保育園	2,237人	136,259
みどり保育園	2,060人	136,230	わかすぎ第二保育園	1,586人	116,073
つくし保育園	1,594人	101,758	つぼみ保育園	2,018人	111,537
神戸保育園	2,381人	137,766	ひまわり保育園	1,239人	70,011
久保保育園	2,105人	127,659	わかすぎ保育園	1,632人	113,087
さくら保育園	3,444人	220,390	嬉野保育園	2,057人	116,118
			計	27,263人	1,691,806



施策の成果及び執行実績

- 児童福祉費国庫支出金返還金 2,910

平成23年度

国庫支出金	保育所運営費国庫負担金	227
県支出金	保育所運営費県負担金	113
	保育対策等促進事業費補助金（延長保育促進事業）	2,472
	保育対策等促進事業費補助金（休日保育事業）	98

(目) 3 公立保育園費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,941,671	14,040	1,178		418,236	1,508,217

- 一般職員給 1,215,014

- 保育園外国語翻訳・通訳サポート事業費 7,201

外国籍児童の入園に伴い、翻訳通訳人を拠点の保育園に配置し、児童及び保護者との通訳や「保育園だより」「保健だより」等の翻訳、また面接・電話等による相談等を行った。

対象児童数100人（公立13保育園55人、私立13保育園45人）

外国語翻訳通訳人 3人（タガログ語2人、ポルトガル語1人）

- 保育園嘱託医・嘱託歯科医報酬 7,922

- ・ 小児科（内科）医による定期健康診断 対象 全児童 （年2回実施 延3,834人受診）
- ・ 歯科医による歯科健診 対象 2歳児～5歳児（年1回実施 延1,575人受診）

- 保育園管理運営事業費 665,294

公立保育園の非常勤職員人件費及び管理運営経費

非常勤職員種別	人数	非常勤職員種別	人数
正規補充保育士	122人	正規補充労務員	17人
産休代替保育士	3人	産休代替労務員	0人
育休代替保育士	20人	育休代替労務員	3人
病休代替保育士	3人	病休代替労務員	0人

保 育 園 名	児童数 年間累計	保 育 園 名	児童数 年間累計	保 育 園 名	児童数 年間累計
第一保育園	1,225人	花岡保育園	1,301人	三雲北保育園	1,958人
第二保育園	1,000人	みなみ保育園	386人	三雲南保育園	1,761人
白鳩保育園	1,072人	若草保育園	1,190人	飯南ひまわり保育園	482人
東保育園	765人	三郷保育園	1,564人	飯南たんぼぼ保育園	693人
西保育園	1,834人	駅部田保育園	1,279人	やまなみ保育園	603人
大河内保育園	738人	大津保育園	1,165人	かはだ保育園	204人
春日保育園	1,312人	ひかり保育園	1,491人	計	22,807人
つばな保育園	422人	ひかり保育園こだま分園	362人		

- 保育園フリー保育士配置事業費 32,578

病気やケガ等により保育士に欠員が生じたときに、一時的にその代替を行うための非常勤職員を雇用し、保育の円滑な実施を確保した。

フリー保育士 （第1種非常勤） 11人  
（第3種非常勤） 4人

- 延長保育事業費 4,079

就労形態の多様化等による延長保育に対するニーズに対応するため、午後6時から午後7時（1時間）の延長保育を実施した。

施策の成果及び執行実績

実施保育園	延利用児童数
第一保育園	672人
白鳩保育園	919人

- 保育園看護師等配置事業費 2,993

乳児（0歳児）等を多く抱える西保育園に看護師（1人）を配置し、保健・健康に関する指導・援助を行った。また、家庭環境に対する配慮など保育を行う上で特に配慮が必要とされる児童及びその家庭を多く抱える保育園を巡回し、保健・健康に関する相談・助言を行った。

- 松阪市同和保育研究協議会運営費補助金 100

保育園・幼稚園の職員が主体的に人権等における保育に取り組み、保育の推進と充実又資質の向上を図るため、運営に要する経費の一部を補助した。

交付先 松阪市同和保育研究協議会

- 保育園広域入園委託事業費 2,648

市内に居住する児童が、家庭の都合等により他の市町の保育園に入園の希望があったため、当該市町の保育園に入園を委託した。

2市2町 7保育園 8人

- 日本スポーツ振興センター災害共済給付掛金 725

保育園で発生した災害に対して災害共済給付を行い、保護者の経済的負担の軽減を図り、保育園運営が円滑に進むようにする制度に対して、保護者と設置者（市）が共済掛金を負担した。

災害発生件数 医療費給付 142件

- 保育園施設整備事業費 543

・ひかり保育園こだま分園下水道接続工事

- 各種団体等負担金 256

- 保育園一般経費 2,318

(目) 4 母子父子福祉費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
732,598	239,783	14,640			478,175

- 自立支援教育訓練給付金 0

雇用保険の教育訓練給付の受給資格を有していない母子家庭の母が、厚生労働大臣指定の教育訓練講座を受講した場合にその受講費用の一部を助成するため、広報活動等を行ったが、当該制度を利用する方がなかった。

- 高等技能訓練促進事業費 27,380

看護師等の資格を取得するために2年以上養成機関で修業する母子家庭の母に対して、修業期間中の生活の経済的負担を軽減するため、高等技能訓練促進費を毎月支給するとともに、入学支援修了一時金を卒業時に支給した。

支給対象者 高等技能訓練促進費：20人、入学支援修了一時金：9人

- 母子寡婦福祉会活動補助金 537

母子及び寡婦家庭の経済的自立、安定した生活の確保及び児童の健全育成を推進するために、当事者間の情報交換、各種福祉制度の研修などの事業費の一部に対して補助した。

このことによって、母子及び寡婦の家庭が抱える課題の軽減等につながった。

交付先 松阪市母子寡婦福祉会

施策の成果及び執行実績

○ 母子寡婦福祉資金貸付事務事業費 159

三重県の事務処理の特例に関する条例に基づき、三重県母子福祉資金及び寡婦福祉資金の貸付に係る申請書、届書書類等の受理及び県通達、貸付決定通知書等の交付に関する事務を実施した。

新規申請取扱件数 36件 三重県進達数 109件 利用者通知件数 1,273件

○ 児童扶養手当支給事業費 704,488

父母の離婚などにより、父又は母と生計を同じくしていない児童のいるひとり親家庭等の保護者に対し、児童扶養手当を支給した。

児童扶養手当認定者数 1,749人

○ ひとり親家庭等ファミリーサポートセンター利用支援補助金 35

ひとり親家庭等の父、母又は養育者がファミリーサポートセンターを利用した場合に、利用料金の一部を補助することにより、仕事と育児の両立を支援した。

利用者数 4人、延利用日数 102日

(目) 5 こども医療費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
466,384		149,526			316,858

○ 医療費助成事業費 466,384

平成24年4月より、対象年齢を4歳拡大し、中学校3年生学年末までとした。

医療費助成金（手数料含）	444,795,723円
その他事務経費	21,588,175円
助成件数	225,855件
受給者数の月平均	19,986人
年間1人当たりの医療費助成金	22,255円
1件当たりの医療費助成金	1,969円

(目) 6 一人親家庭等医療費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
95,166		46,096			49,070

○ 医療費助成事業費 95,166

医療費助成金（手数料含）	92,608,668円
その他事務経費	2,556,884円
助成件数	37,151件
受給者数の月平均	3,709人
年間1人当たりの医療費助成金	24,969円
1件当たりの医療費助成金	2,493円

(目) 7 児童センター費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
13,124				16	13,108

○ 一般職員給 10,882

○ 児童センター管理運営事業費 2,227

利用する児童等が常に快適に利用できる環境の維持に努めるとともに、リサイクル講座などの自主事業を開催し、健全で情操豊かな心身ともに健やかな児童を育成することに努めた。

施策の成果及び執行実績

・ 利用状況

区分	幼児	小学生	中学生	計
延利用児童数	1,324人	3,773人	1,638人	6,735人

年間開館日数 304日  
一日平均利用児童数 22.2人

・ 自主事業の状況

年月日	行事内容	参加人数
H24. 8. 1	リサイクル講座（ごみの分別体験）	32人
H24. 8. 11	東地区夏まつり※地域行事への参画	52人
H24. 8. 27	工作教室（PPバンドによる花飾、金魚作り）	42人
H24. 12. 15	工作教室（しめ縄作り）	28人
H24. 12. 22	押絵教室（干支飾り作り）	30人
H25. 2. 4	手芸教室（雛人形飾り作り）	25人
H25. 2. 18	手芸教室（切り絵作り）	26人
H25. 3. 26	交通安全教室（とまとーず）	41人
計		276人

○ 各種団体等負担金 15

(目) 8 家庭児童支援費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
15,487	6,736	2,891		78	5,782

○ 家庭児童相談事業費 5,078

児童にかかる教育相談、身体上・精神上の障がいに関する相談、家庭教育、非行・虐待などの家庭児童福祉に関する様々な問題を、児童相談所、女性相談所、警察署など関係機関と連携して、児童や女性など相談者の問題の解消又は不安の軽減を図った。特に、児童虐待の通告があれば児童相談所指針にもとづき48時間以内の現場確認の取り組みを継続しているところである。

		処理件数							計				
		面接指導			致児童相談所送	祉社司的障	主事・障害者福祉	へる都府知事		保の道府実	助護のまたは母子	産施に係	その他
		助言指導	継続指導	あ他機関あつせん									
養護相談	児童虐待相談	64	76		3								143
	その他の相談	67	37										104
保健相談		11	2										13
障がい相談	肢体不自由相談												0
	視聴覚障がい相談												0
	言語発達障がい等相談	2											2
	重症心身障がい相談		1										1
	知的障がい相談	3											3
	自閉症等相談		2										2
非行相談	ぐ犯行為等相談	1	1										2
	触法行為等相談	1											1
育成相談	性格行動相談		1										1
	不登校相談	2	4										6
	適性相談												0
	育児・しつけ相談	3	2										5
その他の相談		1										1	
計		155	126	0	3	0	0	0	0	0	0	0	284

施策の成果及び執行実績

○ 養育支援訪問事業費 187

児童相談所、健康センター、医療機関などの関係機関からの情報によって、特に養育支援が必要と判断した家庭に、専門的相談支援として保健師・保育士等による指導や助言を行い、また子育て経験者などから育児・家事に関する技術的支援を行い、個々の家庭が抱える養育に関する問題の解決又は軽減を図った。

事業委託先 特定非営利活動法人 三重県子どもNPOサポートセンター  
 育児・家事援助世帯数 2世帯  
 延訪問回数 15回 (15回×2人)

○ 子育て支援ショートステイ事業費 115

家庭において、生活問題等から児童の養育が一時的に困難となったとき、または、母子が夫等の暴力によって緊急一時的に保護が必要なときに、当該児童を児童養護施設や乳児院に対し一時的に養育委託又は保護委託をおこない、当該児童の安全確保と生活問題等の解決への支援を図った。

児童養護施設 3世帯 3回 延18日間

○ 一日里親事業費 58

児童養護施設に入所している児童を三日間、理解のある篤志家（里親）で預かり、温かい家庭生活を体験してもらい、児童の社会性の体得と健やかな成長の熟成を図った。

対象児童数 8人 里親委嘱世帯数 8世帯

○ 交通遺児入進学卒業祝金支給事業費 60

交通事故によって両親あるいは父母のいずれかを失った児童に対し、小学校入学、中学校入学及び中学校卒業のときに祝金を支給した。

中学校卒業 2人×30,000円=60,000円

○ 女性保護事業費 64

売春防止法に基づいて保護を必要とする女子について、その転落を未然に防止するとともに保護更生をはかるために、また、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律に基づいて、配偶者からの暴力の被害者である女性（暴力被害女性）の保護を図るため、啓発活動を行うとともに保護を必要とする女子及び暴力被害女性の早期発見と相談支援を、女性相談所及び警察署との連携のもとに推進した。

＜相談主訴別＞		来所	電話	巡回	その他	計
人間関係	夫等	96件	94件	37件	4件	231件
	子ども	70件	222件	88件	6件	386件
	親族	10件	1件	1件		12件
	その他	30件	56件	28件	7件	121件
住居問題		15件	9件	9件	1件	34件
帰住先なし			4件	3件		7件
経済関係		26件	22件	12件	4件	64件
医療関係		70件	104件	58件	3件	235件
計		317件	512件	236件	25件	1,090件

○ 母子生活支援施設入所事業費 4,527

配偶者がいない女子又はこれに準ずる事情にある女子及びその者の監護すべき児童に、虐待その他の事情によって保護を必要とするときに、その女性及び児童を母子生活支援施設に保護をした。

母子生活支援施設（県内2か所、県外1か所）  
 入所者 3施設 3世帯 8人

○ 助産施設入所事業費 5,299

妊産婦が保健上必要があるにもかかわらず、経済的理由によって入院助産を受けることができない場合に、指定助産施設に入所させ、母子の安全を確保した。

助産施設入所者数 15人

○ 家庭児童支援一般経費 99

家庭児童支援に関する一般経費。

施策の成果及び執行実績

(目) 9 児童発達支援費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
63,247	19,008	9,504		15,962	18,773

○ 小児慢性特定疾患児日常生活用具給付事業費 0

小児慢性特定疾患治療研究事業の対象児に対し、日常生活用具を給付する事業であるが、給付申請をする方がなかった。

○ 児童発達支援給付事業費 39,451

心身の発達が気になる児童又は障がいがある児童が、機能訓練や基本的な生活習慣訓練等の療育支援を必要とする場合に、児童福祉法により、就学前児童には児童発達支援サービス、就学期児童は放課後等デイサービスの支給決定をおこない、受給者証を交付した。

また、児童福祉法の規定により当該サービスを利用するために障害児相談支援事業所のサービス等利用計画が必要となることから、全支給決定した児童に、順次、相談支援給付の決定をおこなった。

児童発達支援サービス	797件
放課後等デイサービス	454件
障害児相談支援サービス	199件

○ サマースクール事業費 1,300

就学している障がい児に対して、学校の夏休み期間中に地区市民センターなどを利用して日中活動の場を提供して、音楽療法及びレクリエーションなどのデイサービスを地域のボランティアの協力を得ながら実施し、保護者等の介護負担の軽減を図った。

開催日数	16日	会場	5会場
参加者	延201人	ボランティア等	延302人
委託先	特定非営利活動法人 エールの会		

○ 児童発達支援施設運営事業費 15,298

児童福祉法の規定により、児童発達支援事業所として指定を受け、心身の発達が気になる又は障がいのある就学前の児童の機能訓練、基本的な生活習慣訓練及び社会適応訓練などの療育支援をおこなった。

所在地	松阪市殿町1360番地16	松阪市福祉会館内
開設状況	年間開所日数 245日	年間利用人員数 2,205人

○ 児童発達支援一般経費 7,199

児童発達支援に関する一般経費。

## 施策の成果及び執行実績

## (目) 1 生活保護総務費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
242,749	1,341	6,737		38	234,633

- 一般職員給 187,111
- 嘱託医師報酬 900

医療検討会を年間10回開催し延べ360ケースについて医学的な立場から稼働の可否等について指導助言を受けた。また医療機関から提出された「医療要否意見書」9,098枚について書類審査を受けた。

- 生活保護適正実施推進事業費 1,342

事業名	事業内容	事業費	成果
診療報酬明細書等点検充実事業	診療報酬明細書の内容点検業務を専門知識を有する事業者へ委託し医療扶助の適正実施を図った。	709	年間52,238件のレセプト点検を実施し、算定内容について932件の再審査を請求した。その結果139件569千円の過誤返戻金の決定を得た。
扶養義務調査等充実事業	生活保護継続世帯の扶養義務調査を行った。また訪問面談による扶養義務の履行促進を図った。	407	継続世帯の扶養義務調査339件、関係先機関調査762件を実施した。県外在住の扶養義務者9人を訪問面談し扶養義務の履行を求めた。その結果、8人から緊急連絡先の確保と精神的支援を得た。
関係職員研修啓発事業	生活保護業務の適正実施に向けて職員の知識と技能の向上及び業務関連書籍の充実を図った。	226	講師を招き研修会を1回開催し業務推進の手法を学び情報共有を行った。また最新の業務解説書・指導書籍等を購入配備した。その結果業務手順・判断基準の標準化が進み適正で効率的な業務が遂行できた。
計		1,342	

- 住宅手当緊急特別措置事業費 3,643

事業名	事業内容	事業費	成果
住宅手当緊急特別措置事業	離職により住宅を失ったり失うおそれのある者に対し、住宅費を補助することにより住宅の確保及び就労機会の確保に向けた支援を行った。	3,643	申請のあった22世帯に対し、延べ84か月分の住宅費補助金を支給し支援を行った。

- 生活保護受給者就労支援事業費 3,108

事業名	事業内容	事業費	成果
生活保護受給者就労支援事業	就労支援相談員を雇用し自立に向けて積極的な就労支援を行った。	3,108	特に稼働能力を有すると思われる世帯を対象に積極的な就労支援を行った結果、20世帯が新たに就労開始しうち8世帯が自立となった。

- 生活保護費国県支出金返還金 33,734

前年度生活保護適正実施推進事業にかかる国庫補助金精算に伴う返還金

- 生活保護一般経費 12,911

生活保護法の実施運営に伴う事務経費、人件費等

施策の成果及び執行実績

(目) 2 扶助費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
4,470,016	3,351,346	93,162		38,034	987,474

○ 生活保護扶助費 4,470,016

扶助費

区 分	対象人員 (年間)	対象人員 (月平均)	扶助費	構成比
生活扶助	31,812	2,651	1,540,121	34.45 %
住宅扶助	28,224	2,352	555,285	12.42 %
教育扶助	2,608	217	27,657	0.62 %
介護扶助	5,284	440	89,456	2.00 %
医療扶助	29,139	2,428	2,195,661	49.12 %
出産扶助	5	1	455	0.01 %
生業扶助	623	52	12,110	0.27 %
葬祭扶助	79	7	12,303	0.28 %
施設事務費	247	21	36,968	0.83 %
計	98,021	8,169	4,470,016	100.00 %

生活保護の状況 (平成24年度平均)

被保護世帯	2,092	世帯
うち高齢世帯	920	世帯
被保護人員	2,651	人
保護率	17.5	‰ ※

※‰ (パーミル) = 千分率



(款) 3 民生費 (項) 5 災害救助費

施策の成果及び執行実績

(目) 1 災害救助費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
896				156	740

○ 小災害見舞金 740

区 分	1件当たりの金額	件数	見舞金
半 焼 (壊)	50千円	2世帯	100千円
全 焼 (壊)	80千円	7世帯	560千円
水 損	30千円	2世帯	60千円
入院 (30日以上)	20千円	1人	20千円

○ 災害救助基金積立金 156 (平成24年度末現在高 31,387)

(款) 4 衛生費

(項) 1 保健衛生費

(単位 千円)

## 施策の成果及び執行実績

## (目) 1 保健衛生総務費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
210,519				3,293	207,226

○ 一般職員給 210,275

○ 松阪市民病院建設基金積立金 244 (平成24年度末現在高 49,166)

## (目) 2 環境衛生費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
223,840	48,675	44,499		5,038	125,628

○ 環境衛生事業費 216,028

事業名	概要・成果	事業費
浄化槽設置促進事業費		133,690
浄化槽設置整備補助金	合併処理浄化槽の普及を図り、公共用水域の水質汚濁防止、生活環境の保全を図ることを目的として、一定区域内における合併処理浄化槽の設置者に対しその費用の一部を補助した。  補助金額      設置基数 5人槽            332,000円      210基 7人槽            414,000円      144基 10人槽           548,000円      7基	133,172
浄化槽設置整備事務費	合併処理浄化槽設置整備事業補助金制度導入に伴う補助金申請情報について、パソコン等を活用した地図情報管理システムにより、情報等の管理業務を行った。	518
埋火葬・浄化槽届出等受理事業費	臓器等の火葬取扱及び浄化槽等の届出受理業務 臓器16件、浄化槽設置届出書等475件	63
行旅死亡人取扱事業費	行旅病人及び行旅死亡人取扱法による死亡人の取扱事業費	111
公衆便所管理事業費	中町、駅西公衆便所の維持管理	3,900
環境衛生一般経費	市の防災計画に基づき、防疫薬剤の備蓄を行う等、各地域の公衆衛生に貢献した。	300
戸別合併処理浄化槽整備事業特別会計繰出金	飯南、飯高管内において実施する戸別合併処理浄化槽整備事業特別会計にかかる繰出金	77,964
計		216,028

○ 狂犬病予防対策事業費 7,811

事業名	概要・成果	事業費
畜犬登録等事業費	狂犬病予防法に基づき、犬の登録及び狂犬病予防注射を実施した。  犬の登録業務については、4月の集合注射時、随時市窓口、市内獣医で行った。  登録頭数 895頭      狂犬病予防注射件数 9,779件	5,036

施策の成果及び執行実績

事業名	概要・成果	事業費
犬猫去勢避妊手術費補助金	捨て犬・捨て猫の予防策の一つとして繁殖を制限する去勢避妊手術費の一部を補助した。 犬 オス 154頭      メス 158頭 猫 オス 237匹      メス 376匹	2,775
計		7,811

(目) 3 環境保全費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
14,325				50	14,275

○ 大気環境調査事業費                      948

市内の大気環境を把握し、大気汚染防止対策の資料とするため、二酸化硫黄、二酸化窒素、ダイオキシン類の調査を実施した。

区 分	調 査 項 目	調 査 地 点	測 定 回 数	測 定 結 果
大気環境調査	二酸化硫黄	2地点	連続	昨年度と同様顕著な変化はなく、環境基準値以下。
	二酸化窒素	14地点	12回/年	
	ダイオキシン類	1地点	1回/年	

○ 水質環境調査事業費                      5,082

市内の公共用水域の水質状況を把握するため河川等水質、海域水質、河川底質、ダイオキシン類の調査を実施した。

区 分	調 査 項 目	調 査 地 点	測 定 回 数	測 定 結 果
河川水質調査	生活環境項目	36地点	21河川 36地点 1回～6回/年	河川水質調査、海域水質調査については、有害物質の超過なし。地下水調査、河川底質調査、ダイオキシン類調査についても、基準値以下。
	健康項目	11地点		
	要監視項目	3地点		
	農薬水質評価指針	3地点		
	その他項目	11地点		
地下水調査	健康項目	2地点	1回/年	
海域水質調査	7項目	5地点	4回/年	
河川底質調査	5項目	9地点	1回/年	
ダイオキシン類調査	ダイオキシン類	3地点	1回/年	

○ 騒音・振動調査事業費                      1,928

市内の環境騒音、交通振動、自動車騒音の調査を実施した。

区 分	調 査 項 目	調 査 地 点	測 定 回 数	測 定 結 果
環境騒音調査	環境騒音	9地点	1回/年	環境基準値以下。
交通振動調査	交通振動	2地点		
自動車騒音常時監視に係る騒音調査	自動車騒音	3路線		

施策の成果及び執行実績

○ 事業場調査事業費 3,085

公害防止協定締結事業場等の排水・排ガス・悪臭・騒音・振動の調査を実施した。

区分	事業場数	測定結果
排水調査（事業場）	48事業場	公害防止協定締結事業場の監視、指導のため抜き打ちで実施。調査の結果、有害物質の超過なし。
排水調査（ゴルフ場）	6事業場	
排ガス調査	8事業場	
悪臭調査	8事業場	
想定外の調査	3事業場	
騒音調査	38事業場	
振動調査	39事業場	

○ 環境啓発活動事業費 639

環境に関する市民の意識と認識を高めるために啓発活動を実施した。

- ・ 環境月間(6月)の啓発  
(懸垂幕の掲示、市広報紙への掲載)
- ・ 景観修景用原材料費等
- ・ 緑のカーテン事業  
(環境パートナーシップ会議会員の協力のもとゴーヤ・アサガオの苗3,960株配布)

○ Matsusaka-EMS事業費 247

平成23年度に新しい環境マネジメントシステムの運用を一部開始したが、平成24年度より、各課等独自の個別目標の設定、内部環境監査、外部環境監査も実施し本格的な運用となった。

また、地球温暖化対策率先実行計画（エコフィスアクションプログラムまつさか）の第3期計画を策定した。

○ 生活排水対策推進協議会事業費 92

- ・ 健康フェスティバル2012での啓発（平成24年9月9日）  
参加人員：3,600人、啓発人員：1,000人
- ・ 協議会 1回開催（平成25年3月21日）

○ 環境基本計画策定事業費 307

平成23年度に中間見直しを行った「松阪市環境基本計画」の概要版を1,000部作成し、本庁及び各地域振興局や各地区市民センター等の窓口に配架した。

○ 環境保全審議会事業費 0

本年度は審議する案件がないため審議会を開催しなかった。

○ 環境審議会事業費 100

審議会1回開催（H25.2.14）

○ 環境パートナーシップ会議事業費 265

うるおいある豊かな環境の保全と創造に向けた取り組みをより実効あるものとするため、「松阪市環境パートナーシップ会議」を推進母体として、市民、市民団体、事業者、行政の協働のもと事業に取り組み、さらなる会員の拡充や市民等への普及啓発に努めた。また、共通の目標を持って取り組める体制づくりを整え、各部会やプロジェクトチームの充実を図り、会員の学習会も行った。市民の投票による「緑のカーテンコンテスト」も2回目の実施となった。

- ・ 環境パートナーシップ会議開催  
全体会（1回開催）H24.12.11  
市民・市民団体部会 H24.5.15 事業者部会 H24.6.8  
環境フェアプロジェクト会議（4回開催）  
H24.7.5 H24.8.9 H24.9.10 H24.10.17  
緑のカーテンプロジェクト会議（3回開催） H24.6.20 H24.9.5 H25.3.28

施策の成果及び執行実績

- ・ 緑のカーテン啓発活動  
 苗配布 H24. 5. 27  
 緑のカーテンコンテスト 応募件数 48件  
 コンテスト期間 H24. 9. 15～H24. 10. 28 (市民の投票により決定)  
 表彰式 H24. 12. 11
- ・ CO2削減/ライトダウンキャンペーンへの参加及び市民・事業者への協力依頼  
 H24. 6. 21 H24. 7. 7
- ・ 夏休み親子環境学習会開催 2回 H24. 8. 23 (参加21人) H24. 8. 24 (参加22人)
- ・ 環境フェア開催 (於ベルファーム) H24. 9. 15～H24. 9. 17 (来場者数 延787人)
- ・ 会員学習会 H25. 2. 18

○ 環境保全一般経費 1, 631

(目) 4 火葬場墓地費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
113, 840				51, 205	62, 635

○ 一般職員給 33, 275 (特殊勤務手当 142)

○ 施設管理運営事業費 80, 565

事業名	概要・成果	事業費
火葬施設解体事業費	嬉野清水筋違共同火葬場解体工事	2, 333
市営葬儀業務事業費	火葬、霊柩車の搬送、葬祭室貸出、葬儀飾り付け、犬猫火葬を行った。 火葬 1, 583件 霊柩車 1, 012件 葬祭室貸出 247件 (室1: 171件、室2: 76件) 納棺 281件 葬儀飾り付件数 251件 犬猫火葬 犬 993件 猫 636件	20, 769
篠田山火葬場管理事業費	篠田山霊苑内施設(管理棟、火葬棟、納骨堂、公衆便所)の維持管理経費	23, 656
篠田山墓地管理事業費	篠田山霊苑の維持管理経費 霊苑看板製作・設置、草刈業務、苑内維持管理業務等	6, 731
嬉野斎場管理事業費	嬉野斎場の施設の維持管理及び火葬業務、通夜・告別式場貸出、犬猫の火葬業務 火葬 154件 通夜 106件 告別式 102件 犬猫火葬 犬 278件 猫 124件	14, 878
三雲火葬場管理事業費	火葬業務の運営および施設の維持管理 火葬 127件	4, 937
飯南火葬場管理事業費	飯南火葬場の施設の維持管理及び火葬業務、犬猫の火葬業務 火葬 77件 犬猫火葬 犬 25件 猫 9件	7, 261
	計	80, 565

(目) 5 予防費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
612, 644		80, 205		3, 632	528, 807

○ 一般職員給 176, 990

施策の成果及び執行実績

○ 食生活改善推進員支援事業費 477

「食」を通じた健康づくりの活動を主体的に行う食生活改善推進員に対し、健康づくりのための知識や技術のスキルアップを図り、市が実施する保健事業への協力を得た。また、食生活改善推進員養成講座を開催し、修了された26人のうち、25の方が平成25年度より松阪市食生活改善推進員として活動を開始することとなった。

食生活改善推進員養成講座

- ・ 実施回数 4回
- ・ 参加延人数 95人

○ 献血推進協議会運営費補助金 172

松阪市献血推進協議会が行う献血活動への一層の理解・協力を求めるための啓発活動及びイベント献血・定期献血等の取り組みに対して補助した。

- ・ 献血者数 2,346人
- ・ マーム定期献血 12回
- ・ イベント献血（歯の健康まつり・健康フェスティバル等） 3回
- ・ 市内及び事業所献血 93回

○ 予防接種事業費 246,788

予防接種法に基づいて、伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防するために、疾病の予防に有効であることが確認されているワクチン接種を医療機関に委託実施し、公衆衛生の向上及び増進を図った。

- ・ 乳幼児、児童生徒：法律に定められた各種予防接種を行った。
- ・ 平成20年度から平成24年度までの5年間、予防接種制度の一部変更に伴う時限措置としてMR3・4期を実施した。
- ・ 65歳以上の高齢者、及び60歳から65歳未満で心臓、腎臓、呼吸器等の障害を有する者の健康の保持増進とインフルエンザの流行を防止するため、インフルエンザ予防接種を行った。
- ・ 平成23年5月に法改正があり、日本脳炎の特例対象者（平成7年6月1日～平成19年4月1日生）が20歳未満までの間に平成17年の積極的勧奨の差し控えにより影響を受けた未接種分の接種が可能となった。

予 防 接 種 区 分		接 種 者 数	予 防 接 種 区 分		接 種 者 数	
乳幼児（個別）			児童・生徒（個別）			
急性灰白髄炎 (生ポリオ)	1回目	701人	日本脳炎	2期（小4、未接種者）	827人	
	2回目	1,033人		特例1期初回 (小4、未接種者)	271人	
急性灰白髄炎 (不活化ポリオ)	1期初回	3,355人		特例1期追加 (小4、未接種者)	421人	
	1期追加	3人		二種混合 (小6、未接種者)	2期	1,318人
日本脳炎	1期初回	3,093人		MR	3期	1,355人
	1期追加	1,366人			4期	1,324人
風しん	1期	0人	風しん	3期	3人	
	2期	0人		4期	0人	
麻しん	1期	0人	麻しん	3期	0人	
	2期	0人		4期	0人	
MR	1期	1,406人	高齢者等（個別）			
	2期	1,363人	インフル エンザ	60歳～64歳	57人	
四種混合	1期初回	777人		65歳以上	23,599人	
	1期追加	0人				
三種混合	1期初回	3,360人				
	1期追加	1,453人				
BCG	生後6か月まで	1,371人				

\* 上記の接種者数に含まない治験または県外接種者  
日本脳炎特例1期追加1人、インフルエンザ2人

施策の成果及び執行実績

○ 感染症予防事業費 437

65歳以上の方に住民結核検診を行った。

住民結核検診 受診者数 139人

異常なし	要経過観察	要精密	要医療
135人	2人	2人	0人

○ 予防接種事故対策事業費 11,626

MMR及び種痘接種により健康被害を受け、厚生労働省より障害年金等受給の認定を受けた方に医療費・医療手当・障害年金を支給した。

○ 結核(BCG)予防接種費補助金 85

医学的な事由でBCG定期接種(生後6か月以内)を受けることができなかった乳児の保護者に対し、任意接種に係る費用の全部または一部の助成を行った。(14件)

○ 食生活改善推進協議会補助金 650

「食」を通じた健康づくりの活動を主体的に行うとともに市や地域が行う健康づくり等の行事への参加協力により、市民の健康増進に寄与する松阪市食生活改善推進協議会の活動を補助した。

- ・ 会員数 171人 延活動回数 305回
- ・ 活動内容 生活習慣病予防や親子・高齢者等の健康料理教室の開催、健康づくり事業への参加協力等。

○ 子宮頸がん予防ワクチン接種事業費 32,410

子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業に基づき、疾病の予防に有効である子宮頸がん予防ワクチン(任意接種ワクチン)に対して、医療機関に委託実施し、公衆衛生の向上及び増進を図った。

- ・ 期間 平成24年4月1日～平成25年3月31日
- ・ 対象者 平成7年4月2日～平成12年4月1日生対象(中1～高2年齢相当の女性)  
標準接種年齢：中学1年生

ワクチン	対象者	被接種者数 (1回目)	被接種者数 (2回目)	被接種者数 (3回目)
子宮頸がん予防	3,880人	576人	640人	767人

(注) 標準接種年齢の対象者：733人

○ ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチン接種事業費 128,276

子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業に基づき、疾病の予防に有効であるヒブ・小児用肺炎球菌ワクチン(任意接種ワクチン)に対して、医療機関に委託実施し、公衆衛生の向上及び増進を図った。

- ・ 期間 平成24年4月1日～平成25年3月31日
- ・ 対象者 接種時点において、生後2か月～4歳まで  
標準接種年齢：生後2か月～7か月

ワクチン	対象者	被接種者数 (1回目)	被接種者数 (2回目)	被接種者数 (3回目)	被接種者数 (追加)
ヒブ	7,370人	1,741人	1,506人	1,463人	1,697人
小児用肺炎球菌	7,370人	1,832人	1,586人	1,441人	1,327人

(注) 標準接種年齢以外の接種も含む。

\*上記の接種者数に含まない県外接種者 ヒブ追加1人

○ 高齢者肺炎球菌ワクチン接種助成事業費 9,794

肺炎の予防に有効である肺炎球菌ワクチン(任意接種ワクチン)について、高齢者を対象にその接種費用の一部助成を実施した。

- ・ 期間 平成24年6月1日～平成25年3月31日
- ・ 対象者 高齢者インフルエンザ接種事業の対象者と同様
- ・ 接種者数 ①65歳以上の高齢者：2,774人 ※内、償還払い対応17件  
②60～65歳未満の高齢者：2人

○ 各種団体等負担金 196

施策の成果及び執行実績

○ 予防一般経費 4,742

(目) 6 母子保健費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
183,313	3,987	37,217		92	142,017

○ 母子保健事業費 161,133

- 母子健康手帳の交付  
妊娠届提出時等に交付した。 妊娠届出数 1,441件 発行数 1,483件
- 妊婦健康相談  
母子健康手帳交付時に実施した。 相談件数 17件
- 妊婦一般健康診査  
母体の健康保持・増進のため、医療機関等に委託して健康診査を実施した。

健診項目

- 1回： 基本的な妊婦健康診査  
(問診及び診察、血圧測定、体重測定、尿検査)  
妊娠初期血液検査  
子宮頸がん健診(細胞診)  
超音波検査
- 2～5回・7・9・11～14回：基本的な妊婦健康診査
- 6回： 基本的な妊婦健康診査  
血液検査(血算、血糖、HTLV-1抗体)  
性器クラミジア検査  
超音波検査
- 8回： 基本的な妊婦健康診査  
超音波検査
- 10回： 基本的な妊婦健康診査  
血液検査(血算)  
B群溶血性レンサ球菌 (GBS) 検査  
超音波検査

回数	受診者数
1回	1,405人
2回	1,416人
3回	1,392人
4回	1,381人
5回	1,364人
6回	1,373人
7回	1,439人
8回	1,279人
9回	1,238人
10回	1,283人
11回	1,161人
12回	941人
13回	671人
14回	386人
合計	延16,729人

・ パパママ教室

妊娠中の夫婦を対象に、妊娠模擬体験・沐浴実習・抱っこ体験・おむつ交換等の実習や、出産・母乳・食事・歯科等の内容で、妊婦の健康管理と父親の育児参加を促した。

開催回数 18回 受講者数 266人

- 妊産婦訪問指導  
妊婦一般健康診査の結果等をもとに実施した。
- 新生児訪問指導  
生後28日未満児を対象に、家庭を訪問し、身体計測や育児指導、情報提供を行った。
- 乳児家庭全戸訪問事業  
生後4か月未満児のいる家庭を訪問し、不安や悩みを聞き情報提供を行うとともに、児の発育状況や保護者の心身の状況、養育環境の把握、助言を行った。
- 乳幼児訪問指導  
乳幼児健康診査の結果または電話相談等により、訪問指導が必要と思われる家庭を訪問し、保健指導を実施した。

訪問別	実人数	延人数
妊婦	18人	25人
産婦	1,306人	1,541人
全戸訪問	1,299人	1,395人
内 訳	未熟児	95人
	新生児	78人
	4か月未満	1,126人
乳児 *1	67人	146人
幼児	221人	307人
小学生以上	13人	14人
中学生以上	0人	0人
合計	2,924人	3,428人

\*1 乳 児：母子保健法上は1歳未満とされるが、本表では「生後4か月以降1歳未満」



施策の成果及び執行実績

・ 乳児一般健康診査(4か月、10か月)

医療機関に委託し、専門医により乳児の発育・発達が順調であるかを確認するとともに、異常の早期発見・離乳指導及び育児生活指導・予防接種の指導を行った。

区分	対象者数	受診者数	受診率	受診結果		
				異常なし	要指導等	未記入
4か月児	1,451人	1,416人	97.6%	1,289人	127人	0人
10か月児	1,494人	1,372人	91.8%	1,214人	158人	0人
計	2,945人	2,788人	94.7%	2,503人	285人	0人

・ ことばの相談

言語発達の面で経過観察・指導を必要とする幼児とその保護者を対象に、言語聴覚士による相談、指導を実施した。

実施回数 15回 相談者延人数 43人

・ 幼児相談

健康診査等で言語発達や精神発達、情緒面において経過観察を必要とする幼児とその保護者を対象に、心理判定員による相談指導と発達検査を実施した。

実施回数 88回

対象児	1歳6か月児健診事後	3歳児健診事後	その他
相談者延人数	44人	54人	271人

・ 健康教育

子どもの発達段階に応じた育児、健康な習慣の確立のため必要な知識や情報を提供し、保護者同士の交流の場を設けることで保護者自身の育児の力を持てるようにした。また、子どもたちに生涯を通じた豊かな「こころ」と「からだ」の健康づくりを子ども自身で実践できるような機会を提供し、子どもの健康が保持増進されることを目的に実施した。

区分	対象者等	開催回数	人数	
モグモグ教室	5～7か月(飯南・飯高は、3～8か月)の乳児と保護者	15回	484人	
幼児食教室	1歳6か月～2歳児の幼児と保護者	2回	49人	
子育て教室	乳幼児と保護者(地区市民センター等で実施)	29回	917人	
各地区乳幼児健康教育	各地区市民センターや子育て支援センター等で対象年齢に応じて実施	87回	2,955人	
学童への健康教育	小中学生(依頼があった場合に実施)	18回	375人	
その他	主任児童委員交流会	1回	36人	
	歯の健康まつり	(再掲:母子健康教育対象者数)	1回	900人
	健康フェスティバル		1回	300人
	松阪看護専門学校オリエンテーション		1回	44人
	出前講座(港地区)	1回	21人	
合計		156回	6,081人	

・ 歯科健康教育

乳幼児・学童期における正しいブラッシングの方法について学び、う蝕予防や歯周病予防につなげるため児童・保護者を対象に実施した。

区分	対象者等	開催回数	人数
ピカピカ教室	2～3歳の幼児と保護者	5回	88人

・ 乳幼児健康相談

発育の状況確認や乳幼児の健康的な生活習慣を身につけられるよう育児全般にわたって健全な発育ができるよう保健指導を実施した。

実施会場 10会場 実施回数 127回  
参加人数 1,229人 参加延人数 4,116人

施策の成果及び執行実績

- ・ 離乳食・幼児食相談  
離乳食・幼児食・体重増加等について、管理栄養士により必要な支援及び助言を行った。  
実施回数 12回 実施延人数 71人
- ・ こども歯みがき相談  
歯科衛生士による口腔状態の確認と口腔清掃方法の個別指導、また、1歳6か月児健康診査の事後指導の場として実施した。  
実施回数 17回 実施延人数 184人
- ・ 電話相談  
母子の健康や育児に関する相談について、電話相談を実施した。  
相談件数 357件
- ・ 子育てサークル支援事業  
いきいきと楽しく地域に根ざした子育てができ、子育てを支えあえる力量を身につけ、また、子育てサークルが活動の幅を広げられることを目的に実施した。
  - ・ 必要に応じて、サークルと市の協働で子育ての情報発信を行った。
  - ・ 子育て交流会・勉強会へ参加した。
  - ・ サークルからの依頼により、保健師・管理栄養士・歯科衛生士が健康教育を行った。（おもちゃなど運営に必要な物品の借用も含む。）

支援サークル

本庁	松尾キッズ、音で遊ぼう♪すまいる、大石っ子クラブ、くれっしえんど、げんキッズ、かるがも、MINAMI、親子ヨガ、ねむの木、絵本読み聞かせ講座「ぐりとぐら」
嬉野	子育てサークル「バルーン」
飯南	絵本サークル「ぐりとぐら」、どろんっ子

支援内容

サークル訪問	5サークル 8回 137人
サークル運営等の相談	4サークル 6回
物品の貸し出し	2サークル 6回
サークルへの健康教育	2サークル 5回 135人
サークル交流会	7サークル 2回 110人

○ 1歳6か月児健康診査事業費 5,455

- ・ 1歳6か月児健康診査  
月年齢に応じた発達・発育の確認と異常の早期発見や相談、育児・生活に関する保健指導、予防接種の指導を実施した。（問診、身体計測、小児科・歯科健診、保健指導等）

年43回実施 対象者数 1,418人、受診者数 1,383人、受診率 97.5%

区分	総合判定	
	異常なし	要指導・要経過観察等
小児科	1,168人	215人
歯科	427人	956人
精神面	968人	415人

- ・ コアラ教室（1歳6か月児・3歳児健診事後教室）  
1歳6か月児・3歳児健康診査で、運動発達・社会言語発達の面で経過観察を要する幼児と保護者を対象に集団の場を提供し、遊びを通じて保護者が幼児への関わりを振り返り、家庭での実践に結びつけ、幼児の豊かな発達を促すことを目的に実施した。

施策の成果及び執行実績

区 分	対象登録 児数	参加延人数				実施回数
		児(男)	児(女)	兄弟姉妹	保護者	
小さい子クラス	41人	119人	54人	32人	185人	12回
大きい子クラス	32人	144人	22人	46人	174人	12回
計	73人	263人	76人	78人	359人	24回

○ 3歳児健康診査事業費 5,895

幼児期において身体発育及び精神発達の面から最も重要な時期である3歳児の全てに対して、医師・歯科医師等による総合的な健康診査を実施し、その結果に基づき適切な指導及び処置を実施した。また、同時に予防接種の指導を実施した。

健康診査 43回 二次スクリーニング 11回  
対象者 1,476人 受診者数 1,396人 受診率 94.6%

総合判定	異常なし	要指導・要精密・要治療等
小児科	1,235人	161人
歯 科	621人	774人
精神面	1,123人	273人
耳鼻科	1,347人	49人
眼 科	1,284人	112人

(歯科で未受診者1人あり)

精密検査結果

	受診者数
身体面	10人
眼 科	17人
耳鼻科	0人
精神発達	54人

○ 特定不妊治療費補助金 7,349

特定不妊治療を受けられた夫婦に対し、治療に係る費用の一部助成を行った。

補助実人数 64人

○ 妊婦健診県外受診費補助金 3,262

里帰り出産等により、三重県外の産科医療機関等で妊婦健診を受診した妊婦に対し、健診に係る費用の全部または一部の助成を行った。

補助実人数 113人

回数	受診者数	回数	受診者数
1回	11人	8回	39人
2回	12人	9回	68人
3回	17人	10回	75人
4回	15人	11回	87人
5回	20人	12回	81人
6回	22人	13回	60人
7回	56人	14回	37人
		合計	延600人

○ 未熟児養育医療給付事業費 219

県からの権限移譲により平成25年4月1日から開始する同事業について、システム導入などの準備を行なった。

(目) 7 健康増進事業費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
283,273	13,780	6,820		106	262,567

○ 健康づくり推進事業費 2,260

平成24年3月に策定した「松阪市健康づくり計画」(H24年度～H28年度)を広く市民に周知し、重点目標である「健診を受けよう!」「もっと歩こう!」「野菜を食べよう!」について理解を深め、市民自ら積極的に取り組むことができるよう啓発した。

- ・ 健康づくり推進協議会の開催(事業報告・計画協議) 2回
- ・ 松阪市健康づくり計画冊子増刷 2,000冊
- ・ 松阪市健康づくり計画 ダイジェスト版作成

新婚生活編 1,500部、中学生編 2,000部、働き盛り編 2,000部

施策の成果及び執行実績

- 健康づくり講演会開催 1回 参加人数 173人  
5月23日 松阪市産業振興センター
- ケーブルテレビ等を活用した健康情報の発信  
「いきいき健康情報」 12か月（毎月1週間）放映
- いきいきウォーキングの実施 6回 参加人数 379人  
（内訳：中部台運動公園コース 2回 152人、飯南茶畑コース 69人、飯高珍布峠コース 67人、三雲碧川コース 36人、嬉野保健センター 55人）
- ウォーキングサポーターの養成 養成講座修了者数 43人  
市民のウォーキングの推進と普及のため、ウォーキングサポーターを養成し、市のイベントでサポーターとして参加し活躍できるよう支援した。
- いきいきウォーキングマップの配布 300冊
- ウォーキング記録帳の配布 300冊
- 住民協議会を中心に各地区での計画啓発の講座・重点目標の啓発講座の開催  
※詳細は、各地区健康教育参照
- 健康づくり食育推進会議の開催  
関係各課（県保健福祉事務所・学校支援課・給食管理課・こども未来課・健康推進課・地域住民課）で会議（6回）を開催し、食育推進事業を推進した。
- 野菜普及の啓発冊子「野菜を食べよう！～作ってみよう 人気の給食レンピ～」  
4,000部 作成
- 健康づくり虹倶楽部の活動支援 会員数 151人  
住民が主体となった健康づくりの輪を広げる活動を支援した。  
健康づくり事業・啓発活動回数：41回 参加人数：6,233人、定例会等回数：87回

管内	会 名	管内	会 名
本庁	大河内地区ささゆり会	本庁	西黒部地区はまぼうクラブ
	東黒部地区ひまわり会		徳和ヘルシーいいなクラブ
	大石地区いきいきクラブ		掬水はつらつクラブ
	茅広江地区やまばと会	飯南	飯南地区プリ茶club

- 健康づくり嬉野Uの会へ委託し、健康づくりシンポジウムの開催や医師による健康講座の巡回、幼児への食育の推進や健康体操等の運動の推進を展開した。  
会員数 39人

○ 健康手帳交付事業費 46

希望者に健康診査、医療、血圧等の記録、その他の生活習慣病予防及び老後における健康保持のための必要な事項が記録できる健康手帳を交付した。

交付数 276 件

他課での交付 1,764 件（保険年金課 1,707件・保護課 15件・隣保館 42件）

○ 健康教育事業費 4,956

- 各地区健康教育

住民協議会を中心に、各地区の実情や要望に応じ、各地区の公民館、団体等に健康教育を実施した。

内 容	対 象	実施回数	参加延人数
計画啓発	住民協議会	27回	601人
	その他各地区	1回	37人
もっと歩こう	住民協議会でのウォーキング大会・講座	7回	406人
	出前講座	7回	305人
	その他各地区	3回	109人
健診を受けよう	出前講座	4回	116人
	その他各地区	4回	63人
	ベルファーム・スーパーでの啓発	8回	3,585人
	保育園・幼稚園・子育て支援センターでの啓発	48回	1,781人

施策の成果及び執行実績

内 容	対 象	実施回数	参加延人数
野菜を 食べよう	住民協議会での健康講座	5回	89人
	出前講座	10回	282人
	その他各地区	12回	366人
	簡単うきうきクッキング	38回	434人
虹倶楽部その他各地区	各地区	73回	1,123人
嬉野Uの会	各地区	19回	733人
その他一般	各地区	118回	3,343人
合 計		384回	13,373人

・生活習慣病予防教室

メタボリックシンドロームの知識の普及と予防のため、食事編、運動編、歯周病予防編として教室を開催した。

内 容	実施回数	参加延人数
食事編	9回	130人
運動編	6回	97人
歯周病予防編	2回	27人

・楽しく体操！まずは体重マイナス3kg教室

BMI25以上の方を対象とした運動教室を開催した。

実施回数 50回 参加延人数 425人

・骨粗鬆症予防健康教育

20歳～70歳までの女性を対象とした骨粗鬆症予防検診の中で、骨粗鬆症を予防するための健康教育を実施した。

実施回数	参加延人数	実 施 内 容
13回	568人	ミニ講座・検診結果説明

・主要行事

事 業	開催月	場 所	参加者数
歯の健康まつり2012 よい歯のコンクール	6月	松阪子ども支援研究センター ほか	1,800人
健康フェスティバル2012 第30回救急医療を考える集い	9月	市民文化会館 ほか	3,600人
松阪市三雲嬉野ふれあい健康 まつり	10月	ハートフルみくも保健福祉セ ンター	500人
飯南ふれあい祭りでの健康教 育	11月	飯南ふれあいセンター	120人

・女性の健康週間啓発

女性が生涯を通じて健康で明るく、充実した日々を自立して過ごすことを総合的に支援するため、厚生労働省が定める3月1日から3月8日までの「女性の健康週間」において、女性の健康相談窓口の開設、女性がん検診・更年期障害など女性に多い病気・歯周病・女性にやさしいレシピなどをまとめたパンフレットの配布を実施した。

電話相談 5件  
来所相談 11件  
パンフレット配布 718件

○健康相談事業費 728

・各地区健康相談

健康センター・嬉野保健センター・ハートフルみくも保健福祉センター・飯南ふれあいセンター・飯高地域振興局で、保健師や管理栄養士による来所相談や電話相談等を実施した。また、各地区公民館、地区市民センター、集会所、隣保館等で実施した。

施策の成果及び執行実績

内容	回数	人数
成人健康相談	74回	1,292人
成人電話相談		62人
所内面接	79回	120人

○ 健康診査事業費 274,969

・ 健康増進法健康診査

平成20年度より、医療制度を見直し生活習慣病の予防を積極的に進めるため、従来、各市町が行っていた「基本健康診査」を廃止し、「特定健康診査」として各医療保険者が実施することになった。これに伴い、医療保険未加入者の健康診査を「健康増進法健康診査」として実施した。

受診結果 : 対象者数 2,026人  
 受診者数 207人 (医療機関委託 199人、集団 8人)  
 40歳～74歳 145人、75歳以上 62人

受診率 : 10.2%

40歳～74歳のメタボリックシンドローム判定  
 (75歳以上は腹囲測定がないため、判定できず)

判定区分	メタボリック 基準該当	メタボリック 予備軍該当	メタボリック 非該当	合計	
人数	43人	15人	87人	145人	
割合	29.7%	10.3%	60.0%	100%	
保健指導 対象	動機付け	3人	4人	6人	13人
	積極的	14人	2人	1人	17人
保健指導 対象外	治療中	26人	9人	29人	64人
	治療不要			51人	51人

保健指導：対象者には、個別面接や集団健康教育などの案内を通知した。

・ 肝炎ウイルス検診

早期の発見により、肝炎による健康障がいや軽減し、進行を遅延させることを目的としてB型、C型肝炎ウイルス検診を実施した。

節目(40歳)検診対象者数 804人、受診者数 31人 (受診率 3.9%)

節目外検診 受診者数 1,351人

区 分	節目検診	節目外検診
C型肝炎ウイルス	31人	1,351人
感染確率の高い者	0人 (0.0%)	8人 (0.6%)
感染確率の低い者	31人	1,343人
B型肝炎ウイルス	31人	1,351人
陽性	0人 (0.0%)	8人 (0.6%)
陰性	31人	1,343人

・ いきいき健診

平成20年度から開始された特定健康診査事業の対象は40歳以上である。40歳未満で労働安全衛生法に基づく健康診査や学校保健法による定期健診等の対象に該当しない方にも健康診査を受ける機会を提供し、若い頃から健康診査を受け、健康状態を把握することで生活習慣病の発症や重症化、合併症への進行を予防し、生涯にわたってQOLが維持・向上されることを目的とした、いきいき健診を実施した。

受診結果

受診者数 216人

施策の成果及び執行実績

年齢区分	異常なし	軽度異常	要経過観察	要治療	要二次検査	合計
20-24	0人	0人	2人	0人	0人	2人
25-29	2人	0人	22人	0人	4人	28人
30-34	4人	5人	34人	6人	10人	59人
35-39	14人	7人	70人	6人	30人	127人
合計	20人	12人	128人	12人	44人	216人

・ がん検診

区分	胃がん (バリウム)	胃がん (カメラ)	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん (マンモ)	乳がん (エコー)	前立腺がん	
対象者数	60,147人				38,274人	31,587人	22,684人	12,095人	
受診者数	5,438人	4,332人	14,146人	13,861人	5,576人	3,679人	1,953人	1,634人	
内訳	医療機関	4,125人	4,332人	12,435人	11,974人	4,166人	1,978人	—	1,470人
	集団	1,313人	—	1,711人	1,887人	1,410人	1,701人	1,953人	164人
受診率	9.0%	7.2%	23.5%	23.0%	24.8%	22.1%	8.6%	13.5%	

※子宮がん、乳がんマンモ検診の受診率（がん検診指針により）

受診率＝（「前年度の受診者数」＋「当該年度の受診者数」－「前年度及び当該年度における2年連続受診者数」）÷「当該年度の対象者数＊」×100

＊対象者数は年1回行うがん検診の場合と同様の考え方で算出する。

・ がん検診推進事業

日本のがん検診受診率を50%にあげることが目標として、平成21年度より特定の年齢に達した女性に対し、子宮頸がん及び乳がんに関する検診手帳及び検診費用が無料となるがん検診無料クーポン券を送付する事業を実施、平成23年度からは大腸がん検診についても導入した。

区分	対象者	受診者数			受診率		
		集団	委託	合計			
子宮頸がん	無料クーポン券	20歳	782人	11人	68人	79人	10.1%
	25歳	810人	28人	118人	146人	18.0%	
	30歳	899人	57人	135人	192人	21.4%	
	35歳	1,117人	98人	228人	326人	29.2%	
	40歳	1,276人	107人	278人	385人	30.2%	
	合計	4,884人	301人	827人	1,128人	23.1%	
(視触診とマンモ)	無料クーポン券	40歳	1,276人	134人	237人	371人	29.1%
	45歳	950人	88人	155人	243人	25.6%	
	50歳	1,056人	96人	166人	262人	24.8%	
	55歳	1,051人	93人	135人	228人	21.7%	
	60歳	1,194人	143人	169人	312人	26.1%	
	合計	5,527人	554人	862人	1,416人	25.6%	
大腸がん	無料クーポン券	40歳	2,524人	79人	206人	285人	11.3%
	45歳	1,875人	37人	149人	186人	9.9%	
	50歳	2,025人	50人	187人	237人	11.7%	
	55歳	2,030人	54人	178人	232人	11.4%	
	60歳	2,325人	101人	397人	498人	21.4%	
	合計	10,779人	321人	1,117人	1,438人	13.3%	

区分	胃がん (バリウム)	胃がん (カメラ)	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん (マンモ)	乳がん (エコー)	前立腺がん
異常なし	5,055人	1,436人	12,197人	12,929人	3,738人	3,197人	1,372人	1,534人
経過観察	—	2,059人	1,524人	—	185人	171人	494人	38人

施策の成果及び執行実績

区分	胃がん (バリウム)	胃がん (カメラ)	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん (マンモ)	乳がん (エコー)	前立腺がん
念のため精検	285人	—	—	—	—	—	—	—
要精検※	81人	568人	408人	932人	78人	311人	87人	62人
至急要精検	7人	—	—	—	—	—	—	—
要医療	—	269人	17人	—	209人	—	—	—
判定不能	10人	—	—	—	—	—	—	—

※異常なしについては「精検不要」「基準範囲」含む

※要精検については「要二次」「要精密」含む

※要医療については「要治療」「要受診」含む

各がん追跡調査結果(がん発見率)

区分	胃がん (バリウム)	胃がん (カメラ)	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん (マンモ)	乳がん (エコー)	前立腺がん
がん発見率	0.07%	0.02%	0.05%	0.17%	0.10%	0.24%	0.05%	0.31%

①がん検診啓発

月	内容	実施場所	参加人数
6月	企業窓口等でポスター掲示・チラシ配布の協力	269か所	
7・8月	店舗でのがん検診街頭啓発	マーム、ぎゅーとら店舗、マックスバリュ店舗 6日間	2,538人
10月7日 10月8日	がん検診啓発ピンクリボン・ファーム・まつさかwith収穫祭の開催。ピンクリボン月間にごがん検診啓発キャンペーンを松阪市民病院とともに実施。	松阪農業公園ベルファーム 2日間	1,047人
11月～12月	保育園での啓発チラシ配布の協力	6園	
10月(ピンクリボン月間) 3月(女性の健康習慣)	広報・文字放送・借金時計情報掲示・市街地循環バスコミュニティボード掲示・のぼり旗等による啓発を実施		
12月	未受診者への受診勧奨	無料クーポン未受診者に対する市長の手紙による受診勧奨	乳がん・子宮頸がん・大腸がんの未受診者13,430人に郵送

②「健診を受けよう！」出前講座等教室開催

実施月	内容	場所	回数	延参加人数
8月～3月	保育園・幼稚園・支援センター・他幼児教室で啓発	公立保育園：19園(19回)	56回	1,895人
		私立保育園：7園(7回)		
		幼稚園：15園(18回)		
		子育て支援センター・出張広場6会場(6回)		
		幼児教室：(6回)		



施策の成果及び執行実績

②「健診を受けよう！」出前講座等教室開催

実施月	内 容	場 所	回 数	延参加人数
11月	市民病院技師 とピンクリボン ンキャラバン	伊勢寺幼稚園	2回	43人

③女性が受けやすい体制整備

- ・託児つき検診の実施 3会場 46人利用
- ・マンモサンデー 10月21日（日曜検診）の周知・啓発（4病院で実施） 65人受診
- ・乳がん検診等受診率向上ワーキンググループへの参画 2回

・ 歯周病検診(医療機関委託)

対象者数	受診者数	受診率
60,671人	1,022人	1.7%

・ 骨粗鬆症予防検診

受診者数	結果内訳		
	正常	要指導	要精検
592人	200人	383人	9人

○ 訪問指導事業費 314

療養上の保健指導が必要である方に対して訪問指導を行った。

訪問指導実人数 11人

訪問指導延件数 25件

(目) 8 保健センター費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
37,689				3,093	34,596

○ 施設管理運営事業費 37,689

	需用費	役務費	委託料	使用料	その他	計
健康センター	3,152	895	2,125	218	248	6,638
嬉野保健センター	2,684	32	1,911	63	0	4,690
三雲保健福祉センター	1,952	233	18,316	0	0	20,501
飯高保健センター	2,098	221	1,214	77	2,249	5,859

・ 健康センター管理運営事業費 6,638

・ 嬉野保健センター管理運営事業費 4,690

市民活動室登録団体数 15団体

利用回数 98回、利用人数 980人

プレイルーム開放（親子のふれあい広場）

利用回数 51回、利用人数 1,555人

・ 三雲保健福祉センター管理運営事業費 20,501

利用状況

区 分	人 数	区 分	人 数
一般浴室（男子）	4,105人	カラオケ	1,376人
一般浴室（女子）	7,694人	栄養指導室	908人
マッサージ機	2,875人	プレイルーム	1,602人
ヘルストロン	2,641人	もくせいの間	519人
		合計	21,720人

施策の成果及び執行実績

- ・ 飯高保健センター管理運営事業費 5,859  
利用回数 253回、利用人数 4,411人

(目) 9 歯科センター費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
7,479				2,124	5,355

○ 歯科センター管理運営事業費 7,479

- ・ 休日の歯科急病に対し応急診療を実施した。

診療日数	患者人数	歯科医師	歯科衛生士	事務員
71日	266人	1人 延 71人	1人 延 71人	1人 延 71人

- ・ 歯科休日応急診療所の業務・運営等の協議のため、10月18日に運営協議会を開催した。
- ・ 在宅や施設入所の高齢者・障がいのある方などの口腔ケア・応急診療の訪問歯科診療を行った。
- ・ 非常勤職員の資質向上と円滑な運営のため、12月20日に接遇研修会を開催した。

(目) 10 休日夜間応急診療所費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
160,372		7,655		106,052	46,665

○ 一般職員給 30,013

○ 一次救急医療体制事業費 4,902

救急医療体制の充実を図って、休日・夜間における一次救急医療を委託し実施した。  
(委託先) 松阪地区医師会 3,402 松阪地区薬剤師会 1,500

○ 病院群輪番制病院運営費補助金 34,452

休日・夜間における二次救急医療の実施に対し、補助金を交付した。

松阪市民病院 122日 (うち、休日22日、土曜日17日)

松阪中央総合病院 196日 (うち、休日28日、土曜日13日)

済生会松阪総合病院 167日 (うち、休日22日、土曜日18日)

○ 救急医療を考える集い事業費 772

広く市民に対し救急医療及び救急業務のあり方について啓発を行うとともに、応急手当及び治療の訓練と知識の普及を図った。

開催日 平成24年9月9日 (日)

開催場所 市民文化会館 ほか

入場者 3,800人

内容 健康フェスティバル2012とともに開催。応急手当の啓発と訓練、交通事故防止、濃煙体験等の参加体験型の催しを実施した。また、東日本大震災の教訓に関する講演会を開催し、対談を行なった。

○ 小児救急輪番制運営事業補助金 12,760

小児救急医療の二次体制の実施に対し、補助金を交付した。

松阪中央総合病院 485日 (うち、休日72日、土曜日48日)

○ 休日夜間応急診療所管理運営事業費 76,333

- ・ 休日・夜間における一次応急診療体制の確立を図った。

施策の成果及び執行実績

区分	診療日数	患者数			
		内科	小児科	外科	合計
休日診療	71日	2,844人	3,065人	1,152人	7,061人
夜間診療	365日	3,656人	1,905人	—	5,561人
計	延 436日	6,500人	4,970人	1,152人	12,622人

区分	従事者数			
	医師	薬剤師	看護師	事務員
休日診療	3人	1人	3人	2人
	延 213人	延 94人	延 213人	延 159人
夜間診療	1人	1人	1人	2人
	延 377人	延 377人	延 377人	延 739人
計	4人	2人	4人	4人
	延 590人	延 471人	延 590人	延 898人

- ・ 開業医と勤務医の意思の疎通を図るため10月30日、2月20日に三病院連絡会議を開催した。
- ・ 応急診療所の業務・運営等の協議のため、8月1日、12月10日に運営担当者会議、2月4日に運営協議会を開催した。
- ・ 非常勤職員の資質向上と円滑な運営のため、12月20日に接遇研修会を開催した。

○ 各種団体等負担金 1,140

三重県及び松阪市の救急医療情報システムに加入し、市民に救急医療の的確な情報を提供した。

三重県救急医療情報システム負担金 1,140

(目) 11 診療所費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
28,510		2,310	5,300	20,812	88

○ 一般職員給 12,352

○ 飯高診療所事業費 689

過疎地域における医療不安の解消と地域住民の健康を守るため、指定管理者制度により運営する宮前・森・波瀬・飯高歯科の各診療所管理経費を支出した。

診療所名	年間総患者数	診療日数	1日平均患者数
宮前診療所	5,618人	228日	24.6人
森診療所	7,258人	257日	28.2人
波瀬診療所	1,701人	139日	12.2人
飯高歯科診療所	496人	237日	2.1人

○ 飯高診療所医療機器整備事業費 7,698

開設当時に設置した医療機器の老朽化に伴う更新を行った。

歯科用チェアユニット一式（飯高歯科診療所）

大腸ビデオスコープ一式（森診療所）

○ 飯南眼科クリニック事業費 7,677

過疎地域における住民の医療不安解消のため、公設公営により眼科診療を行った。

年間総患者数 4,701人、診療日数 240日、1日平均患者数 19.6人

施策の成果及び執行実績

○ 嬉野宇気郷診療所事業費 95

過疎地域における住民の医療不安の解消と健康を守るため開設した嬉野宇気郷診療所の管理経費を支出した。

(目) 12 水道費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
244,052			23,200		220,852

○ 水道事業会計繰出金 61,050

- ・ 飯南・統合水道建設改良事業分（公債費 37,850）
- ・ 公営企業緊急防災、減災事業分（建設改良費 23,200）

○ 簡易水道事業特別会計繰出金 183,002

- ・ 朝見簡易水道事業分 1,083（事務費）
- ・ 飯高簡易水道事業分 181,919（公債費 102,723、事務費及び建設改良費 79,196）

(目) 13 病院費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
936,838					936,838

○ 松阪市民病院事業会計繰出金 936,838

内訳	金額	内訳	金額
救急医療に要する経費	67,829	建設改良に要する経費	12,500
研究研修に要する経費	16,822	看護学校運営に要する経費	2,000
企業債の元利償還に要する経費	545,559	リハビリテーション医療に要する経費	7,336
医師確保に要する経費	174,673	児童手当に要する経費	13,137
基礎年金拠出金に係る公的負担経費	25,897	地方公営企業会計制度改正対応に要する経費	235
追加費用の負担に要する経費	70,850	計	936,838

## 施策の成果及び執行実績

## (目) 1 清掃総務費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
694, 556				910	693, 646

○ 一般職員給 631, 561

○ 施設管理事業費 44, 012

第一・第二清掃工場・最終処分場は労働安全衛生法に基づき、産業医の委嘱、健康診断等を実施し、職員の健康管理に努めるとともに、安全衛生関係研修を受講し、職員の安全衛生意識の向上に努めた。また、法に基づく施設等の保守点検を実施し、維持管理を行った。最終処分場周辺に整備された上川町遊歩道公園においては、市民の憩いの場として親しまれ、維持管理を継続して行った。また、北部処理場跡地に整備された松ヶ崎公園グラウンドにおいては、運動公園として位置づけ、都市化による避難場所となる防災公園、多目的グラウンド、芝生広場、また、子供から大人まで健康、体力づくりができる遊歩道公園として維持管理を行った。

## 第一清掃工場管理事業費 13, 253

区 分	事 業 内 容	事 業 費
委託料	浄化槽保守委託 25 高須処分場跡地草刈委託 1, 784 産業医委嘱 180 安全運転研修委託 114	2, 103
賃金等	非常勤職員関係 4人分	6, 997
需用費	コピーカウント料、燃料代、計量票・領収書・ごみ日割表印刷代	2, 329
その他	自動車リース代、浄化槽法定検査・清掃、技能講習負担金ほか	1, 824
合 計		13, 253

## 第二清掃工場管理事業費 7, 080

区 分	事 業 内 容	事 業 費
委託料	清掃委託 3, 072 浄化槽保守委託 17 消防施設保守委託 156 エレベーター保守委託 769 草刈委託 200	4, 214
賃金等	非常勤職員関係 1人分	2, 015
需用費	コピーカウント料、燃料代、計量票・領収書印刷代	282
その他	自動車リース代、浄化槽法定検査・清掃ほか	569
合 計		7, 080

## 最終処分場管理事業費 6, 300

区 分	事 業 内 容	事 業 費
委託料	清掃作業等業務委託 1, 151 浄化槽保守管理業務委託 15 消防施設保守管理委託 20 草刈作業業務委託 2, 370	3, 556
賃金等	非常勤職員関係 1人分	2, 015
需用費	燃料代、領収書印刷代	212
その他	自動車リース代、浄化槽法定検査・清掃、コピー機・プリンター借上料ほか	517
合 計		6, 300

## 上川遊歩道公園管理事業費 7, 352

区 分	事 業 内 容	事 業 費
委託料	清掃作業等業務委託 379 駐車場夜間警備等業務委託 756 浄化槽保守管理業務委託 25 草刈作業業務委託 938 植栽管理業務委託 4, 309	6, 407
需用費	施設用消耗品、公園電気・水道代	650
その他	浄化槽法定検査・清掃、複合遊具点検ほか	295
合 計		7, 352

施策の成果及び執行実績

松ヶ崎公園管理事業費 10,027

区分	事業内容	事業費
委託料	公園管理委託 2,845 公園警備委託 890 電気設備保守点検委託 140 浄化槽保守管理委託 197 公園芝生管理及び樹木管理委託 3,716	7,788
需用費	施設用消耗品、公園電気・水道代	2,101
その他	浄化槽法定検査・清掃ほか	138
合 計		10,027

○ うれしのを美しくする運動事業費 748

嬉野管内における市民総出のごみゼロ運動（平成24年5月20日実施）

区分	参加人数	種類	回収量
小学生以下	1,034人	燃えるごみ	4,400kg
中学生	149人	燃えないごみ	2,520kg
高校生以上	5,891人	計	6,920kg
計	7,074人	鉄くず（コンテナ）	2台

○ 汚染負荷量賦課金 1,218

公害健康被害の補償等に関する法律第55条第1項の規定に基づく申告納付

○ 第一清掃工場施設整備事業費 16,725

第一管理棟等（607㎡）の解体、アスファルト舗装（1,067㎡）

障害者用1台、来客用4台、バス3台を確保し、公用車6台、収集車両26台の駐車場に整備した。

○ 災害廃棄物広域処理支援検討事業費 291

「東日本大震災のがれき処理」のあり方を考えるシンポジウムの開催等

平成24年5月27日開催 会場 多目的研修集会施設、産業振興センター

参加者315人（市内 246人 市外 69人）

(目) 2 塵芥処理費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,109,013		7,408		169,394	932,211

○ 焼却施設整備事業費 37,489

新焼却施設稼働までの間の延命を図るため、既に耐用年数を超えた現焼却施設の延命化整備を行った。

区分	事業内容	事業費
焼却炉関係	1号バグフィルターろ布取替整備 23,100 1号炉燃焼室側壁煉瓦積替修繕 4,620 2号炉燃焼室側壁煉瓦積替修繕 4,253 平成24年度ごみクレーン及び灰クレーン定期点検整備 1,092 平成24年度NO2/SO2/CO分析計点検修繕 888 平成24年度HCL/O2/ばいじん分析計点検修繕ほか 3,536	37,489

施策の成果及び執行実績

○ 塵芥収集関連事業費 188,003

事業名	事業内容	事業費
塵芥収集事業費	一般廃棄物収集運搬業務委託料（合特事業） 137,789 不法投棄防止監視パトロール業務委託（緊急雇用） 7,408 車検、点検、車両等修理、修理部品等経費 7,829 燃料（軽油[59,429ℓ]、ガソリン[1,007ℓ]他） 8,048 自動車自賠責保険料、重量税（19台）ほか 5,462	166,536
塵芥収集車購入事業費	塵芥収集車 [3.5t・4t] 2台 13,755 幌車トラック [2t] 1台 3,833 車両の老朽化に伴い、年次計画に基づき買い替えを行い、運行安全対策及び収集事業の円滑な遂行を図った。	17,588
塵芥処理一般経費	工場周辺水質検査等 第一清掃工場周辺の水質検査等を実施し、周辺環境の保全に努めた。結果は基準値以内であった。	3,879
計		188,003

ごみ収集事業（燃えるごみ 週2回、燃えないごみ 月4～5回、資源物回収 月1回、自治会等の清掃活動によるごみの回収など）の実施、収集車両の日常点検や車検、法定点検等車両整備を実施し、安全走行、安全作業に努めた。また、下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法に基づき市の許可を受けたし尿処理業者への支援を目的とした合理化事業として一般廃棄物収集運搬業務委託を実施した。

ごみ収集量

区分	直営等	持込
燃えるごみ	25,709 t	12,624 t
燃えないごみ	2,659 t	296 t
直接埋立物	1 t	751 t
資源物10品目	1,516 t	359 t
計	29,885 t	14,030 t

○ 不燃物処理事業費 22,498

燃えないごみの適正処理処分を遂行した。破碎機の日常点検や保守点検を実施し、設備の磨耗等早期発見に努めるとともに、定期修繕を行い、処理施設の円滑な運営を図った。また、汚水処理施設の管理委託、排水等の水質検査を実施し、周辺環境の保全に努めた。結果は基準値以内であった。

区分	事業内容	事業費
破碎機関係	本体機械修理、修理部品代等	11,526
	電気代	6,945
小計		18,471
汚水処理関係 (松ヶ崎含む)	汚水処理施設運転委託料、維持管理費等	493
	水質検査及び土壌検査手数料	628
小計		1,121
運搬車関係等	車検、点検修理、燃料費等	2,906
合計		22,498

破碎工場処理量

区分	処理量	処理内容
直営等収集	3,111 t	破碎3,345 t（破碎鉄854 t、アルミ36 t、埋立1,671 t、破碎可燃物784 t）
持ち込み	312 t	
計	3,423 t	その他78 t（粗大鉄56 t、その他22 t）

施策の成果及び執行実績

○ 焼却事業費 290,928

区 分	事 業 内 容	事 業 費
焼却関係	焼却炉排出力分析手数料	2,126
	焼却施設運転維持管理業務等委託料	155,682
	焼却施設運転光熱水費	79,290
	焼却施設運転維持管理消耗品、公害防止薬品等	52,280
	小 計	289,378
運搬車関係	車検、点検修理、燃料費等	1,550
	合 計	290,928

焼却処理量

焼却施設の運転管理を委託し、業務を円滑に遂行した。排ガス中のダイオキシン類濃度、塩化水素濃度、窒素酸化物濃度等有害物質濃度については、国および地元協定値をすべて下回り、良好であった。また、ダイオキシン類に係る作業環境測定を実施したが、結果は第一管理区分で正常の範囲であり、引き続き適正管理に努めた。

区 分	処 理 量	稼 働
直営等収集	25,758 t	365日
持ち込み	12,641 t	107.4t/日
破碎可燃物	784 t	
計	39,183 t	

○ 最終処分場事業費 45,285

区 分	事 業 内 容	事 業 費
浸出水処理関係	浸出水処理施設運転管理業務委託料	7,823
	水質検査手数料	2,030
	処理薬品等	4,233
	浸出水処理施設更新修繕等	21,153
	活性炭取替再生業務委託料	1,092
	高圧受電設備保守委託料等	1,133
	小計	37,464
運搬車関係	運搬車、重機の維持管理費	1,134
その他	運営経費、光熱水費、土壌検査手数料等	6,687
	合 計	45,285

最終処分場は管理型の処分場として浸出水処理施設運転管理委託や浸出水の水質検査を実施し、継続的な水質の監視ならびに保全に努め、運転制御機器の更新を図り、ごみの適正処理、処分場の適正運営に努めた。また、周辺環境調査の一環として最終処分場周辺の土壌分析検査を実施した。結果は基準値以内であった。

埋立処分量

区 分	処 理 量
焼却灰	4,841 t
破碎埋立物	1,671 t
直接埋立物	777 t
計	7,289 t

○ 嬉野地区ごみ処理事業費 196,125

一般廃棄物の回収処理事業（燃えるごみ週2回、燃えないごみ月2～3回、各種資源ごみ月1回、但し、容器包装プラスチックは、月3～4回）を実施した。なお、有価資源物については市指定の業者に搬入した。

GISを導入し、管内の集積所を把握し、情報管理と共有を図った。

区 分	事 業 内 容	事 業 費
収集運搬委託・不法投棄物の処理	一般廃棄物収集運搬委託	76,540
	不法投棄家電	40
	4品目リサイクル手数料	
可燃ごみ処理委託	津市クリーンセンターおたかへの委託料	118,752
その他	ごみカレンダー（9,000部）ほか	793
	計	196,125

ごみ量実績

区 分	処 理 量
燃えるごみ	4,566t
燃えないごみ	344t
直接埋立物	19t
資源物11品目	287t
合 計	5,216t



施策の成果及び執行実績

○ 三雲地区ごみ処理事業費 108,251

可燃ごみ及び不燃・資源ごみについて、適正に収集運搬処理を行った。また、ごみカレンダーを全戸に配布することによって、ごみの排出及び分別の意識高揚を図った。GISを導入し、管内の集積所を把握し、情報管理と共有を図った。

区 分	事 業 内 容	事業費
収集運搬委託・不法投棄物の処理	可燃ごみ収集運搬委託料	19,341
	不燃・資源ごみ収集運搬委託料	5,544
	不法投棄家電4品目リサイクル手数料	93
	不法投棄分別処理作業委託料	155
可燃ごみ処理委託	津市クリーンセンターおおたかへの委託料	82,607
その他	ごみカレンダー(6,500部)ほか	511
計		108,251

ごみ量実績

区 分	処理量
燃えるごみ	4,532t
燃えないごみ	124t
直接埋立物	6t
資源物15品目	433t
合 計	5,095t

○ 飯南地区ごみ処理事業費 1,407

管内から発生するごみを適正に処理し、不法投棄ごみ等を処理(22,300kg)することにより、環境美化に寄与した。また、飯南管内の各自治会が7月下旬から8月上旬にかけて期間を定めて夏の一斉清掃を行った(管内46自治会1,719人が実施)。この夏の一斉清掃活動により発生した汚泥、ゴミ等を1か所に集め業者で処理を行った。GISを導入し、管内の集積所を把握し、情報管理と共有を図った。

区 分	事 業 内 容	事業費
不法投棄	不法投棄ごみ収集運搬委託料 105	541
	不法投棄ごみ処理手数料 420	
	回収作業用消耗品等 16	
管内一斉清掃	夏季道路清掃廃棄物処理委託料、汚泥仮置場土地借上料、足場組立手数料等	829
その他	地図情報システムセットアップ手数料	37
計		1,407

ごみ量実績

区 分	処理量
燃えるごみ	1,051t
燃えないごみ	85t
直接埋立物	0t
資源物6品目	53t
有害ごみ (電池、蛍光管)	3t
合 計	1,192t

○ 飯高地区ごみ処理事業費 329

管内から発生するごみを適正に処理し、不法投棄ごみを処理(2,590kg)することにより、環境美化に寄与した。また、飯高管内で自治会、漁協、老人会、子供会、ボランティア団体によるごみゼロ清掃活動を実施した。(5団体参加人員延366人)GISを導入し、管内の集積所を把握し、情報管理と共有を図った。

区 分	事 業 内 容	事業費
不法投棄	不法投棄ごみ収集運搬委託料 52	262
	不法投棄ごみ処理手数料 210	
管内一斉清掃	ごみゼロ清掃活動(消耗品)	30
その他	地図情報システムセットアップ手数料	37
計		329

ごみ量実績

区 分	処理量
燃えるごみ	877t
燃えないごみ	71t
直接埋立物	0t
資源物6品目	47t
有害ごみ (電池、蛍光管)	2t
合 計	997t

施策の成果及び執行実績

○ 廃棄物集積所設置補助金 1,441

ごみ集積所・資源物集積所を建設する自治会に対し補助を行い、地区の美観及び衛生面の向上を図った。総工事費の1/2補助、最高限度額100,000円

区 域 別	件 数	事業費	市補助金
本庁管内	13件	3,729	1,087
嬉野地域振興局管内	0件	0	0
三雲地域振興局管内	2件	711	183
飯南地域振興局管内	2件	392	171
飯高地域振興局管内	0件	0	0
合 計	17件	4,832	1,441

○ 香肌奥伊勢資源化広域連合分担金 216,858

資源循環型社会を目指し、多気町、大紀町、大台町と飯南、飯高地区によりごみ処理施設を建設し、共同処理を行う広域連合への分担金

地 域 振興局	分担金	公債費		経常経費		
		定率割	人口割	定率割	人口割	利用割
飯 南	115,545	7,779	38,683	12,470	23,126	33,487
飯 高	101,313	7,778	35,470	12,470	18,625	26,970
計	216,858	15,557	74,153	24,940	41,751	60,457

○ 三重県地方卸売市場協力会運営補助金 400

県施設である地方卸売市場から排出されるごみを減量化・再資源化する費用を補助することにより、環境負荷を軽減した。

(目) 3 省資源再資源化事業費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
95,514				44,599	50,915

○ リサイクル事業費 38,655

資源物処理の一元化を見据え、従来のペットボトル、アルミ缶、空びん選別に加え、プラスチック容器・袋の処理施設が松阪市リサイクルセンターで本格稼動した。施設運用の合理化を図るとともに、リサイクルの基本である分別排出、分別回収を徹底、リサイクル意識の向上と選別による品質基準の保持に努めるよう再商品化等の処理の推進を図った。

また、家庭における資源物保管の負担の軽減及び資源物持込の機会を増やすため、継続的に資源物10品目の休日受付を実施し、資源回収の充実を図っている。

区 分	事 業 内 容	事 業 費
再資源化事業	資源物再商品化委託	321
	資源物選別作業等委託	24,733
	乾電池等運搬処理委託	2,032
	小 計	27,086
運搬車関係	回収車、重機の燃料及び維持管理費	6,070
施設管理等	機械設備等修理、保守点検費、消耗品	5,499
合 計		38,655

直接資源化量				ごみからの資源化量	
種類	資源化量	種類	資源化量	種類	資源化量
新聞紙	238 t	プラスチック容器袋	433 t	鉄	879 t
雑誌雑紙	285 t	白色トレー	11 t	破砕アルミ	35 t

施策の成果及び執行実績

直接資源化量				ごみからの資源化量	
段ボール	159 t	アルミ缶	19 t	乾電池	19 t
古着	132 t	空ビン	720 t		
牛乳パック	4 t				
ペットボトル	160 t	小計①	2,161 t	小計②	933 t
				合計①+②	3,094 t

○ 嬉野地区リサイクル事業費 620

嬉野管内における、空ビン回収時に使用するコンテナは、本庁管内で使用する規格と異なることから、ごみ処理一元化を見据え、同一規格のコンテナを購入した。

○ 三雲地区リサイクル事業費 12,489

三雲管内における、資源ごみの持込を適正に対応した。プラスチック容器・袋等の再資源化処理の品質維持の為に三雲リサイクルセンターの効率的な運営管理を行った。

区 分	事 業 内 容	事 業 費
再資源化事業	資源物選別作業委託	9,315
	乾電池等運搬処理委託	478
	小 計	9,793
施設管理等	リサイクルセンター運営管理費 (機械設備修理、保守点検修理、消耗品、光熱水費、燃料費、警備委託)	2,696
合 計		12,489

・資源化量

種類	資源化量	種類	資源化量
新聞紙	94 t	プラスチック容器袋	32 t
雑誌雑紙	79 t	白色トレー	1 t
段ボール	46 t	アルミ缶	7 t
古着	25 t	スチール缶・粗大鉄	46 t
牛乳パック	2 t	乾電池・蛍光灯	5 t
ペットボトル	24 t	空ビン	72 t
		合計	433 t

○ 飯南地区リサイクル事業費 175

飯南管内における、家庭から排出される生ごみを堆肥化させ、堆肥として農地、家庭菜園、花壇等へ利用する事によりごみ減量を図った。これに係る材料(米糠・プラスチックケース等)を購入し、72世帯が実践することで、約14tのごみ減量が図られた。

○ 飯高地区リサイクル事業費 3,655

飯高管内における、ごみ減量において地域から排出された生ごみを堆肥化させて地域の農作物、木、花の肥料として資源の循環を促進し、ごみ減量を図った。  
飯高管内2か所に設置した大型生ごみ処理機を合理的に運用することで約7tの堆肥化を図った。また、4か所の資源ごみステーションに約170tの資源物が持込まれ資源化が図られた。

区 分	事 業 内 容	事 業 費
生ごみ回収・堆肥化	生ごみ回収業務委託(2地区)	876
	生ごみ堆肥化装置生成物採取業務委託	240
	小 計	1,116

施策の成果及び執行実績

区 分	事 業 内 容	事 業 費
施設管理等	光熱水費、消耗品、修繕料	1,300
	機械保守点検業務委託	92
	生ごみ処理機周辺除草業務委託	150
	資源ごみステーション移転工事(宮前)	997
	小 計	2,539
合 計		3,655

○ ごみ減量対策事業費 3,211

生ごみ堆肥化容器の無償貸与事業として217個を貸与し、生ごみの減量化に努めた。また、市内小中学校において、ごみ減量・リサイクルを推進することを目的として標語入りポスターを募集(応募総数:425点)したほか、市広報紙による啓発(8回/年)、各種リーフレットの作成やイベントに参加した。工場見学(91件/3,267人)や出前講座等(36件/1,486人)等を127件実施し、ごみ減量・3R(リデュース、リユース、リサイクル)の啓発に努めた。市内で開催される各種イベント等(氏郷まつり、環境フェア、地域でのイベント)において啓発を行い、市民にごみの分別に取り組んでもらうことで、ごみ減量と意識の向上を図った。

区 分	事 業 内 容	事 業 費
再資源化事業	生ごみ堆肥化容器購入費	806
啓発	ごみ日割表 60,000部	406
	小学生用ごみ減量小冊子 2,300冊	256
	ごみ分別ガイドブック 30,000冊	934
	啓発用手提げ袋 3,500袋	309
	その他啓発用消耗品(通信運搬含む)	315
	その他消耗品等(ポスター参加賞等)	185
	小 計	2,405
合 計		3,211

○ 生ごみ処理機購入補助金 519

地 域	交付先	交付者数	事 業 費	市補助金	成 果
本 庁	購入者 24件(購入費の1/3補助、最高限度額30,000円)	15件	974	324	生ごみ処理機購入に対する補助を実施することで、家庭の生ごみを肥料として利用いただき、ごみの排出抑制とごみ減量化の推進に努めた。
嬉 野		6件	417	139	
三 雲		2件	136	35	
飯 南		1件	63	21	
飯 高		0件	0	0	
計		24件	1,590	519	

○ 資源物集団回収活動補助金 17,919

資源物集団回収活動を行った団体に対して補助金を交付することで、ごみ減量と資源化を促進し、活動を通じてリサイクル意識の向上を図った。新ごみ処理施設に合わせ、一層の資源化を図ることから、紙類を対象とした加算補助金制度(H23~5年間)を継続実施。飯南・飯高管内は、香肌奥伊勢資源化広域連合への負担金(RDF処理)、嬉野・三雲管内は津市への委託金の軽減に寄与している。本制度は、平成20年4月より本庁管内開始。補助金の額 古紙類・布類:3円/kg、ビン類:3円/本。加算補助金は、回収率に応じて定額(2,000円,3,000円,5,000円)と従量(1円,2円,3円の増額)による補助を行った。

施策の成果及び執行実績

事業名	資源物集団回収活動補助金					合計	
	本庁	嬉野	三雲	飯南	飯高		
回収実績	新聞	1,954,185kg	463,620kg	166,278kg	100,410kg	89,120kg	2,773,613kg
	雑誌雑紙	998,058kg	206,145kg	78,233kg	55,280kg	53,050kg	1,390,766kg
	段ボール	796,720kg	202,260kg	52,337kg	46,850kg	74,730kg	1,172,897kg
	古着	145,912kg	19,843kg	7,210kg	0kg	0kg	172,965kg
	牛乳パック	13,151kg	720kg	70kg	690kg	381kg	15,012kg
	計	3,908,026kg	892,588kg	304,128kg	203,230kg	217,281kg	5,525,253kg
交付先	ビン類	2,362本	1,282本	0本	5,085本	507本	9,236本
	自治会	171団体	44団体	1団体			216団体
	こども会	16団体	12団体	25団体			53団体
	PTA	9団体	7団体	1団体	3団体	1団体	21団体
	その他団体	8団体	4団体	2団体	1団体	1団体	16団体
計	204団体	67団体	29団体	4団体	2団体	306団体	
市補助金(千円)	12,707	2,977	942	640	653	17,919	

○ 環境啓発交流事業費 2,351

松阪市リサイクルセンターを啓発拠点として活用していくための事業として、リサイクル講座の実施に加え、施設を利用される見学者や市民向けの啓発物（ポスター・パンフレット等）を作成、啓発環境を整える中で、市民へのわかりやすい啓発を主体的に行った。また、松阪市3Rサポーターを募集し14人の登録を頂いた。啓発事業を中心に協働した事業展開を目指して、研修等を実施した。

区分	事業内容	事業費
リサイクルセンター事業関係	リサイクル講座講師謝金、旅費	45
	3R啓発冊子等	1,657
	講座関係消耗品等	635
委託料	乗合自動車運行・管理業務委託（3Rサポーター研修）	14
合計		2,351

○ リサイクルセンター管理事業費 11,304

平成24年2月にオープンした松阪市リサイクルセンターにおいて、平成24年度より運営管理を行った。

区分	事業内容	事業費
共済費	非常勤職員、社会保険料	12
賃金	リサイクルセンターに係る非常勤賃金	826
需用費	燃料費、光熱水費	5,460
役務費	電話代、浄化槽清掃代等	518
委託料	清掃業務委託、警備委託、消防設備保守点検、エレベーター保守点検、電気保安業務委託、その他業務委託	4,473
使用料及び賃借料	テレビ受信料	15
合計		11,304

○ 飯高川俣地区資源ごみステーション移設事業費 4,148

国道166号線富永区域内の道路改良工事に伴い、その新ルート上にある「川俣地区資源ごみステーション」を撤去・移設した。まだ使用できる構造物の一部・シャッター・サッシは再利用し移設費用の軽減を図り、移転先については、新たな土地取得をせず既存の市所有の土地の中から、利用する地域住民の意向も聞き選定を行った。

財源については、移転補償費にて全額充当。

○ 省資源再資源化一般経費 468

事務経費、連絡車維持経費

施策の成果及び執行実績

(目) 4 ごみ処理施設建設費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
330,484	67,081	10,000	247,900		5,503

○ ごみ処理基盤施設建設事業費 329,830

ごみ処理施設（可燃・不燃）の老朽化、市内全域のごみ処理の一元化、循環型社会形成推進（3Rの推進）に対応した新ごみ処理施設を建設する。  
平成24年度は、ごみ処理基盤施設建設事業に係る下記の業務を実施した。

事業名	事業内容	事業費
ごみ処理基盤施設 造成工事	工事内容：造成工、新設道路工等 工期：H23.12.14～H25.3.22（完成検査：H25.2.22） 当初契約：H23.12.14 297,437 変更契約(1回目)：H24.5.11 5,431(振動計測工等追加) 変更契約(2回目)：H25.2.1 13,823(工事量変更)	316,691
熱回収施設・ リサイクルセンター 建設工事	工事内容：実施設計及び土工等 工期：H24.3.14～H27.3.20 (H24年度出来高検査：H25.3.29) H24年度出来高額：11,218（契約金額：6,820,800）	11,218
熱回収施設・ リサイクルセンター 建設工事監理業務委託	業務内容：設計監理、施工監理 工期：H24.3.27～H27.3.31 (H24年度出来高検査：H25.3.29) H24年度出来高額：133（契約金額：81,554）	133
事務費	役務費、借上料、旅費、需用費、備品購入費、 電柱等移設費	1,788

○ ごみ処理施設建設専門委員会事業費 653

【松阪市ごみ処理施設建設専門委員会の役割及び経過】

松阪市が整備する新ごみ処理施設に求められる、周辺環境にふさわしい処理方式、高次の安全性や徹底した公害防止機能その他必要な性能について、より専門家における調査及び検討を行うため、検討委員会の下部組織として平成22年6月に設置された。  
平成23年度には新ごみ処理施設建設に関し、基準仕様書作成・入札方法等について協議・検討を行い、平成24年1月の開札結果から、第1落札候補者である川崎重工業（株）に対し建設及び運転・維持管理委託についてヒアリングを実施後、川崎重工業（株）を落札者とする意見書を市長に提出した。  
平成24年度は、第15回専門委員会を開催し、実施設計について検討を行った。  
また、市・建設請負業者・監理受託業者の三者で定期的に行う設計協議に関して、専門委員が随時に月例協議に出席し助言を行った。

・平成24年度「松阪市ごみ処理施設建設専門委員会」開催概要 委員総数4人

回数	年月日	検討事項	出席委員
第15回	H24.11.2	実施設計の報告及び検討	4人

・平成24年度 月例設計協議会への出席

年月日	協議事項	出席委員
H24.6.15	居室レイアウト及び受電申込事前協議等について	1人
H24.7.25	土木建築工事基本計画及び工場棟外観・内観計画等について	1人
H24.8.30	灰出し設備関係等について	1人
H24.10.18	破碎機室への防爆対策及びごみ計量機等について	1人
H24.12.20	ごみ計量棟周りの計画及びITV設置場所等について	1人
H25.1.24	全体工程及び諸官庁手続き等について	1人

施策の成果及び執行実績

(目) 5 し尿処理費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
279,839				52	279,787

○ 衛生事業費 7,527

事業名	概要・成果	事業費
し尿業者許可事業費	し尿収集運搬業及び浄化槽清掃業の許可13業者の更新及び変更手続き	47
し尿転送業務負担金	飯南・飯高地区にかかる処理し尿の大型車への積換え、運送業務への負担金として補助することにより、し尿汲み取り料金等の抑制に資している。	7,480
計		7,527

○ 衛生施設運営事業費 272,313

事業名	概要・成果	事業費
嬉野地区し尿処理事業費	嬉野地区し尿処理に要する津市クリーンセンターくもずへのし尿処理委託料 (成果) し尿 1,275k1 浄化槽汚泥 1,647k1 を処理。	66,985
松阪地区広域衛生組合分担金	松阪地区広域衛生組合への分担金支出 通常経費 205,328 (成果) 松阪地区広域衛生組合の健全な運営	205,328
計		272,313

## 施策の成果及び執行実績

## (目) 1 労働諸費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
60,628				3,000	57,628

- 一般職員給 15,935
- 各種補助金 40,770

事業名	交付先	事業費	市補助金	成 果
勤労者総合福祉推進事業費補助金	公益財団法人松阪市勤労者サービスセンター	243,100	28,000	勤労者に福利共済事業を実施することにより、勤労者の福利厚生面の向上を図った。
勤労青少年激励大会補助金	松阪商工会議所内新しい仲間を励ますつどい	486	200	新社会人の就職後の職場定着や勤労意欲の更なる向上に努めた。
勤労者地域づくり活性化事業費補助金	松阪多気地区労働者福祉協議会	2,204	470	労働者の自主福祉と組合員相互の連携を図るための福祉事業の推進や地域への社会貢献活動を図った。
労働者連帯活動補助金	連合三重松阪多気地域協議会	2,950	1,400	清掃ボランティア活動等を実施し、勤労者福祉の推進や連帯意識の向上を図った。
高齢者就業機会確保事業費補助金	公益社団法人松阪市シルバー人材センター	502,705	10,700	高齢者の知識・経験・希望に添った就業の機会を確保し、生活の充実、福祉の増進を図った。
計		751,445	40,770	

- 各種貸付金 3,000

事業名	貸付先	金額	事業内容
勤労者教育資金貸付金	東海労働金庫 松阪支店	3,000	勤労者の教育資金の負担を軽減するため、東海労働金庫松阪支店に資金の原資として預託した。
計		3,000	

- 元気まつさか就職面接会開催事業費 281

若年（既卒者）から中高年齢の幅広い層の求職者を対象とした就職面接会を松阪公共職業安定所とタイアップして開催することにより、求職者の早期就職を支援した。  
平成25年1月15日

- ・就職面接会（求人事業所21社 求職者73人来場）  
採用者 5人
- ・セミナー 14人参加

- 就職支援企業見学会開催事業費 102

市内の企業見学会協力企業を訪問し、施設内見学、仕事内容の説明や人事担当者の方などと意見交換をして、企業や業種への理解を深め、翌日に面接会を松阪公共職業安定所とタイアップして開催することで早期就職の支援した。

- ・企業見学会 平成24年12月18日  
見学場所 3社  
参加者 9人
- ・ミニ面接会 平成24年12月19日  
開催場所 ハローワーク松阪  
参加者 5人

※採用者 3人



施策の成果及び執行実績

○ 障がい者雇用促進事業費 540

24年度からの新規事業で、事業者及び市民に対して障がい者雇用の気運を醸成するとともに、障がい者の職業的自立を支援するために、9月の「障がい者雇用支援月間」を中心にハローワーク松阪・関係機関等と連携し、障がい者雇用の促進を図る為の事業を実施した。

- ・ 障がい者法定雇用率未達成事業所等への啓発活動を実施  
(6月に8社、7月に8社を訪問)
- ・ 「松阪市障がい者雇用支援フォーラム2012」の開催  
(開催日) 平成24年9月26日
  - ① 松阪市障がい者雇用優良事業所及び優秀勤労障がい者表彰  
障がい者優良事業所・・・4事業所  
優秀勤労障がい者・・・5人
  - ② 障がい者雇用優良事業所による基調講演  
講師 株式会社富士電機フロンティア三重事業所 藤田登さん
  - ③ パネルディスカッション

(目) 2 ワークセンター松阪費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
58,895	0	0	0	5,969	52,926

○ 一般職員給 26,111

○ ワークセンター松阪管理運営事業費 32,724

- ・ 利用状況 (開館日数 308日)

区 分	利用件数	利用者数
勤労者総合福祉センター	1,072件	66,974人
労働会館	353件	8,285人
勤労青少年ホーム	624件	9,516人
勤労者体育施設テニスコート	1,191件	8,276人
勤労者体育施設多目的グラウンド	444件	16,767人
計	3,684件	109,818人

- ・ ワークセンター松阪事業及び勤労青少年ホーム事業委託

区 分	種類	参加者数
ワークセンター松阪事業	54種類	7,093人
定期講座	41種類	927人
短期講座	3種類	87人
一日体験講座	2種類	22人
利用者交流事業	2種類	326人
研修事業、その他の事業	3種類	546人
フリーレッスン	3種類	5,185人
勤労青少年ホーム事業	49種類	1,517人
定期講座	38種類	524人
短期講座	2種類	17人
利用者交流事業	2種類	259人
出会い・ふれあい応援プロジェクト事業	1種類	100人
研修事業、その他の事業	6種類	617人
計	103種類	8,610人

- ・ ワークセンターフェスティバル開催事業

平成24年10月21日、ワークセンター松阪・勤労青少年ホームの各講座の作品展示・発表、実行委員会主催の模擬店等、41種の事業を実施し、当日は約7,000人の来場者があった。

施策の成果及び執行実績

- ワークセンター松阪運営委員会事業費 49  
    ワークセンター松阪運営委員会報酬（11人、1回開催）
  
- 各種団体等負担金 10

## 施策の成果及び執行実績

## (目) 1 農業委員会費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
77,111		9,643		691	66,777

○ 一般職員給 55,905

○ 農業委員会委員報酬 11,976

会長 1人、会長職務代理 1人、農地部会長・農政部会長 2人、委員 43人

○ 農業委員会会長交際費 5

○ 農業者年金事務委託事業費 691

農業者年金関係諸届の受付・処理・農業者年金基金への送付業務、被保険者や受給権者からの相談業務、新規加入推進業務等を行い、年金の適正な受給による農業者の老後の生活安定に努めた。

経営移譲年金受給者498人、老齢年金受給者 169人、被保険者 21人、待期者 53人

○ 農業委員会活動事業費 7,166

農地の権利移動や農地転用など農地法に基づく許認可事務、農地のあっせん事務、農地パトロール（農地の利用状況調査）の実施等により、農地の効率的な利用や優良農地の確保に寄与した。また、総会・農地部会・農政部会・運営委員会等の開催、先進地視察研修など各種研修会の開催を通じ、農業委員会業務の円滑・適正な運営を図るとともに農業振興に関する啓蒙と委員及び職員の資質向上を図った。

・ 農地法関係（許可、受理等）事務

区 分		件 数	面 積
農地法第3条	賃貸借権設定	4件	4,743m <sup>2</sup>
	使用貸借権設定	23件	242,981m <sup>2</sup>
	使・賃貸借権移転	1件	24,687m <sup>2</sup>
	交換	4件	6,116m <sup>2</sup>
	贈与	14件	43,907m <sup>2</sup>
	所有権移転	73件	88,035m <sup>2</sup>
農地法第4条	受理	27件	10,273m <sup>2</sup>
	許可	37件	16,375m <sup>2</sup>
農地法第5条	受理	67件	64,794m <sup>2</sup>
	許可	121件	164,705m <sup>2</sup>
農地法第4条第1項8号（農業施設）		12件	1,319m <sup>2</sup>
農地法第18条第6項（合意解約）		128件	288,913m <sup>2</sup>
非農地証明		67件	33,489m <sup>2</sup>
競売等買受適格者証明		4件	7,548m <sup>2</sup>
計		582件	997,885m <sup>2</sup>

・ 農地移動適正化あっせん事務

区 分	出し手	受け手	筆 数	面 積
所有権移転	7戸	6戸	24筆	29,116m <sup>2</sup>

○ 国有農地等管理事業費 70

旧自作農創設特別措置法及び農地法により国が取得した自作農財産（国有農地等及び開拓財産）について、県が行う売渡し・売払い等の処分に関する事務の補助、測量及び境界確定の事務補助を行った。また、国有財産整理簿の整備等を行い、適正な維持管理に努めた。

施策の成果及び執行実績

- 各種団体等負担金 1,298  
     三重県農業会議負担金 1,298

(目) 2 農業総務費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
374,154				8	374,146

- 一般職員給 355,958
- 松阪牛まつり事業費 15,227  
     社会・経済情勢の変化とともに松阪牛を取り巻く環境や情勢が大きく変化する中で、松阪牛まつりを「特産松阪牛」に特化した持続的な成長戦略の一つとして、「特産松阪牛」の歴史・文化を積極的に情報発信するとともに、第65回関西茶業振興大会関連イベントとして、品評会出品茶や茶業関連機資材の展示をあわせて行ったことから、松阪牛と松阪茶のPRをはじめ、農林水産業など地域産業の振興及び地域の活性化を図った。牛まつり当日は約5万人の来場者があった。  
     委託先：松阪牛まつり実行委員会
- 農業総務一般経費 2,969
  - ・ 共済費等 1,958
  - ・ 消耗品費 757、プリンター借上料 99
  - ・ 通信運搬費 63、備品購入費 92

(目) 3 農業振興費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
82,408					82,408

- 農業振興事業補助金 4,096

事業名	事業主体	事業量	市補助金	成 果
農業後継者対策事業補助金	松阪市農村青少年協議会	交流会、研修会等の開催	200	松阪市農村青少年協議会（会員20人）の視察研修、小学校の食農教育や農業体験等の活動を通じて後継者間の連帯感が深まり、今後の地域農業の担い手育成が図れた。
特産振興事業補助金	松阪農協一志東部農協	松阪農協（限度額）2,430 一志東部農協（限度額）270	2,700	松阪農協、一志東部農協の各生産者部会への活動支援を行い、生産者相互の意識向上及び経営の安定が図れた。 ・松阪農協（松阪赤菜ほか6品目） ・一志東部農協（嬉野大根ほか3品目）
茶防霜施設設置補助金	茶農家等	ファン設置数 新規2基、改修18基 対象茶園面積227a	656	市の特産品である「松阪茶」の降霜被害を未然に防止するための施設設置に対して支援を図ることで生産の安定と品質の維持、向上が図れた。
茶業組合補助金	松阪市茶業組合	栽培研修等の開催、各種品評会への出品活動等 出品数 全国 6点 関西 84点	540	松阪市茶業組合（組合員数21人）の活動を通じて、地域農家が生産する「松阪茶」の栽培意欲の増進及び品質向上が図れた。 この結果、全国茶及び関西茶品評会への出品を促進し、関西茶品評会では、個人の部の上位入賞と松阪市が産地賞を受賞するなどの評価が得られた。
計			4,096	

施策の成果及び執行実績

- 農業振興地域整備計画基礎調査事業費 2,181  
 農業振興地域の整備に関する法律に基づく、農業振興地域整備計画の見直しに係る基礎調査実施のため、農用地利用計画図面のシステム化を図り、地域での説明会資料の作成や通常業務での事務処理の効率化を図ることができた。
- 松阪飯多農業共済事務組合負担金 72,388  
 松阪飯多農業共済事務組合の運営に係る経費の応分の負担を行った。  
 均等割10% 2,825、農家戸数割30% 21,764、規模点数割60% 47,799
- 松阪茶PR推進事業費 1,400  
 松阪市茶業組合との委託契約により、松阪産の茶葉を利用したペットボトル茶を作成し、イベント等での配布をはじめ、ベルファームや道の駅で販売を行うなど松阪茶の普及・PR活動を積極的に行った。また、イベント等で急須で淹れた緑茶の試飲等の普及活動や第65回関西茶業振興大会を松阪牛まつりと同時開催するなど松阪茶の銘柄確立を図るための取り組みを積極的に行った。  
 委託先：松阪市茶業組合
- 関西茶業振興大会開催負担金 1,600  
 第65回関西茶業振興大会が三重県を事務局として開催され、県内茶産地市町や関係団体が開催経費を負担し、本市を中心として関連行事等の大会運営が行われ、松阪茶をはじめとした緑茶の普及PRを積極的に行った。
- 各種団体等負担金 245  
 松阪地域農業振興協議会（松阪市ほか3町、関係3農協で構成）分担金 215  
 全国棚田（千枚田）連絡協議会（飯南管内深野地区）会費 30
- 農業振興一般経費 498
  - ・ 松阪農協管内の梨、ストック品評会において市長賞を授与することにより、生産意欲の増進に寄与できた。
  - ・ 松阪地域農業振興協議会先進地視察、農業関係制度説明会への職員の派遣を行った。
  - ・ 農業振興地域整備計画関係事務  
 整備計画に基づく優良農地の適正管理を行った。（緊急変更 2回/除外 40件・編入0件、軽微変更 3回/用途変更 9件）

(目) 4 畜産振興費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
30,254					30,254

○ 畜産振興補助金及び負担金 29,651

区 分	事業主体	事業量	事業費	市補助金	成 果
松阪肉牛協会補助金	松阪肉牛協会	枝肉共進会開催 出品頭数35頭	1,174	350	東京食肉市場での枝肉共進会に助成し、生産・流通面での松阪牛に係る品質の情報発信をすることができた。
松阪肉牛広域生産奨励事業補助金	松阪肉牛共進会	対象頭数 49頭	3,920	3,920	特産松阪牛の生産奨励助成を行うことにより、肥育農家の生産意欲の向上につなげることができた。
特産松阪牛安定出荷促進事業補助金	(株)三重県松阪食肉公社	対象頭数 34頭	2,720	2,720	食肉公社が運営する枝肉ネットオークションを通じ、特産松阪牛を出荷した農家に助成し、販路拡大等に努めた。

施策の成果及び執行実績

区分	事業主体	事業量	事業費	市補助金	成果
松阪食肉公社 食の安全安心 対策支援事業 負担金	(株)三重 県松阪食 肉公社	衛生管理向上 への施設改善 等	65,000	19,061	安全安心な食肉を提供するため衛生管理向上への施設改善に取り組んでいる食肉公社に、県、市町で負担金を交付することで、食肉公社の安定経営を図ることができた。
特産松阪牛地 域粗飼料促進 事業補助金	松阪農業 協同組合	対象戸数15戸 対象頭数60頭	3,600	3,600	市内の特産松阪牛素牛導入農家で地域産稲わらを給餌し、耕畜連携に取り組む農家に助成し、特産松阪牛の肥育頭数の確保等に努めた。
計			76,414	29,651	

○ 松阪牛PR推進事業費 500

松阪牛かわら版（第16・17号）を発行し、消費者の方々に松阪牛の安全安心に向けた取組を情報発信するとともに、松阪牛まつりでは、松阪牛紹介コーナーを設置し、来場者に松阪牛シールのマグネットの配布を行い、松阪牛個体識別管理システムの周知を行った。  
また、三重県が東京で進めている三重の食材や文化を紹介する営業拠点の設置に協力するマスコミや関係者向けのイベントに参加し、特産松阪牛や安全安心な取組の紹介を行った。

委託先：松阪牛協議会

○ 各種団体等負担金 40

特産松阪牛の肥育技術の継承と振興のために開催する松阪肉牛共進会の開催経費を関係市町、農協等の関係団体で負担することで、スムーズな開催をすることができた。

交付先：松阪肉牛共進会

○ 畜産振興一般経費 63

(目) 5 水田農業構造改革対策費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
69,337		12,000		34	57,303

○ 新たな需給調整システム確立推進事業費 14,181

松阪市農業再生協議会が実施する米の生産目標数量配分をはじめ、国の事業である米の戸別所得補償制度に係る、作付状況の確認、水稻生産調整実施計画書の配布・調整や電算処理事務等を行い、事業の計画的かつ円滑な実施を図った。

・ 米の生産目標達成状況

	本庁	三雲	嬉野	飯南	飯高	計
水稻目標面積	2,721.8ha	509.2ha	592.7ha	100.5ha	96.8ha	4,021.0ha
水稻作付面積	2,952.6ha	519.5ha	550.0ha	66.6ha	53.7ha	4,142.4ha
達成・未達成	未達成8.5%超過	未達成2%超過	達成	達成	達成	未達成3.0%超過

○ 水田農業支援対策事業補助金 52,662

地域の特性を活かした、米の生産調整の計画的かつ持続的な実施を図るため、平坦地域では、麦、大豆等の作付に対する支援を行い、水田農業経営の安定化が図れた。また、中山間地域においては、地域特性に応じた作物作付への支援を行い、生産条件が不利な地域における農業生産活動の継続による耕作放棄地の発生抑制などが図れた。

施策の成果及び執行実績

・地域別補助の内容

	協議会名	助成内容	対象面積	補助金
JA 松阪	本庁管内	地域集積加算事業	872.1ha	20,493
		種子代補助事業	1,570.9ha	12,806
		中山間地域転作作物助成事業	8.7ha	1,312
	飯南地域管内	中山間地域転作作物助成事業	6.7ha	1,006
	飯高地域管内	中山間地域転作作物助成事業	1.9ha	289
JA 一志 東部	三雲地域管内	地域集積加算事業	194.9ha	4,580
		種子代補助事業	157.2ha	807
	嬉野地域管内	地域集積加算事業	328.5ha	7,719
		種子代補助事業	444.5ha	2,267
		中山間地域転作作物助成事業	9.2ha	1,383
計			3,594.6ha	52,662

○ 飼料用米生産推進事業補助金 2,494

飼料用米等の生産者と利用する畜産農家の双方に支援を行うことで、麦、大豆等の作付に不向きな地域などの生産調整の推進を図るとともに、飼料用米等の生産の定着化等、水田農業の推進を図った。

作付面積：9,503.7a 作作者：19人 利用数量：248,910kg 利用畜産農家：7戸

(目) 6 地域農政推進活動費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
25,307		20,727			4,580

○ 環境保全型農業直接支払事業交付金 23

化学肥料や農薬を使用しない有機農業に取り組む農業者に直接的な支援を行うことで、環境保全に効果の高い営農活動の推進を図った。

有機水稻栽培農家：1戸 交付対象面積：57a

○ 農業経営基盤強化促進事業費 721

農業経営基盤の強化の促進に関する基本構想に掲げる経営感覚に優れた効率的かつ安定的な農業経営体を認定農業者として認定するため、JA等関係機関と連携した対象者の掘り起こし等を行い、その確保と育成を図るとともに集落営農組織の育成、支援を推進し地域農業の振興を図った。

新規認定農業者数 7件、再認定（更新） 13件、平成24年度末認定件数 148件、集落営農組織数 29組織

○ 中山間地域等直接支払事業交付金 7,836

中山間地域等における耕作放棄地の発生防止、農地等の多面的機能の確保のため、「直接支払制度」による水路・農道等の管理など集落ぐるみで取り組む農業生産活動を支援し地域農業の維持、継続を図った。

管内別	取り組み地区名				対象面積	交付額
本庁管内	広瀬	与原	矢津 (古茂喜)	矢津 (大広)	13.9ha	2,846
嬉野管内	合ヶ野	矢下 (井置)	滝之川		6.7ha	1,403
飯南管内	夏明	神路山	長野	下仁柿 (北沖)	11.0ha	1,851
飯高管内	粟野	乙栗子	七日市		8.3ha	1,736
合計	14地区				39.9ha	7,836

施策の成果及び執行実績

○ 農業経営基盤強化資金等利子補給促進事業補助金 2,746

効率的かつ安定的な農業経営体として認定している認定農業者の育成支援として、経営規模の拡大や生産性向上のため等に借り入れる、農業経営基盤強化資金等の制度資金の借入金利子の補給を行い、経営改善を行う認定農業者の意欲の増進等が図れた。

農業経営基盤強化資金利子補給件数 21件

農業近代化資金利子補給件数 45件

○ 新規就農者総合支援事業費補助金 2,250

青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図り、青年の新規就農者の拡大につなげるため、経営の不安定な経営開始初期段階の青年就農者に対して、給付金を給付するなどの支援を行った。

給付対象者：3人

○ 農用地利用集積特別対策事業費補助金 11,732

認定農業者などの地域の中心となる経営体への農地集積や分散した農地の連坦化が円滑に進むようにするため、農地の集積に協力する農地所有者に対して貸付面積に応じた補助金を交付し、地域農業の活性化を図るための支援を行った。

給付対象者：経営転換協力金 27戸、分散錯画解消協力金 9戸(468a)

(目) 7 農業施設費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
83,513		55		1,956	81,502

○ ベルファーム施設管理事業費 52,677

都市と農村の交流拠点、自然や農業について学ぶ体験施設として、農業をはじめとする地域産業の振興を支援し、地域住民に喜ばれる農業公園としての運営に努めた。指定管理者制度により「株式会社松阪協働ファーム」に委託し、来園者への食育、緑育、健育を推進するとともに安全安心な地域産品やサービスの提供ができた。

委託料 48,055、施設修繕料 4,622

※利用状況 計559,217人

月	人 数	月	人 数	月	人 数
4月	63,552人	8月	50,498人	12月	33,978人
5月	72,887人	9月	41,361人	1月	30,711人
6月	37,055人	10月	52,323人	2月	35,215人
7月	46,333人	11月	43,763人	3月	51,541人

○ 多目的研修集会施設管理事業費 3,356

農村地域における環境条件の整備及び農業の振興を図り、農業者その他地域住民の生活改善及び健康増進等に寄与することを目的に効率的な管理・運営を行い、利用者には快適なサービスの提供を行った。

管理人賃金等 1,855、需用費 650、役務費 71、施設管理委託料 755

使用料及び賃借料 25

※利用状況(和室、会議室、調理室、トレーニング室) 846件 延6,219人

月	区分		月	区分	
	利用件数	利用者数		利用件数	利用者数
4月	89件	573人	10月	77件	586人
5月	76件	662人	11月	65件	502人
6月	65件	482人	12月	62件	421人
7月	66件	538人	1月	66件	456人
8月	47件	401人	2月	79件	506人
9月	66件	502人	3月	88件	590人



施策の成果及び執行実績

○ 飯南茶業伝承館管理事業費 2,099

関西茶品評会では農林水産大臣賞等、優良産地として産地賞を連続受賞した。また茶の手もみ体験、お茶の淹れ方教室等を通し、茶の歴史と情報の発信を行った。

指定管理委託料（指定管理者：松阪市茶業組合） 1,900、需用費（修繕料） 199

利用室名	内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
製茶場	件数	1	16	7	2	5	0	1	2	3	0	1	5	43
	人員	6	132	65	27	68	0	55	33	21	0	2	6	415
仕上場	件数	2	24	5	6	0	1	0	2	1	1	1	4	47
	人員	7	75	36	33	0	3	0	3	7	1	2	4	171
研修室	件数	7	31	10	11	11	4	6	9	7	6	5	6	113
	人員	71	159	74	103	109	20	97	87	51	37	27	64	899
展示室	件数	1	6	3	3	5	2	2	4	0	0	1	0	27
	人員	6	76	61	59	59	2	57	47	0	0	2	0	369
計	件数	11	77	25	22	21	7	9	17	11	7	8	15	230
	人員	90	442	236	222	236	25	209	170	79	38	33	74	1854

○ 飯高産業振興センター管理事業費 4,954

地域資源を活用する特産品開発、試験研究、農産物の加工、市場調査、販路開拓、技術の習得、都市交流の促進に努めた。

賃金等2,084、需用費 2,227、役務費 99、委託料40、使用料 474、原材料30

施設名	内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
管理棟	件数	27	39	31	22	21	27	30	36	32	24	26	28	343	
	人員	38	43	51	46	22	27	38	37	36	25	28	55	446	
作業棟	こんにゃく製造室	件数	1	2	0	1	1	1	1	3	3	1	0	2	16
		人員	1	2	0	1	1	1	1	3	5	1	0	2	18
	餅製造室	件数	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	3	0	6
		人員	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	6	0	9
研究開発兼体験室	件数	43	49	44	46	45	41	47	47	49	44	43	46	544	
	人員	176	146	140	124	124	145	154	187	147	122	131	141	1,737	
計	件数	71	90	75	69	67	69	79	88	84	69	72	76	909	
	人員	215	191	191	171	147	173	194	229	188	148	165	198	2,210	

○ 飯南和紙和牛センター管理運営事業費 659

深野和紙保存会による原料の調整、和紙づくり体験、松阪牛に関する展示を行い、来訪者の視察見学等に活用した。

需用費 139、役務費 55、委託料 465

利用室名	内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
和紙体験	件数	0	0	0	0	1	1	4	4	5	8	2	0	25
	人員	0	0	0	0	12	7	24	57	115	173	34	0	422
和牛展示	件数	4	4	5	1	4	6	1	1	2	1	1	2	32
	人員	34	13	43	16	30	25	52	2	36	2	1	4	258
計	件数	4	4	5	1	5	7	5	5	7	9	3	2	57
	人員	34	13	43	16	42	32	76	59	151	175	35	4	680

○ 飯高地域資源活用交流施設管理事業費 19,698

指定管理者制度により「株式会社飯高駅」に委託した。

飯高地域の自然資源、人文資源等の地域資源を高度活用した憩いと潤いの場として、地場産業と観光、交流、癒し空間を有機的に結合させ、併せて就労の機会と市民のふれあいの場として地域活性化を推進した。

委託料 19,578、原材料費 120

施策の成果及び執行実績

※利用状況 計351,050人

施設	人数
レストラン	72,542人
温泉館	120,886人
いいたかの店	156,861人
そば打ち体験館	761人

○ 指定管理者選定委員会事業費 70

指定管理期間が満了となる飯高地域資源活用交流施設の次期指定管理者を選定するために選定委員会を2回開催し指定管理者を選定した。

選定委員会委員報酬 70

(目) 8 農地費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
187,547		6,296	55,400	11,866	113,985

○ 市単土地改良事業費 48,793

事業内容	重機借上料		工事請負費		原材料費		合 計	
	箇所	金額	箇所	金額	箇所	金額	箇所	金額
農道整備	18	651	0	0	85	10,452	103	11,103
用水路整備	16	1,121	8	8,074	56	7,213	80	16,408
排水路整備	5	324	2	2,613	15	2,799	22	5,736
用排水路整備	0	0	0	0	26	4,336	26	4,336
井堰整備	4	328	0	0	2	127	6	455
ため池整備	0	0	0	0	4	404	4	404
揚水機整備	0	0	6	7,777	0	0	6	7,777
その他(ゲート改良、池の手摺り塗装、池のバルブ調整等)	0	0	8	2,070	8	504	16	2,574
合 計	43	2,424	24	20,534	196	25,835	263	48,793

・ 工事請負費の概略

工事名	工事内容	工事費
上川町排水路改良工事	底張りコンクリート工 L=287m	1,149
古井町用水路改良工事	プレハブ水路工 L=108m	1,365
藤之木町排水路改良工事	底張りコンクリート工 L=336m	1,465
新松ヶ島町用水路改良工事	U字溝 L=70m	1,222
中万町用水路改良工事	U字溝 L=146m	1,079
大津町用水ゲート改良工事	ゲート 1基	828
大阿坂町用水ゲート改良工事	ゲート 1基	994
嬉野中川町五郷池揚水ポンプ改良工事	水中ポンプ Φ100×7.5kw	1,260
嬉野島田町揚水ポンプ改良工事	水中ポンプ Φ80×5.5kw	900
嬉野宮古町揚水ポンプ漏電遮断機取替修繕工事	漏電遮断機取替	44
嬉野新屋庄町揚水ポンプ改良工事	水中ポンプ (US-656-7.5)	1,297
嬉野須賀町用水管改良工事	用水管工 L=58m	878
嬉野算所町揚水ポンプ改良工事	水中ポンプ Φ80×5.5kw	900
嬉野森本町毘沙門池バルブ修繕工事	ステン M12×32	24
嬉野森本町用水路巻上げ式ゲート修繕工事	ゲート板 9×700×900	57

施策の成果及び執行実績

工事名	工事内容	工事費
嬉野滝之川町菊楽池手摺り塗装修繕工事	Φ6×12m	24
嬉野一志町用水路手上げ式ゲート修繕工事1号箇所	枠 L65×65×6×600	57
嬉野一志町用水路手上げ式ゲート修繕工事2号箇所	鉄板 6×300×330	41
肥留町水路改良工事	用水路工 L=80.6m	2,237
飯南町粥見上郷揚水機改良工事	水中ポンプ Φ100×15.0kw	1,554
飯南町下仁柿横枕用水路修繕工事	張りコンクリート工 L=13.5m	157
飯南町上仁柿用水路修繕工事	石積工 A=4.0㎡	299
飯高町栗野揚水機修繕工事	揚水機 一式	1,866
飯高町宮前用水路改良工事	用水路工 L=19.2m	837
合 計		20,534

○ 公共事業等附帯事業費 1,071

地区名	工事費	事業内容	成果
櫛田上	1,071	農道舗装工事 延長57.1m 幅員4.0～6.0m	市道認定に向け、予定路線の舗装を行い、農村環境の整備を図るとともに、管理移管の条件を満たすことができた。

○ 土地連合会賦課金 2,458

三重県土地改良事業団体連合会への賦課金

○ 団体営基盤整備促進事業費 9,280

地区名	事業内容	事業費	事業費内訳	
			委託料	工事費
殿村地区	揚水ポンプ井戸設置に係る計画書審査業務委託及びさく井工事	9,280	59	9,221

○ ふるさと・水と土保全対策基金積立金 520（平成24年度末現在高 85,702）

○ 三雲農業集落排水管理事業費 4,000

三雲管内における農村総合整備モデル事業で整備を行った集落排水管路施設を良好な状態に保つため維持管理及び施設の修繕を行った。

（維持管理経費）電気代、下水道賠償責任保険料、清掃・維持管理委託料 2,637

（施設修繕経費）施設修繕料、修繕にかかる消耗品費 1,363

○ 小規模土地改良事業補助金 1,132

交付先	事業内容	事業費	市補助金	成果
東町郷仏田水利組合	電磁接触器・リレースイッチ修繕	105	31	事業の実施により用水の確保が図れた。
東町郷仏田水利組合	空気弁修繕	391	117	
松阪東黒部土地改良区	出間揚水ポンプ場羽根車取替	263	120	
	乙部1号揚水機配管取替	142		
八反田水利組合	上川町用水管修繕	259	77	
八重田町自治会	八重田池改修	1,628	488	
見永自治会	用水路取水ゲート修繕	182	54	
高東土地改良区	粥見空気弁修繕	538	161	
平松水利組合	揚水機修繕	281	84	
合 計			1,132	

施策の成果及び執行実績

○ 県営事業負担金 36,572

事業名	地区名	事業費	事業内容	負担金
県営湛水防除事業負担金	櫛田地区	69,900	プレハブ排水路工 L=513m 水門設備製作据付工 2基 水道管移設補償費、借地費一式 排水機場の附帯工一式	10,485
県営広域営農団地農道整備事業負担金	中南勢二期地区	82,757	広域農道松阪工区 道路附帯工一式	12,413
県営ため池等整備事業(農業用河川工作物応急対策)負担金	櫛田川第一地区	10,000	櫛田川第一頭首工 右岸堤防側川底護床ブロック設置 L=31m	536
県営ため池等整備事業(小規模)負担金	又刈池地区	23,000	堤体工一式	6,820
県営地域用水環境整備事業負担金	中郷地区	10,000	なめり湖 落石防護網 A=940㎡ 附帯工一式	2,500
県営特定農業用管水路等特別対策事業負担金	一志南部一期地区	19,000	一志南部用水(パイプライン) 用水路工一式 水道管移設補償費一式	1,995
県営中勢広域営農団地農道整備事業負担金	中勢三期地区	35,000	舗装工一式 安全施設一式 道路附帯工一式	1,823
合 計		249,657		36,572

○ 農地・水・農村環境保全向上活動事業費 13,259

- ・ 事業推進事務経費 303
- ・ 負担金 12,956

交付先	事業内容	事業費	市負担金	成果
三重県農地・水・環境保全向上対策協議会	地域共同により農地・農業用水等の資源の保管理や環境の保全を図る活動に加え、水路・農道等の施設の長寿命化を図る活動を支援する。 (共同活動) 組織数 20 対象農用地 128,953a (向上活動) 組織数 5 対象農用地 22,377a	51,823	12,956	昔ながらの意見調整や共同作業など農村集落の持つ機能の維持増進と、水路など施設の健全な保全を図るための新たな仕組みが創られ定着が図られた。

施策の成果及び執行実績

○ 市単土地改良施設保全管理事業費 336

委託先	事業内容	事業費	成果
株式会社 パスコ 三重支店	GIS農道台帳整備業務委託 農道路線網図補正業務 L=7.1km 31路線	336	県営ほ場整備事業茅 広江地区完了に伴 い、新たに整備され た路線を市統合型 GIS地図情報システ ム施設管理台帳に加 え、更新できた。

○ 土地改良施設維持管理適正化事業補助金 700

交付先	事業内容	事業費	市補助金	成果
松阪東黒部土地改良区	地蔵釜揚水機場整備補修	2,000	200	老朽化した用水施設 の機能保持及び耐用 年数の確保に繋がっ た。
機殿土地改良区	保津地区・中河原地区揚 水機場の整備補修及び清 掃	5,000	500	
合 計		7,000	700	

○ 土地基盤整備事業補助金 910

交付先	事業内容	事業費	市補助金	成果
機殿土地改良区	保津町農道整備補修 農道下埋設物（コンク リート殻）の撤去処分 L=55.0m	2,000	910	路面陥没の原因で あった路床部のコン クリート殻を撤去 し、良質土で復旧し たことにより、安全 に通行できるよう になった。

○ 各種団体等負担金 93

三重県農道管理協議会への年会費

○ 農地一般経費 5,201

道路賠償責任保険料、公共工事設計積算単価データ・システム利用料、  
阿波曾蛸路トンネルほか防災設備及び照明設備点検整備業務委託、  
ふるさと農道草刈業務委託、古田池公園管理委託、須賀井除塵機点検清掃業務委託、  
ふるさと農道（上川地区）区画線設置工事ほか  
一般事務経費

○ 農業集落排水事業特別会計繰出金 49,338

（内訳）公債費 28,058、事務費 21,280

○ 県営事業負担金（繰越分） 13,885

事業名	地区名	事業費	事業内容	負担金
県営湛水防除 事業負担金	櫛田地区	14,000	プレハブ柵渠（高さ0.9m、幅4.0 m） L=161m	2,100
県営広域営農 団地農道整備 事業負担金	中南勢二期地区	15,000	U型側溝（高さ0.45m、幅0.45m） L=235.3m、（高さ1.0m、幅0.6 m） L=80.9m	2,250

施策の成果及び執行実績

事業名	地区名	事業費	事業内容	負担金
県営ため池等整備事業（農業用河川工作物応急対策）負担金	櫛田川第一地区	48,071	櫛田川第一頭首工 右岸護岸工 コンクリートブロック積 L=115m 洪水吐工一式	2,577
県営ため池等整備事業（小規模）負担金	又刈池地区	6,200	用地測量業務一式 測量設計業務一式	868
県営特定農業用管水路等特別対策事業負担金	一志南部一期地区	58,000	一志南部用水（パイプライン） 用水路工 Φ900の強化プラスチック複合管 L=409m	6,090
合 計		141,271		13,885

(目) 9 ほ場整備事業費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
75,903			61,500		14,403

○ 県営事業補助金 4,635

事業名	交付先	事業内容	事業費	市補助金	成果
			(うち補助対象)		
県営ほ場整備事業土地改良区補助金	櫛田上土地改良区	職員2人の人件費及び土地改良区の運営費	9,173	1,635	土地改良区の円滑な運営が行われ、ほ場整備事業の推進と施設の維持管理が図られた。
			(3,270)		
	朝見上土地改良区	職員3人の人件費及び土地改良区の運営費	6,387	3,000	
			(6,281)		
合 計			15,560 (9,551)	4,635	

○ 県営事業負担金 9,404

事業名	地区名	事業費	事業内容	負担金
県営経営体育成基盤整備事業負担金	櫛田上地区	1,100	排水路工 L=24.6m	82
	朝見上地区	76,100	道路工 L=1.9km、用水路工 L=2.2km、排水路工 L=1.5km、埋蔵文化財調査費、実施設計費、補償費、換地費一式	9,322
合 計		77,200		9,404

○ 事業事務費 1,165

○ 県営経営体育成基盤整備事業負担金（繰越分） 60,698

事業名	地区名	事業費	事業内容	負担金
県営経営体育成基盤整備事業負担金	櫛田上地区	9,000	附帯工一式、換地処分業務一式	675
	朝見上地区	489,985	区画整理 A=29.5ha、実施設計一式	60,023
合 計		498,985		60,698

施策の成果及び執行実績

(目) 10 湛水防除施設費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
121,628				46,525	75,103

○ 湛水防除施設管理事業費 46,887

本庁、嬉野、三雲管内の39排水機場の年間維持管理費

地域	区分		委託先	金額
本庁管内	管理委託	高須排水機場地下タンク及び地下埋設配管漏洩検査委託	(株)中部環境技術センター	70
		排水機場管理業務委託	自治会、水利組合	2,700
		電気保安管理業務委託	中部電気保安協会	1,683
		浄化槽保守管理業務委託	松阪環境事業協同組合	86
	その他管理経費			12,696
小 計				17,235
嬉野管内	管理委託	排水機場管理業務委託	自治会	488
		電気保安管理業務委託	中部電気保安協会	771
	その他管理経費			5,654
小 計				6,913
三雲管内	管理委託	排水機場管理業務委託	三雲排水機管理組合連絡協議	3,600
		電気保安管理業務委託	中部電気保安協会	1,690
	排水機場可燃ごみ処理業務委託		(有)ニチカンコー	495
	その他管理経費			16,954
小 計				22,739
合 計				46,887

○ 土地改良施設維持管理適正化事業費 44,031

排水機場	事業内容	事業費	事業費内訳	
			工事費	設計委託料
津屋城第二排水機場	ポンプ改修工事一式	18,015	16,860	1,155
小津排水機場	ポンプ改修工事一式	26,016	24,567	1,449
合 計		44,031	41,427	2,604

○ 土地改良施設維持管理適正化事業負担金 8,775

排水機場等のエンジン、ポンプの分解整備を計画的に実施し、適正な維持管理を図るため、事業費の30%と事務費（事業費の2.5%）を5か年で三重県土地改良事業団体連合会へ負担した。

事業費賦課金 8,100

事務費賦課金 675

○ 基幹水利施設技術管理強化特別指導事業費 17,061

三重県土地改良事業団体連合会の管理技術者による本庁、嬉野、三雲管内の排水機場の技術的指導、点検整備、施設操作を実施して維持管理を行った。

基幹水利施設保全管理対策（施設管理技術者育成対策）市町負担金 1,311

対象施設：4排水機場（本庁：下七見、嬉野：田村第二、三雲：鵜（星合・笠松））

基幹水利施設技術管理強化特別指導事業管理指導業務委託 15,750

対象施設：35排水機場（本庁：17施設、嬉野：5施設、三雲：13施設）

○ 湛水防除施設整備事業費 4,875

排水機場	事業内容	工事費
上ノ庄第二排水機場	屋上及び壁部防水改修工事	1,761
五主新排水機場	屋上及び壁部防水改修工事	3,114
合 計		4,875

## 施策の成果及び執行実績

## (目) 1 林業総務費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,361				16	2,345

## ○ 緑化推進事業費 387

植栽苗木を自治会等に配布し、また、公共施設等の緑化木の手入れ等の委託を実施し、地域緑化の推進と住民意識の高揚を図った。

- ・ 原材料費 (植栽苗木配布内訳) 187
  - 飯高町七日市：花の木4本、スタジイ5本
  - 小片野町：ソメイヨシノ桜10本
  - 六呂木町：しだれモミジ7本
  - 大足町：クルミ2本、シイ2本、山桜3本、モミジ3本
  - 与原町：山桜8本
  - 嬉野小原町：照手モモの木21本
- ・ 委託料 200 委託先：松阪に緑をふやす会

## ○ 林業総務一般経費 1,974

非常勤職員賃金等 (1人) 1,974

## (目) 2 林業振興費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
129,480	14,500	66,977		6,916	41,087

## ○ 森林環境創造事業費 65,484

公共財として位置づけた環境林において、間伐施業等を実施することにより、森林の持つ多様な公益的機能の発揮を促進した。

- ・ 委託料 65,384
  - 事業量：間伐335.27ha、受光伐9.58ha、下刈り11.38ha、歩道整備25,601m
  - 現地調査110か所、巡視・確認20.92ha
  - 委託先：松阪飯南森林組合 (国県補助事業) 29,001
  - 間伐198.97ha
  - 委託先：松阪飯南森林組合 (県補助事業) 25,758
  - 間伐123.17ha、歩道整備19,605m、現地調査77か所
  - 委託先：松阪飯南森林組合 (県補助事業) 3,675
  - 下刈り11.38ha、歩道整備5,996m
  - 委託先：叶林業合名会社 (県補助事業) 6,605
  - 間伐10.06ha、受光伐9.58ha、現地調査33か所、巡視・確認20.92ha
  - 委託先：中勢森林組合 (県補助事業) 345
  - 間伐3.07ha
- ・ 消耗品費 100



施策の成果及び執行実績

○ 林業振興補助金 25,721

事業名	事業主体	事業量	事業費	市補助金	成果
林業生産流通総合対策事業補助金	顔の見える松阪の家づくり推進協議会	住宅基本設計支援、モニターの集い開催等	4,550	4,150	協議会独自の安心システムにより、松阪地域の木材を使った25棟の木造住宅が完成し、また、モニターの集い等を開催し、木の良さなどのPRを行った。
林業労働者退職金共済掛金補助金	宮前林業外11事業所	12事業所 計57人	7,237	608	担い手の確保が困難な状況にある林業経営者に対し、雇用経費を支援することにより、労働者の確保が図れた。
有害鳥獣捕獲補助金	松阪猟友会	猪 105頭 鹿 76頭 猿 25匹	2,185	2,185	各猟友会の協力により、効果的な有害鳥獣捕獲業務を実施することができ、猪、鹿、サル等の有害鳥獣による農作物への被害拡大を軽減することができた。
		猪 8頭 鹿 10頭 猿 1匹	195	195	
	飯南猟友会	猪 83頭 鹿 280頭 猿 1匹	3,645	3,645	
	松阪飯高猟友会	猪 71頭 鹿 631頭 猿 30匹	7,470	7,470	
	小計	猪 267頭 鹿 997頭 猿 57匹	13,495	13,495	
有害鳥獣防護柵設置補助金	市内農家	101件	7,328	2,268	防護柵の材料費の一部を補助することで、農業者自らが防護するなどの被害軽減を努めるための意識改革が図れ、猟友会による捕獲業務とあわせてより有効な獣害対策が実施できた。
生産林活性化モデル事業補助金	松阪飯南森林組合	境界確認440ha 境界測量138.97ha 作業道開設 L=2,125m	11,607	5,200	小規模な森林を集約し、森林境界の明確化をすることにより低コストの森林管理と安定的な原木供給を目指した森林整備を推進した。
合計			44,217	25,721	

○ 有害鳥獣対策事業費 3,064

野生鳥獣からの被害対策として、猟友会への委託による有害鳥獣捕獲と住民自らが行う追払いを効果的に実施することで、被害軽減を図った。

- ・ 消耗品費 706  
サル追払い用ロケット花火を自治会（89件、46,545本）に支給した。  
また、追払い効果を上げるために、動物駆逐用煙火T-3（329本）をサル用追払い花火と一緒に配布した。
- ・ 補助金 44  
サル追払い用のエアガンを購入する自治会に対して補助金を交付した。（3自治会）
- ・ 委託料 2,314  
委託先：松阪猟友会 865 嬉野町猟友会 345  
飯南猟友会 383 松阪飯高猟友会 721

施策の成果及び執行実績

○ 森林経営計画作成推進事業費補助金 17,489

適切な森林整備の推進を図る観点から、森林所有者による森林施業の実施に不可欠な森林の施業集約化、作業路網の改良の地域活動を支援した。

事業主体	事業量	事業費	市補助金
松阪飯南森林組合	105.80ha	5,898	5,024
田中林業株式会社	2,268.36ha	12,703	12,465
計	2,374.16ha	18,601	17,489

○ 森林総合研究所分収造林事業費 1,642

分収造林契約地において間伐等の森林施業を行い、森林の維持管理を実施することで、森林の持つ多様な公益的機能の発揮及び促進ができた。

- ・ 負担金、補助及び交付金 1,091  
造林木販売分収金（飯高町栗野 東谷団地 1,091）

分収造林地の境界測量委託により、面積調査及び境界の明確化を実施し、造林地の適正な管理を推進した。

- ・ 委託料 551 委託先：松阪飯南森林組合  
面積調査、境界の明確化測量 68.54ha

○ 森林施業集約事業費（緊急雇用） 7,243

森林の所有者毎の境界を明確にし、施業の集約化を促進することで、森林の適正管理の推進と雇用の促進を図った。

施業集約面積A=57.82ha

- ・ 委託料 7,243 委託先：松阪飯南森林組合

○ 飯高ふるさとの森管理事業費 2,131

分収育林契約に基づき、育林地の活性化を図るとともに、都市住民との交流、地域特産品の送付等によって、地域の活性化と林業推進に努めた。

- ・ ふるさとの森会員交流会 参加者数79人
- ・ ふるさと小包（地域特産品）発送 199個

事業名	口数	事業費	事業費内訳				
			報酬	報償費	需用費	役務費	委託料
飯高ふるさとの森管理事業費	200口	2,131	0	20	1,625	486	0

○ 飯南希望の森づくり事業基金積立金 64（平成24年度末現在高 7,690）

○ 飯南希望の森づくり事業育林事業費 1,390

分収育林オーナーに、飯南地域の特産品の発送及びオーナーの集いを開催し、地域振興に対する理解の増進に努めた。

事業名	口数	事業費	事業費内訳				
			報酬	報償費	需用費	役務費	委託料
飯南希望の森づくり事業育林事業費（1号林）	175口	982	50	21	337	30	544
飯南希望の森づくり事業育林事業費（2号林）	70口	408	30	14	142	12	210
計	245口	1,390	80	35	479	42	754

施策の成果及び執行実績

○ 松阪荒滝生活環境保全林管理事業費 483

生活環境保全林の施業、管理道の除草等を適正に実施することにより、優れた自然環境を生かし、利用者の安全確保及び環境保全の向上を図った。

- ・ 委託料：下刈り作業 委託先：松阪飯南森林組合 (20,900㎡×年1回刈り)

○ 松阪創造の森施設管理事業費 2,915

植栽された広葉樹の育成の下刈りと、施設内の清掃、除草作業を実施することにより、利用者の安全確保及び環境保全の向上を図った。

- ・ 役務費 1,113 森林国営保険料 (対象面積108.92ha)
- ・ 委託料 1,802 委託先：松阪飯南森林組合  
管理委託料 (清掃除草作業等) 349  
森林整備委託料 (下刈り4.3ha、林道除草作業3,000㎡) 1,453

○ 松阪ちとせの森施設管理事業費 708

林内歩道の除草作業や公衆便所の清掃を定期的実施し、利用者の快適利用と安全確保を図った。

- ・ 役務費 112 森林国営保険料 (対象面積13.60ha)
- ・ 委託料 570  
公衆便所清掃作業委託料 171 委託先：(公社)松阪市シルバー人材センター  
除草作業委託料 (8,500㎡×年2回) 399 委託先：松阪飯南森林組合
- ・ 施設設備修繕料 26 公衆便所給水ポンプ等修繕 外2件

○ 飯高ふるさとの森事業基金積立金 237 (平成24年度末現在高 33,415)

○ 嬉野どんぐりの森管理事業費 50

清掃、除草作業を実施することにより、広葉樹の育成と市民が安全に利用できる保健休養の場を確保した。

- ・ 下刈り作業委託 (3,800㎡×年1回)
- ・ 委託先：嬉野宮野町自治会

○ 各種団体等負担金 859

三重県森林協会会費 730、松阪地域林政推進協議会会費 76、外3団体会費 53

(目) 3 林業施設費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
38,349				1,039	37,310

○ 森林公園管理運営事業費 29,665

指定管理者制度により、「松阪飯南森林組合」に管理運営業務を委託し、森林資源の活用及び保健休養機能の確保・増進等を図り、また登山会、自然観察会、星空観察会等の豊かな自然に親しむイベントを実施することにより、市民に自然に親しむ環境を提供した。

- ・ 森林公園管理委託料 27,700
- ・ 施設設備修繕料 959 加圧給水ポンプユニット修繕 外2件
- ・ 森林公園土地借上料 1,006  
(地権者11人・1自治会・1組合・1法人、借上面積：50,220㎡)

施策の成果及び執行実績

※利用状況

区分 月	入園者数	持込 テント	設置 テント	バンガ ロー利用	木工教室
4月	25,390人	21件	1件	27件	29人
5月	11,623人	38件	8件	35件	50人
6月	5,062人	1件	0件	22件	67人
7月	11,114人	17件	12件	61件	57人
8月	13,735人	58件	20件	118件	66人
9月	6,228人	9件	5件	41件	30人
10月	6,960人	8件	0件	24件	40人
11月	7,041人	6件	0件	12件	28人
12月	7,257人	1件	0件	18件	35人
1月	3,489人	1件	0件	6件	74人
2月	2,986人	0件	0件	1件	32人
3月	7,386人	8件	1件	5件	30人
計	108,271人	168件	47件	370件	538人

○ 森林公園施設整備事業費 1,785

森林公園利用者が安全・快適に利用できるように施設の充実を図った。

井戸水ろ過機修繕工事 1,785

○ 飯南林業総合センター管理運営事業費 2,353

多目的研修施設として、林業者及び地域住民の研修等で幅広く活用された。

又、玄関上部窓枠の雨漏り、2Fトイレの修繕を行ったことにより、施設の適正な運営を確保できた。

- ・ 施設管理委託料 250 (指定管理者：松阪飯南森林組合)
- ・ 需用費 (修繕料) 2,103

※利用状況

利用室名	内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
研修室1F	件数(件)	12	8	14	9	6	14	16	11	11	8	9	11	129
	人員(人)	207	278	319	227	85	192	339	171	187	266	104	195	2,570
研修室2F	件数(件)	0	1	1	2	1	1	1	0	1	1	2	0	11
	人員(人)	0	32	8	22	9	7	25	0	7	17	26	0	153
計	件数(件)	12	9	15	11	7	15	17	11	12	9	11	11	140
	人員(人)	207	310	327	249	94	199	364	171	194	283	130	195	2,723

○ 飯高林業総合センター管理運営事業費 4,545

地域の林業活動拠点として、林業推進と住民福祉の向上、林業就労者の研修及びコミュニケーションの場として交流等が促進された。

賃金等 797、需用費 2,205、施設維持管理等委託料 1,348、役務費 180、使用料 15

※利用状況

利用施設	内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
集会所兼 運動場	件数(件)	0	2	2	3	4	8	3	1	0	0	0	0	23
	人員(人)	0	45	45	28	39	158	136	10	0	0	0	0	461
林業相談 室	件数(件)	6	10	7	11	9	9	7	8	8	6	11	12	104
	人員(人)	39	177	64	123	86	132	102	77	321	290	145	108	1,664
和室会議 室	件数(件)	3	3	4	6	2	4	5	5	6	4	4	3	49
	人員(人)	48	44	68	127	28	41	98	61	107	109	38	36	805

施策の成果及び執行実績

利用施設	内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
図書館	件数(件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人員(人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
調理実習室	件数(件)	2	2	3	1	1	1	2	2	2	1	2	2	21
	人員(人)	29	25	41	17	17	12	39	37	27	6	19	29	298
計	件数(件)	11	17	16	21	16	22	17	16	16	11	17	17	197
	人員(人)	116	291	218	295	170	343	375	185	455	405	202	173	3,228

(目) 4 林業構造改善対策事業費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
45,609		22,400	10,000	1,210	11,999

○ 林道・作業道等維持管理事業費 11,994

降雨等による林道・作業道の路面の荒廃、路肩崩壊等を防止するため、林道等の補修及び維持管理、林道舗装工事の実施、事業用重機使用料及び生コンクリート等の原材料を支給した。

- ・ 林道七日市乙栗子線外1線舗装工事 (A=666.7㎡ W=3.0m) 1,998
- ・ 原材料費 30路線 5,480
- ・ 旅費 177
- ・ 需用費 189
- ・ 使用料及び賃借料 積算システム・積算単価データ使用料 164
- ・ 事業用重機借上料 23路線 治山附帯2か所 3,986

○ 治山事業費 1,470

治山工事要望か所(自然災害による森林崩壊地・荒廃溪流)を把握した後、県に対し復旧及び予防工事を要望するための現地調査を委託し、要望計画書の提出によって、事業採択を推進した。

本庁管内2か所(溪間1か所・山腹1か所)、飯南管内1か所(溪間1か所)  
飯高管内2か所(溪間2か所) 計5か所

○ 林道整備交付金事業費 32,001

森林の適正な維持管理、木材生産コストの低減に向け、路網整備を実施した。

路線名	事業内容	事業費	事業費内訳	
			工事請負費	立木補償費
林道中谷線	林道開設 L=197m、W=3.0m	19,201	18,673	528
林道下の谷線	林道開設 L=266m、W=3.0m	12,800	12,133	667
計		32,001	30,806	1,195

○ 市単林道施設保全管理事業費 144

林道、作業道を対象に全国市有物件災害共済(道路賠償責任保険)に加入した。

- ・ 役務費 144 (220路線/294km)

施策の成果及び執行実績

(目) 5 市有林管理費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
464					464

○ 飯南・飯高市有林管理事業費 464

市有林の巡視等を実施し、生育の状況や風倒木等の災害状況の把握、境界の明確化を行い、適正な森林管理を推進した。

(巡視、境界の明確化59.41ha)

- ・ 委託料 457 委託先：松阪飯南森林組合
- ・ 役務費 7 森林国営保険料 (対象面積 県行造林1.7ha)

参考 市有林面積 (市有林面積：飯南135.13ha、飯高326.15ha 計461.28ha)  
(団地数：飯南16、飯高66 計82団地)

## 施策の成果及び執行実績

## (目) 1 水産業総務費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
7,484					7,484

- 一般職員給 7,322
- 各種団体等負担金 162

## (目) 2 水産業振興費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
6,206					6,206

## ○ 水産業振興補助金 2,906

事業名	事業主体	事業量	事業費	市補助金	成 果
稚鮎等放流事業補助金	榑田川上流漁協	稚鮎 1,500kg	4,047	764	稚鮎等の放流事業に助成し、水産資源の増殖等を図るとともに、漁協による河川清掃等により漁場の環境向上に努めた。
		あめご1,000kg	1,800	409	
	香肌峡漁協	稚鮎 597kg	1,700	501	
	榑田川河川漁協	稚鮎 720kg	1,726	502	
	榑田川第一漁協	稚鮎 150kg	498	81	
	阪内川漁協	稚鮎 150kg	369	61	
		あめご 145kg	300	59	
	中村川漁協	稚鮎 380kg	1,199	191	
あめご 60kg		138	32		
小計		稚鮎 3,497kg	9,539	2,100	
		あめご1,205kg	2,238	500	
		小計	11,777	2,600	
川鶉対策事業補助金	榑田川上流漁協	捕獲数 19羽	95	38	内水面漁協が地元猟友会と連携して行う川鶉の捕獲事業に助成し、鮎やあめごの食害被害の軽減に努めた。
	香肌峡漁協	捕獲数 30羽	120	60	
	榑田川河川漁協	捕獲数 4羽	16	8	
	榑田川第一漁協	捕獲数 100羽	400	200	
	小計	捕獲数 153羽	631	306	
合計			12,408	2,906	

## ○ 水産資源増殖事業費 300

事業名	事業主体	事業量	事業費	市負担金	成 果
水産資源増殖事業費	八共協議会	ヨシエビ 16万尾 放流	300	300	伊勢湾の水産資源増殖を推進するため、協議会による計画的な種苗放流事業を関係市町等と共に進めた。

## ○ アサリ資源増殖事業補助金 2,500

事業名	事業主体	事業量	事業費	市補助金	成 果
アサリ資源増殖事業補助金	松阪漁業協同組合	アサリ 11.2t放流	5,071	2,500	松阪漁協が取り組むアサリの資源増殖に継続して助成し、生産量の安定化等に努めた。平成24年度は平年の約4倍の生産量となった。

施策の成果及び執行実績

○ 水産物消費拡大推進事業費補助金 500

事業名	事業主体	事業量	事業費	市補助金	成果
水産物消費拡大推進事業費補助金	松阪漁業協同組合	主催イベント 松阪あさりまつり 松阪あさりの試食・販売等  黒のりオーナー制度 オーナー93人	1,156	500	第1回目となる松阪あさりまつり開催等に助成し、あさり・青さのり・黒のり等地元水産物の地産地消を推進した。

(目) 3 水産業施設費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
596					596

○ 漁港海岸施設管理事業費 596

- ・ 樋門等管理用消耗品費 6
- ・ 獺師漁港荷捌き施設横斜路の道路舗装等修繕費 466
- ・ 樋門等管理委託費 36  
高潮・洪水等の異常気象に備え、松ヶ崎漁港防潮扉(2か所)と獺師漁港区域内の樋門(2か所)の日常点検や操作管理を委託し、災害防止に努めた。
- ・ 漁船巻上げ機用ワイヤーロープ、漁港道路管理用コーン等の原材料費 88

(目) 4 海岸保全事業費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
83,483	49,881	17,458	6,800		9,344

○ 海岸保全施設整備事業費 42,233

獺師漁港海岸は経年劣化による老朽化から抜本的かつ緊急的な整備が必要であり、背後地住民の安全を図るため計画的に海岸整備を実施した。平成24年度においては、堤防改良工に使用する鋼矢板276枚の製作を行った。

区 分	事 業 内 容	事業費	事業費内訳		
			工事費	委託料	事務費等
平成24年度獺師漁港海岸保全施設整備事業工事	鋼矢板製作工(276枚) L=6.5m(141枚) L=5.5m(135枚)	32,900	32,900	0	0
獺師漁港海岸保全事業附帯工事等	獺師漁港海岸保全事業附帯工事 ・ 井戸連続揚水調査2か所 外4件	8,191	8,191	0	0



施策の成果及び執行実績

区 分	事 業 内 容	事業費	事業費内訳		
			工事費	委託料	事務費等
猟師漁港海岸保全施設整備事業認可設計作成業務委託	認可設計作成業務委託一式	672	0	672	0
事務費等		470	0	0	470
	計	42,233	41,091	672	470

○ 海岸保全施設整備事業費（繰越分） 41,250

区 分	事 業 内 容	事業費	事業費内訳		
			工事費	委託料	事務費等
猟師漁港海岸保全施設整備事業工事（その2）	堤防改良 L=92.1m 矢板護岸工 L=90m ブロック護岸工 L=2.1m 堤防被覆工 L=90m 矢板打設工 L=218.4m	41,250	41,250	0	0

## 施策の成果及び執行実績

## (目) 1 商工総務費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
135,978		1,402			134,576

○ 一般職員給 132,162

○ 企業内人権啓発事業費 69

企業内の人権啓発を推進するために、公正採用選考人権啓発推進月間(9月)を設定し啓発用チラシの配布、研修会などを実施した。

○ 消費生活関連事業費 2,189

消費生活の向上と安定、消費者トラブルの未然防止を図るため、三重県の消費者行政活性化基金を活用し消費生活専門相談員の定期的な配置による相談窓口体制の強化、充実を図った。また、各地域に出向き出前講座等の啓発活動を行った。多重債務対策として市内でのネットワークを強化し市民への啓発活動を行った。

消費生活専門相談員設置 2人が交代で勤務 (平成24年5月～1人を毎日配置)  
相談件数 334件 (うち多重債務 53件)

○ 各種団体等負担金 911

松阪地域雇用対策協議会負担金 ほか

○ 商工一般経費 647

## (目) 2 商工振興費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
179,246		10,141		23,649	145,456

○ 廃止代替バス路線運行委託事業費 23,420

廃止された路線バス(宇気郷線、阿坂小野線)について、公共交通の空白を避けるため三重交通㈱に運行を委託し、沿線住民の通院や通学等の交通手段の確保に努めた。

路線名	宇気郷線	阿坂小野線
運行系統	松阪駅～辻原～柚原	松阪駅～藤の木台～小野～嬉野一志町
系統キロ	22.0km	18.3km
運行回数	1日7便	1日9便

○ 地域公共交通システム事業費 81,209

市街地循環線ほか市内コミュニティバス等の運行経費。地域住民の買い物、通院等の交通手段の確保に努めた。

- ・ 市街地循環線 右まわり1日8便、左まわり1日9便(土日祝8便)、年間利用者数 84,135人
- ・ 宇気郷地区コミュニティバス
  - (飯福田・柚原線) 予約制 1日2便(金・土1日3便) 年間利用者数 107人
  - (与原・深長線) スクールバス利用 1日4便 年間利用者数 100人
- ・ 黒部・東地区コミュニティバス
  - 1日10便 年間利用者数 8,935人

## 施策の成果及び執行実績

- ・ 機殿・朝見地区コミュニティバス  
1日10便 年間利用者数 4,854人
  - ・ 嬉野おおきんバス（コミュニティバス）  
1日6便 年間利用者数 7,014人
  - ・ 空港アクセス線・三雲松阪線（地域間バス）  
空港アクセス線 14便（内：乗合タクシー2便） 年間利用者数 11,811人  
三雲松阪線 6便 年間利用者数 6,123人
  - ・ 飯高波瀬森コミュニティバスたかみ  
1日6便 年間利用者数 2,186人
  - ・ 三雲地域コミュニティバス（たけちゃんハートバス）  
1日10便 10月1日運行開始後の利用者数 1,850人
- 飯南コミュニティバス運行事業費 2,681  
飯南コミュニティバスの運行経費。地域住民の交通手段の確保に努めた。
- ・ 5路線 1日4便（木曜日は午前午後1便ずつ） 年間利用者数 3,088人
- 商店街交通量調査事業費 718  
中心市街地の商店街の交通量を調査し、まちづくりの基礎資料として活用。
- ・ 調査日時 平成25年3月25日 午前8時～午後6時（10時間）
  - ・ 実施地点 市内商店街22か所と3踏切
- 小規模事業資金保証料補給金 6,232  
三重県中小企業融資制度の小規模事業資金借入の際の信用保証料について、利用者に補給を行った。（借入者 61人、上限25万円）
- 松阪市中心商店街活性化促進協議会補助金 450  
中心商店街の活性化を図るため、商店街連合会、商工会議所、行政等の関係団体で協力体制を確立し、ソフト事業を充実する取り組みを支援した。
- 商店街活性化総合事業費補助金 3,303  
各商店街が一体となり開催するイベント（にぎわいまつり、夜店等）や各商店街振興組合等が実施する松阪えきまえ楽市等の活性化対策事業、イメージアップ事業、商店街の活性化を図るための事業に対する支援、及び商店街連合会の運営に対して補助した。
- 事業費の1/3以内、新規事業については、事業費の1/2以内で補助。
- ・ 松阪市商店街連合会補助金 450
  - ・ 商店街活性化イベント事業補助金 700
  - ・ 各商店街振興組合等が取り組む事業への補助金 2,153
- 地域公共交通協議会事業費 499  
コミュニティバス等、公共交通システムに関する検討を行った。
- ・ 協議会の開催 3回
- 商工団体補助金 27,600  
商工業者の育成、振興に対して支援した。
- ・ 交付先 松阪商工会議所 9,970  
松阪北部商工会 9,480  
松阪西部商工会 8,150

## 施策の成果及び執行実績

- ものづくり技能者交流フォーラム開催事業費 54  
市内の製造事業所を会場に、事業所が独自開発した製品や研究・技術の発表、生産管理の現場見学会を含んだフォーラムを開催した。
  - ・ 平成24年12月17日(月)開催 23事業所 42人 松阪工業高校生 11人 計 53人参加
  - ・ 於 株式会社NTN三雲製作所
  
- 商店街空き店舗等出店促進補助金 8,280  
商店街ににぎわいを創出し活性化を図るため、商店街の空き店舗等を活用し出店する事業者に対して補助した。
  - 改装費補助率1/2 上限150万円、賃借料補助率1/2 上限5万円 (12か月分)
  - ・ 改装費補助 4件 6,000
  - ・ 賃借料補助 4件 2,280 (23年度出店分)
  
- 海上アクセス旅客ターミナル管理事業費 18,916  
中部国際空港と松阪市をつなぐ海上アクセス旅客ターミナル施設の維持管理を行った。
  - ・ 松阪港旅客ターミナル駐車場システム保守点検業務委託 504
  - ・ 松阪港旅客ターミナル施設警備委託 11,881
  - ・ 松阪港・セントレア港旅客ターミナル定期清掃業務委託 354
  - ・ 光熱水費 3,653
  - ・ セントレア港湾施設占用料 470
  - ・ 修繕料 592 ほか
  
- まちなか開業塾開催事業費 204  
商店街における将来の担い手となる新規創業者を対象に起業家研修会、及び空き店舗等出店促進補助金を活用し開業した事業者を対象に、レベルアップ研修を開催した。
  - ・ 起業家研修会 平成24年7月6、9、12日 3日間開催 延34人参加
  - ・ レベルアップ研修会 平成24年11月7日 開催 7人参加
  
- 地域ビジネスサポート事業費(緊急雇用) 4,934  
地域ビジネスサポート事業業務委託 委託先:松阪商工会議所  
最近の経済状況における松阪市内の中小事業者の実態を調査したほか、新規に創業を希望する者、創業間もない事業者、後継者等を対象に創業や経営基盤の強化に必要なセミナーを開催した。
  - 事業所訪問調査 366件
  - 創業・テーマ別セミナー 6回開催 延116人参加
  
- 各種団体等負担金 384  
三重県発明くふう展負担金、日本貿易振興機構三重貿易情報センター負担金、三重県産業支援センター会費、三重県鉄道網整備促進期成同盟会分担金
  
- 商工振興一般経費 363  
※ 経営安定関連(セーフティネット)保証の認定  
全国的に業況が悪化している等、経営の安定に支障を来している中小企業者が融資を受ける場合、市町村の認定が必要なため、中小企業信用保険法第2条第4項第1号から第8号までの認定を行った。
  - 中小企業信用保険法第2条第4項第5号の認定 132件

施策の成果及び執行実績

(目) 3 産業振興センター費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
23,061				9,832	13,229

○ 一般職員給 10,431

○ 産業振興センター管理運営事業費 12,630

活力ある地域経済社会発展の中核を担う地場産業や地元企業等の連携を図り、その振興の拠点として産業振興センターの機能を最大限に発揮するため、次の事業を行った。

- ・ 展示販売、講演会、各種研修会・会議等の会場としての施設の提供
- ・ 伝統産業振興室における地域主要製造業の生産品の展示

利用状況

会場区分	利用回数	利用者数	会場区分	利用回数	利用者数
常設展示場	186件	2,670人	和室(2)	274件	1,276人
人材育成講座室	479件	8,460人	研修ホール	266件	8,670人
情報資料室	542件	6,291人	小研修室	372件	2,211人
和室(1)	305件	1,541人	計	2,424件	31,119人

(目) 4 観光費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
154,365		20,899	6,100	3,070	124,296

○ 南三重活性化協議会負担金 10

南三重地域の自治体、団体、機関、企業、大学等が結束・連携し、活性化施策の推進や魅力ある地域づくりを推進していくことを目的として結成された『南三重活性化協議会』への負担金。協議会の活動として通常総会の開催、氏郷まつりにおける南三重「秋の観光・味覚フェア」、中部圏での金山総合駅での「観光物産展」の開催、加盟市町のイベントへの参加、観光パンフレットスタンド等の作成、またホームページによるトピックス、会員情報、観光情報の発信等を行った。

○ 国際交流事業団体補助金 816

国際交流活動を実施する学校、団体の交流経費の支援を行った。

・ 事業実績

団体名	内 容
松阪市民国際文化交流会	中国广西省桂林市小学校訪問 广西省桂林市の小学校を訪れ、スポーツ用品の寄贈や松阪市のPRを行なった。
松阪高等学校	オーストラリア研修 ホームステイをしながら現地の高校の授業や特別活動に参加した。
三重高等学校	オーストラリア姉妹校への短期留学 生徒の交流と国際理解を広げるため、オーストラリアの姉妹校と提携し、ホームステイをし、授業および諸行事に参加した。

施策の成果及び執行実績

団体名	内容
三重中学校	オーストラリア姉妹校への短期留学 生徒の交流と国際理解を広げるため、オーストラリアの姉妹校と提携し、ホームステイをし、授業および諸行事に参加した。
松阪地区日中友好協会	中国無錫市濱湖区PR事業 氏郷まつりにおいて、松阪市の友好都市である中国無錫市濱湖区の展示ブースを開設し、PRを行なうとともに友好交流の促進を図った。
特定非営利活動法人 希望の園	第37回ジャパンウィーク2012参加事業 スペインで行なわれるジャパンウィークにおいて、希望の園美術展を開催。また松阪市のPRを行なった。
松阪商業高等学校	平成24年度キャンベラハイスクール派遣事業 ホームステイをしながら、姉妹校の授業および諸行事に参加した。

○ 国際交流員 (CIR) 事業費 543

各種イベント、保育園、小学校への訪問や、英会話教室、アイウエーブの放送など、CIRを活用した国際交流を行った。

○ 生活オリエンテーション事業費 1,739

タガログ語とポルトガル語通訳者各1人の非常勤職員を雇用し、週3日・午後を基本に市役所1階ロビーで外国人住民のための生活相談窓口を開設し、延1,373件の利用があった。

- ・ 非常勤職員賃金 1,739

○ 地域国際化推進事業費 30

松阪市の国際化を推進するにあたり、外国人住民及び国際化を目指して活動を行う団体による「松阪市地域国際化推進会議」を開催し、松阪市で生活をする外国人住民から松阪市での『生活』、『ことばと文化』、『仕事』等をテーマに協議を行い松阪市の国際化政策に対する意見聴取を行った。

- ・ 講師謝礼金 30

○ 友好都市交流事業費 502

友好都市である中国無錫市濱湖区との交流事業を実施した。

- ・ 平成24年11月5日～8日  
友好都市である無錫市濱湖区を統括する無錫市が開催した「第6回無錫市国際友好都市交流会」に参加するとともに濱湖区政府への表敬訪問を行った。
- ・ 松阪市国際交流推進会議の開催(4回)。  
松阪市国際交流推進会議委員謝礼金、通訳謝礼金 170 ほか

○ 国際交流促進事業費 550

民間の立場から松阪市の国際化(国際交流・多文化共生)の推進を担っている「松阪国際交流協会」への負担金。

○ 観光客誘致事業費 21,111

- ・ 東京日本橋で「三井高利展」を開催し、三井高利が生まれ育った松阪の観光、歴史、文化等の魅力を情報発信することで、観光客誘致を推進した。

施策の成果及び執行実績

- ・ブランド大使を活用し、松阪市のPRとイメージアップ、さらにはイベント参加等による集客と地域の活性化を図るとともに、新たに4人のブランド大使を委嘱した。
- ・新聞、雑誌、FMラジオ、ウェブなどの広告媒体による観光PRの実施。
- ・観光パンフレット（観光PR冊子、観光ガイドマップ、松阪の城めぐりパンフレット、松阪歴史の道ガイドマップ等）による情報発信。
- ・観光ポスター広告の実施。（JR北海道、近畿日本鉄道、名古屋鉄道主要駅等）
- ・メディア交流会、セントレアイベント（松阪伊勢志摩観光物産展）、ゆるキャラまつりin彦根等を活用した観光PR、物産振興を推進。
- ・松阪市マスコットキャラクター“ちゃちゃも”の活用をはじめ、PRグッズやPR名刺等による観光PRを実施。

○ 各種補助金 21,683

事業名	事業主体	事業費	市補助金	成果
観光協会運営費補助金	松阪市観光協会	12,438	6,083	松阪市観光協会職員の雇用に要する経費の一部を補助することにより、団体の健全な発展を支援し、観光振興及び物産振興の向上に寄与。
観光協会事業費補助金	松阪市観光協会	38,694	15,600	松阪市観光協会が行う各種イベント及び観光客誘致活動等に要する経費の一部を補助することにより、観光客等の誘致を促進し、消費の活性化等による元気な地域の実現に寄与。
計		51,132	21,683	

○ 都市間交流事業費 1,714

松阪市と交流のある都市で開催をされたイベントへの参加を行い、松阪市の観光PRを行った。

- ・五條市かげろう座(5/27)、常滑焼まつり(8/24・25)
- ・伊勢志摩観光コンベンション機構とともに中部国際空港において『松阪・伊勢志摩観光物産展』を開催した。(9/20～27)
- ・松阪市との今後の都市間交流を見据えて、これまで松阪市と民間交流のあるベトナム国ホイアン市に日本・ホイアン文化交流イベントであるホイアンフェスティバルに参加するとともに、ホイアン市政府に表敬訪問を行った。(8/23～26)
- ・松阪伊勢志摩観光物産展負担金 500 ほか

○ リバーサイド茶倉施設管理事業費 14,584

リバーサイド茶倉施設の維持管理を行い、利用者の快適性・安全性の確保に努めた。

- ・指定管理者に係る委託料 14,385 ほか
- ・平成24年度利用者数 48,442人

○ リバーサイド茶倉施設整備事業費 1,368

- ・茶倉駅屋根塗装工事 塗装面積 272㎡

○ リバーサイド茶倉事業基金積立金 10 (平成24年度末現在高 1,523)

平成24年度分利子積立

○ 観光施設管理運営事業費 9,398

近畿自然歩道、ハイキングコース、観光地トイレ等の維持管理を行い、観光客の利便性及び安全性の向上を図った。

- ・維持管理業務等委託料 6,790 ほか

## 施策の成果及び執行実績

- 観光施設整備事業費 6,278  
日本棚田百選「深野だんだん田」駐車場に公衆トイレ1棟を設置。
  - ・ 木造平屋建て 延床面積 14.28㎡ (男子小2大1、女子1、多目的1)
- 観光情報センター管理運営事業費 9,167  
観光情報センターの維持管理を行い、来館者の快適性・安全性の確保に努めた。
  - ・ 情報センター正面の案内看板の多言語化
  - ・ 観光案内窓口業務等委託料 6,809 ほか
  - ・ 平成24年度来館者数 19,343人
- 飯高グリーンライフ山林舎施設管理事業費 1,402  
飯高グリーンライフ山林舎施設の維持管理を行い、利用者の快適性・安全性の確保に努めた。
  - ・ 指定管理者に係る委託料 955、土地借上料 447
  - ・ 平成24年度利用者数 5,349人
- 飯高グリーンライフ山林舎施設整備事業費 2,148  
施設建設後25年が経過していることからエアコンが不調であったため、玄関ホール及び食堂系統にかかる空調設備の改修を行った。
- 飯高森林とのふれあい環境整備施設管理事業費 1,244  
飯高森林とのふれあい環境整備施設の維持管理を行い、利用者の快適性・安全性の確保に努めた。
  - ・ 指定管理者に係る委託料 944、土地借上料 300
  - ・ 平成24年度利用者数 2,183人
- 飯高奥香肌峡林間キャンプ場施設管理事業費 430  
飯高奥香肌峡林間キャンプ場施設の土地借上料。
  - ・ 平成24年度利用者数 1,838人
- 飯高ホテルスメール関連施設管理事業費 11,595  
飯高ホテルスメール関連施設の維持管理を通じて利用者の快適性・安全性の確保に努めた。
  - ・ 指定管理者に係る委託料 11,595
  - ・ 平成24年度利用者数 45,736人
- 飯高ホテルスメール関連施設整備事業費 6,190
  - ・ ボイラー部品取替修繕 1,313
  - ・ 温泉水中ポンプ入替修繕 2,205 ほか
- 魅力ある観光地づくり支援事業費 13,526
  - ・ おもてなし処3か所(夢休庵、鈴の音、すずらん)の運営による観光客のおもてなしの向上を図った。
  - ・ 市内観光地の誘導看板(6か所)を修正。
  - ・ まつさか交流物産館の運営による地域物産等の振興を図った。
  - ・ 松阪市観光商品の旅行パンフレットへの掲載等。



施策の成果及び執行実績

○ 移動広告塔事業費 1,260

伊勢神宮式年遷宮の実施に伴い、増加する伊勢方面での観光客をターゲットとして、伊勢神宮（内宮）と最寄り駅とを結ぶ路線バス5台及び観光バス5台の車輛外側後部看板広告を行った。

- ・ 広告看板の規格 (路線バス看板) 450mm×900mm  
(観光バス看板) 780mm×2000mm

○ 松阪の魅力発掘・発信事業費（緊急雇用） 19,770

FMラジオを活用し、観光情報や地域に密着した情報を発信する番組を制作、放送することで、松阪市のイメージアップにつながる地域の情報発信と就業機会を創出した。

- ・ 松阪の魅力発掘・発信事業委託料 19,770

○ 地域ブランド連携・推進事業費 756

地域ブランド連携協議会において、地域ブランドを核とした具体的事業の展開に向けた協議を重ね、首都圏から地域ブランドを情報発信する体制を整えた。

- ・ 旅費 211 ほか

○ 観光交流戦略会議事業費 1,478

松阪市観光戦略会議を設置し、平成25年度から具体的に取り組む事業の計画をはじめ、11月に開催した「観光まちづくりシンポジウム」で参加市民から頂いた意見等も議論展開に反映させることで、観光振興ビジョンの策定に向けた協議を実施した。

- ・ 委員報酬 637 ほか

○ 観光まちづくりアドバイザー設置事業費 1,164

市内観光関連事業者や団体等からのアドバイス申請に応じて、「松阪市観光まちづくりアドバイザー（3人）」の経験や実績等を活かした指導、助言を行うことにより、人材や団体の育成を図った。

- ・ 報酬 450 ほか

○ 各種団体等負担金 2,790

- ・ 社団法人三重県観光連盟会費、三重の観光営業拠点運営協議会会費 ほか

○ 観光一般経費 1,110

- ・ パンフレット等郵送料、公用車・デジタル複合機借上料、事務消耗品購入費 ほか

(目) 5 産業立地費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
84,442					84,442

○ 企業誘致推進事業費 2,751

市内工場適地及び産業用地への優良企業の立地を推進し、積極的な企業誘致活動を行った。

- ・ 新規立地企業の状況

場所	西野工業団地内
会社名	松阪メガソーラー株式会社
敷地面積	34,170㎡
本社所在地	三重県松阪市西野町岩穴2681番地
業種	電気発電電事業、電気保安事業、型枠事業
取得日	平成24年10月用地取得

施策の成果及び執行実績

場所	松阪木材コンビナート内
会社名	松阪木材株式会社
敷地面積	6976.09m <sup>2</sup>
本社所在地	三重県松阪市木の郷町21番地
業種	製材挽きなおし工場及び天然乾燥場
取得日	平成24年11月用地取得

- ・ 松阪市内工場の設備投資による事業高度化の状況  
ダイヤモンド電機㈱、三菱重工オートモーティブサーマルシステムズ㈱、トライス㈱松阪工場、健栄製薬㈱松阪工場、ダイキョーニシカワ㈱三重工場、(株)オクトス、(株)興和工業所松阪工場、THK㈱三重工場、ケー・アイ技術㈱

○ 企業立地等促進奨励金 73,998

- ・ 松阪中核工業団地企業立地促進奨励金 35,017  
松阪中核工業団地西地区において、工場等の新設があった場合、工場用地取得価格の30%相当額の奨励金を5年分割で交付している。

交付先	交付金額	交付期間
健栄製薬株式会社	30,920	H20年度～H24年度
株式会社トモ	4,097	H20年度～H24年度
計	35,017	

- ・ 企業立地促進奨励金 38,981

松阪中核工業団地西地区以外の市内全域において、工場等の新設があった場合は、工場用地取得価格の25%相当額の奨励金を5年分割で交付している。

交付先	交付金額	交付期間
ダイキョーニシカワ株式会社	7,500	H20年度～H24年度
松阪メタル株式会社	17,931	H24年度～H28年度
健栄製薬株式会社松阪第三工場	13,550	H24年度～H28年度
計	38,981	

○ 産業経済人交流事業費 6,372

松阪市内の工業団地及び工場適地等への企業誘致を推進するため、首都圏の企業、業界、経済団体等の経営者や担当者が一堂に会して、松阪市の産業、観光、文化、自然環境面などの多様な情報発信と企業誘致の支援体制を構築し、首都圏の産業経済人との連携を深め企業立地の推進を図ることを目的に「首都圏・産業経済人交流ネットワーク松阪」を開催した。また、同様に中京圏においても同事業を開催した。

①首都圏・産業経済人交流ネットワーク松阪

開催日 平成24年11月12日(月) KKRホテル東京にて開催

参加者 企業関係者、金融機関、行政機関等、58社・100人

内容 第一部 講演会、第二部 情報交換会

②中京圏・産業経済人交流ネットワーク松阪

開催日 平成25年2月7日(木) 名鉄ニューグランドホテルにて開催

参加者 企業関係者、金融機関、行政機関等、47社・62人

内容 第一部 講演会、第二部 情報交換会

- ・ 企業訪問活動

引き合い企業への訪問、立地意向調査有効回答企業への再フォロー

立地企業の本社訪問、企業立地情報に係る関連機関への訪問等(企業訪問112回286社)

## 施策の成果及び執行実績

### ○ 企業連携推進事業費 667

企業・自治体が中心となり、全国から集う企業・団体・個人とともに、新しい日本の目指すべき方向性を探り、時代にあったビジネスを起こし、商品やサービスの開発を行っていく目的で平成23年4月18日にGS世代研究会が設立され、松阪市は設立当初からモデル自治体として参画してきた。平成24年度は、分科会、シンポジウム、勉強会に参加し会員企業と連携を深め地域活性化に取り組んだほか、市内GS世代研究会会員企業の製品紹介等の販路拡大の支援にも取り組んだ。

GS世代研究会 分科会・シンポジウム・勉強会 6回

GS世代研究会 幹事企業との協議 8回

### ○ 各種団体等負担金 653

- ・ 松阪地域産業活性化協議会負担金 653

(款) 8 土木費

(項) 1 土木管理費

(単位 千円)

## 施策の成果及び執行実績

(目) 1 土木総務費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
340,633				32	340,601

- 一般職員給 328,487
- 用地対策一般経費 11,877
  - 測量・登記業務手数料 5,343 ほか
- 営繕一般経費 269
  - ・ 書籍・消耗品 143
  - ・ 研修会等出席負担金 49
  - ・ 旅費 77

年月日	区分	内 容	参加人数
H24.6.20	講習会	「木材利用推進セミナー」講習会	1
H24.6.27	講習会	新営予算単価と設計料算定 説明会	2
H24.7.13	会議	平成24年度三重県営繕主管課長会議	1
H24.8.7	講習会	「工事施工管理要領【建築工事】」講習会	1
H24.8.8	講習会	「工事施工管理要領【電気・機械設備】」講習会	1
H24.11.1	講習会	木材を活用した学校施設づくり講習会	2
H25.3.8	見学会	「建築・建材展2013」	1

## 施策の成果及び執行実績

## (目) 1 道路橋りょう総務費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
192,558				132	192,426

- 一般職員給 185,113
- 交通事故賠償金 102
  - ・ 道路管理瑕疵に係る交通事故賠償金 102
- 各種団体等負担金 598
  - ・ 三重県社会基盤整備協会（旧道路協会分） 328
  - ・ 中勢バイパス建設促進期成同盟会 162 ほか
- 道路橋りょう一般経費 6,745
  - ・ 設計積算システム利用料 760
  - ・ 事務補助員賃金 757
  - ・ 用地交渉等旅費 374
  - ・ 消耗品費 4,015 ほか

## (目) 2 道路維持費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
516,942				35	516,907

- 交通安全施設設置修繕事業費 11,155
  - ・ 道路反射鏡修繕 125基
  - ・ 防護柵修繕 408.7m
  - ・ 道路区画線 391.5m
  - ・ 交通安全施設修繕 14か所 ほか
- 道路維持修繕事業費 347,684
 

区 分	件 数	事業費
施設設備修繕	143件	21,997
道路維持修繕工事	46件	110,145
下水溝渠修繕工事	18件	38,728
舗装修繕工事	35件	106,700
除草工事	7件	12,973
小規模修繕工事	246件	57,141
計	495件	347,684
- 道路清掃等委託事業費 8,789
  - 草刈等（地域振興局管内） 6,986
  - 清掃（本庁管内歩道及び地下道） 1,803
- 道路補修用資材費 37,598
- 雪寒対策道路維持事業費 4,087
  - 冬期に交通障害となる路面凍結防止などを行った。  
（道路巡視19回、凍結防止剤散布9回、除雪2回）
- 道路台帳整備委託事業費 29,855
- 街路樹剪定等委託事業費 9,702
  - 植栽管理業務委託料
- 弁護士委託等事業費 159

施策の成果及び執行実績

- 交通安全施設緊急整備事業費 32,992
  - ・ 道路反射鏡設置 82基
  - ・ 防護柵設置 516.1m
  - ・ 道路区画線 17,550.9m
  - ・ 交通安全施設設置 17か所 ほか
- 道路維持一般経費 24,096
  - ・ 光熱水費 11,710
  - ・ 賃金 4,099
  - ・ 修繕料 2,271
  - ・ 消耗品費 1,261
  - ・ 道路管理者賠償責任保険 1,077
  - ・ 燃料費 1,326 ほか
- 中川駅前・連絡道管理事業費 10,826
  - ・ エレベーター・エスカレーター保守点検業務委託 4,130
  - ・ 光熱水費 3,022
  - ・ 清掃委託 1,575 ほか

(目) 3 道路新設改良費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
214,077	43,349		123,500		47,228

○ 島田北10号線道路新設事業費 27,521

事業内容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	手数料
施工延長L=212.0m、旧河川埋戻工V=6,000m <sup>3</sup> ほか	27,521	27,064	457		

○ 道路整備単独事業費 133,117

路線(事業)名	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	手数料
浜垣内1号線	10,525	9,595		930	
松崎浦中島線	8,518			7,576	942
高町屋停車場線	10,451	3,174		6,837	440
高町屋停車場線外1線	587		587		
田村藤之木線	3,842	3,842			
上川山添線	5,557	4,640		714	203
出口下出線	5,548	5,548			
法田8号線	11,529	11,453			76
大石本郷線	601	297			304
海会寺幸生線	3,295		2,372		923
草入道線	1,453		1,453		
大足久保町線	4,896		4,896		
久保第2道線外1線	908		908		
久保第2道線	7,909	7,909			
小黒田1号線	8,528	8,528			
小阿坂曲り線	6,315	6,315			
島田北10号線	171			171	
星合舞出線	742	460			282
須賀草薙線新屋庄津屋城線	15,523			15,358	165
須賀領3号線	2,867	2,867			
西肥留舞出線	15,610	15,610			
波留寺道線	7,536	7,536			
木梶落方線	92	92			

施策の成果及び執行実績

路線(事業)名	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	手数料
柏野線	107	107			
橋梁点検業務委託	7		7		
合計	133,117	87,973	10,223	31,586	3,335

- 星合舞出線道路新設事業費 8,660

事業内容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	手数料
施工延長L=700.0m、用地A=42.96㎡ほか	8,660	4,700	759	3,201	

- 島田北10号線道路新設事業費(繰越分) 42,637

事業内容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	手数料
施工延長L=190.0m、ブロック積工A=286㎡ほか	42,637	42,637			

- 道路整備単独事業費(繰越分) 2,142

路線(事業)名	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	手数料
島田北10号線	1,430	1,430			
栃川線	712	712			
合計	2,142	2,142	0	0	0

(目) 4 橋りょう新設改良費

決算額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
82,200	45,210		23,200		13,790

- 橋りょう耐震補強事業費 32,800

事業内容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	手数料
新柏野橋耐震補強工事	28,430	28,430			
新口野々橋外1橋耐震補強設計業務委託	4,370		4,370		
合計	32,800	28,430	4,370	0	0

- 橋りょう長寿命化修繕計画策定事業費 30,400

事業内容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	手数料
橋梁点検業務委託	18,134		18,134		
橋梁健全度評価業務委託	4,617		4,617		
木梶橋外1橋橋梁補修設計業務委託	3,359		3,359		
松川原橋外1橋橋梁補修設計業務委託	4,290		4,290		
合計	30,400	0	30,400	0	0

- 橋りょう耐震補強事業費(繰越分) 19,000

事業内容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	手数料
栃川橋耐震補強工事	19,000	19,000			

(款) 8 土木費

(項) 3 河川費

(単位 千円)

## 施策の成果及び執行実績

## (目) 1 河川総務費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
5,737					5,737

- 洪水ハザードマップ作成事業費 3,532
  - ・ ハザードマップ作成業務委託 3,532
- 各種団体等負担金 1,156
  - ・ 三重県社会基盤整備協会（旧河川防災協会分） 283
  - ・ 三重県社会基盤整備協会（旧治水砂防協会分） 268
  - ・ 櫛田川祓川改修促進期成同盟会 268
  - ・ 三重県雲出川治水事業促進期成同盟会 283 ほか
- 河川一般経費 1,049
  - ・ 土砂災害情報相互通報システム保守業務委託 576 ほか

## (目) 2 河川維持費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
75,333	3,575	1,830		10,001	59,927

- 河川維持修繕事業費 56,492
  - ・ 下村排水路維持工事 9,210
  - ・ 普通河川広出川河川維持工事 3,225
  - ・ 河川清掃・除草業務委託 17,467 ほか
- 樋門・樋管等管理事業費 15,095
  - ・ ポンプ場等電気料金 6,888
  - ・ 国管理樋管等操作業務委託 3,347
  - ・ 県管理樋門等操作業務委託 1,595
  - ・ 施設設備修繕 1,052 ほか
- 調整池管理事業費 3,747
  - ・ パークタウン学園前調整池外16池管理委託 2,303
  - ・ 調整池電気料金 218
  - ・ 調整池施設管理者賠償責任保険及び監視員傷害保険 291 ほか

## (目) 3 河川改良費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
92,757	2,000		82,100	889	7,768

- 県施行急傾斜地崩壊対策事業負担金 3,259

箇所	種別	負担率	金額
中村地区	国補	1/20	875
栃川地区	国補	1/10	1,384
森家野地区	国補	1/20	1,000
合 計			3,259



施策の成果及び執行実績

○ 河川改良単独事業費 83,129

河川名	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	手数料
真盛川	82,744	75,389	976	6,219	160
九手川	385		385		
合計	83,129	75,389	1,361	6,219	160

○ 県施行海岸環境整備事業負担金 369

箇所	負担率	金額
吹井ノ浦地区海岸	1/5	369

○ 準用河川九手川改修事業費 6,000

事業内容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地費	手数料
地質調査及び設計測量委託	6,000		6,000		

(目) 4 浸水対策費

決算額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
77,570			73,600		3,970

○ 浸水対策事業費 77,570

箇所	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	手数料
獺師排水路	4,139	4,139			
築港排水路	8,615	8,615			
川井町排水路	7,181	7,181			
佐久米排水路	4,276	4,276			
久保排水路	18,954	17,844		1,110	
高束排水路	12,241	12,241			
築港ポンプ場	3,354	3,354			
名古須ポンプ場	18,810	17,251	1,559		
合計	77,570	74,901	1,559	1,110	0

(目) 5 水防費

決算額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,180					1,180

○ 水防施設管理事業費 868

・ 水防用資材 776 ほか

○ 水防一般経費 312

・ 水防訓練時借上料 138 ほか

(款) 8 土木費

(項) 4 港湾費

(単位 千円)

施策の成果及び執行実績

(目) 1 港湾管理費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
25,363			10,700		14,663

○ 県施行松阪港改修事業負担金 24,919

箇 所	負担率	金額
国補 港湾改修事業（大口岸壁補修）地元負担金	1/5	11,904
津松阪港埠頭用地造成事業（起債償還分）地元負担金	1/5	13,015
計		24,919

○ 各種団体等負担金 269

- ・ 三重県社会基盤整備協会（旧港湾海岸協会分） 119
- ・ 日本港湾協会 100
- ・ 松阪港振興協議会 50

○ 港湾管理一般経費 175

- ・ 消耗品費 35 ほか

## 施策の成果及び執行実績

## (目) 1 都市計画総務費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
196,250				56,536	139,714

○ 一般職員給 129,990

○ 屋外広告物事業費 2,592

屋外広告物の許可事務、また、はり紙・はり札・立看板などの違法広告物の簡易除却、業者等への指導を行い、良好な景観形成、風致維持、危険防止に努めた。

	新規	継続	除却届	合計
許可事務実績	93 件	864 件	77 件	1,034 件

	はり紙	はり札	広告旗	立看板	合計
簡易除却実績	238 件	156 件	0 件	9 件	403 件

指導事務実績 0 件 (未許可物件)

指定事務実績 0 件

○ 都市計画審議会事業費 286

市長の諮問に応じ都市計画について審議を行った。

・ 松阪市都市計画審議会委員報酬 (委員20人 2回開催) 112

・ 松阪市都市計画審議会委員先進地視察時バス借上げ料 124 ほか

○ 都市景観推進事業費 930

松阪市景観計画、景観条例に基づく届出制度の運用や重点地区の指定を行い、景観啓発活動として絵画コンクールを行った。

届出行為	届出	届出変更	通知	通知変更	件数
建築物	19 件		7 件	4 件	30 件
工作物	40 件		63 件	1 件	104 件
開発行為	17 件	3 件			20 件
土地の形質の変更	3 件				3 件
物件の堆積					0 件
合 計	79 件	3 件	70 件	5 件	157 件

・ 重点地区指定「市場庄地区」(H25.4.1～運用開始)

・ 景観まちづくりシンポジウムの開催 (H24.9.9)

・ 松阪市景観アドバイザー報酬 (委員4人) 28

・ 景観絵画コンクール参加記念品等 91

・ 松阪市景観計画変更業務等委託 756 ほか

○ 都市計画基礎調査事業費 3,098

都市計画法第6条により、区域区分や用途地域などの都市計画を定める際の基準を得るための調査として位置づけられている都市計画基礎調査を行った。

・ 松阪市都市計画基礎調査業務委託 3,098

○ 景観審議会事業費 137

松阪市景観条例第24条に基づいて、市長の附属機関として景観審議会を組織し、市長の諮問に応じて、良好な景観の形成に必要な事項及び屋外広告物に関する重要な事項を調査、審議した。

・ 松阪市景観審議会委員報酬 (委員10人 2回開催) 133 ほか

○ 都市計画図作成事業費 42,662

三重県全域の共同作業である「数値地形図1/2,500」の作成に伴い、松阪市基本図(1/1,000)の整備(修正)を同時に行った。

・ 松阪市都市計画図等作成業務委託 4,862

・ 第2期共有デジタル地図共同整備事業負担金 37,800

施策の成果及び執行実績

- 各種団体等負担金 718
  - ・ 公益財団法人都市計画協会会費 171
  - ・ 三重県社会基盤整備協会会費 492
  - ・ 中部地方都市美協議会会費 30
  - ・ 三重県土地区画整理研究協議会会費 25
- 都市計画一般経費 4,657
  - ・ 非常勤職員賃金 1,692
  - ・ 旅費 88
  - ・ 消耗品費等 1,483
  - ・ 印刷製本費 200
  - ・ 松阪市統合型GIS保守点検委託料 525
  - ・ パソコン、プリンター等借上料 255 ほか
- 中川駅周辺区画街路整備基金積立金 11,182 (平成24年度末現在高 112,234)

(目) 2 中心市街地活性化推進費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
27,515		4,400	7,500		15,615

- 中心市街地整備事業費 27,515
 

平成22年3月に作成した「松阪まちなか再生プラン」を推進するとともに、60項目の具体的施策を実行するなかで、JR松阪駅前広場修景整備工事、市道松阪駅南北線(地下道)修景整備工事を行った。また、元気なまちづくり活動発表会“2012”、市民アンケート調査、市民意見聴取会を実施した。

  - ・ 松阪まちなかまちづくり市民アンケート調査業務委託 1,827
  - ・ 市道新規町通り線修景整備工事に伴う委託料 5,029
  - ・ JR松阪駅前広場修景整備工事 7,937
  - ・ 市道松阪駅南北線(地下道)修景整備工事 9,336
  - ・ 市道松阪駅南北線(地下道)修景整備工事その2 2,850 ほか

(目) 3 街路事業費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
131,260			123,100		8,160

- 県施行街路事業負担金 61,790
 

箇所	負担率	金額
松阪公園大口線外1線 (国庫補助街路事業)	1/6	57,634
〃 (街路整備・地域活力基盤創造事業)	1/6	3,690
〃 (ウォークギャラリー整備事業)	1/6	386
〃 (県単街路事業)	1/2	80
合 計		61,790
- 県施行街路事業負担金(繰越分) 69,470
 

箇所	負担率	金額
松阪公園大口線外1線 (国庫補助街路事業)	1/6	44,997
〃 (地方特定道路整備事業)	1/6	23,400
〃 (ウォークギャラリー整備事業)	1/6	978
〃 (県単街路事業)	1/2	95
合 計		69,470

施策の成果及び執行実績

(目) 4 公園管理費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
121,481		201		535	120,745

- 都市公園維持管理事業費 116,046
  - ・ 各種公園維持業務委託 90,351
  - ・ 施設設備修繕 13,088
  - ・ 光熱水費 9,486
  - ・ 原材料 331
  - ・ 消耗品費 905 ほか
- 都市公園整備事業費 4,988
  - ・ 川井町深見公園外都市公園整備工事 3,078
  - ・ 鶴農村公園都市公園整備工事 1,910
- 各種団体等負担金 97
  - ・ 日本公園緑地協会 55
  - ・ 全国都市公園整備促進協議会 42
- 公園一般経費 350
  - ・ 消耗品費 275 ほか

(目) 5 公園建設費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
296,655	110,733		144,232		41,690

- 総合運動公園建設事業費 265,114

事業名	事業内容	事業費	事業費内訳			
			工事費	委託料	用地・補償	手数料ほか
総合運動公園建設事業費 (単独)	附帯工事	8,032	8,032			
	公園建設工事	30,219	1,146		28,762	311
	小 計	38,251	9,178	0	28,762	311
総合運動公園建設事業費 (補助)	公園建設工事	119,155	119,155			
	地質調査	2,708		2,708		
	小 計	121,863	119,155	2,708	0	0
総合運動公園建設事業費(暮らしの安心・地域活性化等)	公社用地買戻し	105,000			105,000	
	小 計	105,000	0	0	105,000	0
合 計		265,114	128,333	2,708	133,762	311

- 松名瀬海岸海浜公園建設事業費 1,937
  - ・ 実施設計業務委託 1,937

施策の成果及び執行実績

○ 総合運動公園建設事業費（繰越分） 29,604

事業名	事業内容	事業費	事業費内訳			
			工事費	委託料	用地・補償	手数料
総合運動公園建設事業費（補助）	公園建設工事	29,604	29,604			

(目) 6 建築開発費

決算額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
129,818		248		38,644	90,926

○ 一般職員給 99,252

○ 建築開発事業費 9,790

建築基準法、都市計画法、国土利用計画法に基づく建築確認申請、道路位置指定申請、開発許可申請、土地売買届出等の受付及び審査業務を行った。

・ 申請等件数

申請名	件数	申請名	件数
建築確認申請	222件	道路位置指定申請	3件
完了検査申請	212件	都市計画法に基づく許可申請	74件
長期優良住宅認定申請	151件	開発許可申請	82件
構造計算適合性判定棟数	5棟	省エネ法届出	28件
建築等許認可申請	33件	優良住宅・優良宅地認定申請	0件
三重県ユニバーサルデザインのまちづくり推進条例申請	58件	国土利用計画法届出	31件
情報公開申請	76件	低炭素建築物新築等計画の認定申請	2件
		建築計画概要書閲覧申請	300件

○ 公共施設等基金積立金 20,496（平成24年度末現在高 161,011）

宅地開発を行う事業者から「松阪市開発行為に関する指導要綱」により開発納付金を徴収し、公共施設の整備を図るための基金として積み立てた。

- ・ 開発納付金（29件） 19,607
- ・ 公共施設等基金利子 889

○ 建築審査会事業費 280

特定行政庁の諮問に応じて、建築基準法の施行に関する重要事項を調査審議するために置かれている「建築審査会」を開催した。

建築審査会開催(年月日)	内 容
第1回建築審査会 (H24. 6. 22)	・ 包括案件（法第43条第1項ただし書）1件
第2回建築審査会 (H24. 11. 9)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個別案件（法第43条第1項ただし書）1件</li> <li>・ 包括案件（法第43条第1項ただし書）10件</li> <li>・ 報告事項                             <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平成24年度東海ブロック建築審査会協議会の報告（建議・提言事項の進捗状況について等）</li> <li>2. 第59回全国建築審査会会長会議の報告（審査請求事例の報告と、建築基準の検証・見直しについて等）</li> </ol> </li> </ul>

施策の成果及び執行実績

建築審査会開催(年月日)	内 容
第3回建築審査会 (H25. 2. 8)	・個別案件 (法第56条の2第1項ただし書) 1件
第4回建築審査会 (H25. 3. 26)	・法第56条の2第1項ただし書許可にかかる包括同意基準の改正について ・包括案件 (法第43条第1項ただし書) 11件

(目) 7 都市下水路費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
204,603	40,847		38,100		125,656

○ 都市下水路管理運営事業費 107,564

事業内容	事業費	管内別内訳		備 考
		本庁	嬉野	
ポンプ場及び排水機場施設運転管理業務委託	74,760			
電気保安業務及び消防施設保守管理業務等委託	2,988	2,539	449	浄化槽維持管理、消防施設、電気保安、芝生管理等
中川西部・東部排水機場除草業務委託	370		370	
都市下水路草刈業務委託	1,284	1,284		
山室都市下水路調整池草刈等施設管理業務委託	2,928	2,928		
ポンプ場及び排水機場等施設修繕料	13,033	10,161	2,872	大口 7,703 宮町 1,177 沖ス 472 中川東部 1,444 中川西部 1,428 百々川雨水幹線 809
燃料費、光熱水費、電話料金ほか	12,201	10,618	1,583	
計	107,564			

○ 都市下水路施設整備事業費 15,346

導水路及びポンプ場の施設整備を図った。

種別	工事名	工事内容	工事費
導水路	導水路維持管理工事 (その1)	末広町 浚渫工 V=26.0m <sup>3</sup> 除草工 A=2,650m <sup>2</sup>	766
	導水路維持管理工事 (その2)	宮町 犬走り清掃工 L=235m	260
	導水路維持管理工事 (その3)	嬉野中川町 ゲート安全手すり取付工 N=1.0式	357
ポンプ場	宮町ポンプ場No.3エンジンE点検整備工事	No.3エンジンE点検整備工事 N=1.0式	2,909
	沖スポンプ場No.2自家発エンジンE点検整備工事	No.2エンジン・自家発エンジンE点検整備工事 N=1.0式	4,229
	中川東部排水機場No.1ポンプ分解整備工事	No.1ポンプ分解整備工事 N=1.0式	6,825
	計		15,346

施策の成果及び執行実績

- 宮町ポンプ場施設長寿命化事業費 81,693  
 下水道長寿命化計画変更策定業務委託ほか 2,392  
 宮町ポンプ場電気設備改築・更新工事ほか 79,301

種別	事業名	事業内容	事業費
ポンプ場	機械設備機器価格調査業務委託	価格調査 N=1.0式 (8品目)	964
	下水道長寿命化 (宮町ポンプ場) 計画変更策定業務委託	下水道長寿命化 (宮町ポンプ場) 計画変更策定業務委託 N=1.0式	1,428
	宮町ポンプ場外壁他改修工事	外壁塗装改修 A=1,394㎡ ウレタン塗装防水 A=184㎡	11,463
	宮町ポンプ場施設長寿命化事業 宮町ポンプ場改築・更新 (機械設備) 工事	No.2 し渣搬出機 N=1.0基、 原水ポンプ N=1.0基、圧力ポンプ N=1.0基、し渣分離機 N=1.0基、し渣コンテナ N=1.0基、圧力水タンク N=1.0基	64,579
	宮町ポンプ場施設長寿命化事業 宮町ポンプ場排煙室改修工事	チャンバー室スチールドア設置 N=1.0式、煙突ガラリ改修 N=1.0式、排煙室清掃 N=1.0式	3,259
	計		81,693

(目) 8 下水道費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,284,439			1,400		2,283,039

- 公共下水道事業会計繰出金 2,276,927  
 ・ 事務費繰出金 179,676  
 ・ 建設費繰出金 44,822  
 ・ 公債費財源繰出金 (元金) 1,676,535  
 ・ 公債費財源繰出金 (利子) 375,894
- 高須町公園多目的広場施設管理事業費 2,308  
 ・ 高須町公園多目的広場除草業務委託 2,308  
 A=25,300㎡ 機械除草工 年3回、抜根除草工 年3回
- 高須町公園多目的広場施設整備事業費 5,204  
 ・ 高須町公園多目的広場整備工事  
 暗渠排水工 L=389m 防球ネット工 N=1.0式 植栽 4本  
 張りコンクリート工 A=60㎡ フェンス扉設置 N=1.0か所



## 施策の成果及び執行実績

## (目) 1 住宅管理費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
292,431				164,564	127,867

○ 一般職員給 95,508

○ 市営住宅管理運営事業費 34,164

市営住宅入居者募集状況

区 分	6月	12月	計
募集戸数	21戸	21戸	42戸
応募者数	32人	16人	48人

市営住宅管理状況

公営住宅	改良住宅	その他住宅	計
1,234戸	408戸	14戸	1,656戸

○ 市営住宅維持修繕費 125,571

・ 市営住宅修繕料 124,781

・ 修繕用原材料費等 790

○ 市営住宅修繕工事費 32,174

事業内容	事業費	事業費内訳		
		工事費	委託料	
物置改修工事	清生町団地C11・13棟	10,944	10,944	0
ベランダ手摺塗装工事	船江町団地C2・3棟	2,791	2,791	0
受水槽改修工事	川井町団地C2棟	1,741	1,741	0
団地内フェンス・通路改修工事	東町改良住宅	3,171	3,171	0
解体工事	春日町水害罹災者住宅	3,083	3,083	0
給配水設備修繕工事	清生町団地C14棟	3,536	3,536	0
	中万町団地C3棟	3,033	3,033	0
汚泥搬出・管路清掃業務委託	こだま団地し尿処理施設	3,875	0	3,875
合 計		32,174	28,299	3,875

○ 若者定住住宅管理事業費 756

・ 若者定住住宅管理状況

農林業就業者住宅	3戸
若者定住住宅	21戸

・ 施設修繕料 752

・ 役務費等 4

○ 公営住宅及び共同施設建設等基金積立金 20 (平成24年度末現在高 3,082)

○ 市営住宅火災等復旧事業費 4,228

平成24年11月12日に発生した市営高田団地1棟134号の火災に伴い、該当住宅及び消火作業に伴う水損被害住宅の応急修繕を行った。

・ 施設修繕料 4,228

○ 各種団体等負担金 10

施策の成果及び執行実績

(目) 2 住宅建設費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
35,059	17,861		15,100		2,098

○ 公営住宅ストック改善事業費 35,059

事業内容		事業費	事業費内訳	
			工事費	その他
屋上防水改修工事	東町団地C7棟	1,974	1,974	0
	東町改良住宅	4,074	4,074	0
	中万町団地C2棟	4,581	4,581	0
	中万町団地C3棟	2,451	2,451	0
外壁工事	清生町団地C10棟	4,880	4,880	0
	中万町団地C3棟	4,559	4,559	0
	中万町団地C4棟	4,708	4,708	0
下水道接続工事	こだま団地	7,587	7,587	0
事務費		245	0	245
合 計		35,059	34,814	245

## 施策の成果及び執行実績

## (目) 1 常備消防費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,046,555					2,046,555

## ○ 松阪地区広域消防組合分担金 2,046,555

人件費	1,674,874	物件費	191,232	維持補修費	6,018
補助費等	15,511	普通建設事業費	11,878	公債費	125,475
扶助費	21,567				

## (目) 2 非常備消防費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
178,804	3,610	5,000		21,940	148,254

## ○ 消防団員消防・水防手当 42,259

種別	人員	金額
ラップ隊手当	7人	52
機械器具点検手当	延 1,374人	6,583
訓練手当	延 8,400人	29,400
水火災出動手当	延 1,556人	6,224
計		42,259

## ○ 消防団員報酬 43,363

種別	人員	金額
年手当	1,374人	43,363

## ○ 消防団長交際費 30

## ○ 消防団員退職報償金等 (94人分) 20,493

## ○ 消防団員等公務災害補償等共済基金掛金 30,550

- ・ 消防団員等公務災害補償等掛金 3,286
- ・ 消防団員退職報償金掛金 27,264

## ○ 全国消防団員福祉共済制度加入掛金 5,680

- ・ 消防団員福祉共済掛金負担金 1,420人分

## ○ 消防団防災資機材等整備事業費 7,078

消防団員が活用する装備等の更新・配備を実施した。

- ・ 防火服・活動服・合羽等の更新 5,922
- ・ 情報収集用ラジオの配備 1,155

## ○ 消防団員公務災害補償費 1,727

消防団員の遺族補償年金1人、及び団員1人の療養等に対して補償を行った。

## ○ 消防団員健康診断事業費 353

消防団員111人に対し健康の保持増進を図るため、健康診断を実施した。

## ○ 各種団体等負担金 1,393

三重県消防協会松阪支会分担金1,306、三重県消防学校入校負担金 62 ほか

施策の成果及び執行実績

- 非常備消防一般経費 15,044  
消防団運営にかかる諸経費（需用費、旅費、公課費、報償費等）
- 消防団防災資機材等整備事業費（繰越分） 10,833  
消防団員の安全を確保する装備を配備した。
  - ・ ライフジャケット 1,467
  - ・ トランシーバー 7,922
  - ・ 投光機 1,444

(目) 3 消防施設費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
34,890			11,900		22,990

- 水道事業会計繰出金 16,049  
新設消火栓等の設置、その他の消火栓の修繕等を行った。
- 消防施設管理事業費 5,709  
消防に関する現有施設の維持・管理を図った。
  - ・ 消防車庫修繕 595
  - ・ 消防水利等修繕 321
  - ・ 市内の消火栓の点検を消防団に委託 4,450
  - ・ 原材料費等 114
  - ・ 警鐘台の撤去 229
- 消防防災施設整備事業費 12,631  
年次計画に基づき老朽化した消防団車庫1棟を建替え防災拠点施設の強化を図った。耐震性貯水槽4基の設置は、年度内に事業完了しなかったため翌年度繰越事業とした。
- 消防・防災訓練センター管理運営事業費 207  
消防・防災訓練センターの光熱水費
- 消防施設解体事業費 295  
自治会の要望に基づき老朽化した防火水槽を解体し、用地を返還した。
- 消防防災施設整備事業費（暮らしの安心・地域活性化等） 0  
平成25年度分耐震性貯水槽（5基）を前倒しして平成24年度事業として整備するが、年度内に事業完了しなかったため翌年度繰越事業とした。

## 施策の成果及び執行実績

## (目) 1 教育委員会費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
4,654					4,654

- 教育委員会委員報酬 4,152  
委員長1人・委員3人、13回会議開催
- 教育長交際費 20
- 教育委員会委員候補者公募選考事業費 54
  - ・ 選考委員会の開催 2回  
1次選考＝書類審査(14人→5人) 2次選考＝市民公開による個人面接(5人→1人)  
教育行政の一層の活性化や更なる充実を図るため、教育現場の現状や地域の実情に通じ、広い視点から教育について考えていただける方(教育委員会委員候補者)1人を、小中学生の保護者から公募し、公正公平な選考を行った。
- 各種団体等負担金 231
- 教育委員会一般経費 196

## (目) 2 事務局費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
675,739	2,758		2,700	534	669,747

- 一般職員給 641,304
- 各種補助金等 4,465

事業名	金額	事業内容及び成果
私立幼稚園就園奨励費補助金	1,240	私立幼稚園に在園する園児に対し、設置者が保育料等を減免した場合、当該設置者に対し補助金を交付し、幼稚園の就園を奨励した。(2園) 251,000円×1人、196,200円×4人、204,000円×1人
私立高等学校振興費補助金	2,000	市内の私立高等学校の運営に要する費用の一部を補助し、施設の整備を行うことにより教育の振興を図った。(上限200万円) 補助対象事業：屋外トイレ新築工事 11,307,870円
私立幼稚園振興補助金	525	市内の私立幼稚園の運営に要する費用のうち、園児の内科及び歯科検診の実施に伴う経費の一部を補助し、幼稚園教育の振興を図った。 295,220円×1園、230,000円×1園
高等学校・大学入学援助金	700	平成24年度市民税非課税世帯で、平成24年4月に高等学校・大学等に入学した生徒の保護者に入学援助金(2万円)を支給し、入学時の経済的負担の軽減を図った。 入学援助金(扶助費) 高校 20,000円×29人、大学 20,000円×5人、 高等専門学校 20,000円×1人
計	4,465	

- 高校等奨学金貸与事業費 80  
経済的理由により修学困難な高等学校に入学及び在学する生徒に奨学金を貸与し、修学支援した。(平成24年度対象者1人 入学準備金20,000円、月額5,000円×12か月)
- 奨学基金積立金 374(平成24年度末現在高 58,340)

施策の成果及び執行実績

- バスセンター運営事業費 5,810  
飯高管内において、スクールバスの運行により遠距離通学となる児童、生徒の通学手段の確保を図った。  
利用者：飯高西中 10人、飯高東中 5人、香肌小 26人、宮前小 57人
- スクールバス運営事業費 4,284  
本庁・嬉野・飯南管内において、スクールバスの運行により遠距離通学となる児童、生徒の通学手段の確保を図った。  
利用者：伊勢寺小 3人、西中 2人、豊地小 28人、粥見小 17人、柿野小 14人
- スクールバス購入事業費 5,275  
平成8年度購入のバスの老朽化が著しく、安全通学を図るためスクールバス1台を買い替えた。(飯高管内 マイクロバス29人乗り)
- 各種団体等負担金 289
- 教育委員会事務局一般経費 13,857

(目) 3 教育指導費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
217,816	40,371	14,274		1,915	161,256

- 外国語指導助手職給与 7,478  
2人雇用
- 国際化事業費 30,646

事業名	金額	成果
外国語指導助手 (ALT) 事業費	3,539	国際化時代における異文化理解、自文化理解、コミュニケーション能力、自己表現力などの資質や能力を培う国際理解教育を進めるために、外国語指導助手として外国人青年を派遣し、外国語教育等の補助や国際交流活動を行った。(中学校285回、小学校76回、幼稚園2回)
外国語指導助手派遣事業費	26,192	国際化時代における外国語教育の充実と国際理解を深めるために、外国語指導助手7人を派遣し、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする子どもの育成を目指し、外国語教育等の補助や国際交流活動を行った。(中学校487回、小学校676回、幼稚園11回)
まつさか夢交流事業費	915	フューチャースクール推進事業と連携し、弟子屈中学校と三雲中学校との間でiPadを活用したテレビ電話で交流を図った。また、小野江小学校と弟子屈町の各小学校との間で地元特産物を交換し、給食で「武四郎ランチ」を提供する取組を行った。 諸事情により日中関係が悪化したことで、濱湖区からの訪問が次年度に延期となった。 実施校(弟子屈町)：三雲中学校、小野江小学校 実施校(濱湖区)：殿町中学校、港小学校、飯南中学校
計	30,646	

- 児童生徒指導事業費 132,522

事業名	金額	成果
わくわくワーク事業費	171	市内12中学校で3日～4日間のワーク週間を設け、中学生が事業所での勤労体験を通して、社会とのかかわりの中で働くことの意義を学び、自己理解を深め、将来の自分の生き方について考えるとともに、地域の人々と交流することにより相互理解を図った。 (1,400人参加 431事業所)

施策の成果及び執行実績

事業名	金額	成果
教科書及び指導書導入事業費	15,229	中学校教科書改訂に伴う教師用教科書、指導書の購入配布により指導の充実を図った。また、バーコードリーダーを使用して、中学校の外国語授業を円滑に実施した。
科学芸術振興事業費	986	松阪市児童生徒科学作品展・わくわくサイエンス教室、みえこどもの城での体験学習を通じて科学への関心を高めるとともに、松阪市小中学校音楽会への参加により、他校と協力して一つの演奏会を行うことで、児童生徒の自尊感情や規範意識、また、芸術への関心の醸成を図った。
特色ある学校づくり推進事業費	15,940	小中学校、幼稚園において、地域住民等の協力を得ながら、「石野木太鼓」、「水質調査」、「稲作り」、「木工教室」等の体験学習や、福島第四中学校や介護施設との交流など、創意に満ちた特色かつ魅力ある教育活動を展開し、確かな学力や豊かな人間性・社会性を育成した。 また、校内での研究や研修・学力調査を行い、授業改善や指導方法の工夫を図るなど教育内容の充実に努めた。
読書室いきいきプラン事業費	15,700	中学校の読書室に図書館司書を配置し、読書室の環境整備(テーマコーナー設置、ディスプレイなど)を図るとともに生徒へのブックトークや図書案内、学校間での読書交流や図書館イベントなどを行うなどして生徒の読書活動の推進と充実を図った。 殿町中、鎌田中、久保中、中部中、大江中、東部中、西中、三雲中、飯南中、飯高西中、飯高東中へ配置
児童生徒体育文化行事参加旅費等補助金	6,322	体育・文化各種大会への参加の振興を図った。 参加延人数 2,326人
児童生徒安全対策支援事業費	3,104	児童生徒の安全を確保するため、通学用ヘルメット等を配付し、地域や保護者等と連携して、学校や通学路における事故や犯罪の未然防止を図った。 (ヘルメット 2,495個、交通安全帽子 967個)
特別支援教育推進事業費	48,297	学校生活アシスタントを35校に54人配置し、重度障がいやLD、ADHD、高機能自閉症等の支援が必要な児童生徒に対し、一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な指導及び支援を実施した。こうした支援により、作品の完成、様々な体験活動への参加などができるようになり、児童生徒が充実感・達成感を味わい、新たな意欲の喚起につながった。
いじめ等対策事業費	11,905	いじめや不登校を早期に発見し、早期に対応するためには、児童生徒の実態を把握することが必要である。そこで、学級満足度尺度調査(Q-U)を年間2回行い、児童生徒の実態把握に努めるとともに、安心して生活できる学級づくりに活用した。また、心に悩みや不安を抱えている児童生徒を直接支援するために、専門性を有するハートケア相談員や学校巡回指導員を配置し、教職員と連携した心のケアを継続的に行った。さらに、支援を要する児童生徒や家庭への対応については、学識経験者の指導・助言を受けたり、関係機関が連携しながら早期解決を図った。

施策の成果及び執行実績

事業名	金額	成果
子どもいきいきサポート事業費（緊急雇用）	13,100	緊急雇用創出事業において、学校生活サポーター（延35人を15校）を配置し、学校の中で教室へ入れないなど不登校傾向の児童生徒が円滑な学校生活を送れるよう支援を行った。近くで支えてくれる人がいる安心感から不登校傾向等の児童生徒が自立への意欲を高め、集団への適応が図れるようになった。
学校支援地域本部事業費	1,587	学校のニーズに応じた形で、伝統芸能や外国語活動、家庭科実習など、様々な場面で学習支援を受けることができた。農業や林業、漁業など自然体験を通して地域の人々の思いに触れ、働くことの大切さについて学ぶことができた。学校における教育活動を支援いただくボランティアの方々が増加し、学校において地域の人々とともに子どもたちを育てるという意識が高まりつつある。ボランティア数 827人（前年度比339人増）
みえの森っ子まなびや・活動事業費	31	子どもたちが森林内や校内での様々な体験学習を通じて、人々の生活と森林との関係について理解と関心を深めることができた。実施校：幸小学校
キャリア教育実践プロジェクト事業費	150	児童生徒が勤労観・職業観や主体的に進路を選択する能力・態度を身に付け、将来自立した社会人として人生設計し積極的に社会参加できるようにするため、地域が連携して小・中・高等学校の各段階を通じたキャリア教育の実践研究を行った。 実践校：飯南・飯高地域の小中学校
計	132,522	

○ 教育指導事業費 45,172

事業名	金額	成果
学校評議員推進事業費	864	各小中学校において、学校評議員（144人）を設置した。PTA関係者、自治会関係者、民生児童委員等、地域住民の代表として、学校教育目標や地域の実態に応じた特色ある教育活動、学校と地域の連携等についての意見を受け、学校運営に役立てた。
学力向上推進プロジェクト事業費	2,481	「学びの連携モデル校区」として実践発表会を開催した殿町中学校区では、めざす子ども像を「自分の考えを表現し、伝え合い、深める子ども」と設定し、小中学校の子どもをつなぐ取組の柱として、授業づくりにポイントを絞り研究を進めた。ICT機器を授業の中で有効的に活用したり、子どもどうしがつながりあって課題解決に向かう授業についての授業改善に取り組み、教師の指導力の向上が図られた。 また、飯南中学校区では、キャリア教育に視点をあて、少人数教育・小規模校のメリットを生かしながら、生涯にわたって学び続ける意欲を維持できる児童生徒の育成をめざした実践が進められた。 市内教職員は、これらの発表会に参加することで、その授業スタイルなどを学び、各学校での授業実践に活かすことができた。



施策の成果及び執行実績

事業名	金額	成果
コミュニティ・スクール推進事業費	750	先進地を視察したり、研修会に参加したりすることによって、学校運営協議会や学校支援ボランティアの先進的な取組に学ぶことができた。学校運営協議会の組織や運営体制のあり方について、教職員、保護者、地域住民が協議を重ねることにより、小中学校が連携し、学校と地域がともに子どもたちの9年間の成長を見守り、支援していくことについての共通理解を図ることができた。 研究校：鎌田中学校、第四小学校、港小学校
郷土の偉人に学ぶ教育推進事業費	427	小学校高学年（4年生～6年生）を対象とした「松阪の偉人に学ぶ授業」の実施に向け、教材として活用する冊子を作成し、各小学校へ配付した。
フューチャースクール推進事業費	38,337	三雲中学校を実証校とし、学校教育におけるICT環境の構築やICT支援員等の条件整備を行い、必要な技術的条件を検証するとともに、協働学習支援システムを導入し、授業での活用を図った。
学びのイノベーション事業費	1,284	三雲中学校を実証校とし、情報通信技術の活用による学びを取り入れ、授業での具体的なICTの活用方法、教員間の情報共有によるきめ細かな指導方法、協働的な学びを取り入れた学習活動の工夫改善を図った。
弁護士委託等事業費	1,029	平成18年（ワ）第99号損害賠償訴訟事件に伴う弁護士費用
計	45,172	

○ 各種団体等負担金 115

○ 教育指導一般経費 1,884

(目) 4 子ども支援研究センター費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
64,175				2,917	61,258

○ 一般職員給 41,433

○ 教育支援センター推進事業費 2,371

教育支援センター「鈴の森教室」と「うれしの教室」において、不登校児童生徒の通室指導や保護者・関係者への教育相談を実施し、学校復帰や出席日数の改善を図った。

- ・ 相談及び通室指導対象児童生徒数 92人
- ・ 学校復帰や出席日数の増加で改善が見られた児童生徒数 61人
- ・ 相談延べ件数 1,944件（面接1,263件、電話681件）、学校訪問315回

○ 教育研究事業費 772

今日的教育課題に応じた長期研修員による研究、教科・課題別研究を実施し、その成果をまとめて園・学校や教育関係機関に配付することにより、教育実践現場への浸透を図った。

- ・ 研究集録第123集 「郷土の偉人に学ぶ授業づくりⅡ  
－松浦武四郎の生き方を通して－」
- ・ 研究集録第124集 「自立の基礎をはぐくむ授業づくりについて  
－キャリア教育の視点を通して－」

施策の成果及び執行実績

○ 教職員研修事業費 1,179

保育教育現場のニーズや今日的な教育課題に沿った内容で、保育士及び幼稚園・小中学校の教職員を対象に34講座を実施し、日常の保育教育実践あるいは実践上の問題解決に役立つ研修の場を提供することにより、保育士・教職員の指導力向上を図った。

実施日	講座名	参加人数	
H24. 5. 15	特別支援教育コーディネーター研修Ⅰ	コーディネーターの役割と個別の支援計画について	68人
H24. 5. 31	初任者研修	フィールドワーク ～郷土の偉人ゆかりの地を訪ねる～	42人
H24. 6. 23	乳幼児教育Ⅰ	子どもの体を育む運動遊び	178人
H24. 6. 28	児童生徒理解	子どもへのかかわりにあたって -サインを見逃さない-	34人
H24. 7. 26	キャリア教育	小学校段階からのキャリア教育 -「生きる力」と「夢」をはぐくむ教育のあり方-	25人
H24. 7. 27	生徒指導	互いに高め合う学級集団づくり	45人
H24. 7. 30	国語科Ⅰ	「文体練習」を通して、作文指導を考える	30人
H24. 7. 30	外国語活動	小中連携による効果的な外国語活動の指導のあり方	43人
H24. 7. 31	乳幼児教育Ⅱ	こうして育てたい、幼児の造形遊び	77人
H24. 8. 1	算数科	思考力・表現力を育てる算数・数学の授業づくり	124人
H24. 8. 2	図画工作	ゴムで動くへびを作ろう	46人
H24. 8. 3	外国人児童生徒教育	担任が進めるJSL指導を取り入れた国語授業づくり	29人
H24. 8. 4	乳幼児教育Ⅲ	育ちと学びをつなげる保幼小の連携と接続	94人
H24. 8. 6	理科	楽しく理科実験～不思議な体験を通して～	24人
H24. 8. 7	体育科	みんなが夢中になって行えるリズムダンス・表現運動	27人
H24. 8. 8	人権教育	「自尊感情」を育む人権教育の実践	38人
H24. 8. 8	環境教育	私達が取り組める身近な環境教育	16人
H24. 8. 9	郷土教育Ⅰ	松浦武四郎とアイヌ民族	29人
H24. 8. 10	国語科Ⅱ	国語授業のユニバーサルデザイン 全員が楽しく「わかる・できる」授業づくり/説明文授業のユニバーサルデザイン	97人
H24. 8. 10	特別支援教育Ⅰ	学校等への適応に不器用さをかかえる児童・生徒への支援の実際	47人
H24. 8. 17	特別支援教育Ⅱ	落ち着きのない子ども達・勉強の苦手な子ども達・コミュニケーションの苦手な子ども達 ～ADHD・LDを中心に～	72人
H24. 8. 20	道徳	子どもたちの心に響く道徳教育	65人
H24. 8. 21	家庭科	今さら聞けない和食の基礎について	61人
H24. 8. 22	教育講演会	ボク、学習障がいと生きてます ～家族に守られた3650日～	868人
H24. 8. 23	音楽科	和楽器に親しもう～箏と和楽器のアンサンブル～	22人
H24. 8. 24	情報教育	I C Tを活用した授業づくりの方法	24人
H24. 8. 24	危機管理	インターネットの光と影	62人
H24. 8. 27	授業力向上Ⅰ	「学びの共同体」の理念に基づいた授業づくり	69人
H24. 8. 28	授業力向上Ⅱ	知識活用力のつく授業づくりの方法	31人
H24. 8. 28	特別支援教育コーディネーター研修Ⅱ	ライフステージを見通した支援のために	73人
H24. 10. 18	郷土教育Ⅱ	山城探検 阿坂城	14人
H24. 10. 26	特別支援教育コーディネーター研修Ⅲ	事例検討を通して具体的な支援のあり方を考える	70人
H24. 10. 27	乳幼児教育Ⅳ	一人ひとりの「個性」みえていますか? ～個々の子どもの特性理解と支援?対応?～	246人
H25. 1. 9	人権学習会	楽しい学校づくりのためのヒント ～出会ってきた子どもたちから学んだもの～	97人
合 計		2,887人	

施策の成果及び執行実績

○ 教育相談事業費 3,035

幼児児童生徒の生活や心の問題等について、子どもや保護者・教職員への教育相談及び臨床心理士によるカウンセリングを実施し、心の安定を図れるよう支援を行った。

相談延べ件数 1,449件

- ・ 教育相談 969件（面接714件、電話255件）
- ・ カウンセラー相談 480件（144回実施）

○ 教育情報活動事業費 151

本年度より、センターだよりをホームページからも閲覧できるようにした。要覧・たより・ホームページ等による広報活動を行うとともに、教育研究や教育実践に役立つ図書・資料を収集し、教職員への情報提供と貸し出しを行った。

センターだより 9回発行、図書の購入 56冊

○ 子ども支援研究センター管理運営事業費 13,054

施設利用者の安全と市民の余暇・レクリエーション等の活動の場を保障するため、施設の円滑な管理運営に努めた。

- ・ 光熱水費 5,583、施設維持管理等委託料 3,284、非常勤職員賃金 2,774 ほか
- 体育室利用者数（延 1,180団体 36,902人）
- ミーティングルーム利用者数（延 306団体 4,282人）

○ 子ども支援研究センター設備撤去事業費 401

耐用年数の経過した体育室客席ライト吊物を撤去し、施設利用者の安全を確保するとともに、難燃ホリゾン幕を取り付け、利用者の利便性を図った。

- ・ 修繕料 401

○ うれしの教室施設管理運営事業費 605

不登校児童生徒の心の居場所となるよう、うれしの教室施設の円滑な管理運営に努めた。

- ・ 施設維持管理等委託料 227、光熱水費 179、通信運搬費 150 ほか

○ 子ども支援研究一般経費 1,173

子どもに係る総合的な支援研究機関として、効果的な運営に努めた。

- ・ 借上料 429、通信運搬費 356、消耗品費 261 ほか

(目) 5 人権教育費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
42,024		5,190		88	36,746

○ 外国人児童生徒いきいきサポート事業費 11,629

市内在住外国人15人及び日本語指導員を6人雇用し、初期適応支援教室「いっぽ」や外国人児童生徒の在籍校において学校生活への適応支援及び日本語学習支援等を行った。

事業内容	実 績 等
初期適応支援教室「いっぽ」	通級児童生徒数54人、内修了42人、次年度継続通級等12人
親子にじ教室	開催数22回、参加者数141人
母語スタッフによる 小・中学校巡回指導補助等	対象校 小学校16校 中学校5校 支援状況1,137回 4,185時間

施策の成果及び執行実績

事業内容	実績等
進路ガイダンス	開催数 1回、参加者数 106人（児童生徒25人・保護者28人・教職員等53人）
就学状況調査	就学年齢に達しているが、小中学校在籍児童生徒名簿に記載の無い外国人を対象に調査を行った。 調査期間 3月 調査対象 69人（55世帯） 調査結果 不就学0人・帰国、転居50人・留守、不明16人・ブラジル人学校等へ在学中3人

○ 外国人子どもアシスタント事業費（緊急雇用） 1,699

市内在住外国人2人を雇用し、幼稚園等を巡回し、適応支援および保護者に母語での支援を行った。

事業内容	実績等
母語スタッフによる幼稚園等巡回指導補助等	対象園（校）幼稚園2園・小学校8校・中学校3校 支援状況232回 1,054時間

○ 外国人児童生徒受入促進事業費 4,703

日本語指導の必要な児童生徒の在籍が多い小中学校をセンター校（久保中学校・第二小学校・第五小学校）・準センター校（殿町中学校・花岡小学校・徳和小学校）に指定し、三重大学・愛知淑徳大学等関係機関の助言・協力のもと、外国人児童生徒の受け入れから卒業後の進路まで一貫した支援体制の構築を図るため、受入体制の整備や日本語指導の充実を図った。

事業内容	実績等
運営協議会	事業計画の立案、検討、発生する課題等に対する改善策などの協議機関 開催数2回（5月・2月）
プロジェクト会議	具体的な取り組みについての計画、検討、改善のための会議 開催数4回（5月・8月・11月・2月）
ネットワーク会議	取組内容や教材などを全市的に共有化を図るため、外国人児童生徒教育担当者対象の会議 開催数2回 第1回：「JSLカリキュラムの授業づくりについて」 6月26日 講師：大阪教育大学准教授 参加者48人 第2回：「センター校から見えてきた成果と課題」等 1月29日 発表：第五小学校教諭 参加者43人
担当者会議	センター校・準センター校の担当者が情報を交換するための会議 開催数8回 （4月・5月・7月・9月・10月・11月・12月・1月）
母語スタッフによる指導補助・支援	対象校 小学校10校 中学校2校 支援状況 648回 2,524時間
就学前支援教室「ふたば」	次年度入学予定児を対象に小学校で学ぶための日本語学習支援や生活規律の支援と保護者に対する情報提供等を行った。 開催数11回（1月～3月）参加幼児数20人（延177人）
多文化理解授業	三重大学留学生3人により、各国の文化・生活について学んだ。 開催数1回 徳和小学校（準センター校）2年生・5クラス
フォトストーリーづくり	自分の夢や生活を写真にナレーションをつける手法で映像にまとめることで、自分をみつめ直し、自分の夢や宝物について発信する取り組みを行った。 参加児童生徒数10人 指導者・補助者：愛知淑徳大学の准教授及び学生10人

施策の成果及び執行実績

事業内容	実績等
日本語指導法講座	開催日 8月22日(水)・23日(木) 内容 「みえこさんのほんご」の指導法等 講師 三重大学准教授 参加者数 延46人(市内小中学校教員・いっば教室ボランティア等)
高校見学バス研修	開催日:10月28日(日) 訪問高校数:県立高校3校 参加者数(児童生徒28人・保護者3人・通訳等11人)

○ 外国人児童生徒の学習支援事業費 800

外国人児童生徒の教科学習の支援を目的に「日本語指導から教科指導へ」をテーマに、大阪教育大学の協力を受け、JSLカリキュラムの指導法による授業研究を平成23年度に引き続き取り組んだ。

研究指定校(久保中学校・第五小学校)

事業内容	実績等
研究指定校等合同研修会	開催日:8月2日(木) 内容:JSLカリキュラムの指導法に基づく、わかりやすい授業づくり 講師:大阪教育大学准教授 参加者数:77人(研究指定校教職員等)
JSL研究会議(授業公開)	大阪教育大学准教授の指導助言のもとにJSLカリキュラムの指導法による指導案を作成し、授業実践を公開した。開催校 研究指定校含む6校で実施
母語スタッフによる指導補助・支援	対象校 小学校3校 中学校2校 支援状況 114回 398時間

○ 人権教育研修事業費 768

教職員対象に人権大学講座および三重県人権・同和教育研究会への参加機会を提供することで人権意識の高揚及び実践力の向上を図った。

事業内容	日数等	参加者数
三重県人権大学講座	20日	1人
三重県人権・同和教育研究会	2日	延 424人

○ 人権教育ネットワーク推進事業費 1,495

学校・園・地域が連携して開催する各中学校区の人権フォーラム等の取り組みを支援し、各校区において、社会の中の差別性や矛盾を見抜き、積極的な実践や行動しようとする児童・生徒の育成を図った。また、各中学校区の取組みの交流を目的に「子ども人権文化フェスタ」を開催した。12中学校区の人権教育推進組織への委託により実施。

委託先	委託金額	委託先	委託金額
1 殿町中学校区	120,000円	7 西中学校区	105,100円
2 鎌田中学校区	140,000円	8 嬉野中学校区	110,000円
3 久保中学校区	170,000円	9 三雲中学校区	65,000円
4 中部中学校区	110,000円	10 飯南中学校区	100,000円
5 大江中学校区	134,960円	11 飯高西中学校区	110,000円
6 東部中学校区	134,020円	12 飯高東中学校区	110,000円

・子ども人権文化フェスタ

開催日 12月15日(土) 場所 ワークセンター松阪 参加者 156人  
内容 開会全体会・分科会(東日本大震災と人権について考える会等5分科会)・閉会全体会

施策の成果及び執行実績

○ 人権教育地域促進事業費 3,067

市民自ら人権教育に取り組めるよう、市の広報で全国的な人権問題に関する研究大会等への参加者を募集し、人権学習の機会提供を行うとともに、きめ細かな人権教育の推進を目的に各地域住民対象の人権講演会等を地域の人権教育推進組織に委託し実施した。

事業内容	参加大会数	参加者数等
人権問題研究集会等への参加	6大会	13人

人権教育推進組織への委託

委託先		委託金額
1	嬉野地域人権教育研究会	830,000円
2	三雲地域人権教育推進協議会	460,000円
3	いいなん地域人権教育推進協議会	550,000円
4	飯高町人権教育推進協議会	550,000円
5	松阪市人権教育研究会	360,000円
【主な事業内容及び参加者数】 人権講座		6回 457人
人権講演会		12回 1,850人
人権啓発映画会		1回 202人
子どもたちの人権展		1回 250人

○ 人権学習推進事業費 8,568

人権尊重社会の実現に向け、社会教育における人権に関する学習機会の提供を目的に人権講座、人権講演会等を開催し、住民主体の人権学習の支援を行った。

事業内容	回数	参加者数等
人権講座（人権を考える市民講座等）	42回	1,532人
人権講演会（中学校区市民講演会等）	20回	2,778人
人権啓発映画会	1回	100人
にほんご教室	26回	130人
人権啓発冊子の発行（講演内容まとめ）	—	3,000部発行

○ 部落史編さん事業費 5,785

松阪の部落史編さん計画に基づき、近代史料編、現代史料編等の史料収集及び調査・編集を進めるとともに、部落史編さん委員会及び部落史編集委員会等を行った。

事業内容	回数	前近代史料編販売等実績
部落史編さん委員会の開催（3月） 部落史編さん委員数 11人	1回	販売実績 3冊 寄贈実績 3冊
部落史編集委員会の開催（4・7・12・3月） 部落史編集委員数 3人	4回	寄贈先：編集委員 ・四日市人権センター ・四日市図書館
史料検討会（4・7・12・3月）	4回	

○ 人権教育一般経費 348

職員の資質向上のための研修会等への参加および事務用品等一般事務経費。

研修会名称	日数等	参加者数
日本語指導指導者養成研修	4日	1人
第33回全国在日外国人生徒交流会	2日	1人
日本語ボランティアシンポジウム2012	1日	1人
授業研究10番勝負 公開授業	1日	2人
第64回全国人権・同和教育研究大会	2日	1人

○ 教育集会所管理運営事業費 3,161

教育集会所施設17館の維持管理運営経費。

施策の成果及び執行実績

(目) 6 育ちサポート推進費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
50,513		750		35	49,728

- 一般職員給 34,475
- 育ちサポート推進事業費 16,037

(相談員等共済費1,063、相談員等賃金7,073、巡回相談等報償費4,955、需用費733、役務費237、使用料・賃借料87、委託料1,750、備品購入費139)

子どもたちが安心して成長できる、また、子どもたちを安心して育てられる環境整備の一環として、発達障がいを含む全ての障がいのある子どもへの早期からの一貫した支援を推進する。そのために、子ども本人や保護者・保育教育関係者に対して、発達に関する相談や助言・検査、関係機関とのネットワークをいかした支援、および、障がいのある子どもの就学や就園に関する業務を、教育委員会・福祉部・保健部の3部局の連携のもと行った。

1 相談等の支援活動の実績

支援内容	実績	内 容
相談件数	1822 回	発達障がい・就学就園の相談が多い
面接（来室）相談	658 回	サポート室への来室による相談
巡回・訪問相談	704 回	要請に応じ相談員・職員を校園に派遣
電話相談	460 回	電話相談から来室につながるケースが多い
発達検査	107 回	WISKⅢや新版K式等の発達検査
幼児児童生徒観察実態把握	1180 人	1歳3歳児健診488人、保育園208人、幼稚園・小中学校484人
ケース会議（関係者会議）	112 回	学校、幼稚・保育園、あすなろ等の医療機関、保健福祉・児相等との個々の子どものケース検討
特別支援教育アドバイス 校園数 延回数	166 校園 221 回	校・園における支援の体制整備と個別の教育支援計画の推進、個々の子どもの支援への助言。面接相談指導124回、観察助言97回、観察人数380人
就学支援対象幼児児童生徒	112 人	障がいのある子どもの小学校・中学校の就学先に関する相談や判定などの支援を行う
保育支援対象乳幼児	95 人	障がいのある子どもの幼稚園・保育園等の就園に関わる相談や判定等の支援を行う
関係機関ネットワーク会議 関係課長会 実務担当者会	17 回 5 回 12 回	関係課長による業務支援・調整、実務担当者によるケースの共有・情報交換やよりスムーズな連携のための他部署の業務内容等の理解
研修会講師等	21 回	校内研修会、教職員研修、保育研修、PTA・NPO等の団体研修における講師

2 育ちサポート室の施設整備

節（細節）	項 目	金額	内 容
備品購入費	知能検査器具	122,220 円	WISC-IVコンプリートセット
	穿孔機	8,873 円	
	扇風機2台	7,960 円	

## 施策の成果及び執行実績

## (目) 1 学校管理費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
721, 295	5, 266		9, 500	3, 491	703, 038

※平成24年5月1日現在 学校数 36校 児童数 9,063人

学校名	学級数	児童数	学校名	学級数	児童数	学校名	学級数	児童数
第一小	7学級	146人	機殿小	6学級	65人	豊田小	7学級	141人
第二小	9学級	171人	朝見小	7学級	102人	中原小	8学級	140人
第三小	9学級	223人	掬水小	10学級	216人	天白小	15学級	435人
第四小	21学級	646人	漕代小	7学級	90人	鶴小	7学級	139人
第五小	18学級	488人	花岡小	21学級	647人	小野江小	7学級	178人
幸小	17学級	464人	松尾小	14学級	388人	米ノ庄小	7学級	109人
松江小	15学級	445人	大河内小	7学級	83人	柿野小	7学級	94人
伊勢寺小	9学級	217人	南小	7学級	75人	粥見小	7学級	140人
阿坂小	6学級	86人	射和小	7学級	205人	香肌小	5学級	39人
松ヶ崎小	7学級	74人	山室山小	20学級	626人	宮前小	7学級	101人
港小	14学級	287人	徳和小	28学級	860人			
東黒部小	6学級	59人	豊地小	8学級	194人			
西黒部小	7学級	98人	中川小	20学級	592人	計	384学級	9,063人

○ 一般職員給 160, 166

○ 小学校施設管理運営事業費 449, 697

・ 施設管理等委託料 69, 882

学校名	事業内容	金額
第一小 外34校	自家用電気工作物保守委託	5, 327
第二小 外34校	受水槽及び高置水槽清掃委託	1, 239
第一小 外39校	消防用設備等点検委託	4, 200
第一小 外39校	学校機械警備委託	12, 479
第五小 外23校	浄化槽保守管理業務委託	10, 340
幸小 外35校	学校プールろ過機保守点検委託	3, 086
第一小 外35校	コンピュータ保守点検委託	26, 587
第一小 外35校	遊具・体育施設に関する点検業務委託	240
第五小 外9校	植栽管理業務・草刈業務委託	1, 729
豊地小 外4校	エレベーター保守管理委託業務	3, 551
第一小 外24校	側溝等清掃委託	609
柿野小 外5校	粗大ゴミ収集等委託料	495
	計	69, 882

・ 使用料及び賃借料 98, 302

学校名	事業内容	金額
第一小 外35校	教育用コンピュータ借上料	88, 387
第一小 外35校	印刷機借上料	449
第一小 外30校	ファクシミリ借上料	1, 835
中川小 外2校	土地借上料	1, 009
大河内小 外6校	高所作業車借上料	343
第三小 外5校	緊急通報用無線IPシステム借上料	5, 102
第一小 外35校	NHK放送受信料	537



施策の成果及び執行実績

学校名	事業内容	金額
中原小 外29校	ケーブルテレビ使用料	590
粥見小	浄化槽使用料	50
計		98,302

- ・ 需用費 222,897 (消耗品 63,842 電気料 65,023 上下水道料 61,874 ほか)
- ・ 役務費 13,817 (電話料 6,493 インターネット通信料 4,531 ほか)
- ・ 賃金 36,444 (非常勤職員賃金)
- ・ 原材料費 2,095
- ・ 共済費 5,698
- ・ 負担金 563 (豊地小 下水道受益者負担金)

○ 小学校施設維持修繕事業費 49,779

学校名	事業内容	事業費	工事費	委託料等
第二小 外1校	照明器具取替 (第二小、徳和小)	1,737	1,737	
第三小	屋内運動場屋根塗装改修工事	5,193	5,193	
幸小	校舎外壁等改修工事	3,403	3,403	
阿坂小	屋内運動場屋根塗装改修工事	5,000	5,000	
東黒部小	屋内運動場出入口バリアフリー工事	3,423	3,423	
東黒部小	教室改造工事	920	920	
西黒部小 外2校	衛生設備改修工事 (西黒部小、松尾小、港小)	1,905	1,905	
朝見小 外3校	手すり設置 (朝見小・第五小)、図書室他床改修 (豊田小)、1階トイレバリアフリー化 (第二小)	2,123	2,123	
てい水小 外1校	手すり設置工事 (てい水小、松尾小)	1,585	1,585	
松尾小	図書室空調設備改修工事	1,527	1,527	
山室山小 外4校	高圧機器取替 (山室山小、南小、松江小、花岡小、朝見小)	1,962	1,962	
鶴小	プール更衣室棟屋根改修工事	1,847	1,847	
中川小 外1校	全自動プール循環浄化装置改修 (中川小)、プールろ過機取替 (射和小)	5,160	5,160	
中川小 外1校	消火配管改修 (中川小、西黒部小)	1,347	1,347	
中原小 外2校	多目的トイレ設置・トイレ改修 (中原小)、シャワー室設置 (第一小)、職員トイレ改修 (徳和小)	7,719	7,719	
粥見小	屋上防水工事	515	515	
柿野小	外壁等改修工事	3,449	3,449	
第一小 外3校	施設維持管理工事設計業務委託 (第一小、東黒部小、徳和小、中原小)	964		964
計		49,779	48,815	964

施策の成果及び執行実績

○ 小学校管理備品整備事業費 31,021

区分	学校名	事業内容	事業費	事業費内訳	
				備品購入	手数料
学校管理備品	第一小 外35校	事務機器購入費	8,367	8,367	
	第一小 外35校	教用器具費	20,069	20,069	
	港小 外3校	その他備品購入費	1,523	1,523	
	第一小 外35校	備品関係手数料	1,062		1,062
計			31,021	29,959	1,062

○ 小学校防災防犯対策事業費 16,407

津波時の緊急避難場所とするために鵜小学校の屋上にフェンス（約135m）を設置するとともに屋上に上がるための外階段を整備した。

- ・ 屋外階段機械警備機器増設手数料 126
- ・ 屋外階段設置工事のための実施設計業務委託料、地質調査業務委託料 1,425
- ・ 屋上フェンス、屋外階段設置のための工事請負費 14,856

○ 地域材活用学校環境整備事業費 8,614

木に親しむ環境づくりと地場産業の活性化を目的に整備を行った木製机・椅子の維持管理を行った。

- ・ 需用費（修繕料） 3,311（再加工 886枚）
- ・ 原材料費（交換用天板） 3,417（新品天板 614枚）
- ・ 備品購入費 1,886

○ 弁護士委託等事業費 157

小学校コンピュータ等賃貸借契約違約金の未払いに対する強制執行申立てに係る弁護士委託料等。

- ・ 通信運搬費 12 手数料 40 委託料 105

○ 小学校施設管理瑕疵に係る損害賠償金 4,083

平成18年（ワ）第99号損害賠償訴訟事件に伴う損害賠償金及び遅延損害金

○ 各種団体等負担金 1,370

(目) 2 教育振興費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
89,652	1,344	274			88,034

○ 要保護及び準要保護児童生徒援助事業費 82,110

就学困難な要保護及び準要保護児童生徒の保護者に対して、学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、給食費、医療費等の就学援助費を助成した。

扶助費（就学援助費）	1,332人	81,761
要保護（修学旅行費）	22人	451
要保護（医療費）	7人	172
準要保護	1,303人	81,138
（内医療費分）	（14人）	（57）
需用費 182 役務費 167		

○ 特別支援教育就学奨励事業費 3,346

特別支援学級に在籍する児童の保護者に対して、保護者の経済的軽減を図るため、学用品費、給食費等を助成した。 103人 3,345,741円

施策の成果及び執行実績

○ 遠距離通学支援事業費 3,786

4km以上の遠距離通学児童（大河内小・南小・射和小）に対して、路線バス定期券を交付した。大河内小学校 14人 396,000円 南小学校 34人 696,000円  
射和小学校 63人 1,407,500円

第四小学校に通学する築港地区児童について、大型タクシーを使用して遠距離通学児童の輸送を実施した。第四小学校 13人 片道(1,350円、1,760円、1,785円)

○ 教育振興一般経費 410

印刷製本費・通信運搬費（就学時健康診断通知書、入学通知書）、修学旅行引率教員手数料、使用料等

(目) 3 学校建設費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
136,661	60,972		49,800		25,889

○ 学校建設事業費 136,661

事業名	事業内容	事業費	事業費内訳	
			工事費	委託料等
天白小学校校舎増築事業費	校舎増築工事、工事監理業務委託、備品購入費 ほか	127,767	124,069	3,698
小野江小学校校舎増築事業費	校舎増築のための実施設計業務委託、地質調査業務委託 ほか	8,894	0	8,894
計		136,661	124,069	12,592

## 施策の成果及び執行実績

## (目) 1 学校管理費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
361,983	1,212		2,500	1,909	356,362

※平成24年5月1日現在 学校数 12校 生徒数 4,202人

学校名	学級数	生徒数	学校名	学級数	生徒数	学校名	学級数	生徒数
殿町中	15学級	409人	大江中	3学級	51人	飯高西中	4学級	43人
鎌田中	13学級	394人	西中	17学級	537人	飯高東中	3学級	61人
久保中	20学級	700人	嬉野中	15学級	483人			
中部中	20学級	630人	三雲中	14学級	446人			
東部中	11学級	313人	飯南中	6学級	135人	計	141学級	4,202人

○ 一般職員給 80,698

○ 中学校施設管理運営事業費 204,743

・ 施設管理等委託料 42,145

学校名	事業内容	金額
殿町中 外11校	自家用電気工作物保守委託	2,141
殿町中 外10校	受水槽及び高置水槽清掃委託	435
殿町中 外11校	消防用設備等点検委託	2,205
殿町中 外11校	学校機械警備委託	4,150
久保中 外7校	浄化槽保守管理業務委託	6,661
殿町中 外11校	コンピュータ保守点検委託	21,258
飯南中 外2校	エレベーター保守管理業務委託	2,565
殿町中 外11校	体育施設に関する点検業務委託	86
殿町中 外6校	清掃業務委託	190
飯南中 外4校	植栽管理業務・草刈業務委託	2,152
三雲中 外1校	非常通報装置保守委託	92
三雲中	マンホールポンプ点検委託	210
計		42,145

・ 使用料及び賃借料 34,521

学校名	事業内容	金額
殿町中 外7校	ファクシミリ借上料	474
殿町中 外11校	印刷機借上料	110
殿町中 外11校	教育用コンピュータ借上料	33,554
嬉野中	電話分配システム借上料	11
殿町中 外11校	NHK放送受信料	179
殿町中 外8校	ケーブルテレビ使用料	193
計		34,521

・ 需用費 100,216 (消耗品 34,320 電気料 36,994 上下水道料 13,141 ほか)

・ 役務費 5,396 (電話料 2,870 インターネット接続料 1,511 ほか)

・ 賃金 16,199 (非常勤職員賃金)

・ 共済費 2,508

・ 原材料費 1,124

・ 負担金 2,634 (久保中 下水道受益者負担金)

施策の成果及び執行実績

○ 中学校施設維持修繕事業費 29,135

学校名	事業内容	事業費	事業費内訳	
			工事費	委託料等
嬉野中 外1校	美術室改修(嬉野中)、救助袋設置(三雲中)	4,582	4,582	
久保中	下水道接続工事	5,283	5,283	
三雲中 外3校	バスケットコートライン改修工事(三雲中、殿町中、久保中、中部中)	2,320	2,320	
殿町中	放送設備改修工事	2,362	2,362	
東部中 外4校	受電設備改修工事(東部中、三雲中、中部中、鎌田中、嬉野中)	2,168	2,168	
東部中	自転車スタンド設置工事	1,048	1,048	
飯南中	グラウンド改修工事	1,953	1,953	
飯南中	法面崩落改修工事	9,419	9,419	
計		29,135	29,135	

○ 中学校管理備品整備事業費 16,312

区分	学校名	事業内容	事業費	事業費内訳	
				備品購入	手数料
学校管理備品	殿町中 外11校	事務機器購入費	3,028	3,028	
	殿町中 外11校	教用器具費	12,889	12,889	
	殿町中 外11校	備品関係手数料	395		395
計			16,312	15,917	395

○ 多気中学校分担金 26,767

多気町松阪市学校組合に係る分担金を交付し、組合運営及び教育施設の充実を図った。

・内訳

区 分	金額
均等割(20%)	12,000
生徒数割(40%)	13,159
世帯数割(40%)	13,333
是正分	△11,725
計	26,767

○ 中学校防災防犯対策事業費 3,870

津波時の緊急避難場所とするために三雲中学校の屋上にフェンス(約190m)を設置した。

・屋上フェンス設置のための工事請負費 3,870

○ 各種団体等負担金 457

(目) 2 教育振興費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
71,916	1,274				70,642

○ 要保護及び準要保護児童生徒援助事業費 68,087

就学困難な要保護及び準要保護児童生徒の保護者に対して、学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、給食費、医療費等の就学援助費を助成した。

施策の成果及び執行実績

扶助費（就学援助費）	758人	67,926
要保護（修学旅行費）	23人	1,244
要保護（医療費）	6人	248
準要保護	729人	66,434
（内医療費分）	（4人）	（33）
需用費 74	役務費 87	

○ 特別支援教育就学奨励事業費 1,957

特別支援学級に在籍する生徒の保護者に対して、保護者の経済的軽減を図るため、学用品費、給食費等を助成した。 39人 1,956,640円

○ 遠距離通学支援事業費 1,089

6km以上の遠距離通学生徒（中部中・嬉野中）に対して路線バス定期券等を交付した。  
14人 1,089,000円

○ 教育振興一般経費 784

入学通知書印刷製本費、修学旅行引率教員手数料、使用料等

(目) 3 学校建設費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
20,302					20,302

○ 学校建設事業費 20,302

事業名	事業内容	事業費	事業費内訳	
			工事費	委託料等
鎌田中学校校舎改築事業費	建物調査	20,302	0	20,302
計		20,302	0	20,302

## 施策の成果及び執行実績

## (目) 1 幼稚園管理費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
691,961	184		7,400	91,020	593,357

※ 平成24年5月1日現在 園数 21園、園児数 1,347人

幼稚園名	園児数	幼稚園名	園児数	幼稚園名	園児数	幼稚園名	園児数
鎌田幼	41人	朝見幼	11人	大石幼	12人	中原幼	54人
伊勢寺幼	107人	掬水幼	40人	松江幼	91人	三雲北幼	131人
阿坂幼	15人	漕代幼	10人	山室幼	13人	三雲南幼	170人
港幼	22人	花岡幼	67人	豊地幼	52人		
西黒部幼	69人	松尾幼	137人	中川幼	181人		
機殿幼	8人	射和幼	68人	豊田幼	48人	計	1,347人

○ 一般職員給 416,766

○ 幼稚園施設管理運営事業費 252,086

・ 施設管理等委託料 4,929

幼稚園名	事業内容	金額
鎌田幼 外20園	遊具に関する点検業務委託	140
鎌田幼 外17園	幼稚園機械警備委託	2,778
鎌田幼 外17園	消防用設備等点検委託	410
花岡幼 外8園	浄化槽保守管理業務委託	643
射和幼 外2園	支障木伐採業務委託	481
豊地幼 外6園	OA機器保守点検委託	176
松尾幼 外7園	清掃業務委託	91
山室幼 外1園	その他設備保守管理業務委託	125
山室幼	乗合自動車運転管理業務委託	85
	計	4,929

・ 使用料及び賃借料 3,694

幼稚園名	事業内容	金額
伊勢寺幼 外6園	パソコン借上料	514
鎌田幼 外18園	印刷機借上料	970
鎌田幼 外17園	コピー機借上料	470
鎌田幼 外15園	ファクシミリ借上料	888
鎌田幼 外18園	NHK放送受信料	284
西黒部幼 外1園	送迎用駐車場借上料	360
大石幼 外18園	ケーブルテレビ使用料	208
	計	3,694

・ 需用費 25,856 (消耗品 9,572 電気料6,960 上下水道料2,347 ほか)

・ 役務費 2,218 (電話料 1,636 ほか)

・ 賃金 191,128 (非常勤職員賃金)

・ 共済費 23,171

・ 原材料費 261

・ 旅費等 829 (旅費457 負担金252 報償費120)

施策の成果及び執行実績

○ 幼稚園施設維持修繕事業費 6,714

幼稚園名	事業内容	工事費	事業費内訳	
			工事費	委託料等
漕代幼	園舎屋上防水改修工事	2,448	2,448	
松尾幼 外1園	テラス屋根設置・トイレ便器改修(松尾幼)、屋外手洗設置(中川幼)	3,231	3,231	
鎌田幼	遊戯室前テラス塗装改修工事	489	489	
山室幼	保育室床改修工事	546	546	
計		6,714	6,714	

○ 幼稚園管理備品整備事業費 5,921

幼稚園名	事業内容	事業費	事業費内訳	
			備品購入	手数料等
鎌田幼 外20園	教用器具費	4,191	4,191	
中川幼	その他消耗品費	39	39	
伊勢寺幼 外14園	その他備品購入費	1,170	1,170	
鎌田幼 外20園	備品関係手数料	521		521
計		5,921	5,400	521

○ 幼稚園防災防犯対策事業費 1,959

園生活における園児等の安全・安心を確保するための整備を行った。園舎窓に飛散防止フィルムを貼った。

- ・消耗品費 1,959

○ 幼稚園空調設備整備事業費 7,870

幼稚園施設を快適な環境に整えるため、市内4幼稚園(伊勢寺幼、松尾幼、射和幼、西黒部幼)の3歳児保育室に空調設備を整備した。

- ・工事請負費 7,870

○ 各種団体等負担金 646

(目) 2 幼児園管理費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
17,428				56	17,372

○ 幼児園施設管理運営事業費 17,428

- ・施設管理等委託料 1,457

幼児園名	事業内容	金額
三雲南・北幼	機械警備委託	315
三雲南・北幼	電気保安業務委託	797
三雲南・北幼	プールろ過機点検業務委託	58
三雲南・北幼	雨水ろ過装置保守点検業務	210
三雲南・北幼	防火対象物点検業務委託	77
計		1,457



施策の成果及び執行実績

・ 使用料及び賃借料 119

幼児園名	事業内容	金額
三雲南・北幼	コピー機借上料	21
三雲南・北幼	ケーブルテレビ使用料	21
三雲南・北幼	NHK放送受信料	30
三雲南・北幼	清掃用品等賃貸借	47
計		119

・ 需用費 15,420 (電気料 10,608 上下水道料 4,769 ほか)

・ 役務費 432 (電話料)

(目) 3 幼稚園建設費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
63,831	23,624		26,500		13,707

○ 幼稚園建設事業費 63,831

事業名	事業内容	事業費	事業費内訳	
			工事費	委託料等
豊田幼稚園園舎改築事業費	園舎改築工事、工事監理業務委託、仮設園舎借上料 ほか	63,831	50,200	13,631
計		63,831	50,200	13,631

## 施策の成果及び執行実績

## (目) 1 社会教育総務費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,074					2,074

- 社会教育委員事業費 347 (社会教育委員 16人)
- 各種団体等負担金 185
- 社会教育一般経費 1,542

## (目) 2 公民館費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
170,307				2,849	167,458

- 一般職員給 24,540
- 公民館長設置費 38,321 (公民館長 40人)
- 生涯学習振興事業費 13,385

家庭や地域の教育力向上のための子育て講座や、生涯学習のための多様な定期講座を開催し、地域住民の教養の向上、健康の増進、生活文化の向上を推進した。

	講座数	開催日数	受講者延数	施設数
本庁管内	295講座	598日	18,193人	26施設
嬉野管内	148講座	553日	6,686人	7施設
三雲管内	145講座	497日	6,152人	5施設
飯南管内	13講座	147日	1,496人	1施設
飯高館内	66講座	265日	2,964人	6施設
合計	667講座	2,060日	35,491人	45施設

- 各種補助金 861

事業名	事業主体	事業費	市補助金	成果
PTA連合会運営費補助金	松阪市PTA連合会	4,062	861	PTA相互の連携を図り、園児・児童・生徒の健全な育成に寄与する事業を開催した。(「きずこう 子どもの未来を」をテーマとしたトーク21「保護者と教職員の語る会」、家庭教育講演会、教育座談会等)
計		4,062	861	

- 公民館管理運営事業費 71,408

公民館施設の適正な管理運営を推進した。

共済費 5,374、賃金 36,341、消耗品費 1,810、燃料費 1,317、印刷製本費 97  
光熱水費 10,357、修繕料 2,610、通信運搬費 2,492、手数料 327、委託料 9,259、  
使用料及び賃借料 469、備品購入費 554、負担金、補助及び交付金 401

- 公民館施設整備事業費 1,770

施設を充実し、利用者に対する利便性を図った。

第四公民館下水道接続工事 874、米ノ庄公民館トイレ改修工事 896

- 中川コミュニティセンター管理運営事業費 4,774

中川コミュニティセンターの適正な管理運営を推進した。

共済費 3、賃金 1,120、燃料費 1,305、光熱水費 1,079、修繕料 129、  
委託料 672、使用料及び賃借料 83 ほか

施策の成果及び執行実績

○ 生涯学習センター管理運営事業費 15,247

生涯学習センターの適正な管理運営を推進した。

共済費 2、賃金 729、光熱水費 8,528、修繕料 448、通信運搬費 186、  
委託料 3,460、使用料及び賃借料 1,282 ほか

(目) 3 図書館費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
123,232					123,232

○ 図書館管理運営事業費 123,169

- 指定管理者制度により、図書館業務の効率化を推進し、住民サービスの向上を図った。

修繕料 488、委託料 117,344、使用料及び賃借料 5,337

	貸出冊数	利用者数	蔵書数	登録者累計
松阪図書館	553,912冊	122,930人	230,177冊	37,907人
嬉野図書館	252,659冊	56,282人	113,067冊	
三雲図書室	14,769冊	4,247人	21,963冊	1,954人
計	821,340冊	183,459人	365,207冊	39,861人

- スタッフ、ボランティア団体等による絵本の読み聞かせ、おはなし会、親子ふれあい講座等を開催し、家庭教育力の向上を図った(合計242回開催)。

- 特別行事

松阪図書館：春・秋のおはなし会、オリジナルバッグづくり、伊勢型紙手づくり年賀状教室、講演会等を8回、写真・パネル展示等の催事を3回の合計11回開催。

嬉野図書館：わらべうたの会、親子でちょうちん工作、牛乳パックを利用した絵本カレンダー作り等の行事や、絵本の読み聞かせなど合計11回開催。

- ブックスタート

※1歳6か月児健康診査時に絵本などが入った「ブックスタートパック」をメッセージを伝えながら手渡し、親と幼児と一緒に絵本を開き、「心」と「言葉」を通わせあい、そのかけがえのないひとときを実感してもらうことにより、地域における家庭の子育て支援を推進した。合計44回開催(再掲)。

ブックスタートパック手渡し数

松阪会場(健康センター)	1,034個
嬉野会場(嬉野保健センター)	285個
飯南会場(飯南ふれあいセンター)	64個
計	1,383個

○ 図書館協議会事業費 63

図書館協議会委員報酬(9人、1回開催)

(目) 4 文化振興費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
61,921				5,307	56,614

○ 地域文化振興事業費 4,679

各地域の特性を生かした文化振興を推進するため、郷土芸能や文化組織を育成し、地域の文化祭等を開催した。

- ・嬉野おどろまいかコンテスト事業、飯南管内音楽振興事業
- ・嬉野文化祭、三雲文化祭、飯高文化祭
- ・郷土芸能継承活動事業(花岡神社太神楽保存会・飯高清流太鼓保存会) 等

施策の成果及び執行実績

○ 本居記念館管理運営等補助金 46,318

本居宣長記念館の管理運営等や空調設備改修工事に要する経費の一部を補助した。また、国学者本居宣長の旧宅、宅跡その他関係史蹟及び遺墨、遺品等を保存し、偉業を調査・研究、公開及び顕彰に努めた。

- ・ 交付先 (公財) 鈴屋遺蹟保存会

○ 市美術展覧会開催事業費 2,212

美術文化の祭典として、住民の美術創作意欲を高めるとともに、美術鑑賞の機会を提供することで美術に対する理解を深め、松阪地域の美術水準の向上を図るため、文化財センターの3つのギャラリーを使用し、2部制で開催した。また、若年層の出品拡大を図るため、高校生以下の出品料を無料にした。

区分		開催日	成果
第1部	絵画、彫刻・工芸	H24. 10. 6～ H24. 10. 14	出品数：353点 (うち高校生以下 8点) 展示数：334点
第2部	写真、書道	H24. 10. 27～ H24. 11. 4	合評会参加者数：93人 会期中入場者数：3,505人

○ 文化活動奨励金・勲功賞交付事業費 230

市民文化の振興を図るため、松阪市文化振興基金条例及び同運用規則の規定により、文化活動の全国大会へ出場する生徒に対し、芸術文化活動奨励金を交付した。

- ・ 第28回全国高等学校簿記コンクール出場 (団体 2人) 20
- ・ 第59回全国高等学校珠算・電卓競技大会出場 (団体 1人) 10
- ・ 第25回全日本マーチングコンテスト出場 (団体 24人) 200

○ 埴輪制作事業費 450

市民の手による「はにわづくりの会」に事業を委託し、幼稚園、小学校、公民館へのはにわづくり出前教室の実施やこどもハニワ展の開催をするとともに、レプリカ埴輪の制作等を通じて文化遺産に対する保存と顕彰の必要性と文化意識向上の啓発を行った。

- ・ はにわづくり出前教室 16回、参加人数 689人
- ・ こどもハニワ展  
日時：平成24年12月1日(土)～12月8日(土) 場所：文化財センター  
展示作品数：412点 来場者：427人

○ 音楽文化活動事業費 1,700

音楽を通して、世代や地域を超えた文化振興を推進するため、合唱フェスティバルと吹奏楽フェスティバルを開催した。

- ・ 合唱フェスティバル  
日時：平成24年10月28日(日) 午後0時30分～4時 場所：市民文化会館  
出場者：公募による幼児と保護者、小学生、中学生、一般の各コーラス及び高校生、市内の合唱団 計26団体、約800人  
来場者：約1,000人
- ・ 吹奏楽フェスティバル  
日時：平成25年1月27日(日) 午後1時～4時 場所：市民文化会館  
出場者：松阪地区の小学生バンド、中・高等学校の吹奏楽部及び社会人バンド 計20団体、約540人  
来場者：1,160人

○ 文化芸術団体共催事業費 665

松阪市文化芸術団体連絡協議会と協働で、市民に芸術文化の鑑賞及び体験の機会を提供した。

会場	実施日	行事名	連絡協議会加盟団体名	入場者数
市民文化会館	H24. 9. 2	創立13周年 松阪市民謡民舞まつり	松阪市民謡民舞連合会	700人

施策の成果及び執行実績

会場	実施日	行事名	連絡協議会加盟団体名	入場者数
コミュニティ文化センター	H24. 6. 24	創立10周年記念 邦楽演奏会	邦楽21・MONE	300人
	H24. 8. 17 H24. 8. 18	ミュージカルBeOne 第7回公演 「スマイル コレクション」	ミュージカルBeOne	800人
	H24. 11. 17	【第2回松阪市民ギター音楽祭】 東日本大震災チャリティコンサート	松阪ギター音楽協会	581人
文化財センター	H24. 4. 28 H24. 4. 29	【第2回松阪市民ギター音楽祭】 中出阪蔵展&阪蔵ギター試聴会		99人
	H24. 7. 7 ～ 7. 16	松阪写真交流会 「フォトフェスティバル」	松阪写真交流会	826人
	H24. 8. 26 ～ 9. 2	松阪美術協会展	松阪美術協会	786人

○ 文化振興基金積立金 500 (平成24年度末現在高 166,129)  
市民文化の振興と向上を図るための基金に対し、寄附金を積み立てた。

○ 小津安二郎青春館管理運営事業費 3,259  
小津安二郎が過ごした愛宕町の町屋を借り受け創設した「小津安二郎青春館」の管理運営を松阪小津組に委託し、「まちかど博物館」として公開した。  
休館日：火・水・木曜日 入館者数 1,171人

○ 文化振興一般経費 1,907

(目) 5 文化財保護費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
53,923	4,185	717	10,300	3,319	35,402

○ 文化財保護審議会事業費 455  
文化財保護審議会を開催し、文化財保護に関して指導・助言を得た。また、文化財保護指導委員を各地域に置き文化財研修や文化財パトロール等の啓発活動を行った。

○ 歴史的建造物公開事業費 3,774  
重要文化財御城番屋敷の一戸を借り受け、一般公開を行った。テレビ・雑誌等マスコミでも紹介され、県内外から年間32,925人の来館者があり好評を得た。10月からは市指定文化財原田二郎旧宅の一般公開を行い、県内外から5,829人(10月～3月)の来館者があった。

○ 文化財保護事業補助金 2,104

事業名	補助金額	成 果
景観保全整備事業補助金	874	殿町武家屋敷生垣等保存整備事業補助金(25件) 874,000円 苗秀社及び本殿町・上殿町 御城番屋敷及び本殿町、上殿町の武家屋敷町並みを保全するための生垣や庭木の刈り込み、剪定、補植に対し補助を行うことで、景観保全を推進した。

施策の成果及び執行実績

事業名	補助金額	成 果
無形民俗文化財保存活用補助金	1,230	無形民俗文化財の保存、継承を図るための保持団体に対する補助。 (87,000円×13団体)  猟師かんこ踊り保存会・松ヶ崎かんこ踊り保存会・小阿坂かんこ踊り保存会・西野子踊り保存会・松阪しょんがい音頭と踊り保存会・射和祇園祭保存会・曾原獅子舞保存会・曾原かんこ踊り保存会・笠松かんこ踊り保存会・津屋城でこさん保存会・天玉神社神楽保存会・新屋庄かんこ踊り保存会・てんてん保存会  (64,000円×1団体) 和屋・立田・朝田よいよい神事保存会 (35,000円×1団体) 手力男神社虫送り保存会
計	2,104	

- 天然記念物保存事業費 147  
ムシトリスミレのパトロール活動、月出の中央構造線の草刈などを行い、天然記念物の保護に努めた。
- 地域文化財普及事業費 614  
文化財説明看板の設置や文化財普及のための講演会を行い、文化財の普及活動に努めた。  
文化財説明看板設置箇所：西蓮寺・龍泉寺
- 史跡管理事業費 5,522  
市が管理する指定史跡の草刈等を行い、環境整備に努めた。  
草刈等実施箇所：宝塚古墳、天白遺跡、粥見井尻遺跡、向山古墳、久保古墳
- 埋蔵文化財発掘調査事業費 1,762  
市内民間開発に伴う発掘調査（中世古遺跡）を行った。
- 市内遺跡緊急発掘調査事業費 3,313  
文化財保護法93・94条に基づく届出・通知のあった遺跡について、試掘調査・範囲確認調査を16件行った。
- 埋蔵文化財活用事業費 722  
埋蔵文化財への関心と理解を深めるため、NPO法人みえ自然・文化財保護サークルに業務を委託し、粥見の遺跡まつり（飯南）、うれしの天白縄文まつり（嬉野）を行った。また、夏休み古代生活体験講座、「はにわ館」中学生ボランティアガイド等を実施した。
  - ・ 粥見の遺跡まつり 平成24年 8月 5日(日) 参加人数 180人
  - ・ うれしの天白縄文まつり 平成24年10月28日(日) 参加人数 1,000人
  - ・ 夏休み古代生活体験講座 平成24年 7月28日(土)～29日(日) 参加人数 32人  
(勾玉づくり)
  - ・ 出前授業等（学校教育） 利用団体 7団体
  - ・ 出前講座等（社会教育） 利用団体 19団体
  - ・ 職場体験学習「わくわくワーク」（各3日間） 参加校 3校、各3人
  - ・ 「はにわ館」中学生ボランティアガイド  
平成24年 7月28日(土)～8月5日(日) 参加人数 23人
- 郷土資料室資料保存管理事業費 4,207  
所蔵資料、受贈資料等の整理・保存・目録化及び郷土資料の研究を行った。
  - ・ 刊行物 小津清左衛門長柱日記（五） 500冊
- 文化財保存整備事業補助金 771  
重要文化財来迎寺本堂の防災施設改修に要する経費の一部を補助した。

施策の成果及び執行実績

○ 原田二郎旧宅保存整備活用事業費 13,217

原田二郎旧宅の建物及び庭園の整備を平成22年度から24年度で実施した。24年度は、外構工事、解説資料の作成・展示を行うとともに、10月9日に開館記念式典を開催した。

- ・屋外付帯工事費 10,163
- ・屋外付帯工事監理業務委託 756
- ・展示品音声解説装置製作設置業務委託 898 等

○ 長谷川家文書調査事業費 5,092

国・県からの補助を受け、平成20年度から5か年の計画で長谷川家の文書について調査を行い、目録化した。最終年度にあたる24年度は、調査員延171人で調査を実施し、長谷川家文書調査報告書を刊行した。

- ・調査点数 約25,400点（文書：約23,000点、書籍：約2,400点）
- ・刊行物 長谷川家文書調査報告書 300部

○ 歴史・文化・伝統保存整備基金積立金 106 （平成24年度末現在高 21,439）

歴史的景観や環境及び文化遺産を継承・保存する事業を市民と協働して取り組むための基金に対する基金利子を積み立てた。

○ 指定文化財保存修理事業費 2,862

市所有の指定文化財について保存修理を行った。  
・松阪市指定文化財 宇田萩郵筆 「魎」 1件

○ 長谷川家文化財調査事業費 9,204

平成24年度から2か年の計画で長谷川家の文化財（建物及び庭園）について文化財調査を行うなか、24年度は建物及び庭園の現状を把握するための調査を実施した。建物内部の調査により、建築年代、増築による改修状況等の様々なデータを集め、今後行われる改修等に必要の基礎資料を作成し、概要報告書の作成を行った。

- ・長谷川建造物・屋敷内現況調査業務委託 962
- ・長谷川家住宅建物図面作成業務委託 4,410
- ・長谷川家敷地実測及び図面作成業務委託 2,835
- ・長谷川家文化財調査に係る写真撮影等業務委託 997

○ 各種団体等負担金 50

(目) 6 文化センター費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
176,180				37,765	138,415

○ 一般職員給 37,167

○ 松阪市民文化会館管理運営事業費 50,835

市民の文化教養の向上及び福祉の増進を目的に設置した市民文化会館の管理運営経費。また、快適に施設利用ができるよう、老朽化したホール座席の修繕等を行った。

・市民文化会館使用状況

(単位：件)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
市主催式典等			4	1	1	6	5	3	2	6			28
講演会												1	1
集会		1	1	1	3	1	1		1	1		1	11
コンサート		1	1		1	1					1	1	6

施策の成果及び執行実績

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
演劇		1	1										2
映画			2		1								3
芸能発表会	1	1	1	2	1		3	3	1			1	14
市・学校行事			1		1	2	2	2	5		5	3	21
リハーサル	1	5	11	17	10	10	10	11	10	11	7	5	108
計	2	9	22	21	18	20	21	19	19	18	13	12	194

(延人員87,677人)

○ 松阪市民文化会館施設整備事業費 3,753

工事名	事業内容	事業費
松阪市民文化会館自動火災報知設備更新工事	受信機P型1級60回線自立型 1台 光電式スポット型感知器1種 33台 発信機交換 12台	3,753

○ 松阪コミュニティ文化センター管理運営事業費 34,407

市民の文化教養の向上及び福祉の増進を目的に設置したコミュニティ文化センターの管理運営経費。また、スタインウェイピアノの弦を張替える等、質の高い芸術文化を提供した。

・ コミュニティ文化センター使用状況 (単位：件)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
市主催式典等		1	2	1	4	2	4	4	8		5	2	33
講演会		2	2		1		1			2		2	10
集会	1	4	1	2	2	2	3	3	4	5	1	2	30
コンサート	4	2	1	4	3	1	1	3	1	3	2	5	30
演劇					2		1						3
映画					1	1					1		3
芸能発表会	3	1	2	2	2	3	2	5	1	1			22
市・学校行事	1	1	5	1		2		2	2		3	3	20
リハーサル	4	3	8	8	8	7	10	10	4	9	11	7	89
計	13	14	21	18	23	18	22	27	20	20	23	21	240

(延人員50,382人)

○ 嬉野ふるさと会館管理運営事業費 30,440

市民の文化教養の向上及び福祉の増進を目的に設置した嬉野ふるさと会館の管理運営経費。また、老朽化した施設の雨漏りや空調機、遊具の修繕等を行い、安全で快適な施設提供を図った。

・ 嬉野ふるさと会館使用状況 大ホール (単位：件)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
市主催式典等	1		2	1	3	3	3	7	6	1	7		34
講演会	1		2				1	2	1	2			9
集会			1				1		1	1			4
コンサート	2	1		2	1	1			1		1		9
リサイタル													0
演劇													0
映画				1	2								3
芸能発表・練習				1	2	2	1	3		5	1		20
学校行事				8	2	1	6	5	2	2			26
リハーサル	1	1	1	2	2	1	2			1		3	14
計	5	2	6	15	12	8	14	17	11	12	9	8	119

(延人員 26,427 人)



施策の成果及び執行実績

・ 嬉野ふるさと会館使用状況 多目的ホール (単位：件)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
市主催式典等	2	2	4	3	8	8	4	6	4	2	8	1	52
講演会	1	1					1		1				4
集会	1	4	1	3					2		1	4	16
コンサート	1				1				5				7
リサイタル													0
映画													0
芸能発表・練習	4	6	5	6	5	12	6	6	5	7	3	8	73
学校行事				6			4	3	1	1			15
リハーサル	2	2		1		1	1		1				8
物品販売	2				1						2	1	6
計	13	15	10	19	15	21	16	15	19	10	14	14	181

(延人員 10,869 人)

○ 飯南産業文化センター管理運営事業費 9,848

市民の文化教養の向上及び福祉の増進を目的に設置した飯南産業文化センターの管理運営経費。また、経年劣化による施設各所の設備修繕や駐車場の整備を行うなど、適切な維持管理を行うことにより、施設利用者へのサービス向上に努めた。

・ 飯南産業文化センター使用状況 (単位：件)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
集会													0
コンサート				1									1
芸能発表会													0
市・学校行事	10	20	22	34	21	18	13	27	25	28	28	17	263
リハーサル				1									1
公民館教室等	41	51	51	56	50	56	62	61	46	46	56	55	631
公民館主催行事											1		1
その他	7	2	2	4	4	12	25	3	4	8	8	5	84
計	58	73	75	96	75	86	100	91	75	82	93	77	981

(延人員 18,738人)

○ 自主事業費 9,601

音楽会、演劇など、芸術文化の鑑賞及び体験の機会を提供し、芸術文化活動を推進した。

施設	実施日	行 事 名	出 演 者	入場料	入場人員
市民文化会館	H24. 7. 29	ミニコンサートと舞台・舞台裏見学会	神夢楽	無料	40人
	H24. 9. 17	米村でんじろうサイエンスショー (2回公演)	米村でんじろう	有料	1,240人 1,248人
	H24. 9. 20	劇団四季学校公演「こころの演劇」演目「王様の耳はロバの耳」	劇団四季	無料	1,267人
	H24. 9. 22	NHK公開録音 ラジオ深夜便のつどい	牧伸二、小倉久寛、明石勇、迎康子、富田典保アナウンサー	無料	1,000人
	H24. 10. 20	中部フィルハーモニー交響楽団 第5回松阪定期演奏会	中部フィルハーモニー交響楽団、秋山和慶、菊池洋子	有料	688人
	H24. 12. 9	松阪市民文化会館開館30周年記念事業 松阪第九コンサート	伊勢管弦楽団、松阪第九コンサート合唱団	有料	1,068人

施策の成果及び執行実績

施設	実施日	行事名	出演者	入場料	入場人員
市民文化会館	H25. 1. 19	松阪市民文化会館開館30周年記念事業 海援隊トーク&ライブ2013	海援隊	有料	1,121人
計					7,672人
コミュニティ文化センター	H24. 7. 14	スタインウェイピアノ演奏体験会	一般	無料	24人
	H24. 10. 17	優秀映画鑑賞推進事業 なつかしの映画鑑賞会	小津安二郎監督「麦秋」	有料	213人
	H24. 10. 18		小津安二郎監督「彼岸花」		
			小津安二郎監督「東京物語」	有料	222人
			小津安二郎監督「秋刀魚の味」		
	H24. 11. 19	茂山千五郎家の「狂言鑑賞教室」	茂山千五郎家	無料	580人
H24. 12. 1	親子で楽しむ日本の伝統 茂山家 お豆腐狂言	茂山千五郎家	有料	174人	
H24. 12. 20	ワンコインコンサート アンサンブル フィービー クリスマスコンサート	アンサンブル フィービー	有料	313人	
計					1,526人
嬉野ふるさと会館	H24. 6. 30	スタインウェイピアノ演奏体験会	一般	有料	10人
	H24. 7. 1				5人
	H25. 2. 17	八代亜紀ふれあいコンサート	八代亜紀、三山ひろし、ミレア	有料	617人 435人
計					1,067人
ハートフルみくも	H24. 11. 15	アテフ・ハリム ヴァイオリンリサイタル ～はじめてのクラシック～	アテフ・ハリム、佐藤和子	無料	401人
計					401人
飯南産業文化センター	H25. 2. 10	ハーブとフルート、ヴィオラで贈るコンサート	荒木まどか・増本竜士・富田大輔	有料	230人
計					230人

- 文化センター運営委員会事業費 130  
 松阪市文化センターの運営に関し、調査及び審議を行った。(運営委員9人、2回開催)

(目) 7 文化財センター費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
61,772				1,768	60,004

- 一般職員給 22,348  
 ○ 文化財センター管理運営事業費 33,253

市内の埋蔵文化財の保存と活用を図り、文化財保護と保管資料の保存活用を推進した。市民に芸術・文化振興のための場所及び機会を提供し、楽しく気持ちよく利用しながら文化に興味を深め、親しんでもらう環境作りに寄与した。また、センターでの企画に加え、貸館事業も行い、広く作品の発表場所を提供した。

- 文化財センター特別企画展等事業費 3,663  
 松阪市の文化財保護と芸術文化の振興を図るため、はにわ館で常設展を通年、企画展を3回開催した。また、ギャラリーでも企画展を3回開催した。  
 ・入館者数 44,375人(貸館事業の入館者も含む)

施策の成果及び執行実績

企画展名等	実施日	日数	入館者数
はにわ館常設展「宝塚古墳の謎」	H24. 4. 1 ～ H25. 3. 31	311	10,790人
はにわ館企画展「大昔の暮らし～地域の歴史をさぐる（縄文・弥生・古墳時代）～」	H24. 4. 14 ～ H24. 6. 3	46	2,924人
はにわ館企画展「古墳時代の幕開け～雲出川の遺跡～」	H24. 7. 21 ～ H24. 9. 2	38	1,526人
はにわ館企画展「松阪からこんなのでました♪ ‘09→ ‘12」	H25. 2. 2 ～ H25. 3. 24	43	1,432人
ギャラリー企画展「消えたレールの記憶～松電ものがたりⅡ～」	H24. 7. 21 ～ H24. 8. 19	26	2,605人
ギャラリー企画展「まつさかのちっちゃなアーティストたち」	H24. 8. 2 ～ H24. 8. 5	4	517人
ギャラリー企画展「10年の足跡～宝塚古墳の発掘とはにわ館のあゆみ～」	H25. 3. 19 ～ H25. 3. 24	5	530人
市民講座「驚きの発掘朝見遺跡&姿をあらわした松坂城の掘跡」	H25. 3. 2	1	61人
灯りコンサート2012「声楽の夕べ～岡本愛子 withコーラス若草～」 声楽：岡本愛子	H24. 10. 13	1	218人

○ はにわ館開館10周年記念事業費 2,477

はにわ館開館10周年を記念し、常設展示のメインテーマである「宝塚1号墳」と同時期以降に築造された近隣地域の古墳から出土した副葬品や埴輪を展示した特別展等を開催した。また、開館10周年記念行事を開催した。

企画展名等	実施日	日数	入館者数
はにわ館開館10周年記念特別展「ねむれる王たちの至宝～出土品からみた古墳世界～」	H24. 10. 6 ～ H24. 11. 25	46	2,345人
ワークショップ「勾玉ネックレスを作ろう」	H24. 10. 14 ・ H24. 11. 18	2	72人
リレートーク	H24. 10. 21 ・ H24. 11. 11	2	95人
はにわ館開館10周年記念行事（記念式典・講演会・コンサート・ワークショップ等）	H25. 3. 20	1	530人

○ 各種団体等負担金 30

(目) 8 歴史民俗資料館費

決算額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
16,881				3,270	13,611

○ 一般職員給 3,702

○ 歴史民俗資料館管理運営事業費 7,430

松阪市の歴史民俗資料を中心に紹介する場として、常設展は通年、企画展は5回実施した。休館日：月曜日、祝日の翌日、年末年始、展示替え期間中

開館日数：276日 入館者数：15,342人

- ・ 企画展、館蔵品展等の開催

展示内容	実施日	入館者数
企画展「ふるさとゆかりの私の一品展」	H24. 4. 1 ～ H24. 5. 27	3,899人
企画展「ちょっと昔の道具展」	H24. 6. 5 ～ H24. 9. 23	3,869人

施策の成果及び執行実績

展 示 内 容	実 施 日	入館者数
企画展「松阪商人 津嶋屋(竹内家)展」	H24. 10. 6 ～ H25. 1. 14	4,405人
企画展「餅コレクション展」	H25. 1. 27 ～ H25. 3. 3	2,022人
企画展「餅コレクション後期展」	H25. 3. 12 ～ H25. 3. 31	1,147人
計		15,342人

・ 体験教室

体 験 教 室	講 師	実施日	参加者数
夏休み藍染め体験	松阪木綿手織り伝承グループ ゆうづる会	H24. 8. 4	40人

○ 各種団体等負担金 15

○ 松阪商人の館管理運営事業費 5,734

「松阪商人の館」(旧小津清左衛門家住宅)の管理運営を小津家保存会に委託し、一般公開を行った。

休館日:月曜日、祝日の翌日、年末年始

開館日数:309日 入館者数:15,399人

・ 企画展、展示

展 示 内 容	実 施 日
久留家旧蔵・芳野山実景図屏風 特別公開	H24. 4. 1 ～ H24. 4. 8
久留家旧蔵・大江山屏風 特別公開	H24. 11. 3 ～ H24. 11. 18
久留家旧蔵・芳野山実景図屏風 特別公開	H25. 3. 23 ～ H25. 3. 31

・ 「松阪商人を語る会」

毎月第四土曜日に学習会を計11回開催。(事務局:歴史民俗資料館)

・ 茶華道子ども教室

毎月隔週の土曜日に計26回開催。

(目) 9 松浦武四郎記念館費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
17,189		55		1,754	15,380

○ 一般職員給 6,837

○ 松浦武四郎記念館管理運営事業費 8,392

松浦武四郎記念館の管理運営経費。

・ 入館者数

一 般	8,505人	開館日数 306日
6歳以上18歳以下	1,758人	一日平均 約34人
合 計	10,263人	

・ 運営審議会の開催 9月23日・3月29日(委員9人、年2回開催)

○ 松浦武四郎記念館特別企画展等事業費 519

展示公開・教育普及活動を通して、松浦武四郎とアイヌ文化の紹介に努めた。

展示期間	展示名	入館者数
H24. 4. 1～H24. 5. 13	武四郎と古物収集	839人
H24. 5. 15～H24. 7. 16	武四郎と和歌	829人
H24. 7. 18～H24. 9. 17	武四郎とアイヌ民族	1,059人

施策の成果及び執行実績

展示期間	展示名	入館者数
H24. 9. 19～H24. 11. 18	武四郎涅槃図の世界	1, 229人
H24. 11. 20～H24. 12. 2	武四郎と文人たち	140人
H24. 12. 4～H25. 1. 20	AINU ART—風のかたりべ	1, 591人
H25. 1. 22～H25. 3. 20	武四郎と幕末の志士たち	4, 298人
H25. 3. 22～H25. 3. 31	武四郎の晩年	85人

- ・ アイヌ文化体験教室 刺しゅう 小野江小学校6年生 9月28日 講師 宇梶良子 参加者25人
- ・ アイヌ文化体験教室 刺しゅう 市民 9月29日～9月30日 講師 宇梶良子 参加者19人
- ・ AINU ART展ギャラリートーク 12月9日・1月12日 参加者 延 48人
- ・ AINU ART展ワークショップ 楽器12月16日・刺しゅう1月13日 参加者 延142人
- ・ 武四郎講座 7回開催 参加者 延219人
- ・ 講演会「明治16年の武四郎—癸未溟誌を読む—」 3月11日 講師 佐藤貞夫 参加者51人

○ 松浦武四郎記念館民俗資料収集保管事業費 457

重要文化財・三重県指定有形文化財松浦武四郎関係資料を中心とする資料の保存・管理に関する業務を行った。

- ・ 展示室及び収蔵庫における文化財害虫調査（年3回実施）
- ・ 武四郎の実家に伝来する脇差の研磨

○ コスモス文化振興基金積立金 121 （平成24年度末現在高 24, 333）

基金利子を積み立てた。

○ 松浦武四郎誕生地活用検討事業費 864

市史跡松浦武四郎誕生地の活用について市民の意見を聞くシンポジウムを開催したほか、史跡の保存整備・活用を検討する委員会の開催及び史跡の維持管理を行った。

- ・ 史跡の活用を考えるシンポジウムの開催（2回）
  - 第1弾 史跡松浦武四郎誕生地の活用と整備を考える 7月8日 参加者180人
  - 第2弾 史跡松浦武四郎誕生地の活用に向けた意見交換会 9月16日 参加者173人
- ・ 松浦武四郎誕生地整備検討委員会の開催（委員8人、年1回開催）
- ・ 史跡の維持管理業務（建物の風通しと清掃、除草）及び樹木剪定業務の委託

## 施策の成果及び執行実績

## (目) 1 学校保健体育費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
100,163				4,249	95,914

- 校医報酬（学校医 46人） 20,723
- 歯科医報酬（学校歯科医 47人） 20,502
- 薬剤師報酬（学校薬剤師 32人） 6,208
- 就学時健康診断医報酬（学校医・学校歯科医 65人） 1,123
  
- 結核対策事業費（問診及び胸部X線検査。小中対象） 201  
問診の結果、要検査となった児童生徒及び、高まん延国から入国した児童生徒に胸部X線検査を実施した。検査受診数 小学校28人、中学校16人。
  
- 園児・児童・生徒の健康診断事業費 12,556  
園児・児童・生徒の耳鼻咽喉科検診、眼科検診、尿検査、蟯虫卵検査、心電図検査を行い、健康の保持増進を図った。  
耳鼻咽喉科・眼科検診 小1・5、中1：4,322人 4,279  
蟯虫卵検査 幼、小1～3：5,777人 982  
尿検査（一次・二次） 幼・小・中：14,846件 2,538  
心電図検査 小1・4、中1：4,292人 4,507
- 学校職員健康診断事業費 7,740  
学校職員の健康診断等を実施し、保健・安全管理に基づいた健康の保持増進を図った。  
健康診断 796人 5,413 胃部X線検査 265人 1,140  
B型肝炎検査 36人 875 健康管理医委嘱1人 180  
人間ドック指導区分判定 263人 132
- スポーツエキスパート活用事業費 648  
中学校運動部活動の指導に外部指導者14人を活用し、生徒への技術指導及び運動部顧問への指導等を行った。
- 学校プール夏季休業中管理運営補助金 1,522  
園児児童生徒の体力づくりなどのため、夏季休業中の小学校のプールをPTAに貸与し、運営費として補助金を交付した。
- 松阪市学校保健会補助金 156  
学校保健の充実と振興を図るための研修会や勉強会等の開催を奨励し、園児・児童・生徒の健康保持増進を図るため補助金を交付した。
- 日本スポーツ振興センター災害共済給付掛金 12,683  
幼稚園 1,353人、小学校 9,084人、中学校 4,225人
- 各種団体等負担金 1,991
  - ・ 三重県学校保健会会費 248
  - ・ 三重県中学校体育連盟負担金 1,135
  - ・ 松阪地区中学校体育連盟負担金 588
  - ・ よい歯のコンクール参加負担金 20
- 学校保健体育一般経費 14,111  
学校保健用消耗品費、学校環境衛生基準関係検査手数料  
全国市長会学校災害賠償保険料、備品購入費 等

施策の成果及び執行実績

(目) 2 学校給食費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
619,700		4,000		2,090	613,610

- 一般職員給 201,941
- 学校給食単独調理場管理運営事業費 173,907
 

本庁管内24小学校単独調理場において、安定した衛生的な調理業務の実施と衛生管理の徹底を図った。

  - ・ 非常勤調理員共済費 15,637
  - ・ 非常勤調理員賃金 100,389
  - ・ 給食施設及び設備の維持管理費 29,446
    - 消耗品費 9,077、ガス代等燃料費 11,064、光熱水費 3,553、修繕料 3,688
    - 通信運搬費 12、検便等手数料 1,828、生ゴミ処理発酵機等借上料 224
  - ・ 調理の迅速化、能率化のための委託等 26,672
    - 給食用リフト保守点検業務委託 794、米飯加工委託 23,593
    - 食缶洗浄・残飯処理委託 2,271、運転管理業務委託 14
  - ・ 給食調理済食品及び原材料の保存委託 1,763
- 学校給食単独調理場備品等整備事業費 5,648
 

本庁管内24小学校単独調理場における作業能率及び衛生管理の向上を図った。

  - ・ 給食用什器（什器、箸ほか）の更新による食環境の改善 655
  - ・ 給食備品購入による作業能率の向上 4,993
    - 自動食器洗浄機（松江小）、電気式消毒保管庫（幸小）
    - 自動手洗消毒器（幸小、伊勢寺小、松ヶ崎小）ほか
- 学校給食センター運営委員会事業費 120
 

給食の充実を図るための協議組織として運営委員会を開催し、学校給食センターの実施運営について審議した。

  - ・ 学校給食センター運営委員会委員報酬 120
- 学校給食センター管理運営事業費 94,272
 

嬉野学校給食センター、三雲学校給食センター、飯南学校給食センター、飯高等学校給食センター(宮前調理場・森調理場)において、安定した衛生的な調理業務の実施と衛生管理の徹底を図った。

  - ・ 非常勤調理員共済費 6,337
  - ・ 非常勤調理員等賃金 43,614
  - ・ 給食施設及び設備の維持管理費 32,932
    - 消耗品費 6,201、ガス代等燃料費 6,746、光熱水費 12,113、修繕料 4,984
    - 通信運搬費 468、検便等手数料 1,740、自動車損害保険料 141
    - 使用料及び賃借料 416、自動車重量税 123
  - ・ 調理の迅速化、能率化のための委託 10,707
    - 給食用リフト保守点検業務委託 170、浄化槽保守点検委託 971
    - 警備業務委託 655、米飯加工委託 6,926、食缶洗浄・残飯処理委託 1,551
    - ボイラー定期点検委託 199、消防施設保守管理委託 54
    - 厨房機器点検委託 84、害虫駆除作業委託 97
  - ・ 給食調理済食品及び原材料の保存委託 682
- 学校給食センター備品等整備事業費 7,479
 

学校給食センターにおける作業能率及び衛生管理の向上を図った。

  - ・ 給食用什器（什器、箸ほか）の更新による食環境の改善 1,748
  - ・ 給食備品購入による作業能率の向上 5,731
    - 給食運搬車（嬉野）、牛乳保冷库（豊地小）ほか

施策の成果及び執行実績

○ 学校給食センターベルランチ管理運営事業費 135,947

学校給食センターベルランチにおいて、安定した衛生的な調理業務の実施と衛生管理の徹底を図った。

- ・ 非常勤調理員共済費 828
- ・ 非常勤調理員等賃金 5,231
- ・ 給食施設及び設備の維持管理費 5,760
  - 消耗品費 1,934、公用車ガソリン代等燃料費 127、修繕料 2,163
  - 通信運搬費 442、検便等手数料 610、使用料及び賃借料 484
- ・ 調理の迅速化、能率化のための委託 123,950
  - 清掃委託 834、警備委託 118、草刈委託 211、排水処理点検業務委託 294
  - 消防施設保守管理委託 168、エレベーター保守管理業務委託 680
  - 空調設備保守管理業務委託 818、電気保安業務委託 667
  - 貯水槽清掃委託 41、貯湯槽点検整備委託 252
  - ボイラー定期点検委託 889、自動扉開閉装置点検委託 210
  - 厨房機器点検委託 987、害虫駆除作業委託 31
  - 調理及び配送業務委託 115,632 一般廃棄物・食品残渣処理委託 1,702
  - 給食用リフト保守点検業務委託 198、小荷物昇降機保守点検業務委託 132
  - 蒸気配管及びストレーナー等調査点検業務委託 85
- ・ 給食調理済食品及び原材料の保存委託 178

○ 学校給食推進委員会事業費 298

松阪市全体を見据えた安全・安心な給食の実施、食育の維持向上を目指した学校給食施設整備のあり方について審議し答申を受けた。

- ・ 学校給食推進委員会委員報酬 294
- ・ 食糧費（給食試食代） 4

○ 各種団体等負担金 88

- ・ 全国学校栄養士協議会・三重県栄養教諭学校栄養職員協議会 88

(目) 3 社会体育振興費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
22,856				11,513	11,343

○ スポーツ推進委員報酬 1,665

各地域より選出 期間 2年間 59人

スポーツ推進委員は、市主催大会や地域のスポーツ事業の開催、住民に対するスポーツの実技の指導その他スポーツに関する指導及び助言を行い、スポーツの推進に努めた。

○ スポーツ推進委員活動事業費 815

各種研究大会、研修会に参加し、地域における生涯スポーツ推進の実践活動の発表や意見交換によりスポーツ推進委員の資質の向上を図った。

○ 全国大会等出場派遣支援事業費 3,899

各種全国大会や国際大会に出場する個人・団体を対象に激励金を交付した。また、スポーツの各種競技大会で優秀な成績を収めた選手に対し、スポーツ賞、スポーツホープ賞、スポーツ大賞を授与し競技者の向上心を高め、市民スポーツの振興を図った。

- ・ 全国大会等参加激励金内訳

	件数	参加人員
団 体	17件	160人
個 人	85件	225人
計	102件	385人



施策の成果及び執行実績

・ スポーツ賞の授与

	件数・人員	備 考
団 体	3団体	団体 スポーツ賞 2、スポーツホープ賞 1 個人 スポーツ賞 19、スポーツホープ賞 8 スポーツ賞、スポーツホープ賞の中からスポーツ大賞1名を選考し表彰した。
個 人	27人	受賞種目 卓球・少年野球・ソフトテニス・レスリング・日本拳法・弓道・バレーボール・陸上競技・ゴルフ・水泳・ボディビル・エアロビクス

○ スポーツ大会等運営事業費 1,483

生涯を通じて健康で充実した生活を営むことができるよう、市民により多くのスポーツに参加する機会の提供を目的に様々なスポーツ大会等を開催した。

種目	開催日	参加人員	会場	事業費
「市長杯」松阪市ママさんバレーボール大会（春季）	H24. 4. 15	210人	さんぎんアリーナ（松阪市総合体育館）ほか	97
「市長杯」松阪市ママさんバレーボール大会（秋季）	H24. 9. 2	195人		
松阪市児童水泳記録会	H24. 8. 7	143人	松阪公園プール	122
「市長杯」市民ソフトバレーボール大会	H24. 10. 8	359人	さんぎんアリーナ（松阪市総合体育館）ほか	214
「市長杯」市民グラウンドゴルフ大会	H24. 10. 28	申込者 246人	雨天のため中止	56
「市長杯」市民卓球大会	H25. 2. 9 H25. 2. 10	270人 117人 (54組)	さんぎんアリーナ（松阪市総合体育館）	214
計				703

地域振興局管内における地域性を生かしたスポーツ事業を開催し、健康増進を図るとともに、様々なスポーツ大会等のイベントを開催した。

地域	種 目	実施日	参加人員	会 場	事業費
嬉野	ふれあいフェスティバル	H24. 8. 6	188人	西日本セブンスリーゴルフクラブ	200
	なめり湖健康ウォーキング	H24. 11. 18	128人	なめり湖周辺	
三雲	平成24年度松阪市シャフルボード大会inみくも	H24. 6. 24	33人	ハートフルみくもスポーツ文化センター	200
	平成24年度松阪市カローリング大会inみくも	H25. 2. 3	35人	ハートフルみくもスポーツ文化センター	
飯南	ジョギング大会IN茶倉	H24. 10. 28	207人	リバーサイド茶倉周辺	280
	市民駅伝飯南大会	H24. 12. 2	95人	飯南管内全域	
飯高	ビーチボールバレー大会	H25. 3. 24	100人	B&G海洋センター	100
計					780

施策の成果及び執行実績

○ シティマラソン大会事業費 3,500

第8回松阪シティマラソンは、過去最高となる2,731人の参加申込があり、また当日は、各種目（10km・5km・3km、ペアジョギング、ウォーキング）を開催し、ゲストランナーも迎え、参加者相互の交流、参加者と市民のふれあい交流を目的に、本市のスポーツ振興やにぎわいの創出を図る大会が開催できた。また、参加者へのアンケートにおいても次回も是非参加したいという回答が多く寄せられた。

開催日 H25. 1. 20（日） 会場 中部台運動公園周辺 参加者数 2,731人(申込数)

(年代別参加者数)				(種目別参加者数)			
年代	計	男	女	種目	計	男	女
10歳未満	216	120	96	10k	1122	924	198
10歳代	207	144	63	5k	605	427	178
20歳代	336	223	113	3k	358	188	170
30歳代	658	448	210	2kペア	410	254	156
40歳代	664	478	186	ウォーキング	236	88	148
50歳代	393	290	103	合計	2731	1881	850
60歳代	212	147	65				
70歳代	40	27	13				
80歳代	5	4	1				
合計	2731	1881	850				

○ 各種補助金 5,432

事業名	交付先	金額	事業内容及び成果等
みえスポーツフェスティバル派遣費補助金	松阪市体育協会	660	より多くの方が、スポーツ・レクリエーション活動に参加し、日頃の練習の成果を交歓し、技術の向上を図るとともに、生涯にわたり健康で生き生きとしたスポーツライフの実現を目指すことを目的に大会参加旅費を助成した。 ・参加人員 18種目 508人 ・会場 県内各地
市体育協会加盟団体育成強化補助金	松阪市体育協会	1,400	松阪市体育協会加盟の種目団体活動の推進や指導者講習会などを開催し団体の組織強化を行い、市全体のスポーツ振興を図った。
スポーツ少年大会等補助金	松阪市スポーツ少年団、松阪地区柔道会、嬉野剣道連盟	671	県下で開催されるスポーツ少年団大会への参加支援、及び地区柔道大会、嬉野剣道大会への支援により、青少年へのスポーツ振興と健全育成を図った。
スポーツ少年団補助金	松阪市スポーツ少年団	2,301	各地域において活動するスポーツ少年団への活動を支援することにより、低年齢からの体力づくりと健康増進を図り、青少年の健全育成に寄与した。
総合型地域スポーツクラブ推進事業補助金	まつさかTAIKYOスポーツクラブ	400	国のスポーツ振興計画に基づき、会員が受益者負担のもと運営する総合型地域スポーツクラブの円滑な自主運営による事業活動ができるよう支援を行った。
計		5,432	

○ 学校開放事業費 87

幅広く市民にスポーツ活動のできる機会と場所を提供し、スポーツ振興を図るために、市内中学校体育館の開放を行った。  
バレーボール・バスケットボール・バトミントン・卓球で活動している市内の23団体が登録している。（5中学校で月・木曜日の夜間を開放）

施策の成果及び執行実績

○ 総合型地域スポーツクラブ推進事業費 100

生涯スポーツ社会の実現に向けて地域のスポーツ施設を拠点として、子供から高齢者まで全ての地域住民が各自のニーズに沿って気軽にスポーツに参加できる総合型スポーツクラブの推進を図った。

レクリエーション協会による啓発事業

- ・ レクリエーションフェスティバル 子ども支援研究センター 120人参加
- ・ グラウンドゴルフ大会 高須町グラウンドゴルフ場 98人参加

○ 三重県市町対抗駅伝大会事業費 1,300

「第6回美し国三重市町対抗駅伝」は、津市の三重県庁前から伊勢市の三重県営総合競技場までの42.195kmを、小学生から一般まで10区間29市町対抗で行う駅伝大会であり、松阪市も代表選手を選考し2チーム（オープンチームを含む）を編成し大会に参加した。また、大会周知を図るとともに沿道において太鼓による応援などをおこない大会の盛り上げを行った。

成績は「市の部7位」入賞を果たすとともに、市町間の交流と市民のスポーツに対する意識高揚が図れた。

開催日 H25. 2.17（日）

○ 第94回全国高等学校野球選手権大会激励金 3,000

第94回全国高等学校野球選手権大会三重大会において松阪高等学校が初優勝し三重県代表として甲子園出場を決めたため、激励金を交付した。

○ 各種団体等負担金 518

各種協会への分担金等

○ 体育振興一般経費 1,059

社会体育全般にかかる一般経費

(目) 4 体育施設費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
99,561		36,622		12,654	50,285

○ 体育施設管理運営事業費 21,560

513BAKERYスタジアム松阪（松阪公園グラウンド）・雲出川河川敷・飯南グラウンド、東部・阪内川テニスコート、嬉野体育施設、飯南体育センター、波留運動公園等体育施設の管理経費

施設管理委託料 3,997、嬉野体育施設指定管理委託料 10,520、  
光熱水費 1,256ほか

※利用状況

施設名	利用者数	施設名	利用者数
513BAKERYスタジアム松阪	5,350人	嬉野テニスコート	112人
嬉野グラウンド	17,093人	嬉野体育センター	29,753人
雲出川河川敷グラウンド	11,133人	飯南体育センター	5,895人
飯南グラウンド	3,190人	波留運動公園施設	485人
東部テニスコート	5,580人	計	78,623人
阪内川テニスコート	32人		

○ 体育施設予約システム整備事業費 1,382

市のスポーツ施設の利用申請について、利用者がインターネットを通じ、パソコンや携帯電話から24時間空き状況を確認でき、仮予約申請を行えるシステムを導入し、市民の利便性の向上や受付申請等内部事務処理の効率化に努めた。

H24 利用者登録件数 499件（個人・団体）

施策の成果及び執行実績

○ 体育施設整備事業費 42,101

・ 工事請負費

嬉野体育センター屋根・外壁工事 34,869

屋根と外壁の防水加工を行い、雨水による漏水を防止した。

飯南体育センター外壁他改修工事 4,874

北面部分の外壁の防水加工を行い、雨水による漏水を防止した。

ハートフルみくもスポーツ文化センター東面外壁防水改修工事 2,358

東面部分の外壁の防水加工を行い、雨水による漏水を防止した。

○ 松阪公園プール管理運営事業費 12,747

7月1日から8月31日まで松阪公園プールを開設し、住民の健康づくり、スポーツ・レクリエーションの振興を図った。

※松阪公園プール利用状況

	7月	8月	計
大人	1,764人	2,082人	3,846人
小人	3,191人	3,098人	6,289人
団体	144人	121人	265人
無料	1,002人	744人	1,746人
計	6,101人	6,045人	12,146人

- ・ プール管理等委託 8,289
- ・ 光熱水費 3,158
- ・ 修繕費 1,143 ほか

○ 阪内川スポーツ公園管理運営事業費 21,772

松阪牛の里オーシャンファーム武道館（松阪市武道館）、多目的グラウンド等にかかる管理運営を行った。

※阪内川スポーツ公園利用状況

施設名		件数	人数
武 道 館	第一道場	815件	29,637人
	第二道場	904件	15,493人
	第三道場	1,790件	5,902人
	会議室	143件	2,155人
多目的グラウンド		297件	11,233人
テニスコート		1,659件	6,538人
ゲートボール場		252件	2,195人
計		5,860件	73,153人

- ・ 公園維持管理委託 17,147
- ・ 光熱水費 2,367
- ・ 修繕費 900 ほか
- ・ 多目的グラウンド補修工事 840
  - 内野補修工事 3,500.0 m<sup>2</sup>
  - 不陸修正転圧 700.0 m<sup>2</sup>

(目) 5 中部台運動公園施設費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
146,406				22,826	123,580

○ 一般職員給 37,082

○ 中部台運動公園施設管理運営事業費 100,093

自然環境、教養文化に対する意識を高め、文化活動の場、また家族の憩いの場、各団体のスポーツ・レクリエーションの場として、施設の管理運営を行った。

・ 施設管理委託料 67,230

区 分	事 業 内 容	成 果	事業費
公園芝生管理委託	A=32,872m <sup>2</sup> 芝刈 ほか	年間約50万人利用	16,980
公園内樹木管理委託	樹木手入工一式		6,045
流水プール管理委託	6月上旬から9月上旬	入場者実績=16,338人	6,510
施設清掃委託	運動公園内清掃業務		2,772

施策の成果及び執行実績

区 分	事 業 内 容	成 果	事業費
施設警備委託	夜間休日の警備業務		8,162
天文台管理運営委託	施設管理運営業務	年間約1,000人利用	428
猿舎清掃業務委託	施設管理運営業務		3,784
受付管理業務委託	施設管理運営業務		9,095
草刈等施設管理業務委託	施設管理運営業務		9,828
その他	施設管理運営業務		3,626
計			67,230

- ・ 使用料及び賃借料 1,607
  - 桂瀬ソフトボール場グラウンド不陸重機賃借料 945
  - 中部台管理事務所天文台便所賃借料 175
  - 体育館年間個人使用券発行用パソコンシステム賃借料 102
  - AEDリース料 186
  - 複写機賃借料 63
  - 流水プール掃除用ロボット賃借料 110
  - テレビ視聴料 25
- ・ 工事費 2,090
  - 県営野球場グラウンド不陸修正工事 A=4,073.9㎡ 2,090
- ・ 備品購入費 187
- ・ 施設光熱水費 11,430
- ・ 労災保険料 256
- ・ 作業員賃金 6,244
- ・ 消耗品費 2,391
- ・ 燃料費 579
- ・ 印刷製本費 197
- ・ 通信運搬費 400
- ・ 修繕費 4,955
- ・ 手数料 1,510
- ・ 保険料 84
- ・ 原材料費 909
- ・ 自動車重量税 24

○ 中部台運動公園施設整備事業費 9,231

- ・ さんぎんアリーナ（松阪市総合体育館）コートライン改修工事 3,519
- ・ 松阪市テニスコート管理棟改修工事費 5,712

(目) 6 スポーツ文化センター費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
23,830				13	23,817

○ スポーツ文化センター管理運営事業費 23,830

スポーツ文化センター各施設にかかる管理運営経費

- ・ 指定管理委託料 23,249
- ・ 修繕料 553 ほか

※利用状況

施設名	件数	人数
パターゴルフ	92件	534人
テニスコート	398件	1,246人
アスレチックジム	1,399件	9,584人
会議室等	279件	13,111人
アリーナ	784件	23,403人
計	2,952件	47,878人

施策の成果及び執行実績

(目) 7 海洋センター費

決算額	財 源 内 訳				一般財源
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
16,161				1,030	15,131

○ 一般職員給 8,534

○ 海洋センター管理運営事業費 7,628

飯高B&G海洋センターにかかる管理運営経費

- ・ 賃金・共済費 4,283
- ・ 施設光熱水費 1,180 ほか

※利用状況

施設	有料	無料	計
体育館	2,613人	2,685人	5,298人
プール	2,266人	903人	3,169人
計	4,879人	3,588人	8,467人

## 施策の成果及び執行実績

## (目) 1 青少年育成費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
24,958		1,574		37	23,347

## ○ 青少年問題協議会事業費 35

青少年問題協議会委員報酬 (対象者5人、1回開催)

- ・ 青少年問題協議会の開催

(H25. 2. 21 教育委員会事務局2階教育委員会室 出席委員 13人)

内容：若者の就労等支援の現状と課題について

## ○ 青少年健全育成事業費 6,249

行政と市民会議及び各地区健全育成会が一体となり、家庭・学校・地域が連携して、講演会・街頭啓発・環境浄化活動等の青少年健全育成事業を実施した。

- ・ 青少年育成のつどい講演会の開催

(H24. 12. 12 松阪コミュニティ文化センター 参加人員 458人)

- ・ 市内22育成会でそれぞれの地域にあった育成活動を委託。

- ・ 5支部 (松阪・嬉野・三雲・飯南・飯高) からなる松阪市青少年育成市民会議に市の青少年育成活動の一部を委託。

## ○ 新成人のつどい開催事業費 456

郷土の将来を担う新成人に、自立と自覚の節目となるように、「新成人のつどい」を開催した。(新成人による実行委員による式典を開催 (恩師のビデオメッセージ、大抽選会等を実施))

(H25. 1. 13 市民文化会館 参加人員1,318人)

## ○ こどもまつり大会事業費 1,451

創作や遊びを通じて、子どもたちが家族や友達と1日楽しく過ごすことができる催し物を提供した。当日は、雨天にも関わらず、多くの親子連れ等が来場した。

(H24. 4. 22 さんぎんアリーナ 参加人員 3,000人)

## ○ 各種補助金 500

青少年の健全でかつ情操豊かな、心身ともに健やかな青少年を育成することに努めた。

事業名	交付先	金額	事業内容及び成果等
子ども会連合会補助金	松阪市子ども会連合会	300	ジュニアリーダー研修会、キャンプ、球技大会、自然観察会、オセロ大会等を行い、地域子ども会の充実発展と連絡調整、指導者・育成者の研修養成を図った。
松阪子どもセンター補助金	松阪子どもセンター協議会	200	情報誌の発行、自然体験、体験学習等を行った。
合計		500	

## ○ 放課後子ども教室推進事業費 2,361

すべての子どもを対象として、安全・安心な子どもの活動拠点を設け、地域住民の参画を得て、子どもたちと共に勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動などを実施した。

- ・ 放課後子どもプラン運営運営委員会の開催

内容：放課後子ども教室推進事業及び現状について

(H25. 3. 19 本庁舎本館5階特別会議室 出席委員10名)

- ・ 放課後子ども教室4か所開設

施策の成果及び執行実績

○ 青少年センター運営事業費 13,893

非行化する恐れのある少年を早期に発見し、青少年の健全育成活動に努めるとともに、環境浄化活動・補導活動などを実施した。

- ・ 青少年センター職員、補導委員延1,904人で青少年の補導活動（580回）を実施した。

○ 青少年センター運営協議会事業費 14

青少年センター運営協議会委員報酬（対象者2人、1回開催）

- ・ 青少年センター運営協議会の開催

内容：平成24年度青少年センター活動結果及び平成25年度活動計画について  
（H25.3.11 本庁舎第2分館2階教育委員会室 出席委員6人）

(目) 2 堀坂山の家施設費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
358					358

○ 堀坂山の家管理運営事業費 358

平成23年度をもって青少年宿泊研修施設としての機能を閉じている「堀坂山の家」の施設維持管理を行った。



## 施策の成果及び執行実績

## (目) 1 農地等災害復旧費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
16,517		6,410		2,015	8,092

## ○ 農地等災害復旧事業費 16,517

- ・ 重機借上 1,454 (9件)
- ・ 原材料費 749 (13件)
- ・ 団体営災害復旧事業 7,587 (農地5件、施設3件)

工事名	工事内容	工事費
112-1矢津町田 (畦畔) 災害復旧工事	ブロック積工 A=40.1m <sup>2</sup>	2,025
112-2西野町田 (畦畔) 災害復旧工事	ブロック積工 A=19.4m <sup>2</sup>	704
112-3小片野町田 (畦畔) 災害復旧工事	ブロック積工 A=12.9m <sup>2</sup>	438
112-4阪内町田 (畦畔) 災害復旧工事	ブロック積工 A=13.6m <sup>2</sup>	477
112-5茅原町田 (畦畔) 災害復旧工事	ブロック積工 A=43.6m <sup>2</sup>	1,892
農地計 5件		5,536
12-1飯高町宮前用水路災害復旧工事	ブロック積工 L=2.5m、 A=8.6m <sup>2</sup> U型側溝布設工 L=6.6m	484
12-2矢津町用水路災害復旧工事	ブロック積工 A=20.4m <sup>2</sup> U型側溝工 L=7.0m	935
12-3阪内町農道災害復旧工事	ブロック積工 A=14.9m <sup>2</sup>	632
施設計 3件		2,051
団体営災害復旧事業費合計 8件		7,587

- ・ 市単独災害復旧事業 6,727 (農地8件、施設19件)

工事名	工事内容	工事費
阪内町田 (畦畔) 災害復旧工事	ブロック積工 A=5.8m <sup>2</sup>	258
嬉野合ヶ野町畑 (畦畔) 災害復旧工事 (その1)	石積工人力施工 A=2.2m <sup>2</sup>	135
嬉野合ヶ野町畑 (畦畔) 災害復旧工事 (その2)	石積工人力施工 A=5.5m <sup>2</sup>	297
嬉野合ヶ野町畑 (畦畔) 災害復旧工事 (その3)	石積工人力施工 A=4.5m <sup>2</sup>	239
飯南町上仁柿畑 (畦畔) 災害復旧工事	練石積工 L=2.0m A=3.0m <sup>2</sup>	110
飯南町有間野畑 (畦畔) 災害復旧工事	ブロック積工 L=5.8m A=12.2m <sup>2</sup>	295
柚原町畑 (畦畔) 災害復旧工事	石積工一式	290
御麻生藪町田災害復旧工事	法面復旧工一式	299
農地計 8件		1,923
高須町水路災害復旧工事	プレハブ水路復旧工一式 法面復旧工一式	299
立野町水路災害復旧工事 (その1)	浚渫工 V=51.0m <sup>3</sup>	395
立野町水路災害復旧工事 (その2)	浚渫工 V=36.0m <sup>3</sup> 法面復旧工一式	295
美濃田町水路災害復旧工事	プレハブ水路復旧工 L=24.0m	397
大阿坂町水路災害復旧工事	ベンチフリューム水路復旧工一式	228
魚見町水路災害復旧工事	排水管復旧工一式 法面復旧工一式	294
小野町水路災害復旧工事 (その1)	コンクリート復旧工一式	164
小野町水路災害復旧工事 (その2)	張りコンクリート復旧工一式	168
大石町農道災害復旧工事	掘削工、土のう設置	97

施策の成果及び執行実績

工事名	工事内容	工事費
大阿坂町ため池災害復旧工事	法面復旧工一式	294
六呂木町農道災害復旧工事	石積工一式	100
嬉野平生町農業用排水路災害復旧工事	V字側溝撤去及び布設工一式	288
嬉野宮古町農業用排水路災害復旧工事	水路復旧工一式	151
嬉野上小川町用水路災害復旧工事	土留棚工 A=24.0m <sup>2</sup>	299
嬉野宮野町導水管災害復旧工事	土砂撤去、流木撤去一式	151
嬉野矢下町頭首工災害復旧工事	ブロック積工 10か所	294
嬉野島田町用水路災害復旧工事	法面修復工 L=40.0m	297
飯南町粥見用水路災害復旧工事	練石積工 L=8.0m A=11.0m <sup>2</sup>	294
飯南町下仁柿用水路災害復旧工事	U字溝修繕工 L=8.0m コンクリート巻上工一式	299
施設計 19件		4,804
市単独災害復旧事業費合計		6,727

(目) 2 林業施設災害復旧費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
124,465		6,277	600	1,236	116,352

○ 林業施設災害復旧事業費（繰越分） 107,568

- ・ 台風12号（平成23年9月1～4日）により被災した林道の災害復旧工事を実施した。

工 事 名	事業費	事 業 費 内 訳			
		工事費	委託料	用地・補償	事務費
林道江馬小屋線災害復旧工事	5,963	5,963			
林道峯ヶ谷大崩線災害復旧工事	7,501	7,501			
林道青田線災害復旧工事	5,612	5,612			
林道七日市乙栗子線災害復旧工事	5,765	5,765			
林道他所線災害復旧工事	9,119	9,119			
林道くまが池線災害復旧工事	14,085	14,085			
林道三峰局ヶ岳線災害復旧工事	3,661	3,661			
林道黒洞線災害復旧工事	3,150	3,150			
林道上田線災害復旧工事	2,550	2,550			
林道木屋谷線災害復旧工事	5,555	5,555			
林道飯高北奥線（1号箇所、2号箇所、3号箇所、4号箇所）林道三峰局ヶ岳線（2号箇所）災害復旧工事	7,824	7,824			
林道飯高北奥線（5号箇所、6号箇所、7号箇所）災害復旧工事	20,296	20,296			
林道有間野浦谷線災害復旧工事	5,049	5,049			
林道大谷線災害復旧工事	6,260	6,260			
林道峯ヶ谷大崩線地滑り調査解析・測量設計業務委託	4,978		4,978		
事務費（消耗品）	200				200
合 計	107,568	102,390	4,978	0	200

施策の成果及び執行実績

○ 林業施設災害復旧事業費（県単）（繰越分） 9,349

- ・ 台風12号（平成23年9月1～4日）により被災した作業道の災害復旧工事を実施した。

工 事 名	事業費	事 業 費 内 訳			
		工事費	委託料	用地・補償	事務費
作業道ヌタハラ線災害復旧工事	9,349	9,349			

○ 林業施設災害復旧事業費 7,548

台風4号（平成24年6月19～20日）及び台風17号（平成24年9月30日）の豪雨により被災した林道・作業道をバックホウ等の重機借上により地元復旧で対応した。

事業用重機借上料 林道21路線 治山附帯1か所 24か所 5,248

- ・ 台風12号（平成23年9月1～4日）により被災した林道の地滑り災害復旧工事を実施。

工 事 名	事業費	事 業 費 内 訳			
		工事費	委託料	用地・補償	事務費
林道峯ヶ谷大崩線地滑り災害復旧工事	2,300	2,300			

(目) 3 漁港災害復旧費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
820					820

○ 獺師漁港災害復旧事業費 820

台風17号（平成24年9月30日）により被災した獺師漁港海岸施設（立木及び獺師樋門前面の土砂撤去）を復旧した。

区 分	事 業 内 容	事業費	事業費内訳		
			修繕料	委託料	事務費等
獺師漁港災害復旧事業費	獺師漁港（A・B工区）海岸堤防倒木修繕 （阪内川側 松4本、支柱4台） （松ヶ崎側 松5本、支柱5台）	222	222	0	0
	獺師樋門前面堆積流土除去災害復旧修繕 （土砂撤去、掘削・運搬一式）	598	598	0	0
計		820	820	0	0

## (款) 11 災害復旧費 (項) 2 公共土木施設災害復旧費

(単位 千円)

## 施策の成果及び執行実績

## (目) 1 道路橋りょう災害復旧費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
131,980	82,390		41,100		8,490

## ○ 道路橋りょう災害復旧事業費 (繰越分) 124,092

・ 台風6号及び豪雨 (平成23年7月17~21日) による災害

路線名等	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	その他
かつえ坂線 (国災)	5,918	5,918			

・ 台風12号及び豪雨 (平成23年9月1~5日) による災害

路線名等	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	その他
木樨旧国道線 (国災)	7,171	7,171			
青田栃谷線 (国災)	16,030	16,030			
高見線 (国災)	5,128	5,128			
神殿赤池線 (国災)	5,495	5,495			
柏野線 (国災)	70,361	70,361			
阪内勢津線外1線	823	823			
高見線	805	805			
柏野線	1,354	1,354			
合 計	107,167	107,167	0	0	0

・ 台風15号及び豪雨 (平成23年9月20~21日) による災害

路線名等	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	その他
乙栗子旧国道線 (国災)	4,462	4,462			
広尾水源地線 (国災)	6,545	6,545			
合 計	11,007	11,007	0	0	0

## ○ 道路橋りょう災害復旧事業費 7,889

・ 台風4号及び豪雨 (平成24年6月19日) による災害

路線名等	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	その他
桂瀬9号線 (国災)	961	961			
勢津通学道線 (国災)	2,539	2,539			
岡本山際線	251	251			
上小川2号線	299	299			
夏明地内公衆用道路	299	299			
寺坂線	1,430	1,430			
高見線	369	369			
福本線	567	567			
合 計	6,715	6,715	0	0	0

施策の成果及び執行実績

・ 台風17号及び豪雨（平成24年9月30日）による災害

路線名等	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	その他
長泉寺線	294	294			
白米城線	298	298			
勢津通学道線	288	288			
上小川2号線	294	294			
合計	1,174	1,174	0	0	0

(目) 2 河川災害復旧費

決算額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
30,219	19,757		9,700		762

○ 河川災害復旧事業費（繰越分） 19,641

・ 台風6号及び豪雨（平成23年7月17～21日）による災害

河川名等	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	その他
蘭川（国災）	10,121	10,121			

・ 台風12号及び豪雨（平成23年9月1～5日）による災害

河川名等	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	その他
水谷川（国災）	1,126	1,126			
オシサコ川（国災）	4,515	4,515			
コイノキ川（国災）	3,879	3,879			
合計	9,520	9,520	0	0	0

○ 河川災害復旧事業費 10,578

・ 台風4号及び豪雨（平成24年6月19日）による災害

河川名等	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	その他
吉野川（国災）	3,465	3,465			
古茂喜谷川	299	299			
合計	3,764	3,764	0	0	0

・ 台風17号及び豪雨（平成24年9月30日）による災害

河川名等	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	その他
古茂喜谷川（国災）	2,370	2,370			
吉野川（国災）	2,192	2,192			
岩内川（国災）	1,953	1,953			
北浦川	299	299			
合計	6,814	6,814	0	0	0

(款) 11 災害復旧費 (項) 3 文教施設災害復旧費

施策の成果及び執行実績

(目) 1 公立学校施設等災害復旧費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
11,781	5,215		3,000		3,566

○ 中学校施設災害復旧事業費 (繰越分) 8,300

- ・ 飯高西中学校法面災害復旧工事  
法面工事 西側部分 整地  
土質ボーリング調査  
湧水処理 横ボーリング工 8本

○ 中学校施設災害復旧事業費 (過年災) 3,481

- ・ 飯高西中学校法面災害復旧工事  
湧水処理 横ボーリング工 7本  
法面保護 植生工 720㎡

## 施策の成果及び執行実績

## (目) 1 元金

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
5,423,226					5,423,226

## ○ 長期債償還元金 5,423,226

うち、公的資金補償金免除繰上償還 (旧資金運用部資金) 123,028

うち、公的資金補償金免除繰上償還 (旧簡易生命保険資金) 22,984

## ※ 市債の状況

平成23年度末 現在高	平成24年度末 現在高	増減額
52,735,729	50,092,203	△ 2,643,526

## ※ 借入先別利率別市債現在高

借入利率区分	財政融資資金		旧郵政公社資金		地方公共団体 金融機構資金		市中銀行	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
1.0%未満	45	5,176,703	9	193,994			44	4,352,396
1.0%以上 2.0%未満	132	18,655,914	56	2,683,216	11	870,502	30	6,661,327
2.0%以上 3.0%未満	59	2,478,616	13	641,252	20	755,259	1	299,200
3.0%以上 4.0%未満	18	323,492	8	208,807	14	199,503		
4.0%以上 5.0%未満	15	206,360	13	63,506	6	37,519		
合計	269	26,841,085	99	3,790,775	51	1,862,783	75	11,312,923
借入利率区分	その他の金融機関		共 済 等		三 重 県		合 計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
1.0%未満	19	724,384	5	322,658	1	1,000	123	10,771,135
1.0%以上 2.0%未満	22	4,434,633	9	767,062			260	34,072,654
2.0%以上 3.0%未満	1	34,900					94	4,209,227
3.0%以上 4.0%未満							40	731,802
4.0%以上 5.0%未満							34	307,385
合計	42	5,193,917	14	1,089,720	1	1,000	551	50,092,203

## (目) 2 利子

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
742,356					742,356

## ○ 長期債償還利子 742,347

## ○ 一時借入金利子 9

- 普通交付税支払遅延に伴う一時借入金利子

借入額：5億円

借入期間：11月20日～26日 7日間

利率：0.095% (年利)

(款) 14 諸支出金 (項) 1 基金費

(単位 千円)

施策の成果及び執行実績

(目) 1 財政調整基金費

決算額	財 源 内 訳				一般財源
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
516,000					516,000

- 財政調整基金積立金 516,000 (平成24年度末現在高 8,754,546)  
地方財政法第7条第1項に基づく積立金 516,000





# 特 別 会 計

競輪事業

(単位 千円)

○ 決算状況

収 入		支 出	
科 目	決 算 額	科 目	決 算 額
1 事業収入	8,550,810	1 総務費	110,162
1 入場料	5,256	2 事業費	8,921,319
2 勝者投票券売上金	8,545,554	3 施設費	23,014
2 使用料及び手数料	3,102	4 公債費	98
3 財産収入	1,706	5 諸支出金	24,871
4 繰越金	119,995	6 予備費	0
5 諸収入	313,447		
6 繰入金	169,113		
収入合計 (A)	9,158,173	支出合計 (B)	9,079,464
収 益 金 (A) - (B)			78,709
上記収益金のうち一般会計への繰出金			0
翌年度へ繰越すべき財源			0
実質収支額			78,709

○ 事業収入 8,550,810

- ・ 入場料 5,256

区分	入 場 料 (円)					
	平成24年度					平成23年度
	本 場			川越場外	計	
	一般	特観席	サイクル	特観席		
第1回	0	120,300	120,000	317,000	557,300	834,100
第2回	0	116,100	82,000	235,000	433,100	673,150
第3回	0	72,300	48,000	115,000	235,300	387,400
第4回	0	132,300	100,500	336,000	568,800	514,600
第5回	0	59,700	37,000	146,000	242,700	418,700
第6回	0	57,000	34,000	118,000	209,000	384,550
第7回	0	118,200	81,500	263,000	462,700	1,203,350
第8回	0	56,400	33,000	115,000	204,400	674,850
第9回	0	210,900	130,000	283,000	623,900	640,550
第10回	0	223,200	128,000	410,000	761,200	861,200
第11回	0	132,900	89,000	293,000	514,900	737,700
第12回	0	105,600	71,000	266,000	442,600	657,600
計	0	1,404,900	954,000	2,897,000	5,255,900	7,987,750

※ 平成24年4月1日より、本場一般入場料を無料化

区分	入 場 者 数 (人)					
	平成24年度			平成23年度		
	本場	川越場外	計	本場	川越場外	計
第1回	5,151	7,471	12,622	4,732	8,311	13,043
第2回	4,641	6,717	11,358	3,755	6,931	10,686
第3回	2,676	3,757	6,433	2,170	3,796	5,966
第4回	4,662	7,005	11,667	2,522	4,320	6,842
第5回	2,299	3,349	5,648	2,182	4,260	6,442
第6回	2,199	2,985	5,184	2,277	3,272	5,549
第7回	5,160	6,693	11,853	8,423	9,545	17,968
第8回	2,557	3,245	5,802	4,145	7,195	11,340
第9回(記念)	7,117	7,650	14,767	4,069	6,890	10,959
第10回	6,754	9,479	16,233	4,220	7,972	12,192
第11回	4,844	6,955	11,799	3,852	6,475	10,327
第12回	4,321	6,687	11,008	3,878	6,653	10,531
計	52,381	71,993	124,374	46,225	75,620	121,845

- ・ 勝者投票券売上金 8,545,554

区分	勝 者 投 票 券 売 上 金 (円)					
	平成24年度					平成23年度
	本場	川越場外	電話投票	臨時場外	計	
第1回	42,584,200	41,463,200	34,321,300	2,051,000	120,419,700	369,047,000
第2回	63,255,500	87,654,800	33,022,200	3,712,100	187,644,600	154,088,500
第3回	40,391,300	46,356,700	68,911,100	154,431,200	310,090,300	442,951,400
第4回	47,077,000	59,876,000	29,192,400	3,561,000	139,706,400	78,188,900
第5回	27,242,600	36,707,600	21,038,300	2,294,600	87,283,100	431,161,600
第6回	29,035,100	35,542,800	70,065,200	160,090,200	294,733,300	93,250,300
第7回	42,056,600	43,291,600	41,668,200	4,981,100	131,997,500	9,208,558,700
第8回	28,499,900	35,088,900	68,770,800	26,381,500	158,741,100	456,807,700
第9回(記念)	100,217,200	96,941,400	772,984,600	4,487,152,000	5,457,295,200	411,142,500
第10回	108,055,800	131,751,100	209,976,100	615,648,600	1,065,431,600	377,826,600
第11回	57,262,800	62,923,600	129,375,600	220,594,100	470,156,100	449,467,900
第12回	37,133,400	41,150,600	35,630,400	8,140,700	122,055,100	473,240,800
計	622,811,400	718,748,300	1,514,956,200	5,689,038,100	8,545,554,000	12,945,731,900

#### 総務費

- 一般職員給 105,531 (事業運営にかかる職員等の人件費)
- 総務一般経費 2,424 (一般管理事務経費)
- 競輪事業財政調整基金積立金 1,706 (基金利息の積立金) (平成24年度末現在高 31,469)
- 開催執務委員長交際費 500 (地元自治会への協力金)

#### 事業費

- ファンサービス事業費 45,470
  - ・ ファンの早期来場及び売上向上を目的にファンサービスを実施。
  - ・ 2013年度競輪カレンダー(1,600部)、クオカード(500枚)等を配布。
  - ・ Fネットの配信並びにファンサービス用駐車場(3か所)・ファン用大型給茶機(2台)を設置。
  - ・ 本場開催時に駅⇄競輪場・川越場外の無料送迎バスを本場・川越場外にて延べ1,550台運行。
  - ・ あったかいもんグルメフェスティバルの実施。

○ 広告宣伝事業費 35,152

- ・ 新聞9社にて開催告知広告を掲載（延354回）  
[中日スポーツ、スポーツニッポン、サンケイスポーツ、中京スポーツ、日刊スポーツ、スポーツ報知、デイリースポーツ、伊勢新聞、夕刊三重]
- ・ ラジオ3局にて開催告知広告を放送（延224回）  
[CBCラジオ、東海ラジオ、FM三重ラジオ]
- ・ 三重テレビにて開催告知広告を放映（延57回）
- ・ 野立て看板にて（競輪場場内2基、県内5基）開催告知広告を掲示

○ 施設管理事業費 19,440（施設等の保守点検及び開催機器の保守点検等にかかる経費）

○ 普通競輪開催事業費 437,413（普通競輪開催にかかる経費）

○ 選手賞金及び賞金等賞賜金 523,905（普通競輪開催時選手賞金等にかかる経費）

○ 従事員賃金等 81,761（臨時従事員等にかかる人件費）

○ レース中継事業費 18,331

- ・ 委託料 18,331

委託名称	金額
スピードチャンネル放映事業業務委託（四五百杯外5件）	14,651
テレビ製作中継事業業務委託（駅鈴杯）	3,680
合 計	18,331

○ インターネット活用事業費 25,040

- ・ 委託料 10,884

委託名称	金額
インターネットHP更新業務委託	630
BRONSE配信サービス業務委託	6,212
KEIRIN. JP配信業務委託	913
電子新聞インターネット配信業務委託	3,129
合 計	10,884

- ・ 使用料及び賃借料 14,156（開催に係る映像集配信ネットワーク利用料等）

○ 全国施行者協議会分担金 54,879（電話投票システム・サイクルテレホンセンター運営等分担金等）

○ 日本競輪選手会三重支部補助金 2,240

- ・ 負担金、補助及び交付金 2,240

補助金名称	金額
（社）日本競輪選手会三重支部選手育成事業補助金	2,160
全日本プロ選手権自転車競技大会補助金	30
中部地区プロ自転車競技大会補助金	50
合 計	2,240

○ 日本自転車振興会交付金 29,635（普通競輪売上に対する交付金）

○ スポーツ振興研修センター補助金 22,900

- ・ 負担金、補助及び交付金 22,900

補助金名称	金額
（財）松阪スポーツ振興研修センター補助金	22,900

○ 開催外一般経費 1,979 (臨時従事員健康診断委託等開催以外にかかる一般経費)

○ 記念競輪開催事業費 1,032,727 (開設62周年記念競輪開催にかかる経費)

事前周知イベントとして、11/3の氏郷まつりにおいて三重美少女図鑑のメンバー、競輪選手とのトークショー及び競技用自転車による「スピードチャレンジゲーム」を実施し、約200名の参加があった。また、11/11に津市のメッセウイングみえで開催されたプロレス大会にて記念競輪開催のPRを行い、11/12には名古屋市にあるスポーツ新聞社へ記念競輪の開催PRに表敬訪問を行った。

開催中場内にて、来場促進及びファンサービスを目的としたイベントを実施した。「三重美少女図鑑によるステージイベント」「未確定車券抽選会」「予想会」「管理棟見学ツアー」を行った。若者層のファン獲得のため、17日(土)は、「女性シンガーソングライターによるミニライブ」、18日(日)は、特設リングを設置し「ドラゴンゲート(プロレス)試合及びふれあい」を実施した。

その他、関係団体の支援事業として(社)日本競輪選手会三重支部により「脚力測定会」「選手会チャリティーオークション」「選手会トークショー・ファンサービス」など自転車競技に対する理解を深め、新規ファンを獲得するためにイベントを実施した。

また、ご当地グルメフェアブースを設置し、来場者に食文化を楽しんでもらった。

○ 事故金 59 (発売・払戻業務における現金不足金)

○ 普通競輪払戻金 2,316,232 (普通競輪売上に対する払戻金)

○ 記念競輪払戻金 4,092,971 (記念競輪売上に対する払戻金)

○ 払戻補足金 7 (的中車券が集中し配当が100円を割る場合の補足金)

○ 臨時場外開設事業費 181,179 (F I 競輪等発売委託時にかかる臨時場外経費)

#### 施設費

○ 施設維持修繕事業費 22,273

- ・ 消耗品費 1,023
- ・ 修繕料 21,250

修繕名称	金額
川越場外非常用自家発電設備直流盤取替修繕他	4,095
空調機設置緊急修繕(2か所)	4,200
空調機設置に係る電源敷設緊急修繕	1,155
投票所屋根テント修繕(2か所)	1,680
投票所記載台緊急修繕	688
その他 63件	9,432
合計	21,250

○ 駐車場管理事業費 741

- ・ 消耗品費 116
- ・ 修繕料 150

修繕名称	金額
お客様駐車場緊急修繕	150

- ・ 委託料 475

委託名称	金額
松阪競輪場河川清掃業務委託	339
松阪競輪場除草清掃委託	136

**公債費**

- 一時借入金利子 56 (記念競輪等臨時場外開設資金運用にかかる一時借入金利子)
- 競輪事業財政調整基金繰替運用利子 42 (財政調整基金繰替運用にかかる利子)

**諸支出金**

- 川越町納付金 24,871 (普通競輪川越場外売上に対する川越町への納付金)

国民健康保険事業

(単位 千円)

○ 決算状況

歳 入		歳 出	
科 目	決 算 額	科 目	決 算 額
1 国民健康保険税	3,912,039	1 総務費	294,889
2 材料及び手数料	1,730	1 総務管理費	292,733
3 国庫支出金	3,592,434	2 徴税費	1,533
1 療養給付費等負担金	2,727,733	3 運営協議会費	215
2 高額医療費共同事業負担金	94,601	4 趣旨普及費	408
3 特定健康診査等負担金	27,949	2 保険給付費	11,507,597
4 財政調整交付金	740,074	1 療養諸費	10,120,224
5 出産一時金補助金	330	2 高額療養費	1,284,607
6 医療諸費補助金	1,747	3 移送費	0
		4 出産育児諸費	91,016
4 療養給付費交付金	1,162,843	5 葬祭諸費	11,750
5 前期高齢者交付金	4,524,068	3 後期高齢者支援金等	2,215,701
6 県支出金	985,693	4 前期高齢者納付金等	2,299
1 高額医療費共同事業負担金	94,601	5 老人保健拠出金	108
2 特定健康診査等負担金	27,949	6 介護納付金	932,796
3 財政調整交付金	863,143	7 共同事業拠出金	1,812,403
7 共同事業交付金	1,735,453	8 保健事業費	129,403
8 財産収入	3	9 公債費	0
9 繰入金	1,280,984	10 諸支出金	195,891
10 繰越金	721,225	11 予備費	0
11 諸収入	76,548		
歳 入 合 計	17,993,020	歳 出 合 計	17,091,087
歳 入 歳 出 差 引 額			901,933
翌 年 度 へ 繰 越 す べ き 財 源			0
実 質 収 支 額			901,933

**総務費** 294,889

○ 総務管理費 292,733

- ・ 一般職員給 174,190
- ・ 一般管理経費 114,030  
国民健康保険事業に係る国民健康保険税の賦課通知・委託料・共同電算処理手数料等、一般事務経費。
- ・ 国保事業協力交付金 1,486
- ・ 三重県国民健康保険団体連合会負担金 3,027

○ 徴税費 1,533

- ・ 賦課徴收費 189 (保険税の徴収等にかかる経費)
- ・ 納税奨励費 1,344 (金融機関に対する保険税の口座振替手数料)



・ 保険税の状況

区 分	調 定 額	収 納 額	収納率
現年課税分	4,083,602,400円	3,566,114,743円	87.33%
一般分	3,681,359,521円	3,185,608,418円	86.53%
退職者分	402,242,879円	380,506,325円	94.60%
滞納繰越分	2,603,748,012円	345,923,714円	13.29%
一般分	2,444,503,029円	330,217,266円	13.51%
退職者分	159,244,983円	15,706,448円	9.86%
計	6,687,350,412円	3,912,038,457円	58.50%

・ 保険税率

区 分	医療分	支援金分	介護分
所得割	7.2%	2.0%	2.0%
均等割	27,000円	7,000円	9,000円
平等割	28,000円	6,000円	6,600円
課税限度額	500,000円	130,000円	100,000円

○ 運営協議会費 215 (国民健康保険事業の運営に関する重要事項を審議するための経費)

○ 趣旨普及費 408 (国民健康保険事業の趣旨を普及させるための啓発経費)

**保険給付費** 11,507,597 (国民健康保険団体連合会を通じて保険医療機関等へ支払う費用)

○ 療養諸費 10,120,225 (国民健康保険団体連合会の診療報酬審査に対する費用含む)

○ 高額療養費 1,284,607 (高額療養費・高額介護合算の自己負担に対する償還払いの費用)

○ 出産育児諸費 91,016 (出産に対する一時金の費用)

○ 葬祭諸費 11,750 (葬祭に対する一時金の費用)

・ 保険給付の状況 (H24年度事業年報より)

区 分	件 数	決算額	
療養の給付等	一 般	581,207件	9,142,439
	退 職	57,827件	864,536
	計	639,034件	10,006,975
療養費	一 般	12,065件	75,934
	退 職	1,098件	6,071
	計	13,163件	82,005
高額療養費	一 般	30,023件	1,151,412
	退 職	1,705件	132,875
	計	31,728件	1,284,287
高額介護合算療養費	一 般	24件	320
	退 職	0件	0
	計	24件	320
その他の給付	審査支払手数料		31,245
	出産育児諸費	217件	91,016
	葬祭諸費	235件	11,750
	移送費	0件	0
	合 計	684,401件	11,507,598

※ 一般状況

(H24年度事業年報平均より)

保険者負担率	一般・退職70% 義務教育就学前80% 70歳以上74歳までの方90%(一定以上所得者70%)	
加入世帯数	25,912 世帯	
被保険者数	一般	41,042 人
	退職	3,519 人
	計	44,561 人
一世帯当り保険税調定額	157,595 円	
被保険者一人当り保険税調定額	91,641 円	
被保険者一人当り保険給付費	258,244 円	
保険税調定額の保険給付費に対する割合	35.49 %	
保険税調定額の歳出に対する割合	23.89 %	

**後期高齢者支援金等** 2,215,701

医療被保険者数(0歳から74歳の加入者数)に応じて負担し、社会保険診療報酬支払基金へ支払い、支払基金が後期高齢者の交付金として広域連合に交付

**前期高齢者納付金等** 2,299

前期高齢者(65歳から74歳)の偏在による保険者間の不均衡を各保険者の加入数に応じて調整し、社会保険診療報酬支払基金へ支払う経費

**老人保健拠出金** 108

老人保健拠出金を社会保険診療報酬支払基金へ支払う経費

**介護納付金** 932,796

介護保険の第2号被保険者にかかる介護保険料を社会保険診療報酬支払基金へ支払う経費

**共同事業拠出金** 1,812,403

高額医療費共同事業拠出金等を国民健康保険団体連合会へ支払う経費

**保健事業費** 129,403

被保険者の健康の保持増進に関する教育指導事業に要する経費

- ・ 特定健康診査等事業費 102,731

事務経費 8,512 委託料 94,219

メタボリックシンドロームの発見、予防、改善、生活習慣病の予防、健康保持と増進の自覚を高め、生活習慣病の有病者および予備群の方を減らし医療費の適正化を図る経費

特定健康診査対象者数

31,944人 受診者数10,325人 受診率32.3% (目標65%)

動機付け支援及び積極的支援者数

1,099人 利用者数 276人 利用率25.1% (目標45%)

- ・ 保健衛生普及費 17,653

レセプト点検事務経費 5,259

医療費のお知らせ通知 5,824

健康フェスティバル補助金 2,290

歯の健康まつり補助金 900

事業団体負担金 3,380

・ 疾病予防費 49

・ 貸付事業（高額療養費及び出産育児一時金支給時に相殺を行う。） 8,970

事業名	件数	金額
高額医療費資金貸付金	113件	8,634
一般	107件	8,301
退職	6件	333
出産費資金貸付金	1件	336
計	114件	8,970

**諸支出金** 195,891

- ・ 保険税過誤還付金等 19,631
- ・ 平成23年度療養給付費等負担金確定による返還金 150,845
- ・ 平成23年度出産育児一時金補助金確定による返還金 390
- ・ 国保支払準備基金積立金 3（平成24年度末現在高 1,234）
- ・ 平成23年度高齢者医療制度円滑運営事業費補助金確定による返還金 162
- ・ 平成23年度一般会計繰入金確定による返還金 24,859

介護保険事業

(単位 千円)

○ 決算状況

歳 入		歳 出	
科 目	決 算 額	科 目	決 算 額
1 保険料	2,815,972	1 総務費	327,870
2 使用料及び手数料	266	2 保険給付費	13,553,242
3 国庫支出金	3,438,843	3 地域支援事業費	211,564
4 支払基金交付金	3,945,224	4 基金積立金	263,486
5 県支出金	2,034,300	5 公債費	40,000
6 財産収入	7,118	6 諸支出金	79,101
7 繰入金	2,051,375		
8 繰越金	287,739		
9 諸収入	26,913		
歳 入 合 計	14,607,750	歳 出 合 計	14,475,263
歳 入 歳 出 差 引 額		132,487	
翌年度へ繰越すべき財源		0	
実 質 収 支 額		132,487	

総務費

- 一般職員給 109,023
- 一般管理経費 9,769
- 介護保険システム管理事業費 23,121
- 三重県国民健康保険団体連合会負担金 26
- 賦課徴収事業費 13,531

保 険 料 の 状 況	区 分	調 定 額	収 納 額	収 納 率
	現年度分		2,843,929,148円	2,808,128,845円
	特別徴収	2,574,397,800円	2,574,397,800円	100.00%
	普通徴収	269,531,348円	233,731,045円	86.72%
滞納繰越分		54,902,133円	7,843,386円	14.29%
	普通徴収	54,902,133円	7,843,386円	14.29%
	計	2,898,831,281円	2,815,972,231円	97.14%
	特別徴収	2,574,397,800円	2,574,397,800円	100.00%
	普通徴収	324,433,481円	241,574,431円	74.46%

- 認定調査等事業費 69,285
- 認定審査会運営事業費 100,665

※ 一般状況

	H25年4月1日現在	H24年4月1日現在	増 減	増減率
総人口	169,681人	169,923人	△242人	△0.14%
65歳以上人口	43,268人	41,870人	1,398人	3.34%
高齢化率	25.50%	24.64%	0.86%	

※ 要介護（要支援）認定者数 平成25年3月末日現在

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2
第1号被保険者	547人	1,067人	1,740人	2,127人
65歳以上75歳未満	82人	142人	217人	236人
75歳以上	465人	925人	1,523人	1,891人
第2号被保険者	7人	11人	36人	61人
総 数	554人	1,078人	1,776人	2,188人

	要介護3	要介護4	要介護5	計
第1号被保険者	1,550人	1,248人	1,085人	9,364人
65歳以上75歳未満	163人	114人	115人	1,069人
75歳以上	1,387人	1,134人	970人	8,295人
第2号被保険者	34人	32人	33人	214人
総数	1,584人	1,280人	1,118人	9,578人

※ 要介護（要支援）認定申請件数 (単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規申請	223	197	198	225	246	228	211	227	201	253	230	227	2,666
更新申請	445	461	622	527	538	357	363	359	319	366	354	517	5,228
変更申請	72	68	60	55	57	50	68	74	56	68	87	76	791
計	740	726	880	807	841	635	642	660	576	687	671	820	8,685

※ 要介護（要支援）認定審査件数 (単位：件)

	非該当	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2
件数	40	618	1,248	1,515	1,699
構成比	0.47%	7.34%	14.82%	17.99%	20.17%

要介護3	要介護4	要介護5	計
1,264	1,091	948	8,423
15.01%	12.95%	11.25%	100.0%

※ 所得段階別第1号被保険者数

	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階	第5段階
賦課期日(平成24年6月1日)	1,192人	7,496人	7,204人	6,197人	6,232人
年度末現在(平成25年3月31日)	1,214人	7,427人	7,044人	6,572人	6,220人

第6段階	第7段階	第8段階	第9段階	第10段階	第11段階	計
5,103人	3,913人	2,791人	1,030人	243人	376人	41,777人
5,574人	4,194人	3,033人	1,162人	282人	437人	43,159人

- 趣旨普及事業費 12
- 地域密着型サービス運営委員会事業費 193
- 介護サービス事業所監査事業費 223
- 家族介護者総合支援事業費 2,024

### 保険給付費

- 保険給付費 13,553,243
  - ・ 保険給付の状況

区分	件数	回数(延日数)	給付額	
介護サービス等	居宅介護サービス給付費	118,088件	1,760,082日	6,174,902,260円
	特例居宅介護サービス給付費	6件	114日	690,417円
	地域密着型介護サービス給付費	5,436件	144,132日	1,164,693,413円
	特例地域密着型介護サービス給付費	0件	—	0円
	施設介護サービス給付費	16,808件	455,676日	4,027,630,569円
	特例施設介護サービス給付費	0件	—	0円
	居宅介護福祉用具購入費	788件	—	20,102,526円
	居宅介護住宅改修費	834件	—	70,581,028円
	居宅介護サービス計画給付費	55,329件	—	757,469,531円
	特例居宅介護サービス計画給付費	0件	—	0円

区 分		件 数	回数(延日数)	給 付 額
介護予防サービス等	介護予防サービス給付費	11,440件	113,043日	288,312,290円
	特例介護予防サービス給付費	0件	—	0円
	地域密着型介護予防サービス給付費	75件	1,276日	4,766,607円
	特例地域密着型介護予防サービス給付費	0件	—	0円
	介護予防福祉用具購入費	119件	—	2,582,207円
	介護予防住宅改修費	205件	—	18,434,574円
	介護予防サービス計画給付費	9,195件	—	39,131,400円
	特例介護予防サービス計画給付費	0件	—	0円
高額介護	高額介護サービス費	26,941件	—	275,249,899円
	高額介護予防サービス費	144件	—	106,142円
特定入所者介護サービス	特定入所者介護サービス費	20,228件	499,156日	672,751,320円
	特例特定入所者介護サービス費	2件	34日	24,090円
	特定入所者介護予防サービス費	39件	210日	272,860円
	特例特定入所者介護予防サービス費	0件	—	0円
高額医療合算	高額医療合算介護サービス費	1,179件	—	29,146,579円
	高額医療合算介護予防サービス費	1件	—	44,179円
その他	審査支払手数料	211,690件	—	6,350,700円
計		478,547件	2,973,723日	13,553,242,591円

#### 地域支援事業費

○ 二次予防対象高齢者施策事業費 38,355

##### ●二次予防対象高齢者把握事業

	件数	事業費
松阪市元気はつらつチェックシート送付	8,419件	4,310,103円
〃 回収	4,199件	
二次予防対象者把握数	1,224件	—
介護予防検査受診券発行数	8,675件	—
介護予防検査受診者数	2,843件	28,799,590円

##### ●通所型介護予防事業

介護予防プログラム名	実施箇所	実施回数	延参加人数	内二次予防対象高齢者延参加人数
運動器機能向上	8か所	56回	917人	477人
栄養改善	0か所	0回	0人	0人
口腔機能向上	2か所	14回	159人	58人
複合プログラム	9か所	63回	940人	368人
認知症予防	5か所	79回	1,047人	485人
計	24か所	212回	3,063人	1,388人

○ 一次予防対象高齢者施策事業費 3,229

プログラム	実施回数	延参加人数
講演会等	11回	366人
介護予防教室	854回	11,358人
相談会等	39回	244人
イベント(健康フェスティバル)	1回	158人
ボランティアの育成	121回	2,100人
地域活動組織への支援・協力	7回	—
介護予防に資する地域活動の実施	10回	96人

○ 地域包括支援センター事業費 124,554

うち、地域包括支援センター運営事業委託料

センター名	委託料
第一地域包括支援センター（委託先：松阪地区医師会）	24,175千円
第二地域包括支援センター（委託先：松阪市社会福祉協議会）	24,076千円
第三地域包括支援センター（委託先：松阪市社会福祉協議会）	22,116千円
第四地域包括支援センター（委託先：嘉祥会）	29,559千円
第五地域包括支援センター（委託先：太陽の里）	24,148千円

\* 地域包括支援センター運営協議会の開催 3回

\* 高齢者実態把握事業 398件

○ 任意事業費 45,425

区 分		実 績	事業費
適正化事業	介護給付費用の通知	延22,670件	3,685千円
	ケアプラン研修事業	3回	100千円
家族介護支援	高齢者虐待防止ネットワーク事業	6回	44千円
	徘徊高齢者家族支援サービス	1件	11千円
	紙オムツ給付事業	延7,810人	29,546千円
	家族介護慰労金支給	3件	300千円
	家族介護者教室	19回	71千円
その他の事業	認知症地域支援体制構築事業	65回	1,708千円
	成年後見制度利用支援事業	実人数3人	496千円
	介護相談員派遣事業	延238回	1,779千円
	福祉用具・住宅改修支援事業	107回	214千円
	配食サービス事業	延16,788食	5,036千円
	自立支援ホームヘルプサービス事業	延28人	192千円
	生活管理指導短期宿泊事業	延131日	811千円
	ボランティアポイント事業	—	1,432千円

\* 認知症サポーター養成数 1,468人（平成24年度末累計 12,049人）

\* 高齢者安心見守隊養成数 96人（平成24年度末登録者数 753人）

\* 高齢者ボランティア登録者数 83人（平成25年3月31日現在）

**基金積立金**

○ 介護保険給付費支払準備基金積立金 263,486（平成24年度末現在高 263,486）

**公債費**

○ 財政安定化基金償還金 40,000

※ 市債の状況

平成23年度末 現在高	平成24年度末 現在高	増減額
120,000	80,000	△ 40,000

**諸支出金**

○ 第1号被保険者保険料還付金 2,595

○ 過年度分償還金等 76,506（平成23年度介護給付費等精算に伴う返還金）

後期高齢者医療事業

(単位 千円)

○ 決算状況

歳 入		歳 出	
科 目	決 算 額	科 目	決 算 額
1 保険料	1,041,050	1 総務費	60,763
2 使用料及び手数料	134	2 後期高齢者医療広域 連合納付金	2,874,822
3 繰入金	1,898,915	3 公債費	0
4 繰越金	14,030	4 諸支出金	2,939
5 諸収入	5,409	5 予備費	0
歳 入 合 計	2,959,538	歳 出 合 計	2,938,524
歳 入 歳 出 差 引 額		21,014	
翌年度へ繰越すべき財源		0	
実 質 収 支 額		21,014	

○ 対象者(被保険者)の状況

75歳以上のすべての方及び65歳以上で一定の障がいがあり、制度に加入することを選択した方。(生活保護受給者を除く)

(平成24年9月30日現在)

区 分	被 保 険 者 数		一 部 負 担 割 合			
		うち65歳以上75歳 未満障がい者	1 割	比率	3 割	比率
松 阪 市	22,571人	591人	21,625人	95.81%	946人	4.19%
三重県全体 (松阪市分含む)	235,632人	5,273人	223,988人	95.06%	11,644人	4.94%

○ 保険料の状況

・ 計算方法

均等割額	+	所得割額 (前年中の総所得金額等－基礎控除額33万円)×7.55%	=	保険料賦課額	=	賦課限度額 55万円
39,120 円						

・ 所得の低い方等に対する軽減措置

低所得の方に対し一定の軽減基準により適用される均等割軽減(9割軽減、8.5割軽減、5割軽減、2割軽減)及び所得割軽減(5割軽減)、また、被用者保険の被扶養者であった方に適用される均等割軽減(9割軽減)をそれぞれ実施した。

〈均等割軽減の基準〉

同一世帯の世帯主及び被保険者の軽減判定所得の合計額により、下表のとおり軽減する。

軽 減 割 合	軽 減 の 基 準
9割軽減	33万円以下であって被保険者全員の年金収入が80万円以下 (その他各種所得がない)
8.5割軽減	33万円以下
5割軽減	33万円+24.5万円×当該世帯の被保険者の人数 (被保険者である世帯主を除く)
2割軽減	33万円+35万円×当該世帯の被保険者の人数

- ①65歳以上の方の公的年金所得は15万円を控除
- ②営業等、農業、不動産所得のある方は専従者控除前の所得
- ③専従者給与は所得に算入しない
- ④土地建物等の譲渡所得があった場合は特別控除前の所得

〈所得割軽減の基準〉

所得割の計算の基礎となる基礎控除後の総所得金額等が58万円以下の場合、5割軽減する。



〈被用者保険の被扶養者〉

後期高齢者医療制度に加入する前日に被用者保険の被扶養者であった場合、均等割を9割軽減し、所得割を課さない。

- ・ 保険料の徴収方法は、原則、特別徴収(年金天引き)であるが、申し出による口座振替への変更を実施した。
- ・ 災害により保険料の減免基準に該当した方に対し保険料の減免を実施した。
- ・ 賦課、収納状況

区 分	松 阪 市		三 重 県 全 体 (松阪市分含む)		
		収納率		収納率	
(現年度) 特別徴収	調定額	683,767,811円	100.00%	8,289,965,736円	100.00%
	収納額	683,767,811円		8,289,965,736円	
(現年度) 普通徴収	調定額	363,447,476円	97.43%	4,350,459,150円	98.04%
	収納額	354,113,267円		4,265,221,208円	
(滞納繰越分) 普通徴収	調定額	9,460,790円	33.50%	128,629,951円	41.99%
	収納額	3,169,397円		54,005,787円	
計	調定額	1,056,676,077円	98.52%	12,769,054,837円	98.75%
	収納額	1,041,050,475円		12,609,192,731円	

#### 総務費

- 一般職員給 34,196  
一般職員 6人
- 一般管理経費 22,615  
後期高齢者医療制度の運用に伴う、電算システム委託経費及び一般事務経費。
- 徴収事業費 3,951  
保険料徴収に伴う、各種通知物郵送経費及び口座振替手数料。

#### 後期高齢者医療広域連合納付金

- 共通経費負担金 13,450  
広域連合における一般会計運営経費(広域連合議員及び一般職員等人件費、運営協議会開催経費等)のうち、県下29市町において負担する分を、均等割10%、人口割45%、高齢者人口割45%の割合で各市町が按分し、松阪市負担分を広域連合に納付した。
- 一般管理事務費負担金 49,047  
広域連合における特別会計運営経費(被保険者証交付、医療費通知、電算システム管理経費等)のうち、県下29市町において負担する分を、共通経費負担金と同様の割合で各市町が按分し、松阪市負担分を広域連合に納付した。
- 健康診査事業費負担金 9,162  
健康診査に係る保険給付分のうち、県下29市町において負担する分を、共通経費負担金と同様の割合で各市町が按分し、松阪市負担分を広域連合に納付した。
- 健康診査事業事務費負担金 6,133  
健康診査に係る事務経費(審査支払手数料、受診券交付、システム導入経費等)のうち、県下29市町において負担する分を、共通経費負担金と同様の割合で各市町が按分し、松阪市負担分を広域連合に納付した。
- 保険料負担金 1,033,824  
松阪市被保険者から徴収した保険料を、広域連合に納付した。
- 保険基盤安定制度負担金 335,273  
松阪市被保険者における、低所得者及び被用者保険の被扶養者の保険料軽減分負担金を広域連合に納付した。  
保険基盤安定制度負担金対象軽減分
  - ・ 均等割9割及び8.5割軽減のうち7割軽減分
  - ・ 均等割5割軽減分
  - ・ 均等割2割軽減分

・被用者保険の被扶養者均等割5割軽減分

保険料軽減分における負担割合 県 軽減総額×3/4、市 軽減総額×1/4

○ 療養給付費負担金 1,418,822

松阪市被保険者の療養給付費における、松阪市負担分(1/12)を広域連合に納付した。

※下記の表(療養費の状況)と決算額の相違は、翌年度に精算により調整される。

・療養費の状況

区 分	松 阪 市		三 重 県 全 体 (松阪市分含む)	
	件 数	金 額	件 数	金 額
現物給付費	576,196件	17,533,318,976円	6,240,081件	170,956,670,608円
療養給付費	576,196件	17,533,318,976円	6,240,081件	170,956,670,608円
現金支給費	34,422件	262,941,617円	361,666件	2,988,091,622円
柔道整復師の施術	6,428件	54,876,537円	85,395件	803,807,629円
高額療養費	24,652件	147,502,093円	237,456件	1,493,190,608円
高額介護合算療養費	1,297件	13,265,813円	10,463件	111,131,186円
標準負担額差額	(50件)	112,710円	(194件)	559,658円
その他療養費	2,045件	47,184,464円	28,352件	579,402,541円
合 計	610,618件	17,796,260,593円	6,601,747件	173,944,762,230円
被保険者数 (平成24年9月30日現在)	22,571人		235,632人	
年間一人当り医療費	788,457円		738,205円	
1件当り医療費	29,145円		26,348円	

○ 過年度分療養給付費負担金 9,110

平成23年度分療養給付費負担金の精算追加分を広域連合に納付した。

#### 諸支出金

○ 保険料還付金 2,935

平成23年度以前収入分の保険料において保険料額変更(減額)等に伴う過誤納金を、松阪市被保険者及び年金保険者に還付した。

○ 保険料還付加算金 3

特別徴収者の保険料額変更(減額)に伴う過納金を、松阪市被保険者に還付する際、還付加算金を加算した。

簡易水道事業

(単位 千円)

○ 決算状況

歳 入		歳 出	
科 目	決 算 額	科 目	決 算 額
1 分担金及び負担金	1,299	1 総務費	37,250
2 使用料及び手数料	47,030	2 事業費	339,657
3 国庫支出金	97,989	1 業務費	36,272
4 繰入金	183,002	2 建設改良費	303,385
5 繰越金	5,157	3 公債費	102,722
6 諸収入	4,941	4 予備費	0
7 市債	146,900	5 災害復旧事業費	2,792
歳入合計	486,318	歳出合計	482,421
歳入歳出差引額			3,897
翌年度へ繰越すべき財源			0
実質収支額			3,897

総務費

- 一般職員給 35,016
- 朝見簡易水道一般経費 9
- 飯高簡易水道一般経費 2,225

事業費

- 朝見簡易水道管理事業費 3,652
  - ・ 簡易水道水質検査等手数料 1,924
  - ・ 簡易水道ポンプ電気料金 1,092
  - ・ その他経費 636
- 飯高簡易水道管理事業費 32,620
  - ・ 簡易水道水質検査等手数料 4,754
  - ・ 営業関連業務民間委託負担金 4,995
  - ・ 簡易水道施設修繕料 7,289
  - ・ 水道用薬品代 1,007
  - ・ 遠方監視システム専用回線・電話使用料 3,079
  - ・ 簡易水道施設機械警備、施設管理他委託料 7,078
  - ・ 浄水場、加圧ポンプ場、配水池電気料金 3,584
  - ・ その他経費 834
- 飯高簡易水道整備事業費 29,818
  - ・ 飯高簡易水道施設において、県道蓮峽線改良に伴う配水管布設替工事等を実施した。

区 分	事 業 内 容	事業費
東部簡易水道赤桶地内配水管布設工事に伴う設計業務委託	配水管設計 Φ150 L=330m 水管橋設計 N=1橋	3,284
県道蓮峽線(七日市工区)道路改良に係る配水管布設替工事	DIP(GX形)Φ150 L=12.6m 不断水バルブΦ150 N=2基	5,976
県道蓮峽線新中瀬橋取付部配水管布設替工事	DIP(GX形)Φ150 L=228.3m	13,888
東部簡易水道宮前地内配水管布設工事	PP Φ40 L=260.2m Φ20 L=48.0m	6,506
事務費	三重県自治体共同積算システム利用料等	164
	計	29,818

○ 飯高簡易水道統合事業費 264,494

- ・ 簡易水道再編推進整備にかかる統合波瀬簡易水道事業において、工事測量設計業務、整備工事を実施した。

区 分	事 業 内 容	事業費
統合波瀬簡易水道事業に伴う配水管布設替設計業務委託	配水管布設替に係る測量調査設計業務 1式	5,299
月出浄水場機械電気計装設備工事に伴う積算施工管理業務委託	積算・施工管理業務 1式	4,305
月出浄水場改修工事	場内整備 1式 管理棟 1棟 場内配管 Φ50～Φ75 L=41.4m	12,978
月出浄水場機械電気計装設備工事	水処理機械設備 1式 電気計装設備 1式	75,600
太良木地内外配水管布設替工事	DIP(GX形)Φ150 L=961.1m DIP(GX形)Φ100 L=235.3m DIP(GX形)Φ75 L=107.2m PPΦ50 L=182.1m SUS150A L=24.6m SUS100A L=53.9m SUS80A L=21.7m SUS50A L=42.7m 舗装復旧工 A=4,749㎡	98,604
月出地内導水管布設替工事	HPPEΦ75 L=1.4m HPPEΦ50 L=1,959.5m WEΦ50 L=49.5m SUS100A L=2.2m SUS50A L=22.3m 減圧水槽 N=4基	67,638
事務費	消耗品費	70
計		264,494

○ 飯高西部簡易水道施設更新事業費 9,073

- ・ 簡易水道再編推進整備にかかる西部簡易水道事業において、変更認可設計業務を発注し、三重県に認可を受けた。

区 分	事 業 内 容	事業費
松阪市西部簡易水道事業変更認可設計業務委託	変更認可設計業務 1式 水源調査 4回	9,073
計		9,073

**公債費**

- 長期債償還元金 81,620
- 長期債償還利子 21,102

※ 市債の状況

平成23年度末 現 在 高	平成24年度末 現 在 高	増減額
1,227,102	1,292,383	65,281

**災害復旧事業費**

○ 飯高簡易水道施設災害復旧事業費 2,792

・ 台風4号（平成24年6月19～20日）で被災した西部簡易水道施設について復旧工事を実施した。

区 分	事 業 内 容	事業費
飯高西部簡易水道災害復旧工事	PPΦ75 L=640.0m 仮設工 1式	2,552
飯高西部簡易水道取水災害復旧工事	取水枡コンクリート蓋復旧工 1式	240
計		2,792

《施設の状況》

地区名	本庁管内	飯 高 管 内		
	朝 見	東 部	西 部	統合波瀬
戸 数	300戸	927戸	963戸	246戸

戸別合併処理浄化槽整備事業

(単位 千円)

○ 決算状況

歳 入		歳 出	
科 目	決 算 額	科 目	決 算 額
1 分担金及び負担金	1,039	1 総務費	23,416
2 使用料及び手数料	112,787	2 事業費	169,634
3 国庫支出金	16,166	1 業務費	117,185
4 県支出金	14,511	2 建設改良費	52,449
5 財産収入	520	3 公債費	67,476
6 繰入金	83,362		
7 繰越金	1,492		
8 市債	32,400		
歳入合計	262,277	歳出合計	260,526
歳入歳出差引額			1,751
翌年度へ繰越すべき財源			0
実質収支額			1,751

総務費

- 一般職員給 15,425
- 一般管理経費 1,280
- 市町村整備型浄化槽減債基金積立金 6,590 (平成24年度末現在高 88,308)
- 市町村整備型浄化槽基金積立金 121 (平成24年度末現在高 20,312)

事業費

- 施設維持管理事業費 117,185  
 管理基数 1,939基 (清掃委託料 77,076、浄化槽保守管理業務委託料ほか 32,372)  
 (浄化槽法定点検業務手数料 7,610、浄化槽システム委託料ほか 127)
- 生活排水処理施設整備事業費 52,449

区 分	内 容	事業費	事業費内訳	
			工事費	その他
需用費	消耗品	149		149
役務費	切手	20		20
工事請負費	5人槽 42基	33,149	33,149	
	7人槽 12基	12,632	12,632	
	10人槽 2基	6,499	6,499	
計		52,449	52,280	169

公債費

- 長期債償還元金 54,553
- 長期債償還利子 12,923

※ 市債の状況

平成23年度末 現在高	平成24年度末 現在高	増減額
772,923	750,770	△ 22,153

農業集落排水事業

(単位 千円)

○ 決算状況

歳 入		歳 出	
科 目	決 算 額	科 目	決 算 額
1 使用料及び手数料	17,206	1 総務費	7,189
2 繰入金	49,338	2 事業費	31,491
3 繰越金	18	3 公債費	28,058
4 諸収入	201		
歳 入 合 計	66,763	歳 出 合 計	66,738
歳 入 歳 出 差 引 額			25
翌年度へ繰越すべき財源			0
実 質 収 支 額			25

(目) 一般管理費

- 一般職員給 6,578  
農業集落排水事業における担当職員1人分の人件費
- 一般管理経費 582
- 各種団体等負担金 29

(目) 施設管理費

- 小野地区施設維持管理費 9,329

区分	内容	事業費	事業費内訳	
			委託料	その他
汚水処理場、中継ポンプ等の光熱水費・修繕料・通信費・汚泥引抜き手数料等	使用戸数 63戸/月、使用人数 203人/月	6,046		6,046
汚水処理施設維持管理業務委託	巡回点検 週1回、定期点検 月1回	2,921	2,921	
農業集落排水処理施設等維持管理業務委託	日常点検 週2回	324	324	
農業集落排水処理施設使用料徴収業務委託	徴収業務委託	38	38	
合 計		9,329	3,283	6,046

- 高木地区施設維持管理費 12,646

区分	内容	事業費	事業費内訳	
			委託料	その他
汚水処理場、中継ポンプ等の光熱水費・修繕料・通信費・汚泥引抜き手数料等	使用戸数 122戸/月、使用人数 416人/月	7,166		7,166
汚水処理施設維持管理業務委託	巡回点検 週1回、定期点検 14日に1回	4,926	4,926	
農業集落排水処理施設等維持管理業務委託	日常点検 週2回	324	324	
農業集落排水処理施設使用料徴収業務委託	徴収業務委託	74	74	
自家用電気工作物保安管理業務委託	保安管理業務委託	156	156	
合 計		12,646	5,480	7,166

○ 須賀・川北地区施設維持管理費 9,516

区分	内容	事業費	事業費内訳	
			委託料	その他
汚水処理場、中継ポンプ等の光熱水費・修繕料・通信費・汚泥引抜き手数料等	使用戸数 134戸/月、使用人数 489人/月	5,838		5,838
須賀・川北クリーンセンター汚水処理施設保守点検業務委託	マンホール中継ポンプ点検 月1回、処理場定期点検 月2回、緊急時 随時	3,524	3,524	
自家用電気工作物保安管理業務委託	保安管理業務委託	154	154	
合 計		9,516	3,678	5,838

(目) 元金

○ 長期債償還元金 19,204

(目) 利子

○ 長期債償還利子 8,854

※ 市債の状況

平成23年度末 現 在 高	平成24年度末 現 在 高	増減額
372,661	353,457	△ 19,204



住宅新築資金等貸付事業

(単位 千円)

○ 決算状況

歳 入		歳 出	
科 目	決 算 額	科 目	決 算 額
1 事業収入	37,384	1 総務費	14,086
2 県支出金	998	2 公債費	58,228
3 財産収入	908		
4 繰入金	30,746		
5 繰越金	5,122		
6 諸収入	0		
歳 入 合 計	75,158	歳 出 合 計	72,314
歳 入 歳 出 差 引 額			2,844
翌年度へ繰越すべき財源			0
実 質 収 支 額			2,844

(目) 一般管理費

- 一般職員給 1,782
- 一般管理経費 285  
平成8年度に貸付制度が終了したことによる貸付金回収のための事務経費
- 住宅新築資金等貸付事業基金積立金 908 (平成24年度末現在高 59,851)
- 各種団体等負担金 13
- 一般会計返還金 11,098

(目) 元金

- 長期債償還元金 53,015 (うち繰上償還元金 2件 3,401 補償金免除繰上償還 7件 23,805)

(目) 利子

- 長期債償還利子 5,213

※ 市債の状況

平成23年度末 現 在 高	平成24年度末 現 在 高	増減額
124,306	71,291	△ 53,015

※ 貸付金の状況

平成23年度末 現 在 高	平成24年度末 現 在 高	増減額
389,320	355,908	△ 33,412

ケーブルシステム事業

(単位 千円)

○ 決算状況

歳 入		歳 出	
科 目	決 算 額	科 目	決 算 額
1 分担金及び負担金	720	1 総務費	33,605
2 使用料及び手数料	21,374	2 事業費	59,447
3 財産収入	28	3 公債費	48,579
4 繰入金	117,600		
5 繰越金	961		
6 諸収入	1,828		
歳 入 合 計	142,511	歳 出 合 計	141,631
歳 入 歳 出 差 引 額			880
翌年度へ繰越すべき財源			0
実 質 収 支 額			880

※ ケーブルシステム加入状況等(加入者数は平成25年3月末現在)

	契約者数	収入額
ケーブルテレビ(維持管理費)	3,652件	21,127
過年度分		247
計	3,652件	21,374

(目) 一般管理費

- 一般職員給 33,577  
ケーブルシステム職員の給与(5人)
- ケーブルシステム事業基金積立金 28(平成24年度末現在高 4,307)

(目) 運営費

- ケーブルシステム施設管理運営事業費 56,885  
市営ケーブルシステムの適正な維持管理により、飯南・飯高地区のテレビ視聴環境を確保した。また、行政情報番組「アイウェーブまつさか」を制作・放送し、行政情報や地域の話題などを分かりやすく情報提供した。  
制作本数 通常番組・・・100本(1日16回のレポート放送 週2回更新)  
特集・・・51本、特別番組・・・9本、市長記者会見等・・・12回  
文字放送・・・433件、議会放送・・・65回(生中継28回、録画37回)
- ケーブルシステム施設整備事業費 2,562  
松阪市ケーブルシステム伝送路監視システム構築工事

(目) 元金

- 長期債償還元金 47,323

(目) 利子

- 長期債償還利子 1,256

※ 市債の状況

平成23年度末 現在高	平成24年度末 現 在 高	増減額
118,085	70,762	△ 47,323



地方自治法第241条第5項の規定による書類

## 基金の運用状況

(H25.3.31現在)

## 土地開発基金

(単位:金額 千円、地積 m<sup>2</sup>)

区 分		前年度末現在高	決算年度中増減額	決算年度末現在高
現金	現 金	279,615	△11,032	268,583
	土地開発公社運用金	1,434,538	14,365	1,448,903
	計	1,714,153	3,333	1,717,486
土地	地 積	21,355.27	0.00	21,355.27
	価 格	477,100	0	477,100
合 計		2,191,253	0	2,194,586